

別海中央中学校耐力度調査

報 告 書



令和7年3月

株式会社 日本技建

13-1 棟 校舎棟(RC 造)

既存鉄筋コンクリート造学校建物の耐力度測定

別海町立別海中央中学校 13-1 校舎棟

目 次

1. 耐力度調査票	1- 1
2. 建物概要	1- 3
・ 調査概要書	
・ 学校施設台帳	
・ 意匠図、構造図、改修図	
・ ボーリングデータ	
・ 外観写真	
3. 構造耐力度測定	1-114
・ 保有耐力	
・ 層間変形角	
・ 基礎構造	
・ 地震による被災履歴	
4. 健全度測定	1-131
・ 経過年数	
・ 鉄筋腐食度	
・ コンクリート中性化深さ等及び鉄筋かぶり厚さ	
・ 躯体の状態	
・ 不同沈下量	
・ コンクリート圧縮強度	
・ 火災による疲弊度	
5. 記録写真	1-140
6. 外力条件	1-154

1. 耐力度調査票

別表第1
(表面)

鉄筋コンクリート造の建物の耐力度調査票

										IV 学校種別	V 整理番号			
										中学校	1553			
										III 結果	点 数			
I 調査学校	都道府県名	設置者名	学校名	学校調査番号	調査期間	令和6年9月21日～令和6年9月23日					A 構造耐力	耐力度		
	北海道	別海町	中央中学校	5183	調査者	職名	一級建築士登録番号	氏名					100	A×B×C
					主査	第311048号	伊井 崇史 @							
予備調査者	会社名	一級建築士登録番号	氏名			B 健全度	48	C 立地条件	4,320					
(株)日本技建	第230549号	佐藤 文彦 @												
II 調査建物	建物区分	棟番号	階数	面積	建物の経過年数			被災歴		補修歴		点 数		
	校舎	13-1	2	一階面積	建築年月	長寿命化年月	一年	種類	被災年	内容	補修年			
				1,113 m ²	10月	—	—	—	—	—	—		—	
延べ面積	経過年数	経過年数	一年	—	—	—	—	—	—	—				
2,021 m ²	41年	41年	—	—	—	—	—	—	—	—	0.90			

構造耐力	① 保有耐力	(a) 水平耐力 q	階	方向	構造耐震指標 I _s	経年指標 T	qi = (I _s /T) / 0.7	鉄骨定着部の係数 α	q = q _x × q _y × α	判別式	評点	評点合計
		(b) コンクリート圧縮強度 k	試験区分	壁・梁 1	壁・梁 2	壁・梁 3	平均値 F _c	k = F _c / 20	判別式	評点		
	コア試験		32.5	29.5	32.0	31.33	1.57	1.0 ≤ k	1.0	1.00	50	
	② 層間変形角 θ	階	方向	構造耐震指標 I _s	靱性指標 F _u	Fr = F _u × 0.7 / (I _s /T)	θ	θ の最大値	判別式	評点	100	
—	桁行方向 X	—	—	—	—	—	新耐震基準のため省略	θ ≤ 1/200	1.0			
耐力	③ 基礎構造 β	種別指数 u	基礎の被害予測に関する指数 p			β = u × p	判別式	評点	100			
		木杭 0.8	敷地地盤で液状化が予想される			0.8	1.0 ≤ β	1.0		30		
		RC杭 0.9	杭基礎でアスペクト比が2.5以上の建物			0.9	0.5 < β < 1.0	直線補間		1.00		
④ 地震による被災履歴 E	過去に経験した最大の被災度				無被害・被災無し	評価	評点	1.00	1.00			
	軽微	小破	中破	大破	1.0	1.0	1.00					

註) 鉄筋コンクリート造架構の上に鉄骨屋根を載せた屋内運動場(Rタイプ)では、鉄骨屋根のRC定着部について検討する。①保有耐力の「鉄骨定着部の係数、α」欄には検討結果の比を、()内は最小値、又は、平均値を記載して、係数、αの算出根拠を示すこと。

註) 屋内運動場で、β算出時に一方向地中梁による低減係数0.75を考慮した場合には、「□地中梁による低減」にチェックすること。

健全度	① 経年変化 T	経過年数 t	判別式(建築時からの経過年数)	経過年数 t ₂	判別式(長寿命化改良後の経過年数)	評点	評点合計			
	41 年	T=(40-t)/40 = 0	— 年	T=(30-t ₂)/40 = —	0.00	0.0	0.0			
	② 鉄筋腐食度 F	鉄筋腐食状況	層状さびが認められる		部分的に点食を認める		グレード最低値 F	評点		
		グレード	1.0	0.8	0.5	1.0	0.8	0.5	0.50	12.5
	③ コンクリート中性化深さ等及び鉄筋かぶり厚さ	(a) コンクリート中性化深さ等 a	部位	柱1	梁1	柱2(壁1)	梁2(壁2)	平均値 a	判別式	評点
		0.0	0.0	0.0	0.8	0.20	0.20	0.20	1.0 ≤ a	1.0
	④ 躯体の状態 D	部位	柱	梁	壁	床	グレード最低値 D	評点		
状況		ジャンカ部分的	幅0.3mm未満多数	幅1.0mm以上部分的	なし	0.50	0.50	10.0		
⑤ 不同沈下量 φ	階	相対沈下量 ε	スパン L		φ = ε / L		φ の最大値	判別式	評点	
	桁行方向 X	張間方向 Y	桁行方向 X	張間方向 Y	桁行方向 X	張間方向 Y	1	1	1.00	
⑥ コンクリート圧縮強度 k	*同一階6本以上のコア圧縮強度の平均値が13.5N/mm ² 以下の場合に適用						判別式	評点		
	壁・梁 1	壁・梁 2	壁・梁 3	壁・梁 4	壁・梁 5	壁・梁 6	平均値 σ	13.5 ≤ σ	1.0	
⑦ 火災による疲弊度 S	程度	構造体変質	非構造材全焼	非構造材半焼	煙害程度	当該階の床面積 S ₀	被災率 S = S _i /S ₀	判別式	評点	
	被災床面積 S ₁	0.0	S ₂	0.0	S ₃	0.0	S ₄	0.0	0.00	

註) 材料試験により使用骨材の塩化物量が0.1%を超えることを確認した場合、③中性化深さの「平均値a」欄の()内に塩化物量を記入する。この場合、(a)の評点は中性化試験結果によらず0.5に読替える。

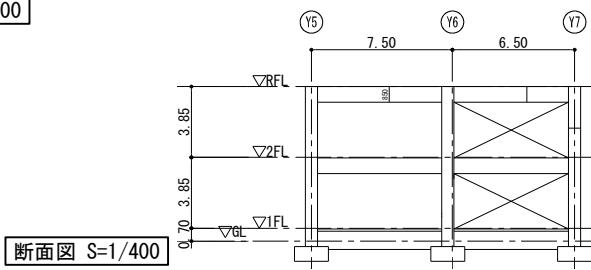
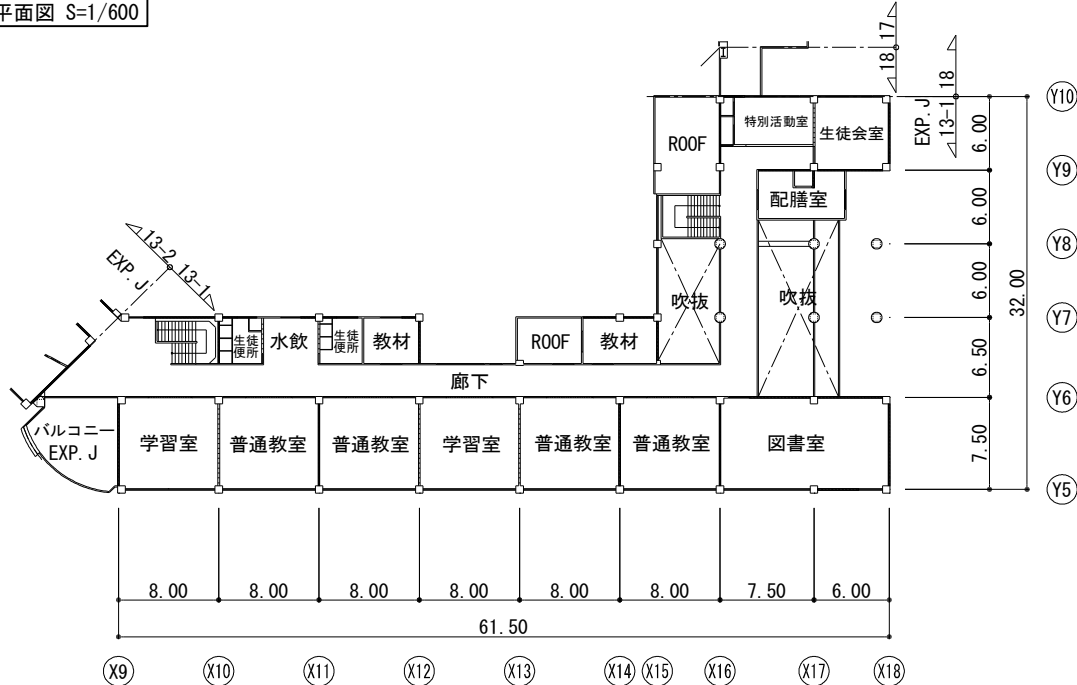
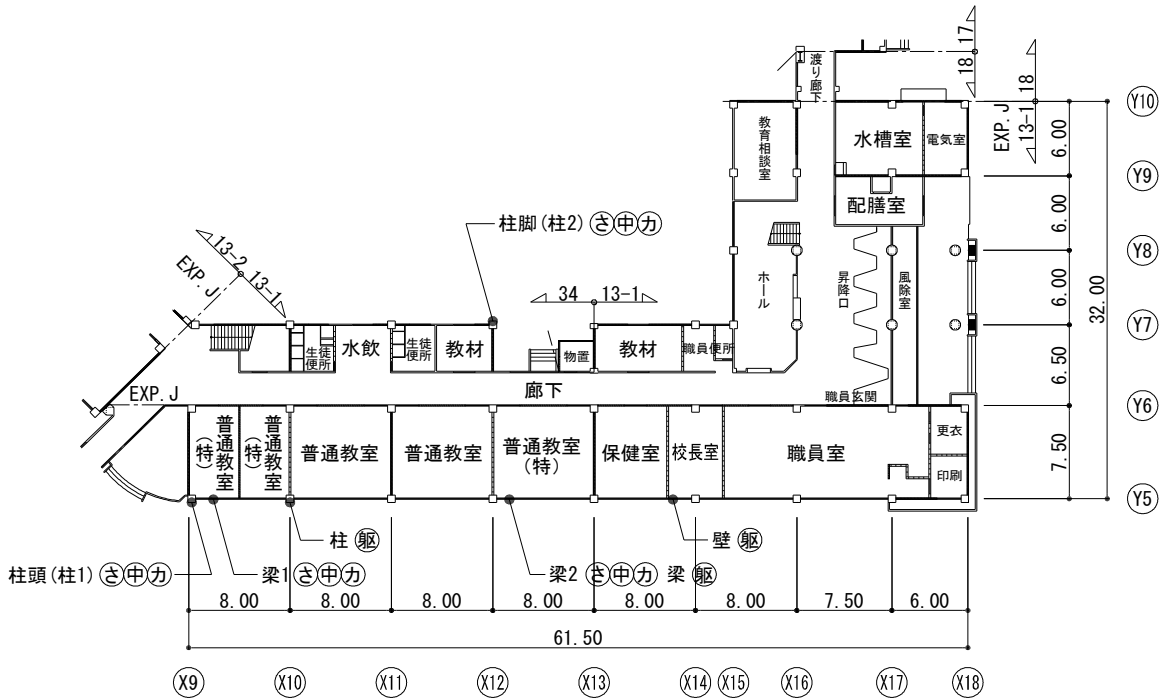
立地条件	① 地震地域係数	② 地盤種別	③ 敷地条件	④ 積雪寒冷地域	⑤ 海岸からの距離	評価	評点
	四種地域 1.0	一種地盤 1.0	平坦地 1.0	その他地域 1.0	海岸から8kmを超える 1.0	◎ = ①+②+③+④+⑤ / 5	0.90
	三種地域 0.9	二種地盤 0.9	崖地 0.9	二級積雪寒冷地域 0.9	海岸から8km以内 0.9	= (0.8+0.9+1.0+1.0+0.8+1.0) / 5	
	二種地域 0.85	三種地盤 0.8	支持地盤が著しく傾斜した敷地 0.9	一級積雪寒冷地域 0.8	海岸から5km以内 0.8	= 0.90	
一種地域 0.8	—	局所的な高台 0.9	—	—	—		

(裏面)

学校名 中央中学校

1. 調査建物の各階の平面図、断面図を単線で図示し、耐力壁は、他と区別できるような太線とする。
2. 寸法線と寸法(単位メートル)を記入する。
3. 平面図に、コンクリート中性化深さ、鉄筋かぶり厚さ、鉄筋腐食度、ひび割れ等の測定位置を記入する。
4. 余白に縮尺、建築年、延べ面積を記入する。

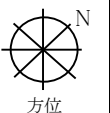
構造耐力は新耐震基準のため100点と優れている。
健全度は、中性化には進行は見られないものの、かぶり厚が薄く、鉄筋に腐食が発生している状態である。また、幅1.0mm以上のひび割れやジャンカも確認されたため、老朽化が進行している状態と判断される。



凡例

⊕	鉄筋腐食度
⊖	コンクリート中性化深さ
⊖	鉄筋かぶり厚さ
⊖	躯体の状態

建築年	昭和58年10月
延べ面積	2,021㎡



2. 建物概要

調査概要書

建物名称：別海中央中学校 13-1 棟 校舎

所在地：野付郡別海町別海緑町 116 番地 4

竣工年月日：昭和 58 年 10 月

構造：鉄筋コンクリート造(RC造)

規模：階数 2階
軒高 8.4m
床面積 2,021 m²

調査項目：構造耐力 保有耐力
層間変形角
基礎構造
地震による被災履歴

健全度 経年変化
鉄筋腐食度
コンクリート中性化深さ及び鉄筋かぶり厚さ
躯体の状態
不同沈下量
コンクリート圧縮強度
火災による疲弊度

被災の状況：無

設計図書の有無：意匠図 — 有

設計図書の有無：構造図 — 有

設計図書の有無：構造計算書 — 無

外力条件：地震地域係数 — 1種地域

外力条件：地盤種別 — 2種地盤
敷地条件 — 平坦地

外力条件：積雪寒冷地域 — 1級積雪寒冷地域

外力条件：海岸からの距離 — 8 kmを超える

地盤調査報告書の有無：有

令和6年度 公立学校施設等の総括表(中学校)

北海道府県名 北海道

設置者名 別海町

①識別コード	②都道府県番号	③学校調査番号	④学校区分	⑤冬季分校番号
C01518304				

学校所在地 野付郡別海町別海緑町116番地4

ふりがな べつかいちゆうおうちゅうがっこう

学校名 別海中央中学校

整理番号 1553

⑦市町村番号	⑧生徒数	⑨学級数	⑩設置年度
691	168	27	6
特別支援	普通	特別支援	寒冷区分
2	27	6	4
1	55	6	1

多目的スペースの総面積	必面積	保有面積	積算面積	危険面積	積算面積	整備資格	積算後	要改築面積	積算後
	4173	3708	132	23	(3866)	()	307		

⑮ 児童生徒地域交流施設保有面積

R	S	W

⑯ 地域・学校連携施設保有面積

R	S	W

学校コード C101269100048

⑮ 生徒数(普通の内訳)

1学年	2学年	3学年
51	55	62

⑮ 児童生徒地域交流施設保有面積

R	S	W

⑯ 地域・学校連携施設保有面積

R	S	W

⑰ 児童生徒地域交流施設保有面積

R	S	W

コード番号説明欄

③ 学校調査番号 (3511~5500)

④ 学校区分 (左の数値)

独立・・・0
 転地が隣接・・・4
 併設で校地のみ共用・・・5
 併設で建物も共用・・・6

(右の数値)

本校・・・4
 分校・・・5
 冬季分校・・・6

⑱ 校地保有面積

建物敷地	運動場	実験実習地その他	借用
12387	20000	7613	

⑲ 屋内運動場

必面積	保有面積	積算面積	危険面積	積算面積	整備資格	積算後	要改築面積	積算後
1237	12	988	1000			237		

⑳ 寄宿舎

必面積	保有面積	積算面積	危険面積	積算面積	整備資格	積算後	要改築面積	積算後

⑳ 保有教室等の総面積

普通	特別	教室	開室	係
131	1	1	1	1
理	音	技	家庭	外国

㉑ 相手方学校の学名

普通	特別	教室	開室	係
1	1	1	1	1
理	音	技	家庭	外国

㉒ 地域指定区分等

② 保有普通教室の総面積	③ 保有特別教室の総面積	④ 保有控除面積	⑤ 借用面積	⑥ 地域指定区分等
509	1107			① 地震防災地域
				② 水源地域
				③ 公室防火地域
				④ 防犯防火地域
				⑤ 都市用途地域
				⑥ 寒冷地域
				⑦ 積雪地域
				⑧ 豪雪地帯
				⑨ 山間地域
				⑩ 過疎地域
				⑪ 過去増城
				⑫ 宿舎
				⑬ 運動場
				⑭ 校舎
				⑮ 寄宿舎
				⑯ 校舎
				⑰ 屋内運動場
				⑱ 校舎
				⑲ 屋内運動場
				⑳ 寄宿舎
				㉑ 校舎
				㉒ 校舎
				㉓ 校舎
				㉔ 校舎
				㉕ 校舎
				㉖ 校舎
				㉗ 校舎
				㉘ 校舎
				㉙ 校舎
				㉚ 校舎
				㉛ 校舎
				㉜ 校舎
				㉝ 校舎
				㉞ 校舎
				㉟ 校舎
				㊱ 校舎
				㊲ 校舎
				㊳ 校舎
				㊴ 校舎
				㊵ 校舎
				㊶ 校舎
				㊷ 校舎
				㊸ 校舎
				㊹ 校舎
				㊺ 校舎
				㊻ 校舎
				㊼ 校舎
				㊽ 校舎
				㊾ 校舎
				㊿ 校舎

⑳ 相手方学校の学名

㉑ 共同利用施設名

㉒ 共同利用施設 別海町別海118番地

㉓ 区分

校舎	R	S	W
屋内運動場			
寄宿舎			
校舎			
屋内運動場			
寄宿舎			

㉔ 当年度までの生徒数

学年	R5年度	R6年度	R7年度
1	55	51	2
2	61	55	2
3	66	62	2
小計	182	168	6
特別支援	22	27	4
計	204	195	10

㉕ 共同利用施設名

別海町学校給食センター

令和 6 年度 公立学校等建物の棟別面積表

様 式 2

当該学校の設置年度		設置者名		学校名		相手方の学校名											
S22		別海町		別海中央中学校		別海中央中学校											
①識別コード		②都道府県番号		③学校調査番号		④冬季分校番号											
L		01		5183		C101269100048											
⑤		⑥		⑦		⑧											
棟番号	建造物区分番号	建築年月	学年	部等	保有面積	産築校舎面積	補助年度	国庫補助		国庫完備	国庫負担等	国庫完成面積	保有外建物面積			備考	
								公立文教	他事業				保有控除建物	一時使用面積	一時使用・借用面積		借用面積
⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	
0131	校R2	S58	10		2021		S57	改	2021								電気室21㎡ 校内ネット整備補助金R2
0132	校R2	S58	11		1473		S58	併	1449								新1143㎡, 改306㎡ 校内ネット整備補助金R2
014	住W	S58	11		87		S58	住	60								教員住宅1戸
015	住W	S58	11		60		S58	住	60								教員住宅1戸
016	校S2	S58	12		132												
017	屋S1	S59	11		988		S59	併	988								新380㎡, 改608㎡, 機械室32㎡ 校内ネット整備補助金R2
018	屋R1	S59	11		12		S59	新	12								昭和61年4月登載漏れ, 教員住宅1戸
023	住W	S51	10		62												昭和61年4月登載漏れ, 教員住宅1戸
024	住W	S52	10		60												平成1年3月償還完了, 教員住宅1戸
027	住W	S53	09		60												平成1年3月償還完了, 教員住宅1戸
028	住W	S53	09		60												平成1年3月償還完了, 教員住宅1戸
029	住W	H01	11		66		HD1	住	60								教員住宅1戸

コード説明 ⑥建物区分
 校舎.....校 児童生徒地域交流施設.....児
 屋内運動場.....屋 教員住宅.....住
 寄宿舎.....寄 共同利用施設.....共
 地域・学校連携施設.....連 部室.....部

⑦構造区分
 鉄筋コンクリート造.....鉄
 鉄骨その他造.....骨
 木造.....木

⑧学部等
 全日制.....全
 定員.....定
 夜定.....夜
 通信制.....通

特支
 幼稚園.....幼
 小中学部.....小
 高等部.....高

令和 6 年度 公立学校等建物の棟別面積表

様 式 2

当該学校の設置年度		設置者名		学校名		相手方の学校名											
S22		別海町		別海中央中学校													
①識別コード		②都道府県番号		③学校調査番号		④冬季分校番号											
L		01		5183		C101269100048											
⑤		⑥		⑦		⑧											
棟番号	構造物区分	建築年月	学年	部等	保有面積	産築校舎面積	補助年度	国庫補助		とりこわし記号	国庫完成負担等積	保有外建物面積				備考	
								公立文教	他事業			保有控除建物	一時使用面積	一時使用・借用面積	借用面積		一時使用・借用建物
⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	
032	住	W	S55	10	87												平成3年3月償還完了, 教員住宅1戸
033	校	W	H05	12	16												
034	校	W	H06	01	7												
035	校	R	H08	01	214		H07新	214									校内ネット整備補助金R2

コード説明

⑥建物区分
 校舎.....児童生徒地域交流施設.....児童
 屋内運動場.....屋敷住宅.....住
 寄宿舎.....寄宿共同利用施設.....共
 地域・学校連携施設.....連 部室.....部

⑦構造区分
 鉄筋コンクリート造.....児
 鉄骨その他造.....住
 木造.....木造.....共

⑧学部等
 小学校.....全
 中学校.....全
 高等学校.....全
 幼稚園.....全
 小中学部.....全
 高等部.....全
 特支
 通信用.....通

令和6年度 公立学校等建物の棟別面積表(その2)

様式2

当該学校の設置年度		設置者名		学校名		相手方の学校名																
S22		別海町		別海中央中学校		別海中央中学校																
①識別コード	②都道府県番号	③学校調査番号	④冬季分校番号	学校コード	整理番号																	
L	01	5183		C101269100048	1553																	
棟番号	構造階	建築年月	学年	保有面積	耐力度点数	耐震性	改修状況	改修履歴	備考													
										元号	年	月	部等	Is 値	CT×SD 値	q 値	大規模改造年度	内部改修	外部改修	外壁改修	外装	外部
⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕		
0131	校R2	S58	10	2021	2				1	1					1						1	
0132	校R2	S58	11	1473	2				1	1					1						1	
014	住W	S58	11	87																		
015	住W	S58	11	60																		
016	校S2	S58	12	132	2																	
017	屋S1	S59	11	988	2										1	1					1	
018	屋R1	S59	11	12	2																	
023	住W	S51	10	62																		
024	住W	S52	10	60																		
027	住W	S53	09	60																		
028	住W	S53	09	60																		
029	住W	H01	11	66																		

コード説明 ④耐震基準
 旧耐震基準
 新耐震基準

②診断状況
 優先度調査
 R造の第二次診断
 R造の第二次及び第三次診断
 躯体のS造

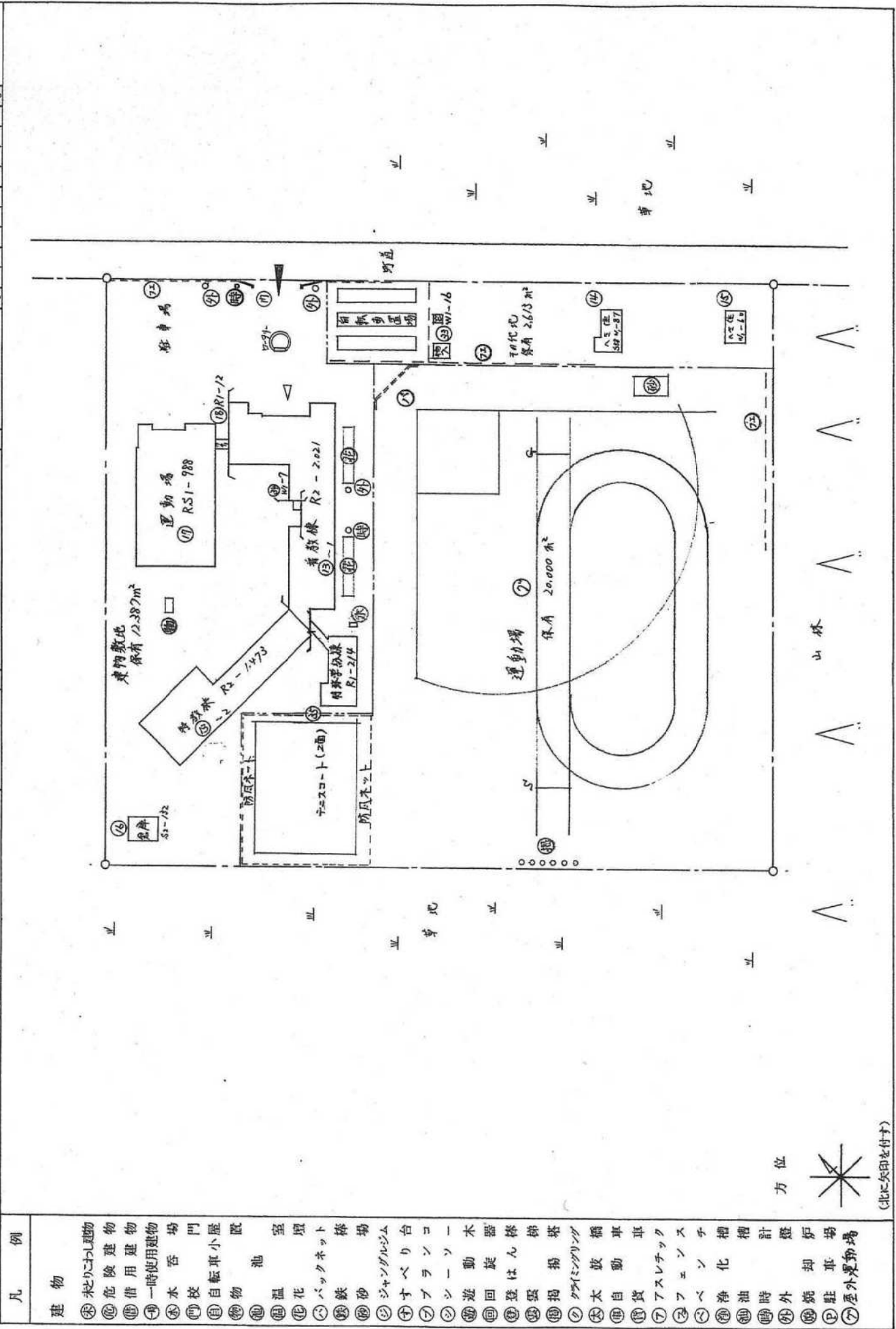
⑤改修状況
 改修済み
 改修中
 未改修
 未改修のうち当年度実施予定

令和 6 年度 公立学校等建物の棟別面積表 (その 2)

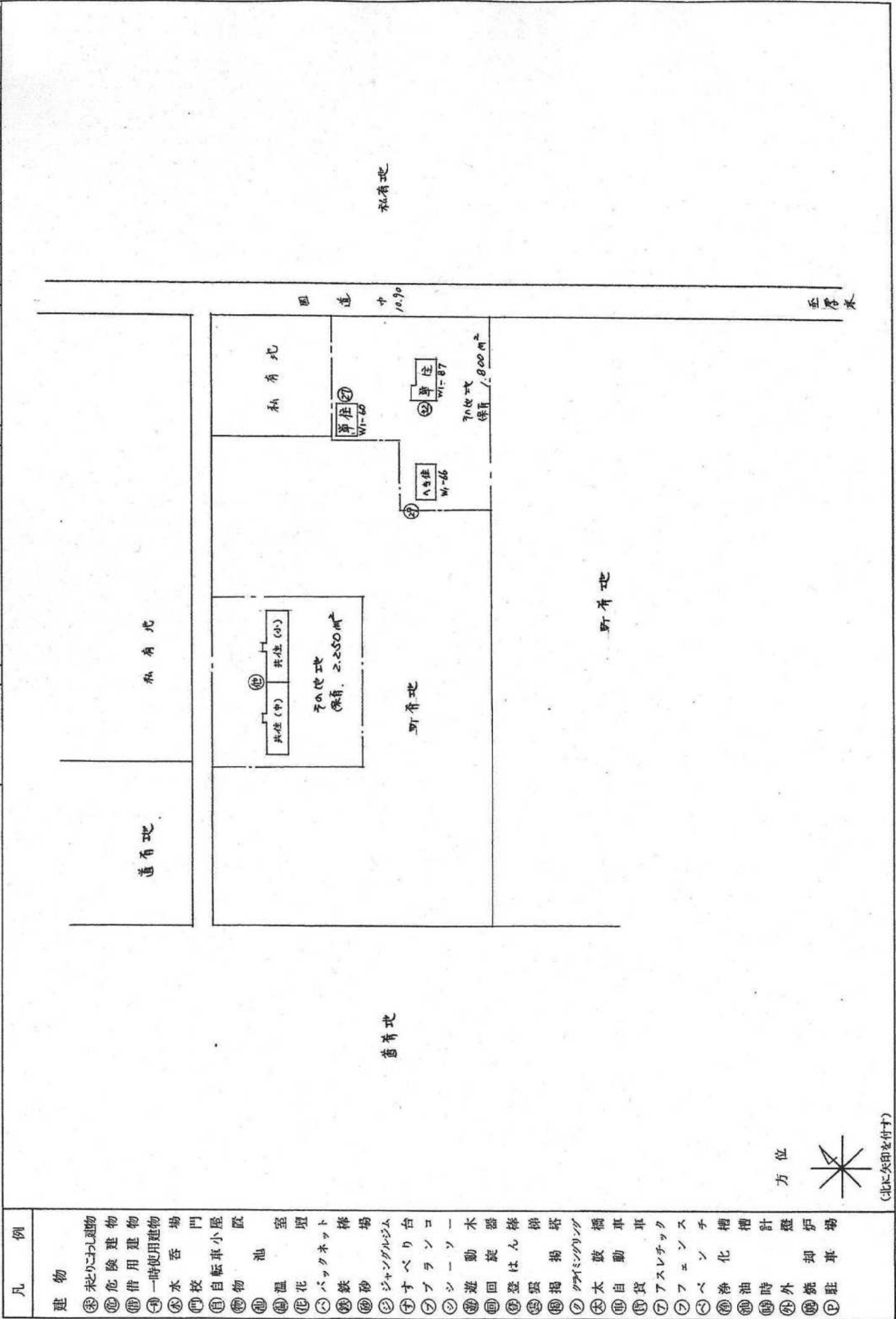
様 式 2

当該学校の設置年度 S22			設置者名 別海町			学校名 別海中央中学校			相手方の学校名						
①識別コード L			②都道府県番号 01			③学校調査番号 5183			④冬季分校番号			学校コード C101269100048		⑤整理番号 1553	
棟番	構造 物造	階	建築 年月	学 部 等	保 有 面 積	耐 力 度 点 数	耐 震 性 能	診 断 年 度	改 修 状 況	大 規 模 改 造 年 度	改 修 履 歴	備 考			
⑤	⑥⑦⑧⑨	⑩	⑪⑫		⑬	⑭	Is 値 CT × SD 値 q 値	⑮	⑯	⑰	⑱⑲	⑳㉑	㉒ その 2	㉓	
032	住	W	S5510		87										
033	校	W	H0512		16										
034	校	W	H0601		7										
035	校	R1	H0801		214				11			1			

コード説明 ④耐震基準
 旧耐震基準.....1
 新耐震基準.....2
 ⑤診断状況
 優先度調査.....0 S造又は上記以外の診断.....4
 R造の第二次診断.....1 未実施.....5
 R造の第二次及び第三次診断.....2
 躯体のS造.....3
 ⑥改修状況
 改修済み.....1
 改修中.....2
 未改修.....3
 未改修のうち当年度実施予定.....4



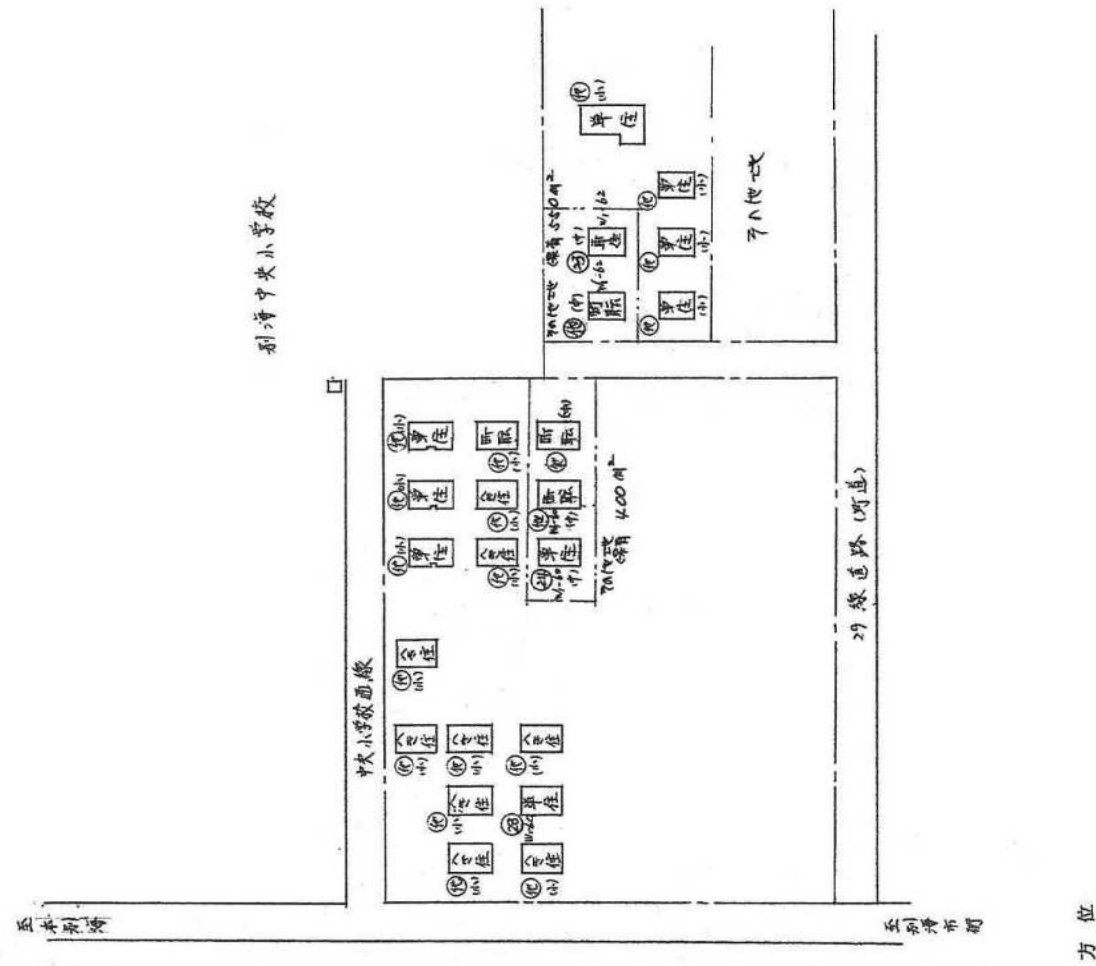
令和6年度	縮尺	0 10 20 30 m	1/1,200 (B4)	学校名	別海中央中学校	調査番号	016915183	校種	(学校)	1553-2
-------	----	--------------	--------------	-----	---------	------	-----------	----	------	--------



- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|------------|--------|--------|----------|------|-----|---------|------|-----|------|-----|----------|------|-----------|--------|---------|------|-------|-------|--------|------|-------|--------|------|-------|-------|----------|--------|-------|-------|------|------|------|-------|-------|
| 凡例 | 建物 | ① 未とりこぼし建物 | ② 危険建物 | ③ 借用建物 | ④ 一時使用建物 | ⑤ 本舎 | ⑥ 門 | ⑦ 自転車小屋 | ⑧ 物置 | ⑨ 池 | ⑩ 温室 | ⑪ 花 | ⑫ パックネット | ⑬ 鉄砂 | ⑭ シャンダルジム | ⑮ すべり台 | ⑯ ランニング | ⑰ ソー | ⑱ 遊動機 | ⑲ 回転機 | ⑳ 登はん機 | ㉑ 雲梯 | ㉒ 揚子塔 | ㉓ クラウド | ㉔ 太鼓 | ㉕ 自転車 | ㉖ 貨物車 | ㉗ アスレチック | ㉘ フェンス | ㉙ ベンチ | ㉚ 浄化槽 | ㉛ 油槽 | ㉜ 時計 | ㉝ 外灯 | ㉞ 焚火台 | ㉟ 駐輪場 |
|----|----|------------|--------|--------|----------|------|-----|---------|------|-----|------|-----|----------|------|-----------|--------|---------|------|-------|-------|--------|------|-------|--------|------|-------|-------|----------|--------|-------|-------|------|------|------|-------|-------|

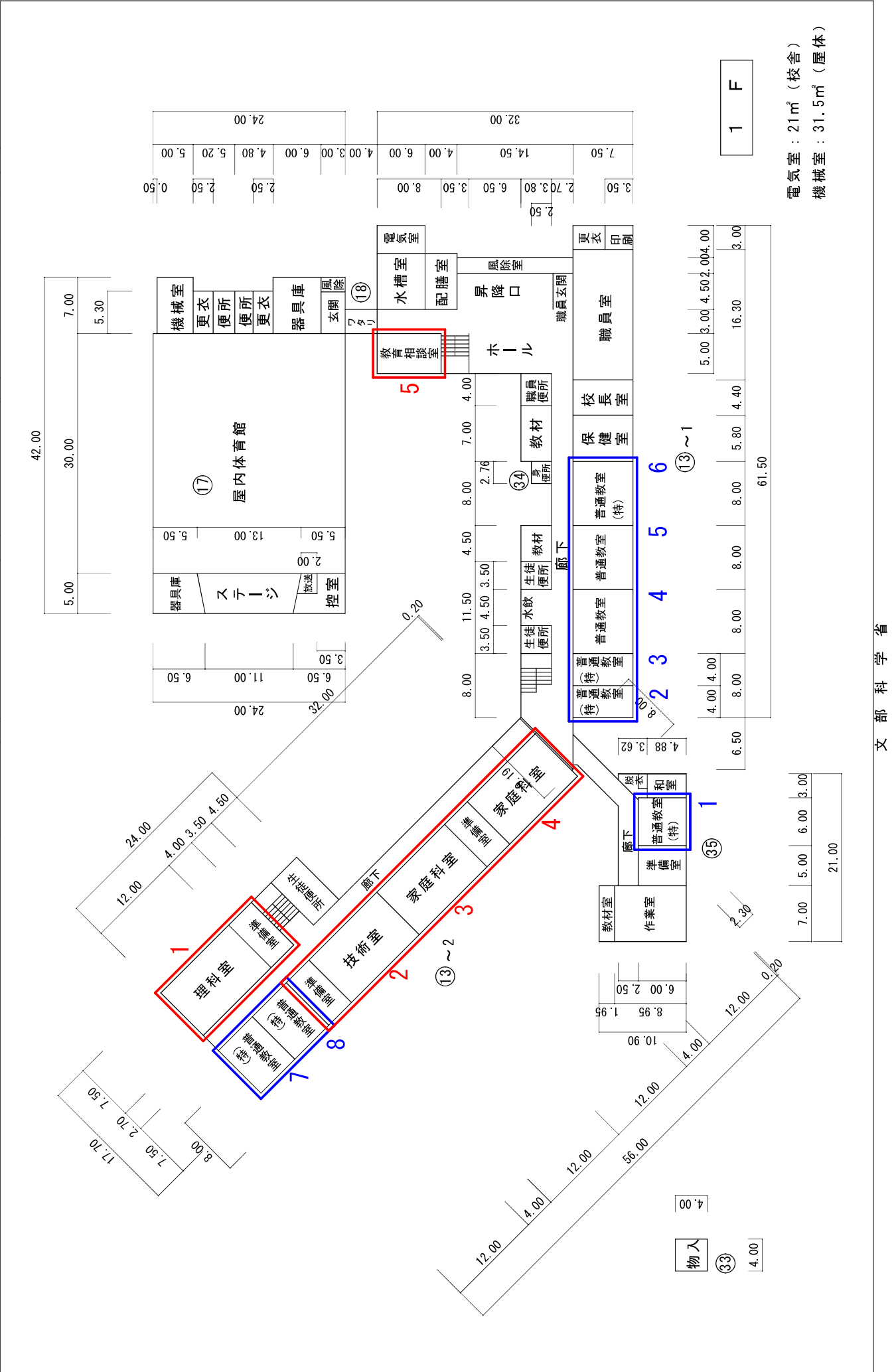
配置図	細尺	令和6年度	1/1,200	《距離》	0 10 20 30 m	学校名	利海中央中学校	調査番号	01	(市町村)	691	(学校)	5183	整理番号	1553-3
-----	----	-------	---------	------	--------------	-----	---------	------	----	-------	-----	------	------	------	--------

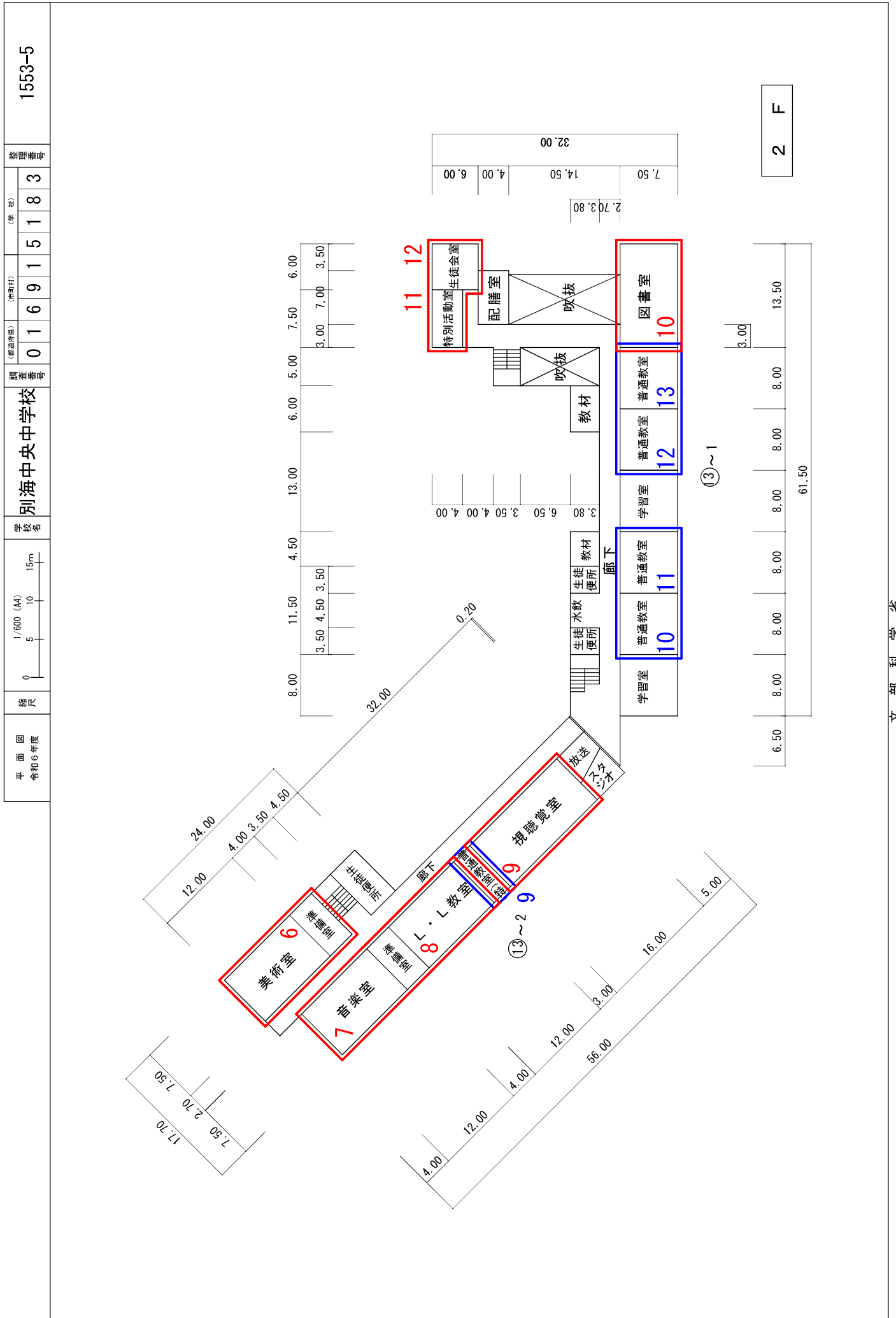
利海中央小学校



凡例	建物
㊸	起りこり建物
㊹	危険建物
㊺	借建
㊻	一時使用建物
㊼	水呑
㊽	門
㊾	自転車小屋
㊿	物置
①	温室
②	花
③	バットネット
④	鉄
⑤	砂
⑥	ジャンダルム
⑦	すべり
⑧	ラ
⑨	ソ
⑩	遊動
⑪	回
⑫	登
⑬	雲
⑭	揚
⑮	クアイミングリング
⑯	木
⑰	自動車
⑱	貨
㉀	アスレチック
㉁	フ
㉂	ベ
㉃	浄
㉄	油
㉅	計
㉆	外
㉇	炉
㉈	場

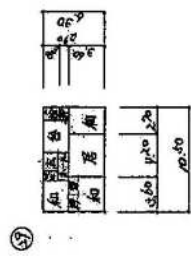
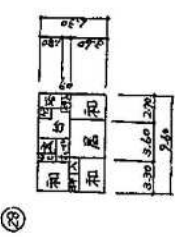
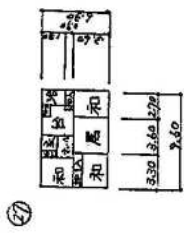
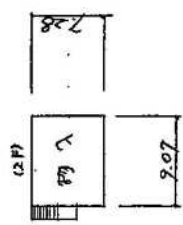
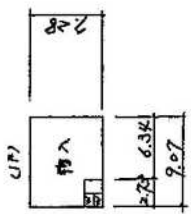
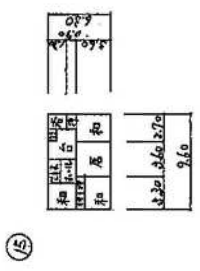
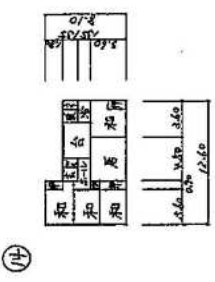
(北に矢印を付す)





平面図縮尺	令和6年度	学校名	学校番号	調査番号	(市町村)	(学校)	整理番号
1/600	0 5 10 15 m	利待平女中	01	691	5183	1553-6	

放 注



- 凡 例
- 玄関
 - 居間
 - 和室
 - 押入
 - 浴室
 - 脱衣
 - 洗面

「特別教室」及び「余裕教室」確認表

学 校 名	別海中央中学校
-------	---------

「特別教室」確認表 総括表22「特別教室数」と一致		
部屋 番号	特別教室名 (平面図の教室 名)	備 考 (総括表の区分)
1	理科室	理科教室
2	技術室	技術教室
3	家庭科室	家庭教室1
4	家庭科室	家庭教室2
5	教育相談室	教育相談室
6	美術室	美術教室
7	音楽室	音楽教室
8	L・L教室	外国語教室
9	視聴覚室	視聴覚教室
10	図書室	図書室
11	特別活動室	特別活動室
12	生徒会室	特別活動室
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		

「特別教室」確認表 総括表22「特別教室数」と一致		
部屋 番号	特別教室名 (平面図の教室 名)	備 考 (総括表の区分)
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		

「余裕教室」確認表 総括表22「普通教室数」－「学級数」と一致		
部屋 番号	余裕教室名	備 考
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		

※「特別教室名」・「余裕教室名」欄は、「平面図」の各教室名と一致させること。
 ※「備考」欄には、台帳の総括表における区分上の名称を記入すること。
 その区分上の名称の室数が複数ある場合は、区分上の名称と連番を記入すること。

【 工 事 概 要 】

1. 工事名称: 新築工事

2. 工事内容: 建築設計、施工管理、監理業務

3. 工事期間: 2023年10月1日 - 2024年3月31日

4. 工事場所: 東京都中央区

5. 工事金額: 約 100,000,000 円

6. 工事内容詳細:

- ① 建築設計: 建築計画、構造設計、設備設計、図面作成
- ② 施工管理: 現場監督、材料管理、品質管理、安全対策
- ③ 監理業務: 工事進捗管理、コスト管理、関係機関との調整

7. 関係機関:

- 発注者: 株式会社 〇〇〇
- 設計者: 株式会社 〇〇〇
- 施工者: 株式会社 〇〇〇
- 監理者: 株式会社 〇〇〇

8. 工事概要:

本工事は、新築工事の設計、施工管理、監理業務を目的として実施される。設計段階では、建築計画、構造設計、設備設計、図面作成が行われる。施工管理段階では、現場監督、材料管理、品質管理、安全対策が行われる。監理業務段階では、工事進捗管理、コスト管理、関係機関との調整が行われる。

【 日 本 市 開 発 設 計 株 式 会 社 】

1. 会社概要:

設立: 1980年10月1日

資本金: 100,000,000 円

代表取締役社長: 〇〇〇

〒100-0001 東京都千代田区〇〇〇

TEL: 〇〇〇-〇〇〇〇〇〇

FAX: 〇〇〇-〇〇〇〇〇〇

2. 業務内容:

① 建築設計: 建築計画、構造設計、設備設計、図面作成

② 施工管理: 現場監督、材料管理、品質管理、安全対策

③ 監理業務: 工事進捗管理、コスト管理、関係機関との調整

④ 不動産開発: 土地調査、企画、開発

⑤ 都市計画: 都市計画、まちづくり

⑥ 環境設計: 環境影響評価、環境設計

⑦ 交通設計: 交通計画、交通設計

⑧ 公園設計: 公園計画、公園設計

⑨ 施設設計: 施設計画、施設設計

⑩ 都市再生: 都市再生計画、都市再生設計

【 専 門 業 務 】

1. 建築設計:

① 建築計画: 建築計画、建築計画書作成

② 構造設計: 構造設計、構造設計書作成

③ 設備設計: 設備設計、設備設計書作成

④ 図面作成: 図面作成、図面作成書作成

2. 施工管理:

① 現場監督: 現場監督、現場監督書作成

② 材料管理: 材料管理、材料管理書作成

③ 品質管理: 品質管理、品質管理書作成

④ 安全対策: 安全対策、安全対策書作成

3. 監理業務:

① 工事進捗管理: 工事進捗管理、工事進捗管理書作成

② コスト管理: コスト管理、コスト管理書作成

③ 関係機関との調整: 関係機関との調整、関係機関との調整書作成

4. 不動産開発:

① 土地調査: 土地調査、土地調査書作成

② 企画: 企画、企画書作成

③ 開発: 開発、開発書作成

【 専 門 業 務 】

5. 都市計画:

① 都市計画: 都市計画、都市計画書作成

② まちづくり: まちづくり、まちづくり書作成

6. 環境設計:

① 環境影響評価: 環境影響評価、環境影響評価書作成

② 環境設計: 環境設計、環境設計書作成

7. 交通設計:

① 交通計画: 交通計画、交通計画書作成

② 交通設計: 交通設計、交通設計書作成

8. 公園設計:

① 公園計画: 公園計画、公園計画書作成

② 公園設計: 公園設計、公園設計書作成

9. 施設設計:

① 施設計画: 施設計画、施設計画書作成

② 施設設計: 施設設計、施設設計書作成

10. 都市再生:

① 都市再生計画: 都市再生計画、都市再生計画書作成

② 都市再生設計: 都市再生設計、都市再生設計書作成

【 専 門 業 務 】

1. 建築設計:

① 建築計画: 建築計画、建築計画書作成

② 構造設計: 構造設計、構造設計書作成

③ 設備設計: 設備設計、設備設計書作成

④ 図面作成: 図面作成、図面作成書作成

2. 施工管理:

① 現場監督: 現場監督、現場監督書作成

② 材料管理: 材料管理、材料管理書作成

③ 品質管理: 品質管理、品質管理書作成

④ 安全対策: 安全対策、安全対策書作成

3. 監理業務:

① 工事進捗管理: 工事進捗管理、工事進捗管理書作成

② コスト管理: コスト管理、コスト管理書作成

③ 関係機関との調整: 関係機関との調整、関係機関との調整書作成

4. 不動産開発:

① 土地調査: 土地調査、土地調査書作成

② 企画: 企画、企画書作成

③ 開発: 開発、開発書作成

【 専 門 業 務 】

5. 都市計画:

① 都市計画: 都市計画、都市計画書作成

② まちづくり: まちづくり、まちづくり書作成

6. 環境設計:

① 環境影響評価: 環境影響評価、環境影響評価書作成

② 環境設計: 環境設計、環境設計書作成

7. 交通設計:

① 交通計画: 交通計画、交通計画書作成

② 交通設計: 交通設計、交通設計書作成

8. 公園設計:

① 公園計画: 公園計画、公園計画書作成

② 公園設計: 公園設計、公園設計書作成

9. 施設設計:

① 施設計画: 施設計画、施設計画書作成

② 施設設計: 施設設計、施設設計書作成

10. 都市再生:

① 都市再生計画: 都市再生計画、都市再生計画書作成

② 都市再生設計: 都市再生設計、都市再生設計書作成

【 専 門 業 務 】

1. 建築設計:

① 建築計画: 建築計画、建築計画書作成

② 構造設計: 構造設計、構造設計書作成

③ 設備設計: 設備設計、設備設計書作成

④ 図面作成: 図面作成、図面作成書作成

2. 施工管理:

① 現場監督: 現場監督、現場監督書作成

② 材料管理: 材料管理、材料管理書作成

③ 品質管理: 品質管理、品質管理書作成

④ 安全対策: 安全対策、安全対策書作成

3. 監理業務:

① 工事進捗管理: 工事進捗管理、工事進捗管理書作成

② コスト管理: コスト管理、コスト管理書作成

③ 関係機関との調整: 関係機関との調整、関係機関との調整書作成

4. 不動産開発:

① 土地調査: 土地調査、土地調査書作成

② 企画: 企画、企画書作成

③ 開発: 開発、開発書作成

【 専 門 業 務 】

5. 都市計画:

① 都市計画: 都市計画、都市計画書作成

② まちづくり: まちづくり、まちづくり書作成

6. 環境設計:

① 環境影響評価: 環境影響評価、環境影響評価書作成

② 環境設計: 環境設計、環境設計書作成

7. 交通設計:

① 交通計画: 交通計画、交通計画書作成

② 交通設計: 交通設計、交通設計書作成

8. 公園設計:

① 公園計画: 公園計画、公園計画書作成

② 公園設計: 公園設計、公園設計書作成

9. 施設設計:

① 施設計画: 施設計画、施設計画書作成

② 施設設計: 施設設計、施設設計書作成

10. 都市再生:

① 都市再生計画: 都市再生計画、都市再生計画書作成

② 都市再生設計: 都市再生設計、都市再生設計書作成

日本都市開発設計株式会社

東京都千代田区〇〇〇

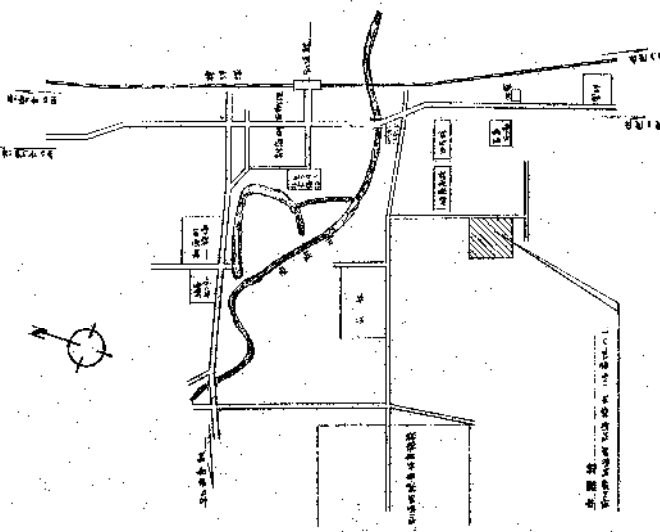
TEL: 〇〇〇-〇〇〇〇〇〇

FAX: 〇〇〇-〇〇〇〇〇〇

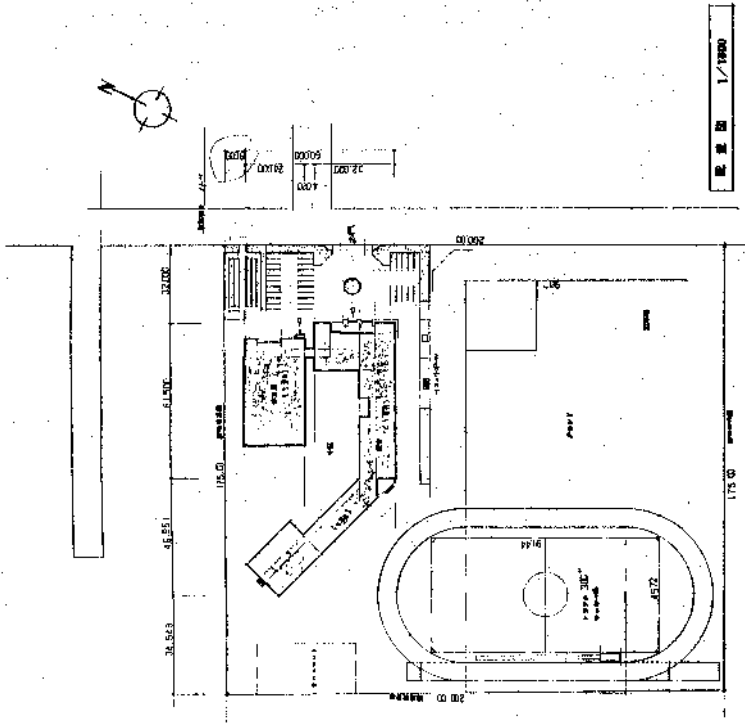
〒100-0001 東京都千代田区〇〇〇

TEL: 〇〇〇-〇〇〇〇〇〇

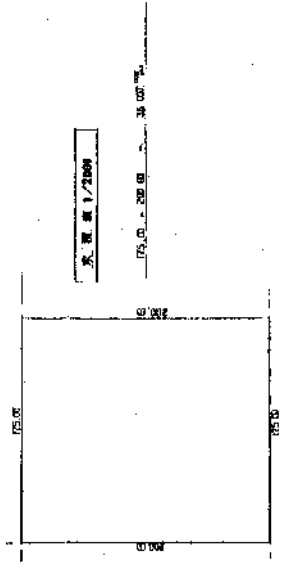
FAX: 〇〇〇-〇〇〇〇〇〇



周辺地図



敷地面積 1/1000



敷地面積 1/2000

設計者 日本都市開発設計株式会社 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1		監理者 監理者 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1	
建築士 建築士 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1		建築士 建築士 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1	
建築士 建築士 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1		建築士 建築士 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1	
建築士 建築士 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1		建築士 建築士 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1	

1 4,000 × 1,500 = 6,000
 2 4,500 × 2,000 = 9,000
 3 15,000 × 3,000 = 45,000
 4 8,500 × 3,000 = 25,500
 5 11,000 × 4,000 = 44,000
 6 8,000 × 11,500 = 92,000
 7 12,000 × 12,000 = 144,000
 8 9,000 × 9,000 = 81,000

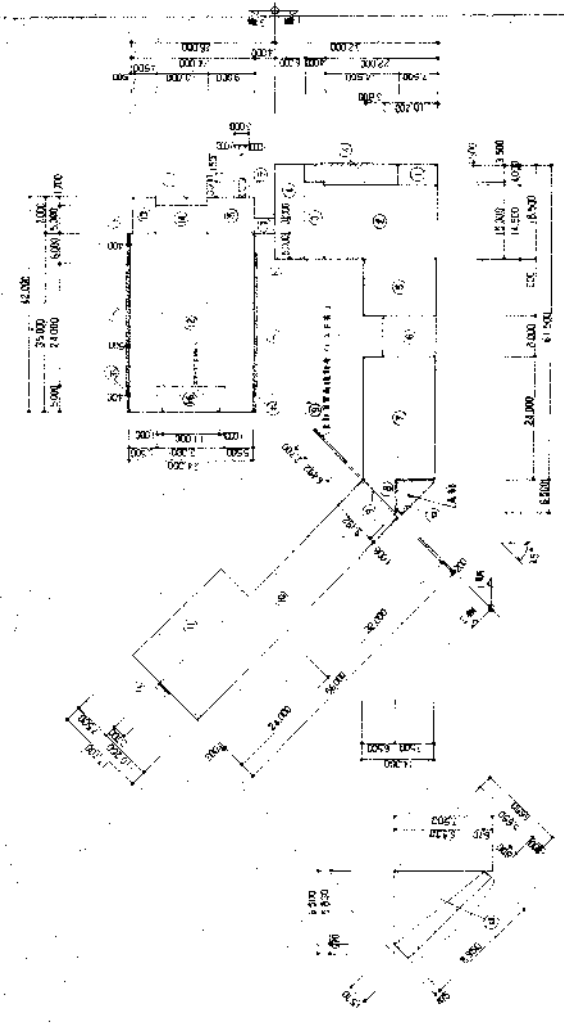
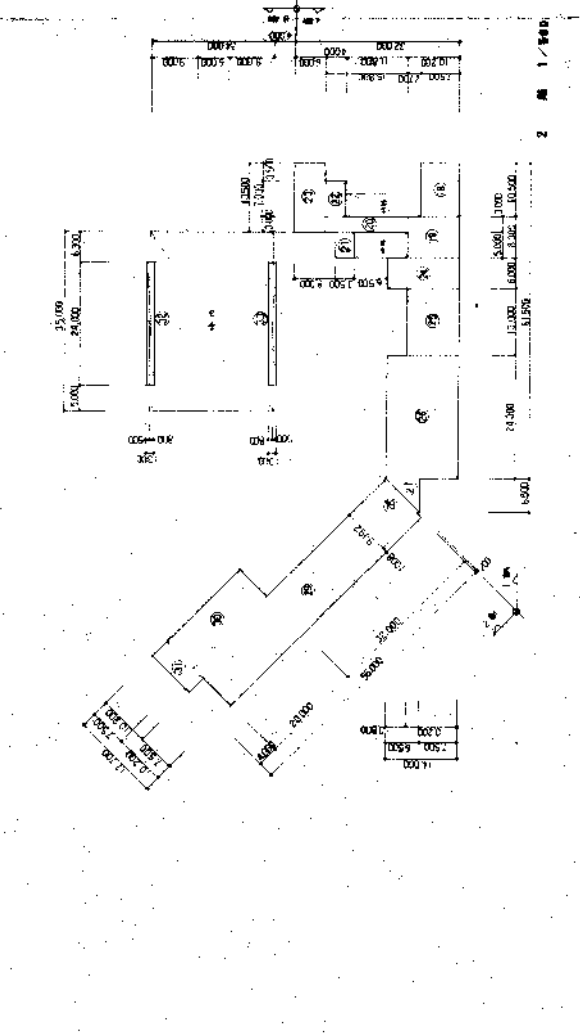
9 16,000 × 1,500 = 24,000
 10 8,000 × 12,000 = 96,000
 11 3,000 × 10,000 = 30,000
 12 5,000 × 3,500 = 17,500
 13 7,000 × 4,000 = 28,000
 14 13,500 × 6,000 = 81,000
 15 6,000 × 14,000 = 84,000
 16 3,000 × 10,000 = 30,000
 17 2,000 × 2,000 = 4,000
 18 2,000 × 2,000 = 4,000
 19 3,000 × 2,000 = 6,000
 20 2,000 × 2,000 = 4,000
 21 2,000 × 2,000 = 4,000
 22 2,000 × 2,000 = 4,000
 23 2,000 × 2,000 = 4,000
 24 2,000 × 2,000 = 4,000
 25 2,000 × 2,000 = 4,000
 26 2,000 × 2,000 = 4,000
 27 2,000 × 2,000 = 4,000
 28 2,000 × 2,000 = 4,000
 29 2,000 × 2,000 = 4,000
 30 2,000 × 2,000 = 4,000

31 2,000 × 2,000 = 4,000
 32 2,000 × 2,000 = 4,000
 33 2,000 × 2,000 = 4,000
 34 2,000 × 2,000 = 4,000
 35 2,000 × 2,000 = 4,000
 36 2,000 × 2,000 = 4,000
 37 2,000 × 2,000 = 4,000
 38 2,000 × 2,000 = 4,000
 39 2,000 × 2,000 = 4,000
 40 2,000 × 2,000 = 4,000

41 35,000 × 2,400 = 84,000
 42 3,000 × 4,500 = 13,500
 43 5,000 × 10,000 = 50,000
 44 300 × 9,000 = 2,700
 45 5,000 × 10,000 = 50,000
 46 2,000 × 4,000 = 8,000
 47 2,000 × 4,000 = 8,000
 48 2,000 × 4,000 = 8,000
 49 2,000 × 4,000 = 8,000
 50 2,000 × 4,000 = 8,000
 51 2,000 × 4,000 = 8,000
 52 2,000 × 4,000 = 8,000
 53 2,000 × 4,000 = 8,000
 54 2,000 × 4,000 = 8,000
 55 2,000 × 4,000 = 8,000
 56 2,000 × 4,000 = 8,000
 57 2,000 × 4,000 = 8,000
 58 2,000 × 4,000 = 8,000
 59 2,000 × 4,000 = 8,000
 60 2,000 × 4,000 = 8,000

61 2,000 × 4,000 = 8,000
 62 2,000 × 4,000 = 8,000
 63 2,000 × 4,000 = 8,000
 64 2,000 × 4,000 = 8,000
 65 2,000 × 4,000 = 8,000
 66 2,000 × 4,000 = 8,000
 67 2,000 × 4,000 = 8,000
 68 2,000 × 4,000 = 8,000
 69 2,000 × 4,000 = 8,000
 70 2,000 × 4,000 = 8,000
 71 2,000 × 4,000 = 8,000
 72 2,000 × 4,000 = 8,000
 73 2,000 × 4,000 = 8,000
 74 2,000 × 4,000 = 8,000
 75 2,000 × 4,000 = 8,000
 76 2,000 × 4,000 = 8,000
 77 2,000 × 4,000 = 8,000
 78 2,000 × 4,000 = 8,000
 79 2,000 × 4,000 = 8,000
 80 2,000 × 4,000 = 8,000

81 2,000 × 4,000 = 8,000
 82 2,000 × 4,000 = 8,000
 83 2,000 × 4,000 = 8,000
 84 2,000 × 4,000 = 8,000
 85 2,000 × 4,000 = 8,000
 86 2,000 × 4,000 = 8,000
 87 2,000 × 4,000 = 8,000
 88 2,000 × 4,000 = 8,000
 89 2,000 × 4,000 = 8,000
 90 2,000 × 4,000 = 8,000



2階 (1/500)

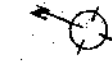
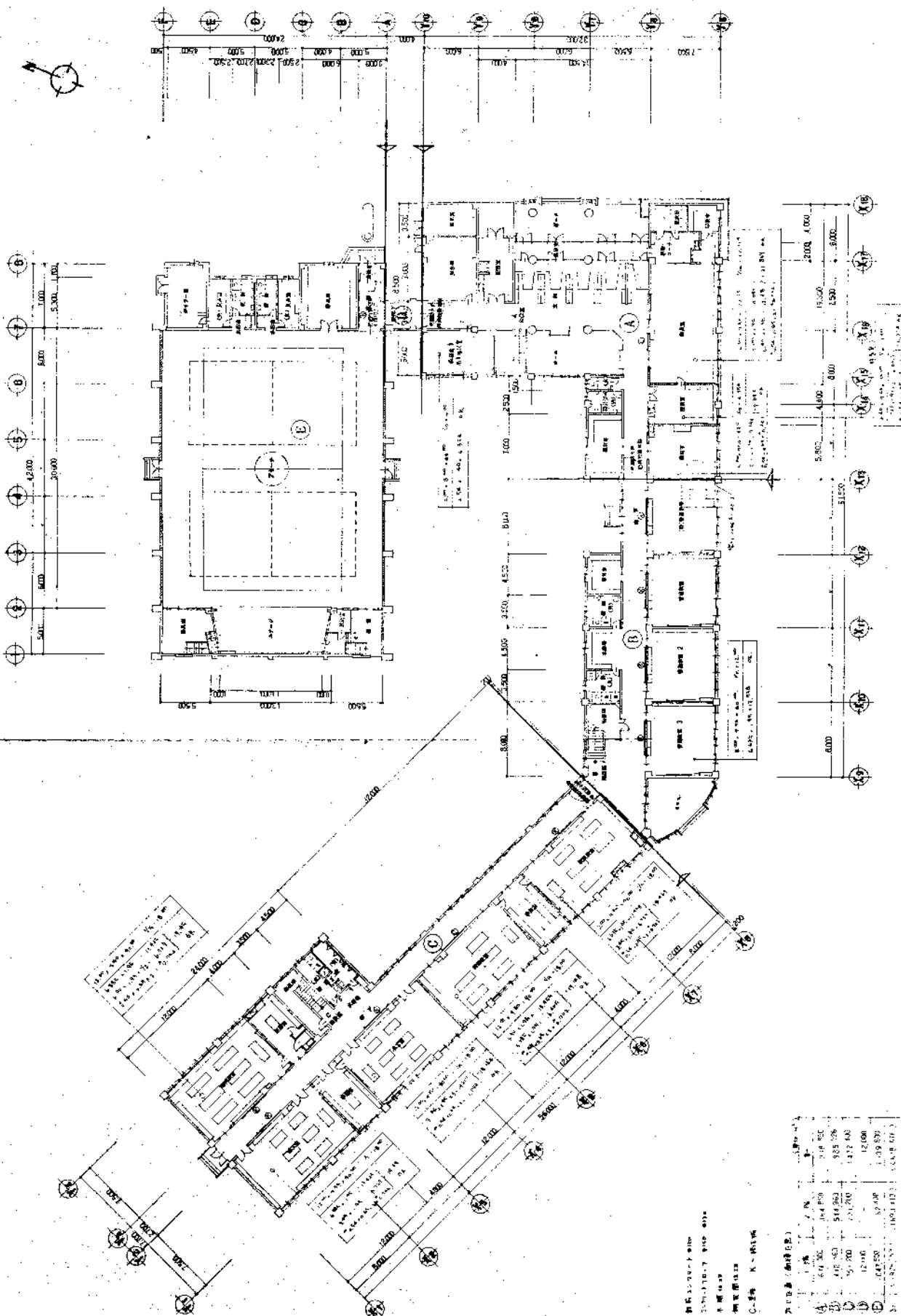
1	4,000 × 1,500	6,000
2	4,500 × 2,000	9,000
3	15,000 × 3,000	45,000
4	8,500 × 3,000	25,500
5	11,000 × 4,000	44,000
6	8,000 × 11,500	92,000
7	12,000 × 12,000	144,000
8	9,000 × 9,000	81,000
9	16,000 × 1,500	24,000
10	8,000 × 12,000	96,000
11	3,000 × 10,000	30,000
12	5,000 × 3,500	17,500
13	7,000 × 4,000	28,000
14	13,500 × 6,000	81,000
15	6,000 × 14,000	84,000
16	3,000 × 10,000	30,000
17	2,000 × 2,000	4,000
18	2,000 × 2,000	4,000
19	3,000 × 2,000	6,000
20	2,000 × 2,000	4,000
21	2,000 × 2,000	4,000
22	2,000 × 2,000	4,000
23	2,000 × 2,000	4,000
24	2,000 × 2,000	4,000
25	2,000 × 2,000	4,000
26	2,000 × 2,000	4,000
27	2,000 × 2,000	4,000
28	2,000 × 2,000	4,000
29	2,000 × 2,000	4,000
30	2,000 × 2,000	4,000
31	2,000 × 2,000	4,000
32	2,000 × 2,000	4,000
33	2,000 × 2,000	4,000
34	2,000 × 2,000	4,000
35	2,000 × 2,000	4,000
36	2,000 × 2,000	4,000
37	2,000 × 2,000	4,000
38	2,000 × 2,000	4,000
39	2,000 × 2,000	4,000
40	2,000 × 2,000	4,000

1階 (1/500)

1	11,000 × 1,500	16,500
2	11,000 × 1,500	16,500
3	11,000 × 1,500	16,500
4	11,000 × 1,500	16,500
5	11,000 × 1,500	16,500
6	11,000 × 1,500	16,500
7	11,000 × 1,500	16,500
8	11,000 × 1,500	16,500
9	11,000 × 1,500	16,500
10	11,000 × 1,500	16,500
11	11,000 × 1,500	16,500
12	11,000 × 1,500	16,500
13	11,000 × 1,500	16,500
14	11,000 × 1,500	16,500
15	11,000 × 1,500	16,500
16	11,000 × 1,500	16,500
17	11,000 × 1,500	16,500
18	11,000 × 1,500	16,500
19	11,000 × 1,500	16,500
20	11,000 × 1,500	16,500
21	11,000 × 1,500	16,500
22	11,000 × 1,500	16,500
23	11,000 × 1,500	16,500
24	11,000 × 1,500	16,500
25	11,000 × 1,500	16,500
26	11,000 × 1,500	16,500
27	11,000 × 1,500	16,500
28	11,000 × 1,500	16,500
29	11,000 × 1,500	16,500
30	11,000 × 1,500	16,500

日本都市開発設計株式会社

東京都中央区新富町一丁目
 日本都市開発設計株式会社
 〒100-0001
 電話 03-5561-1111
 1/500 A



階	面積 (㎡)	容積率 (%)	延床面積 (㎡)	容積率 (%)
1F	6,114.36	244.258	714.506	28.86
2F	4,105.343	514.362	985.526	24.01
3F	5,700.000	712.500	1,412.638	24.78
4F	12,000.000	1,500.000	12,000.000	100.00
5F	6,648.520	831.065	1,309.571	19.71
合計	34,568.223	4,284.185	15,632.241	45.22

- ① 柱
- ② 梁
- ③ 床
- ④ 壁
- ⑤ 天井
- ⑥ 階段
- ⑦ エレベーター
- ⑧ 廊下
- ⑨ 出入口
- ⑩ 設備
- ⑪ 植栽
- ⑫ 駐車場
- ⑬ 緑地
- ⑭ 道路
- ⑮ 境界線
- ⑯ 敷地面積
- ⑰ 建築面積
- ⑱ 延床面積
- ⑲ 容積率
- ⑳ 高さ

日本都市開発設計株式会社

東京都千代田区千代田 1-1-1 日本都市開発設計株式会社

〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1 日本都市開発設計株式会社

TEL: 03-3555-1111 FAX: 03-3555-1112

代表取締役社長 佐藤 隆夫

代表取締役副社長 佐藤 隆夫

代表取締役専任 佐藤 隆夫

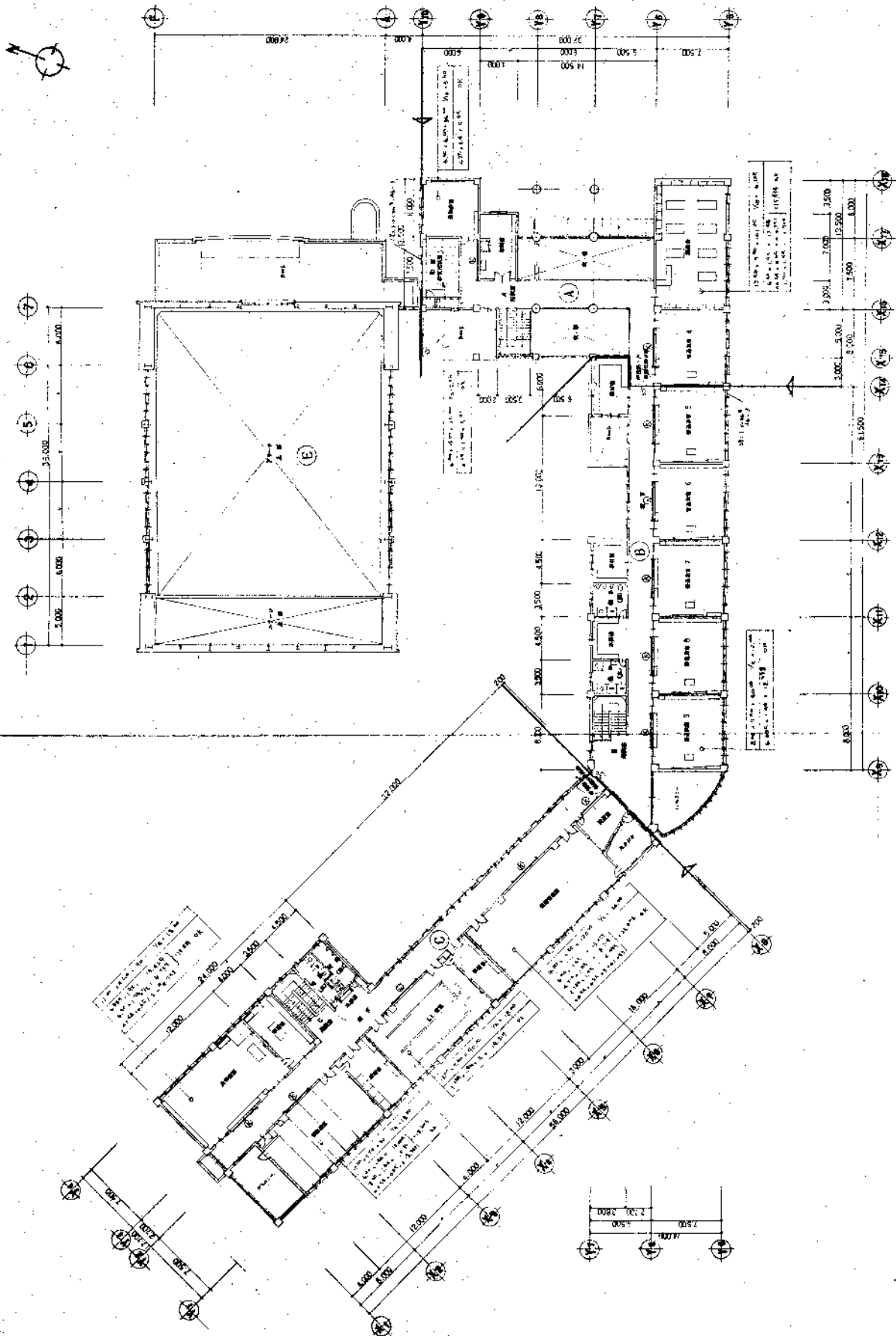
代表取締役専任 佐藤 隆夫

代表取締役専任 佐藤 隆夫

代表取締役専任 佐藤 隆夫

代表取締役専任 佐藤 隆夫

代表取締役専任 佐藤 隆夫





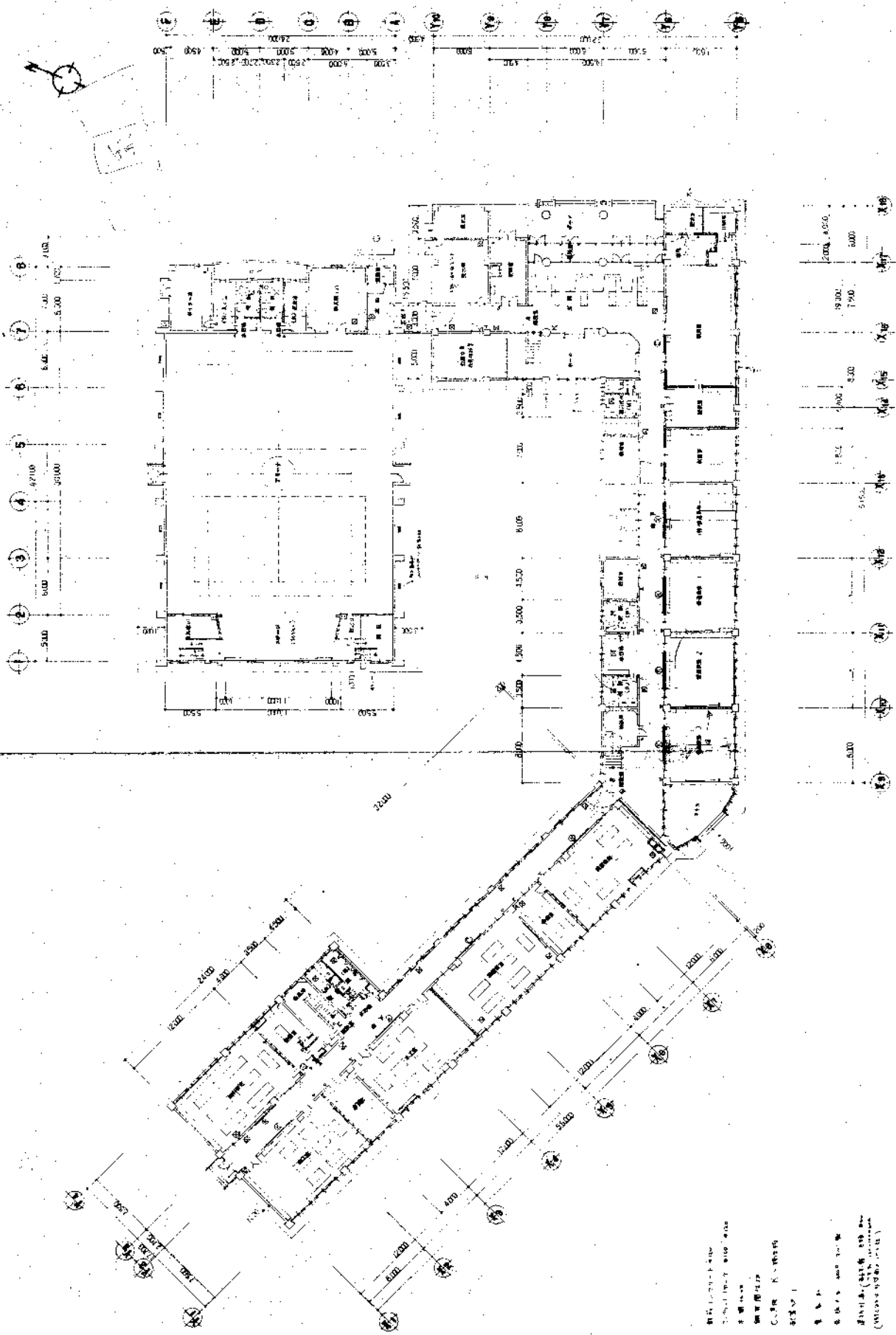
日本都市開発設計株式会社

〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1 日本都市開発ビルディング 11F
 TEL: 03-5561-1111 FAX: 03-5561-1112
 E-MAIL: info@nipponcitydesign.co.jp

設計者: 日本都市開発設計株式会社
 2 階 平面図
 1/200
 2024.12.12

内訳表

品名	仕様	単位	数量	単価	金額	税率	税額	合計	備考
A LL型 標準品	標準品	個	3000	1000	3000000			3000000	
	標準品	個	3000	1000	3000000			3000000	
	標準品	個	3000	1000	3000000			3000000	
	標準品	個	3000	1000	3000000			3000000	
	標準品	個	3000	1000	3000000			3000000	
	標準品	個	3000	1000	3000000			3000000	
	標準品	個	3000	1000	3000000			3000000	
	標準品	個	3000	1000	3000000			3000000	
	標準品	個	3000	1000	3000000			3000000	
	標準品	個	3000	1000	3000000			3000000	
B LL型 標準品	標準品	個	2500	2500	6250000			6250000	
	標準品	個	2500	2500	6250000			6250000	
	標準品	個	2500	2500	6250000			6250000	
	標準品	個	2500	2500	6250000			6250000	
	標準品	個	2500	2500	6250000			6250000	
	標準品	個	2500	2500	6250000			6250000	
	標準品	個	2500	2500	6250000			6250000	
	標準品	個	2500	2500	6250000			6250000	
	標準品	個	2500	2500	6250000			6250000	
	標準品	個	2500	2500	6250000			6250000	
C LL型 標準品	標準品	個	2000	3000	6000000			6000000	
	標準品	個	2000	3000	6000000			6000000	
	標準品	個	2000	3000	6000000			6000000	
	標準品	個	2000	3000	6000000			6000000	
	標準品	個	2000	3000	6000000			6000000	
	標準品	個	2000	3000	6000000			6000000	
	標準品	個	2000	3000	6000000			6000000	
	標準品	個	2000	3000	6000000			6000000	
	標準品	個	2000	3000	6000000			6000000	
	標準品	個	2000	3000	6000000			6000000	
D LL型 標準品	標準品	個	2400	2400	5760000			5760000	
	標準品	個	2400	2400	5760000			5760000	
	標準品	個	2400	2400	5760000			5760000	
	標準品	個	2400	2400	5760000			5760000	
	標準品	個	2400	2400	5760000			5760000	
	標準品	個	2400	2400	5760000			5760000	
	標準品	個	2400	2400	5760000			5760000	
	標準品	個	2400	2400	5760000			5760000	
	標準品	個	2400	2400	5760000			5760000	
	標準品	個	2400	2400	5760000			5760000	



- 凡例
- ① 柱
 - ② 梁
 - ③ 窓
 - ④ 扉
 - ⑤ 出入口
 - ⑥ 階段
 - ⑦ エレベーター
 - ⑧ 機械室
 - ⑨ 倉庫
 - ⑩ 駐車スペース
 - ⑪ 植栽
 - ⑫ 土留
 - ⑬ 土留
 - ⑭ 土留
 - ⑮ 土留
 - ⑯ 土留
 - ⑰ 土留
 - ⑱ 土留
 - ⑲ 土留
 - ⑳ 土留
 - ㉑ 土留
 - ㉒ 土留
 - ㉓ 土留
 - ㉔ 土留
 - ㉕ 土留
 - ㉖ 土留
 - ㉗ 土留
 - ㉘ 土留
 - ㉙ 土留
 - ㉚ 土留
 - ㉛ 土留
 - ㉜ 土留
 - ㉝ 土留
 - ㉞ 土留
 - ㉟ 土留
 - ㊱ 土留
 - ㊲ 土留
 - ㊳ 土留
 - ㊴ 土留
 - ㊵ 土留
 - ㊶ 土留
 - ㊷ 土留
 - ㊸ 土留
 - ㊹ 土留
 - ㊺ 土留
 - ㊻ 土留
 - ㊼ 土留
 - ㊽ 土留
 - ㊾ 土留
 - ㊿ 土留

日本都市開発設計株式会社

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
 総務課 電話 03-3211-1111

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
 営業課 電話 03-3211-1111

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
 設計課 電話 03-3211-1111

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
 監理課 電話 03-3211-1111

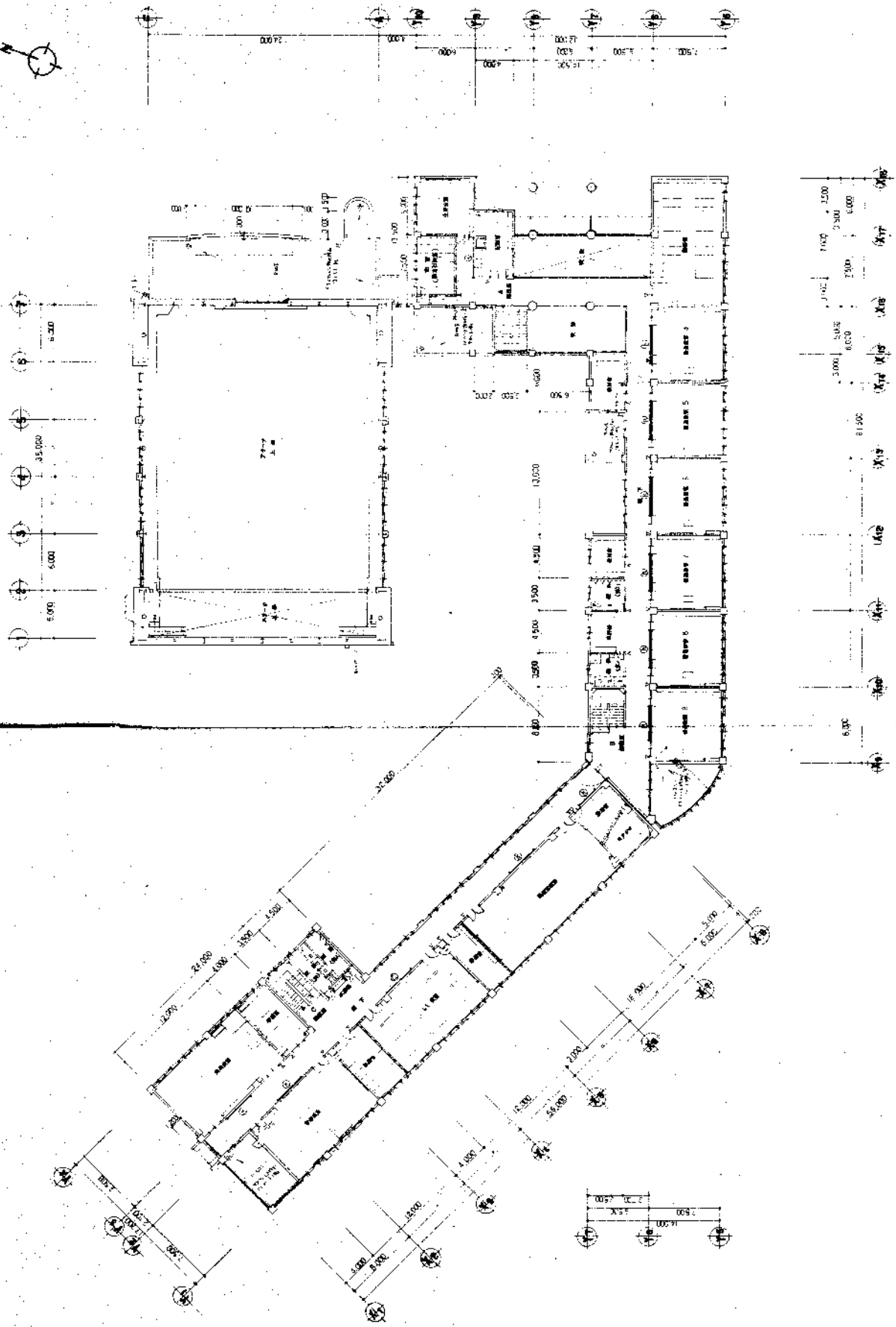
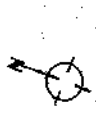
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
 建築課 電話 03-3211-1111

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
 設備課 電話 03-3211-1111

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
 環境課 電話 03-3211-1111

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
 総務課 電話 03-3211-1111

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
 総務課 電話 03-3211-1111

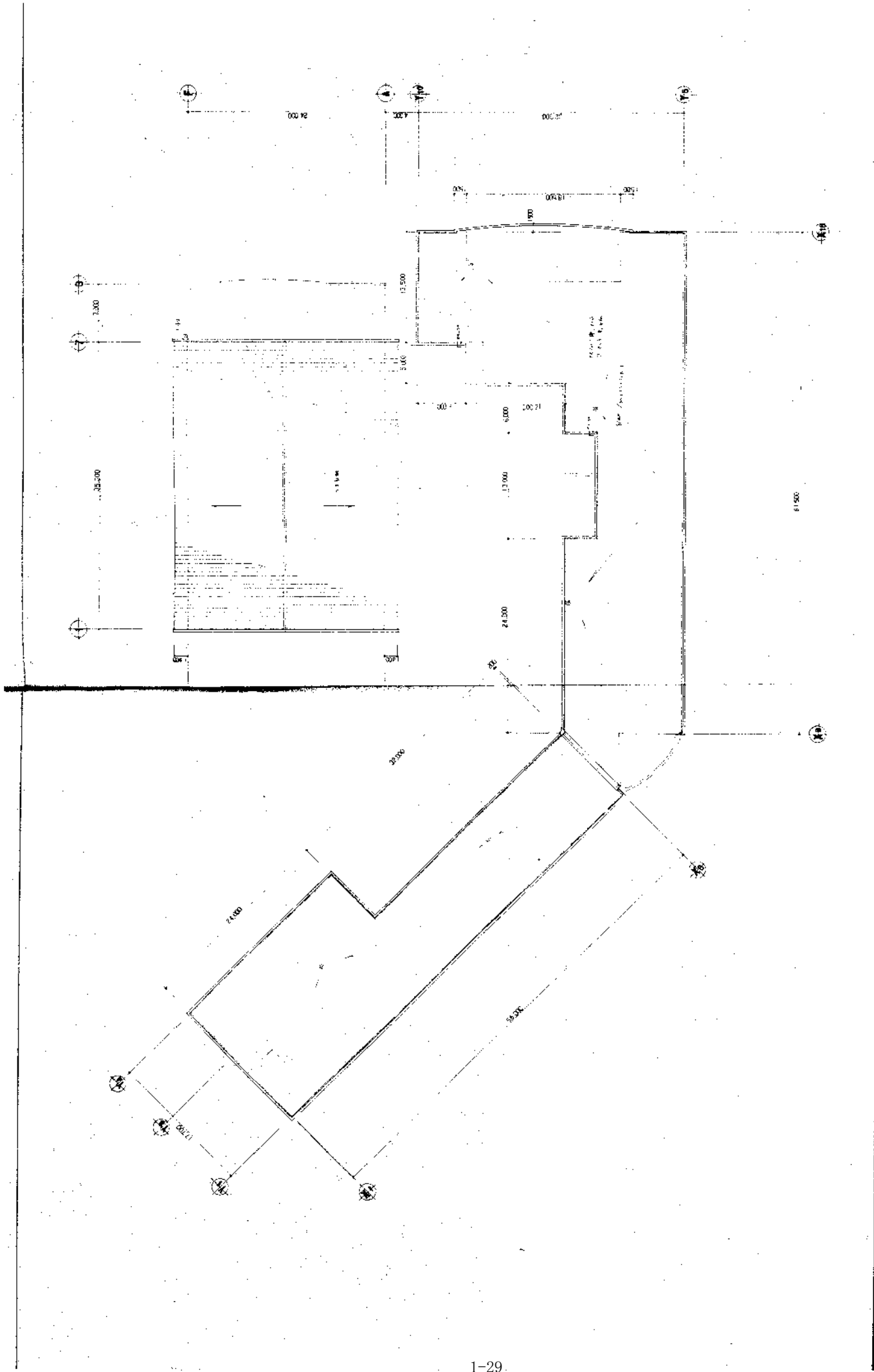


日本都市開発設計株式会社

〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1
 電話 03-5561-1111
 代表取締役社長 山本 浩一

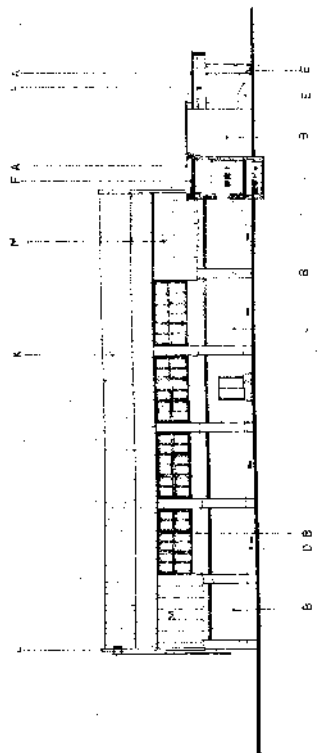
〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1
 電話 03-5561-1111
 代表取締役社長 山本 浩一

2014.11
 1/200 A-11
 2 冊 本 冊

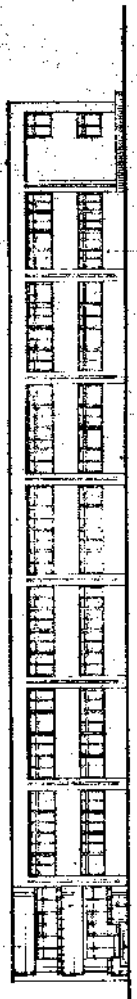


外観仕上 1/100 仕様
 A 外壁 珪藻土系サイディング材
 B 屋根 銅板葺き
 C 窓 樹脂サッシ
 D 玄関 珪藻土系サイディング材
 E 玄関 珪藻土系サイディング材
 F 玄関 珪藻土系サイディング材
 G 玄関 珪藻土系サイディング材
 H 玄関 珪藻土系サイディング材
 I 玄関 珪藻土系サイディング材
 J 玄関 珪藻土系サイディング材
 K 玄関 珪藻土系サイディング材
 L 玄関 珪藻土系サイディング材
 M 玄関 珪藻土系サイディング材
 N 玄関 珪藻土系サイディング材

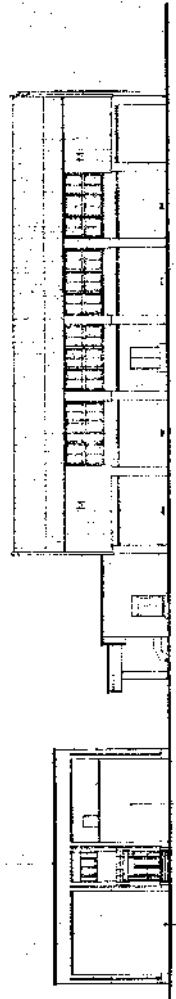
外観仕上 1/100 仕様
 A 外壁 珪藻土系サイディング材
 B 屋根 銅板葺き
 C 窓 樹脂サッシ
 D 玄関 珪藻土系サイディング材
 E 玄関 珪藻土系サイディング材
 F 玄関 珪藻土系サイディング材
 G 玄関 珪藻土系サイディング材
 H 玄関 珪藻土系サイディング材
 I 玄関 珪藻土系サイディング材
 J 玄関 珪藻土系サイディング材
 K 玄関 珪藻土系サイディング材
 L 玄関 珪藻土系サイディング材
 M 玄関 珪藻土系サイディング材
 N 玄関 珪藻土系サイディング材



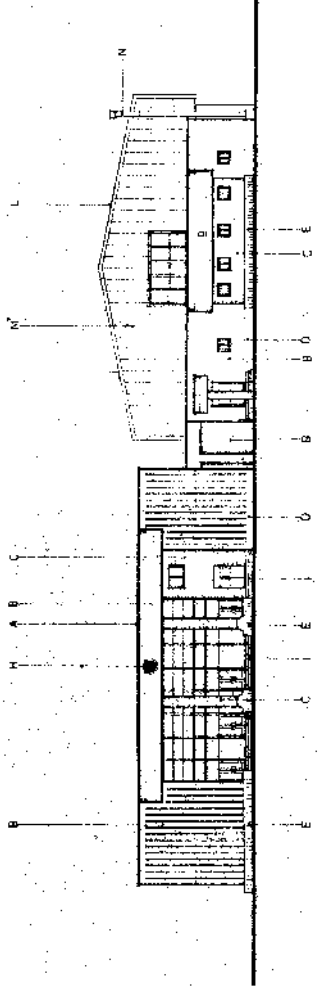
南立面



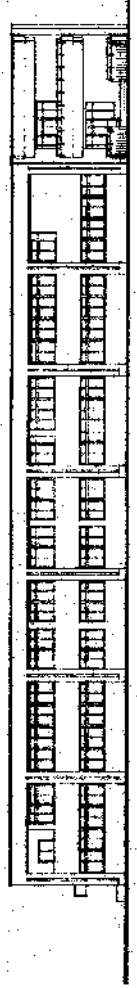
南立面



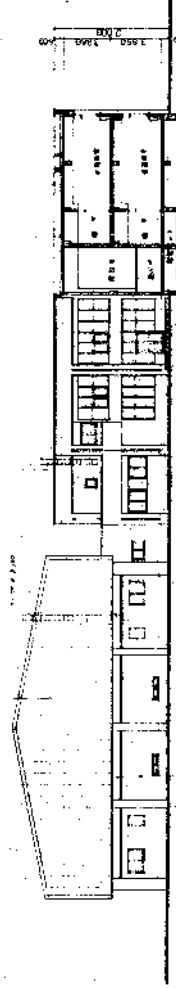
北立面



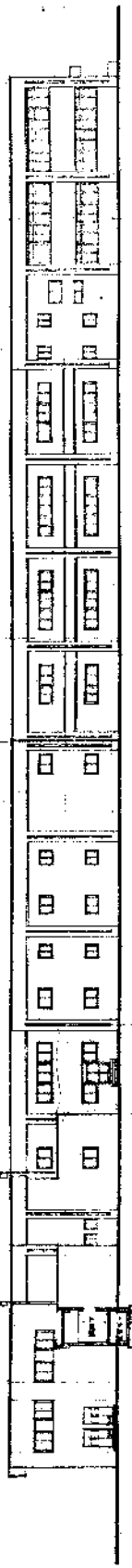
南立面



南立面



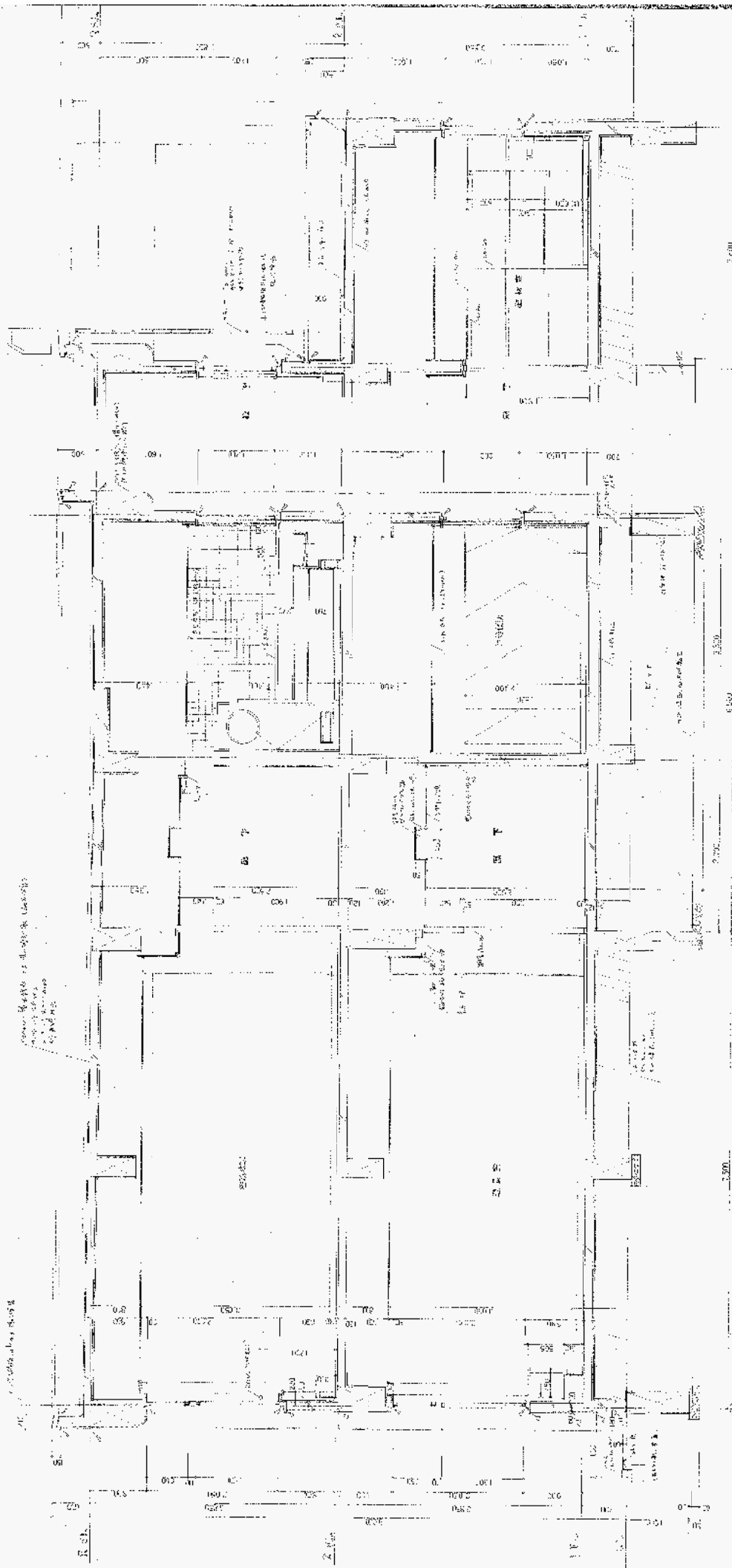
北立面



北立面

日本都市開発設計株式会社
 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
 TEL: 03-5561-1111 FAX: 03-5561-1112

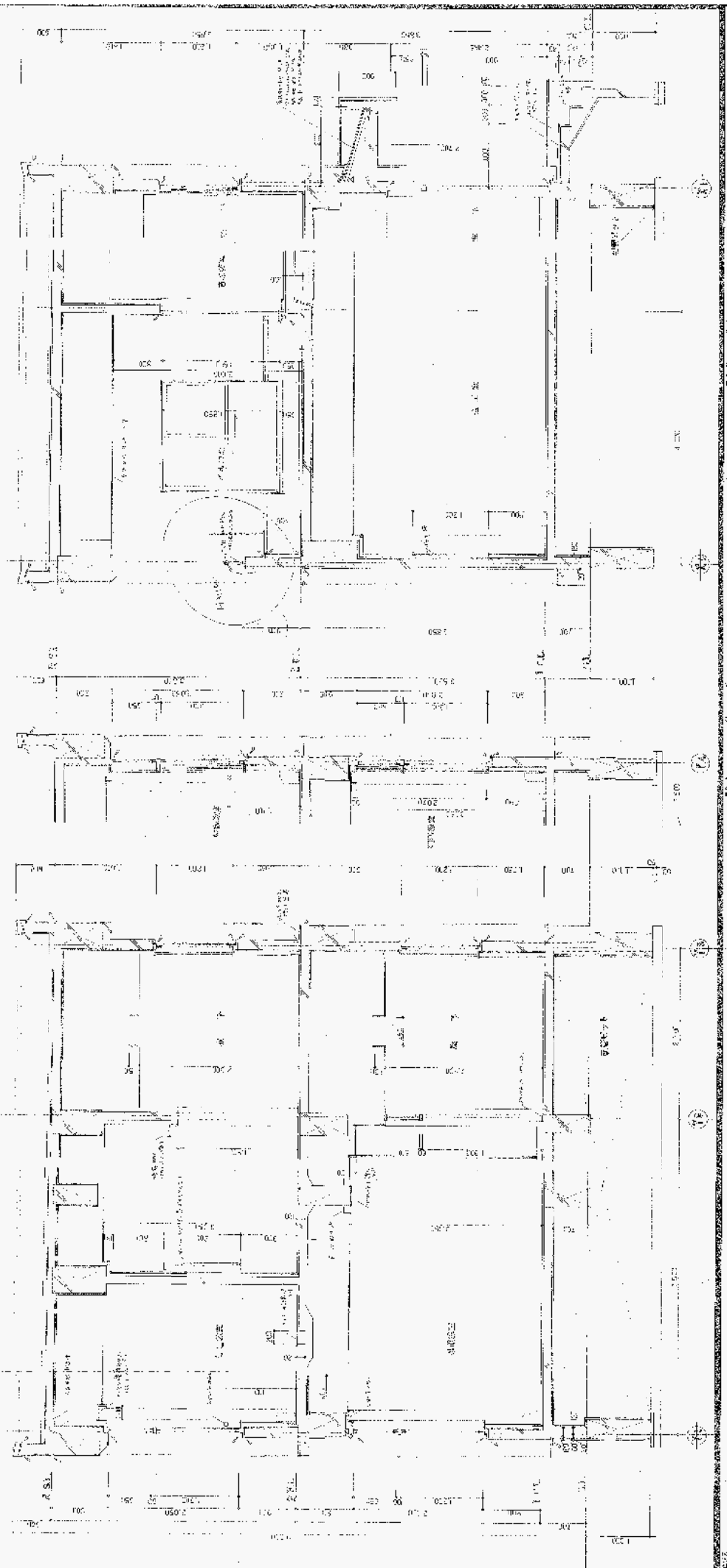
Scale: 1/200
 A - 1
 B - 1
 C - 1

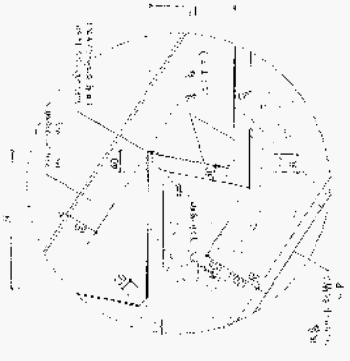


中華郵政特准掛號認爲新聞紙類

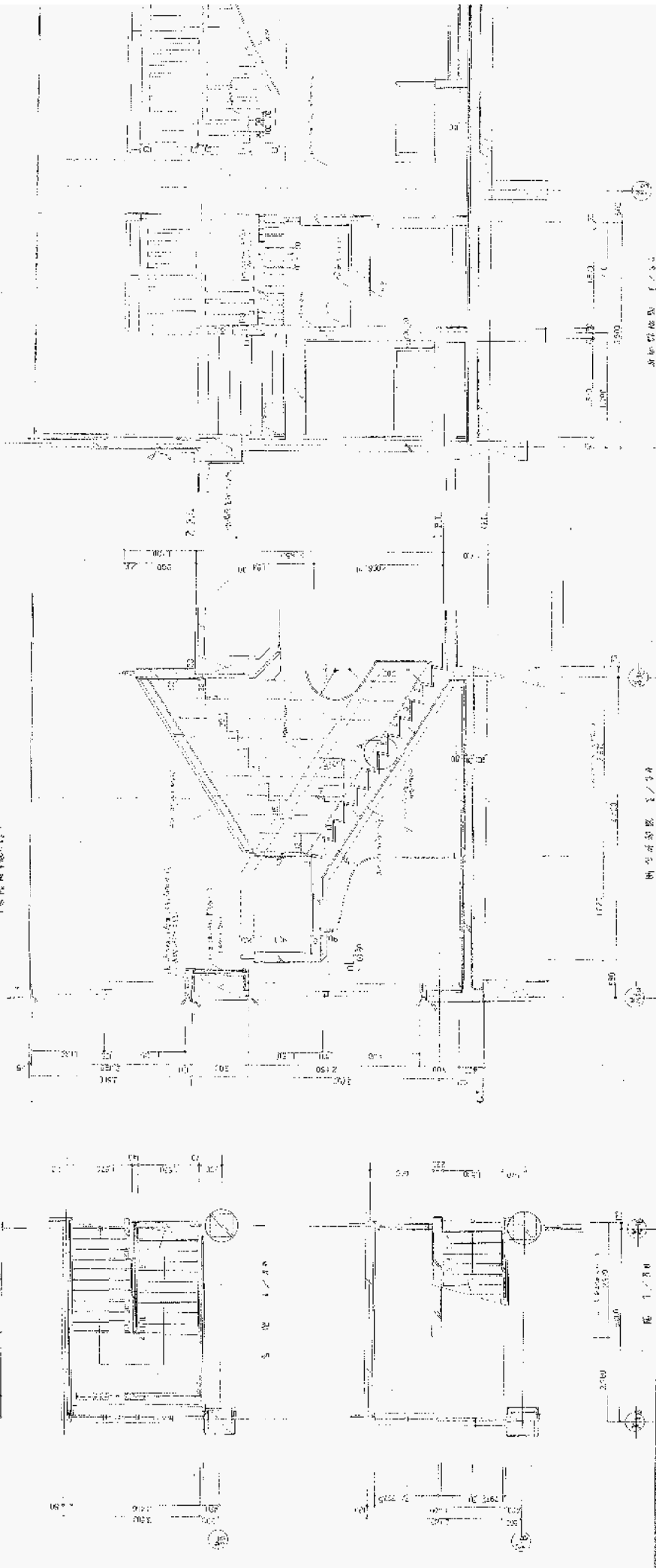
中華民國三十一年一月一日

第...號





各階平面図 5 / 5
1:500 縮尺

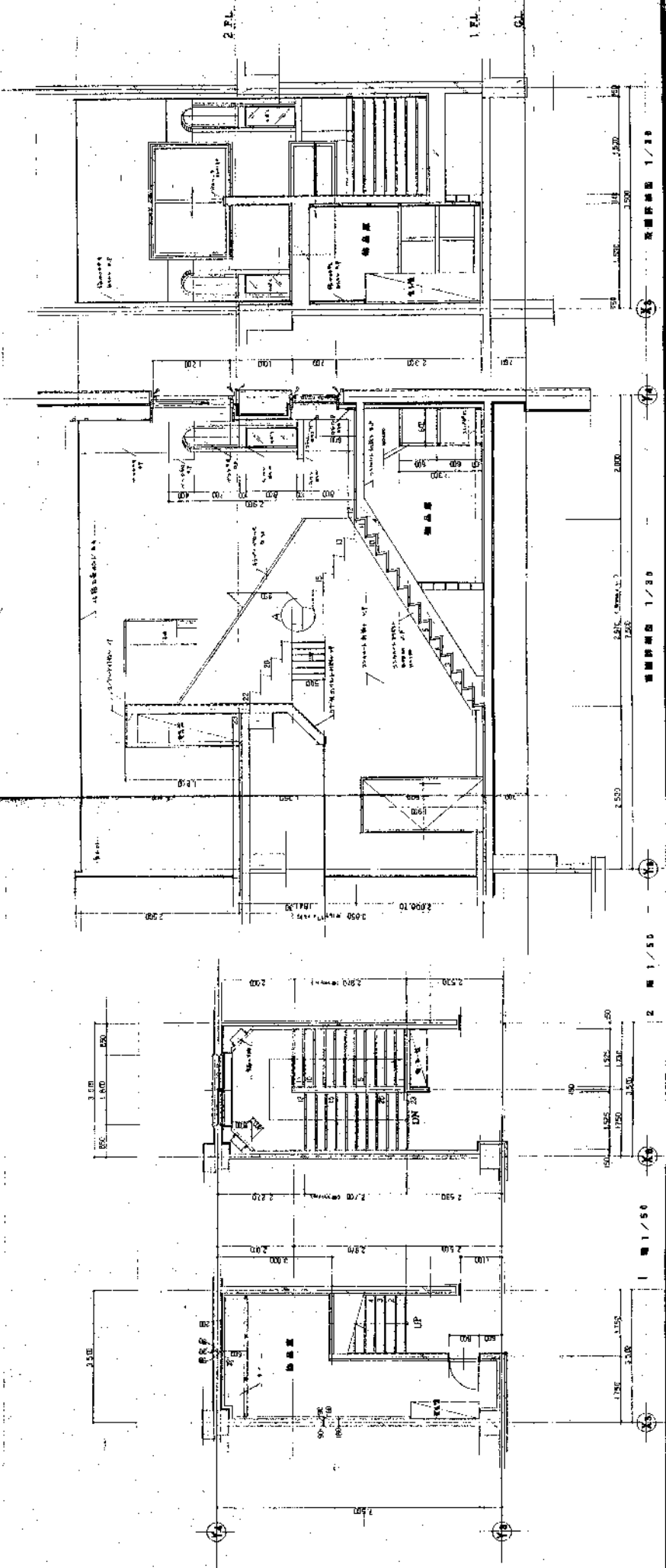
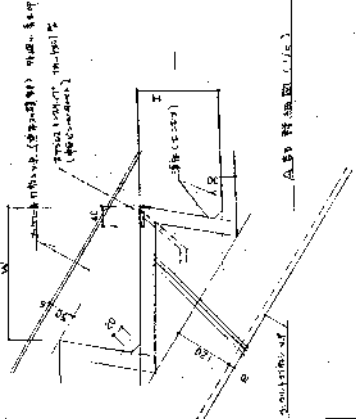
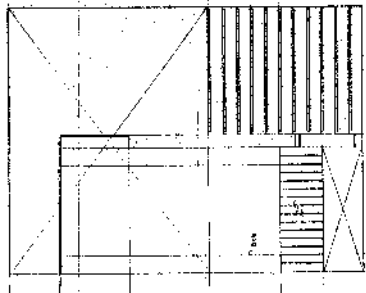


新館階平面図 1 / 1
1:500 縮尺

新館階平面図 2 / 2
1:500 縮尺

日本都市開発設計株式会社
東京都千代田区千代田 1-1-1

1/500
1/500
1/500

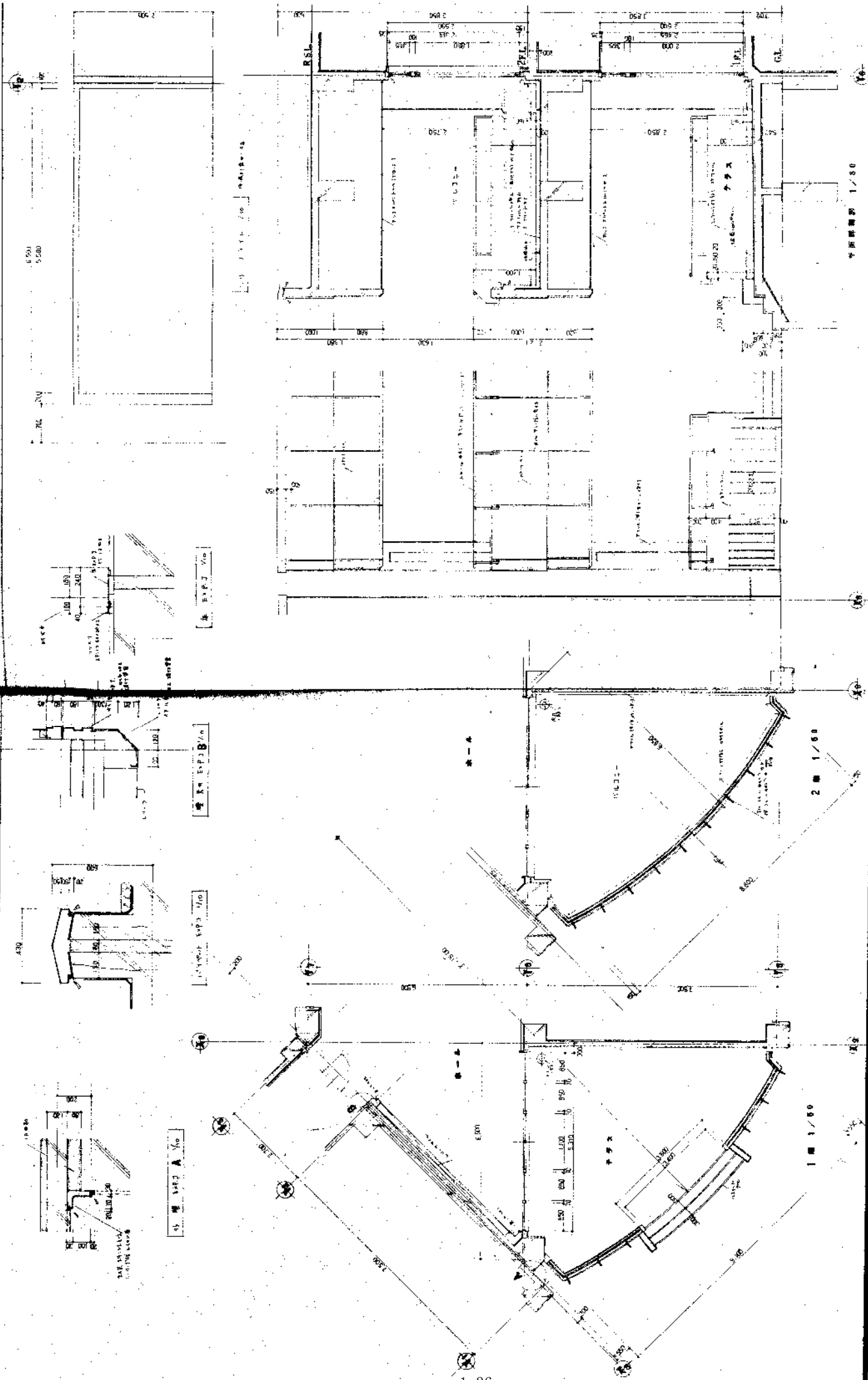


日本都市開発設計株式会社

1/50 A-16
1/50 A-16
1/50 A-16

1/50
1/50
1/50

1/50
1/50
1/50



平面図 1/80

日本都市開発設計株式会社

東京都千代田区千代田1-1-1
 電話 03-3211-1111
 代表取締役 佐藤 隆夫

建築士事務所
 東京都千代田区千代田1-1-1
 電話 03-3211-1111

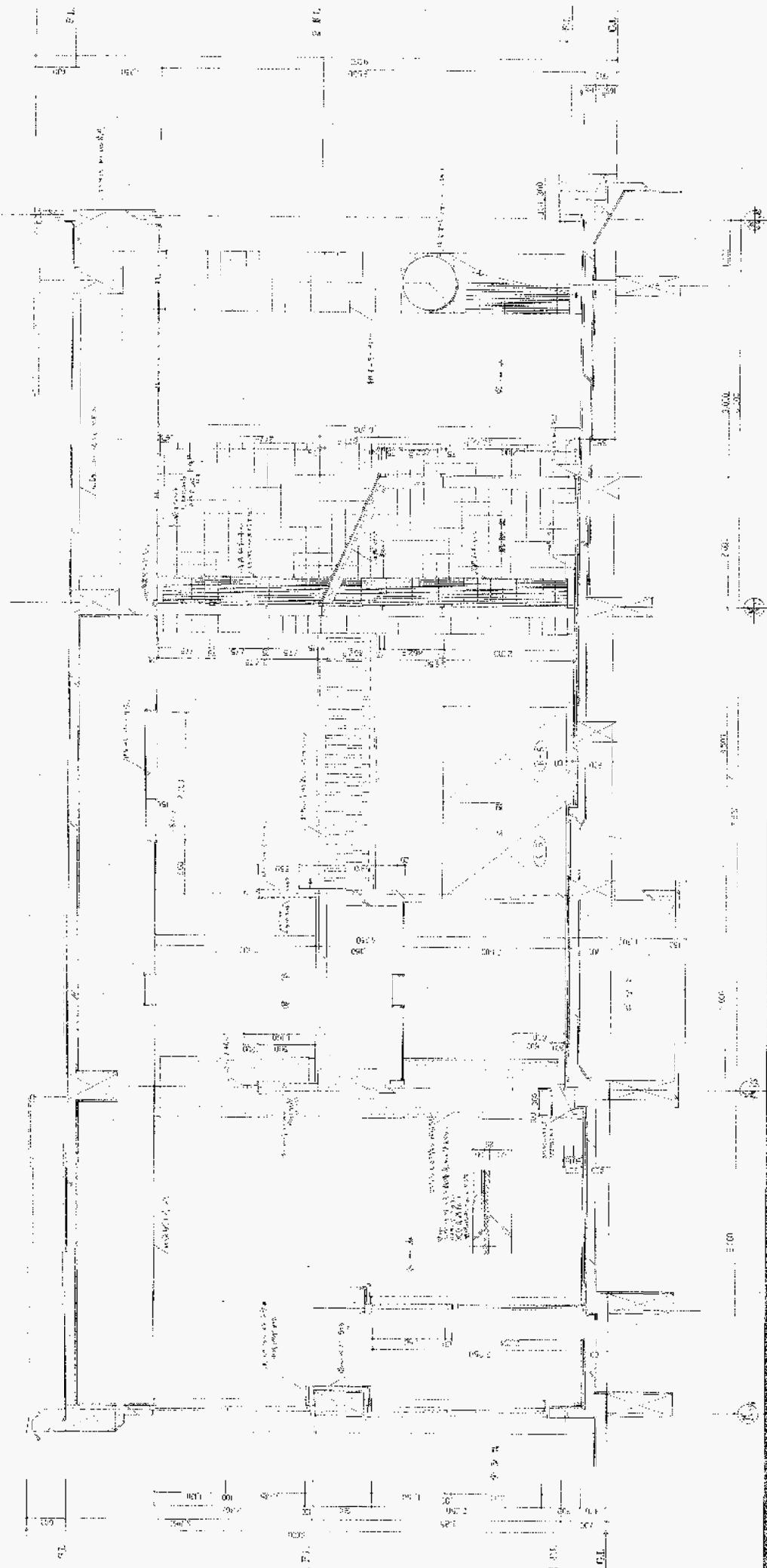
建築士事務所
 東京都千代田区千代田1-1-1
 電話 03-3211-1111

建築士事務所
 東京都千代田区千代田1-1-1
 電話 03-3211-1111

建築士事務所
 東京都千代田区千代田1-1-1
 電話 03-3211-1111

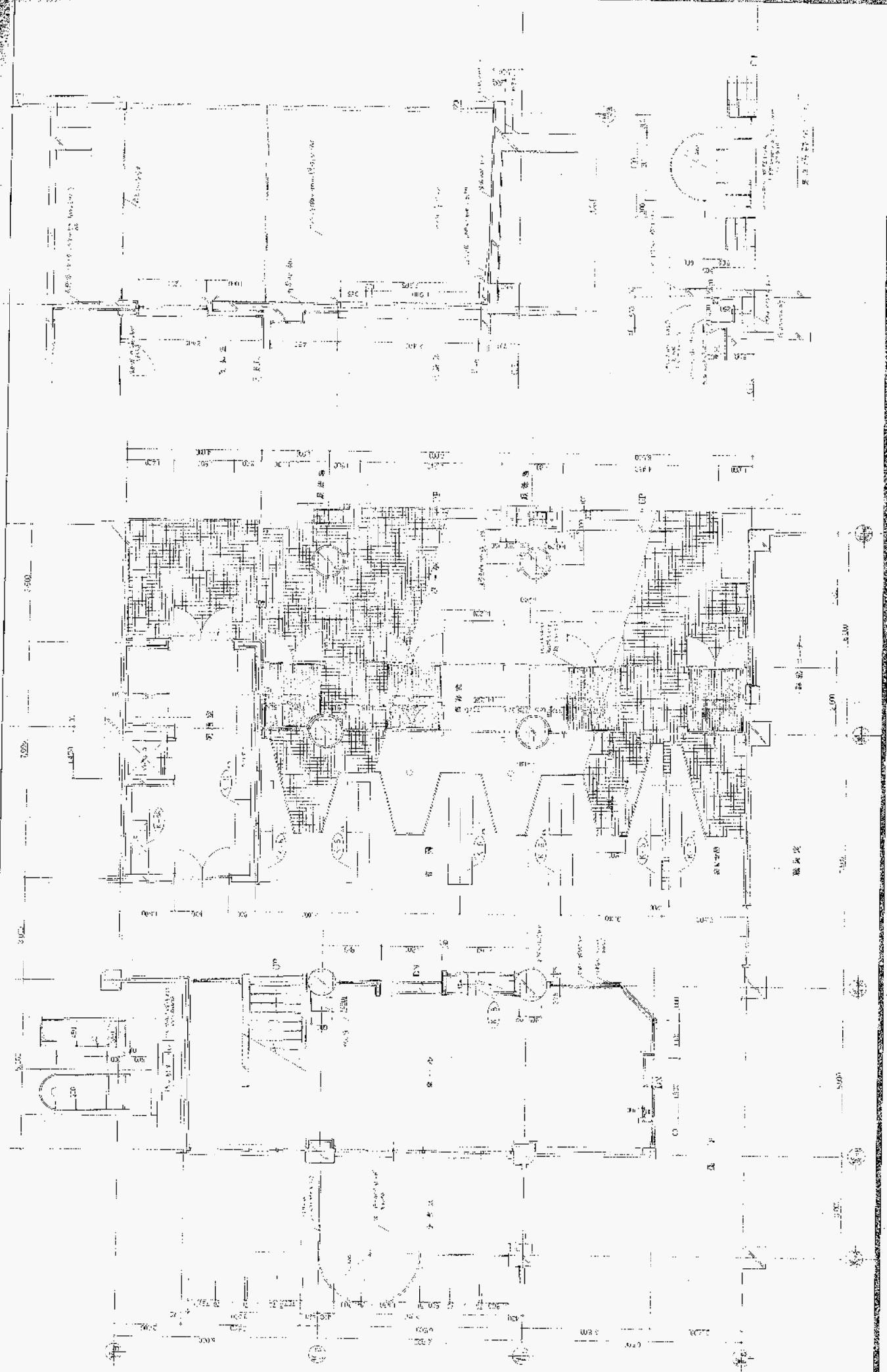
建築士事務所
 東京都千代田区千代田1-1-1
 電話 03-3211-1111

建築士事務所
 東京都千代田区千代田1-1-1
 電話 03-3211-1111



日本都市開発設計株式会社
 東京都千代田区千代田 1-2-1
 電話 314-4111
 1/100

設計者	日本都市開発設計株式会社
監理者	
建築士	
図面番	



日本市街設計株式会社
 本社 東京都千代田区千代田 1-1-1
 電話 313-1111

設計者 日本市街設計株式会社
 建築士 日本市街設計株式会社
 監理者 日本市街設計株式会社

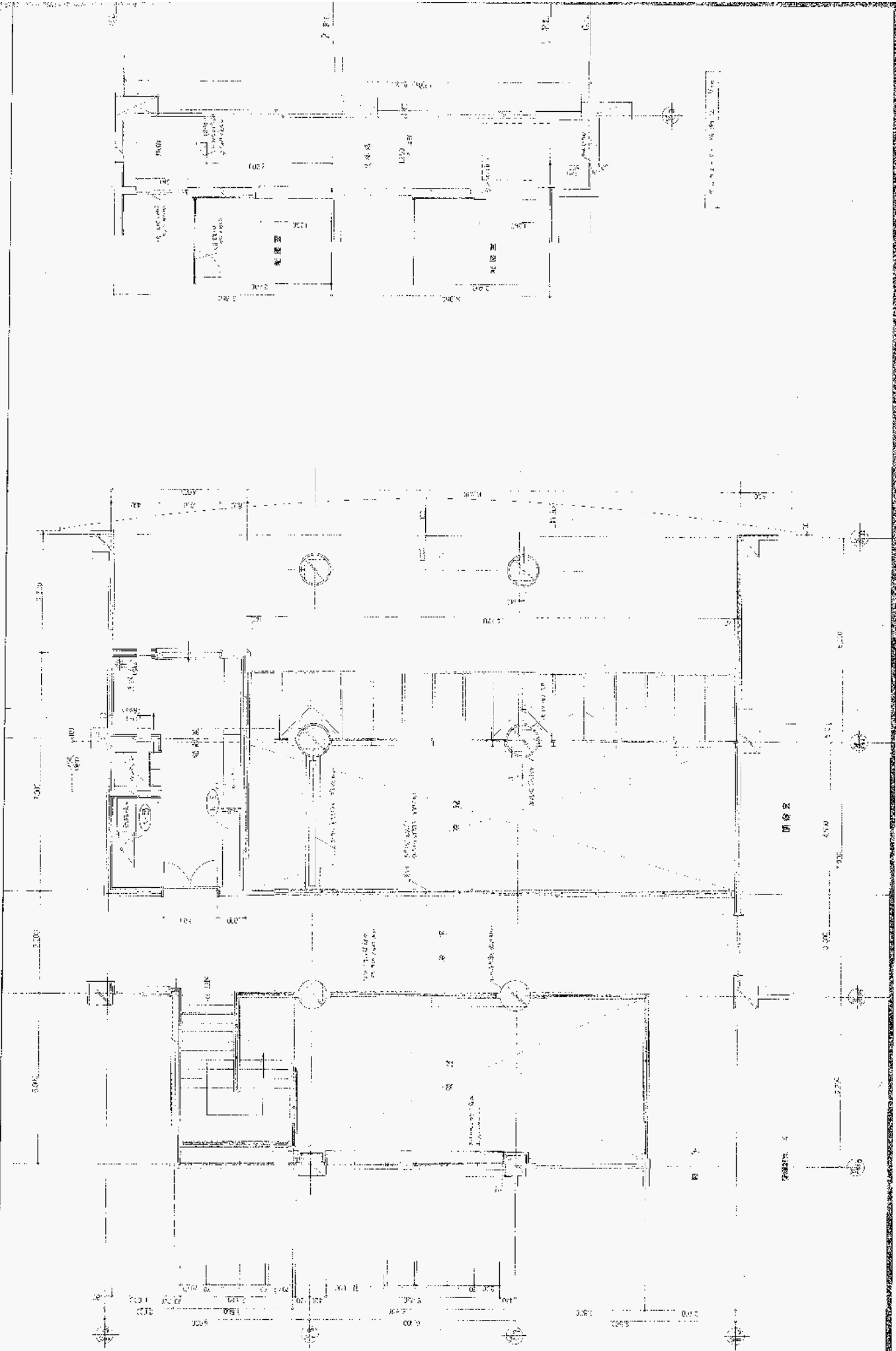
設計年月 昭和 年 月 日
 設計場所 東京都千代田区千代田

設計内容 建築設計
 設計規模 延床面積 ㎡

設計者 日本市街設計株式会社
 建築士 日本市街設計株式会社

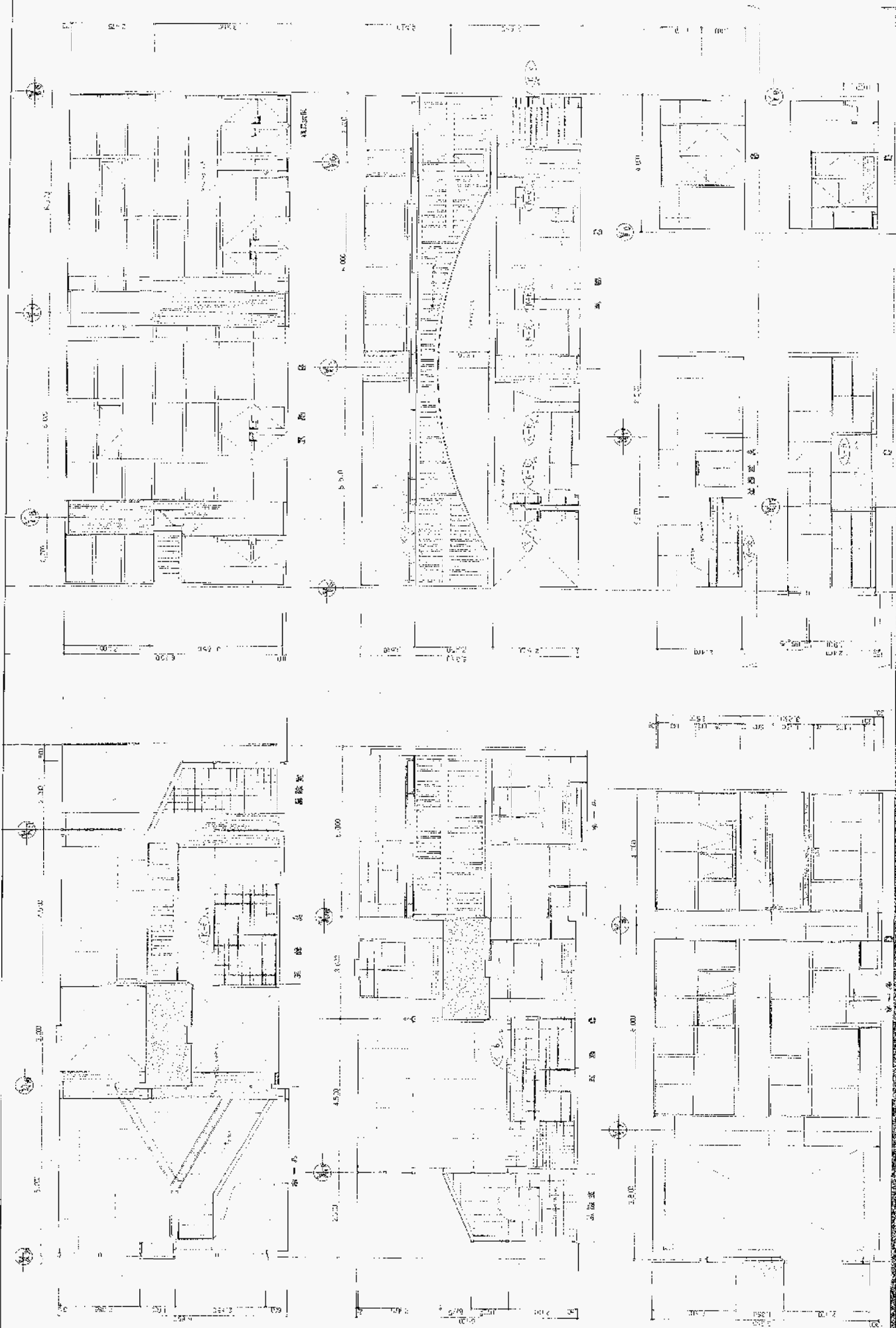
監理者 日本市街設計株式会社
 建築士 日本市街設計株式会社

設計者 日本市街設計株式会社
 建築士 日本市街設計株式会社

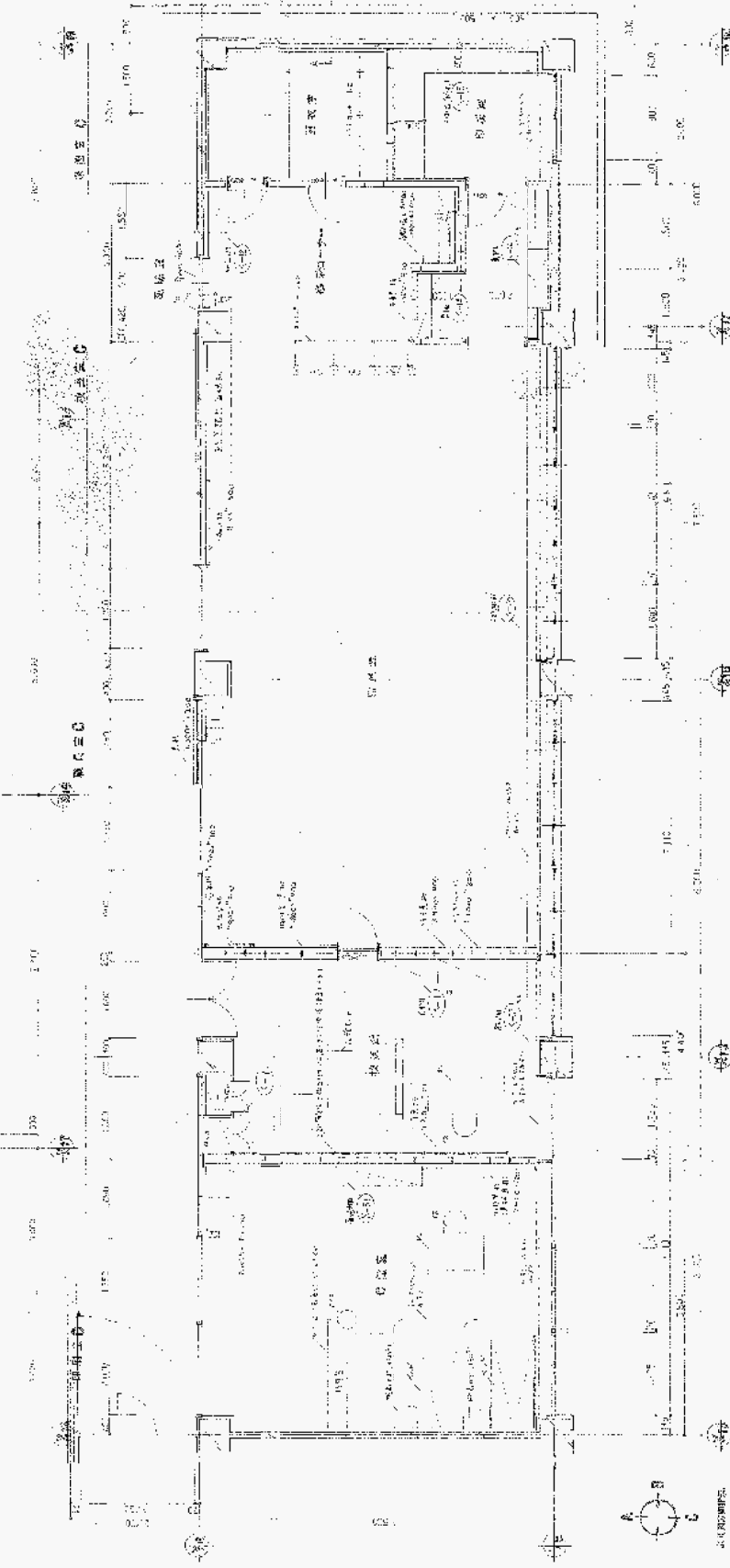
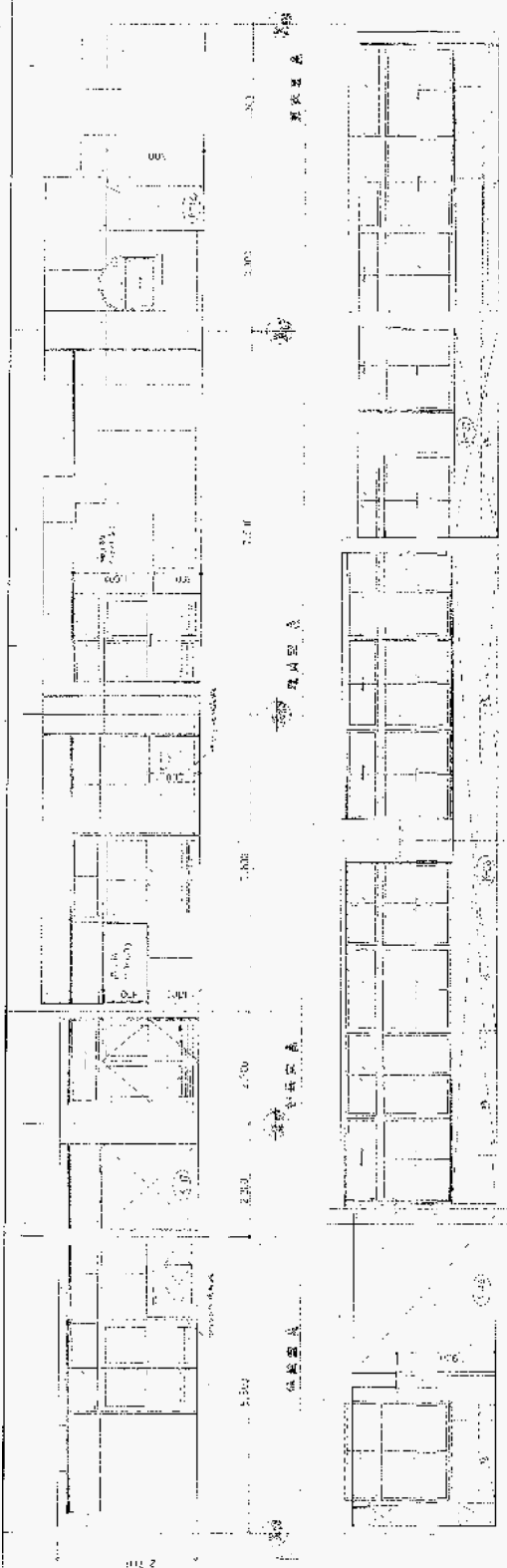


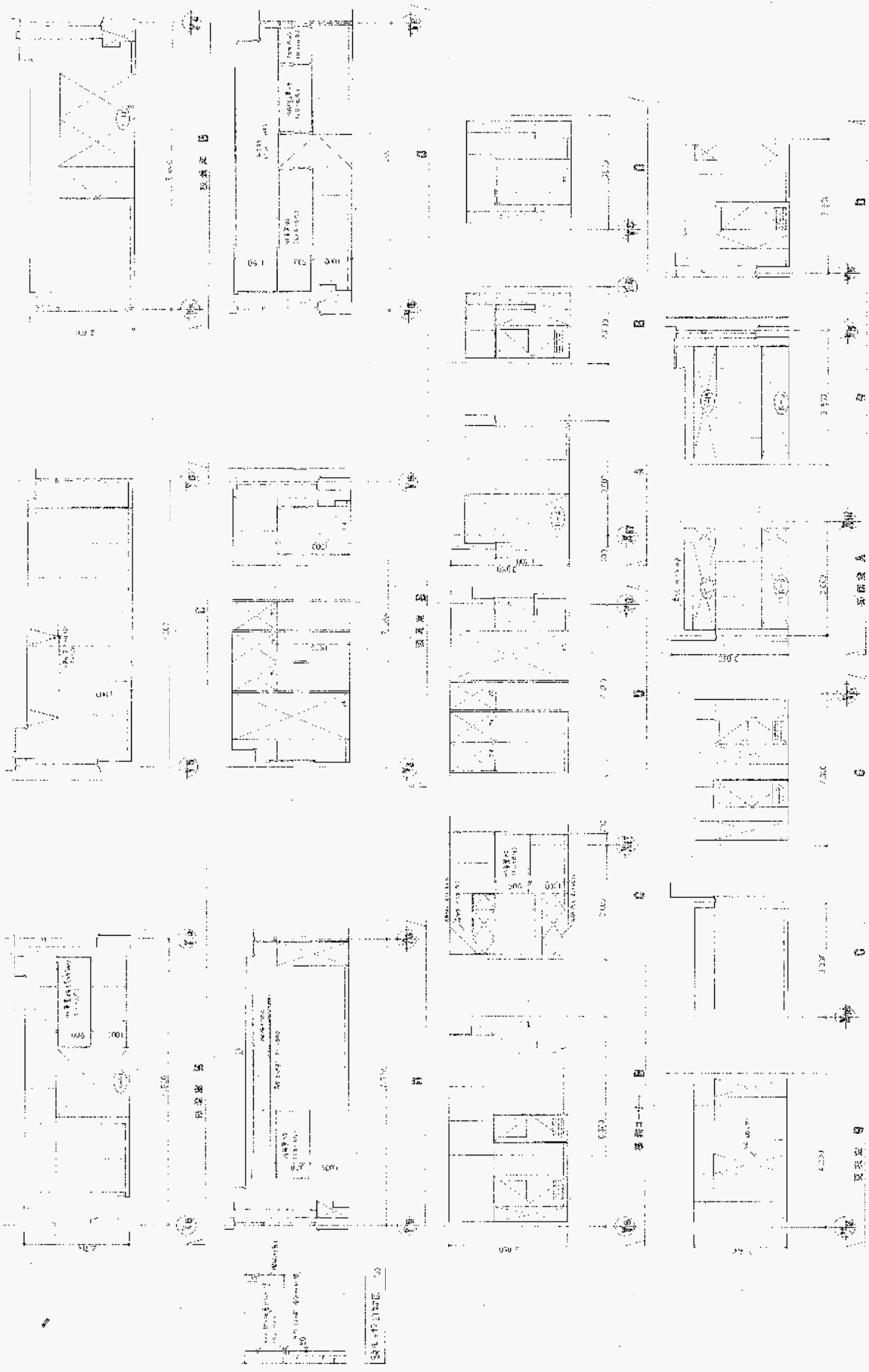
日本都市開発設計株式会社

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
 日本都市開発設計株式会社
 建築設計部 1/250 A-22



日本都市開発設計株式会社
 東京都千代田区千代田1-1-1
 TEL: 03-3542-1111
 FAX: 03-3542-1112
 E-MAIL: info@nikken.co.jp
 1/50

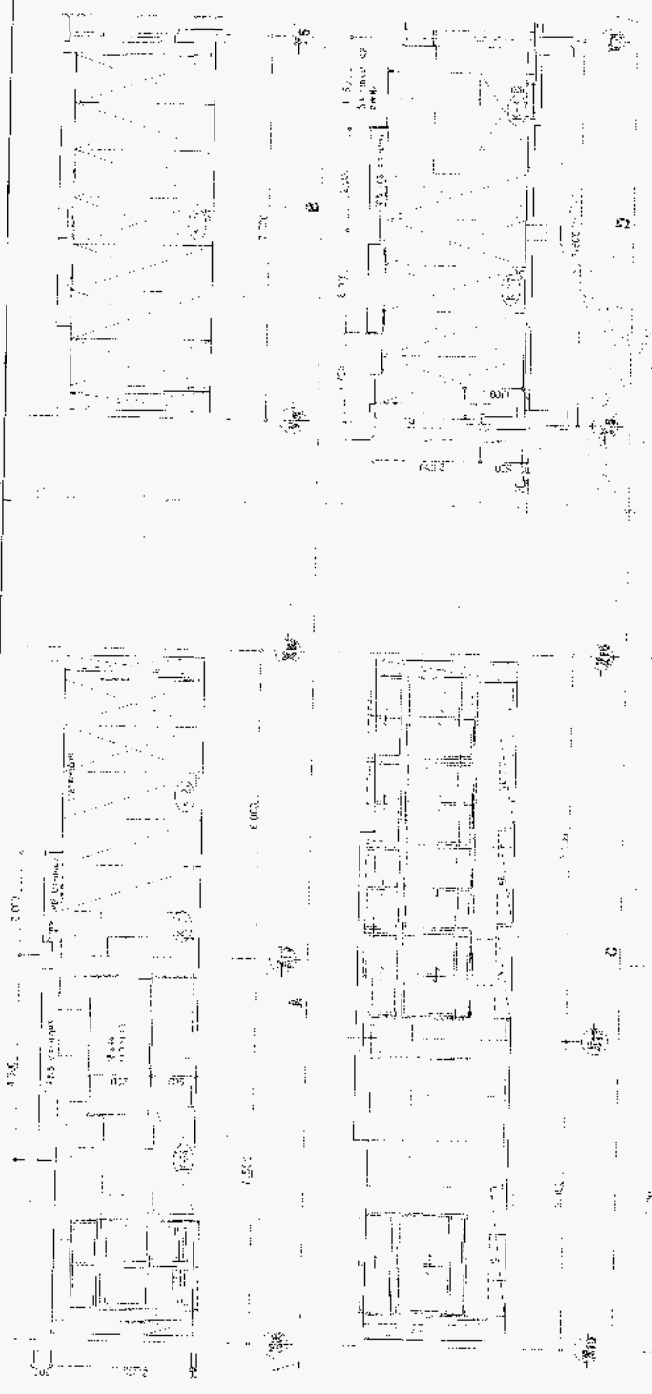


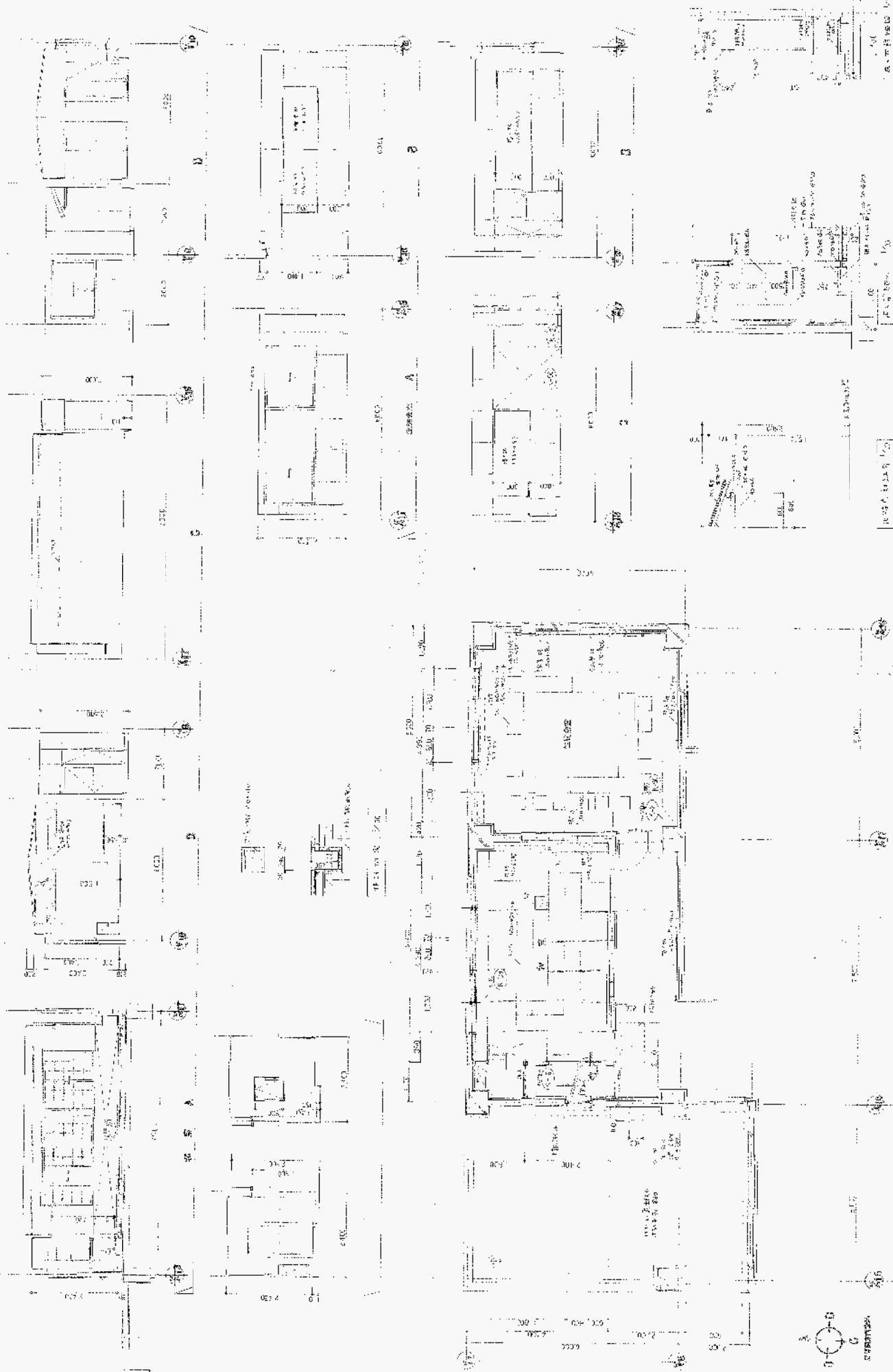




日本都市開発設計株式会社

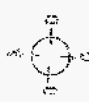
日本都市開発設計株式会社
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
電話 03-3211-1111
FAX 03-3211-1112
E-MAIL info@nikken.co.jp
www.nikken.co.jp





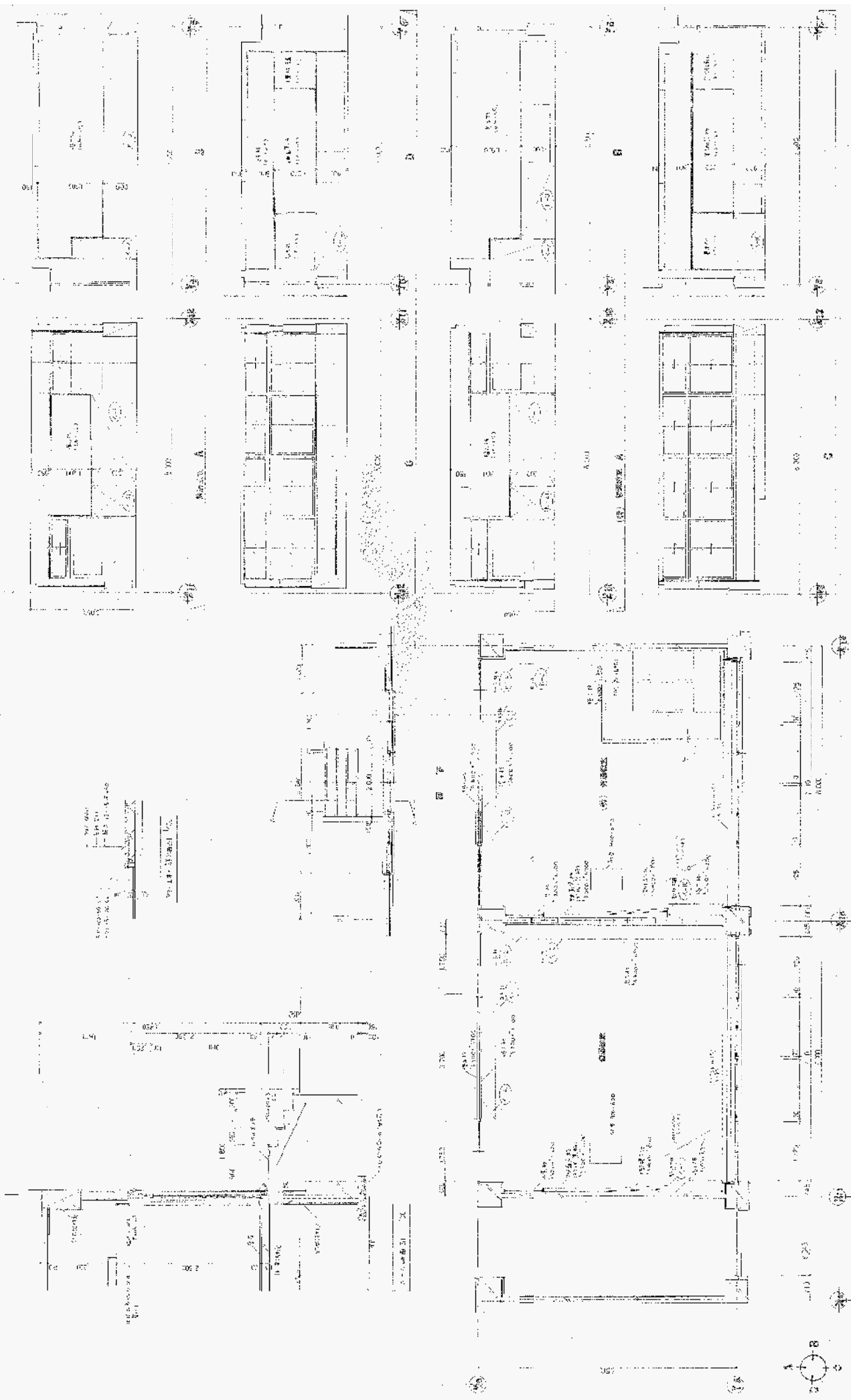
1/200

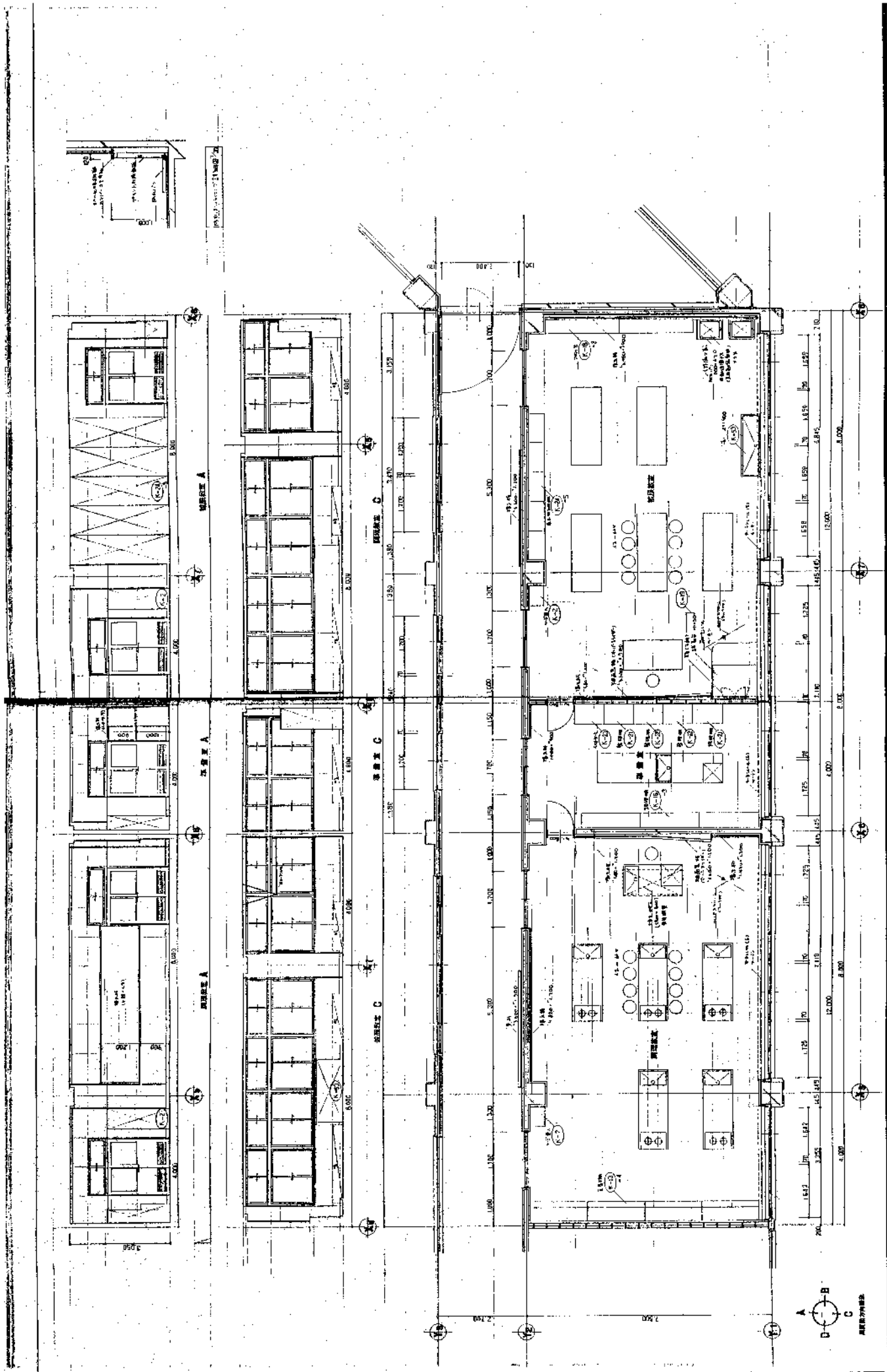
1000 800 600 400 200 0



日本都市開発設計株式会社
 一社登記第1000号 東京都中央区新富町1-1-1

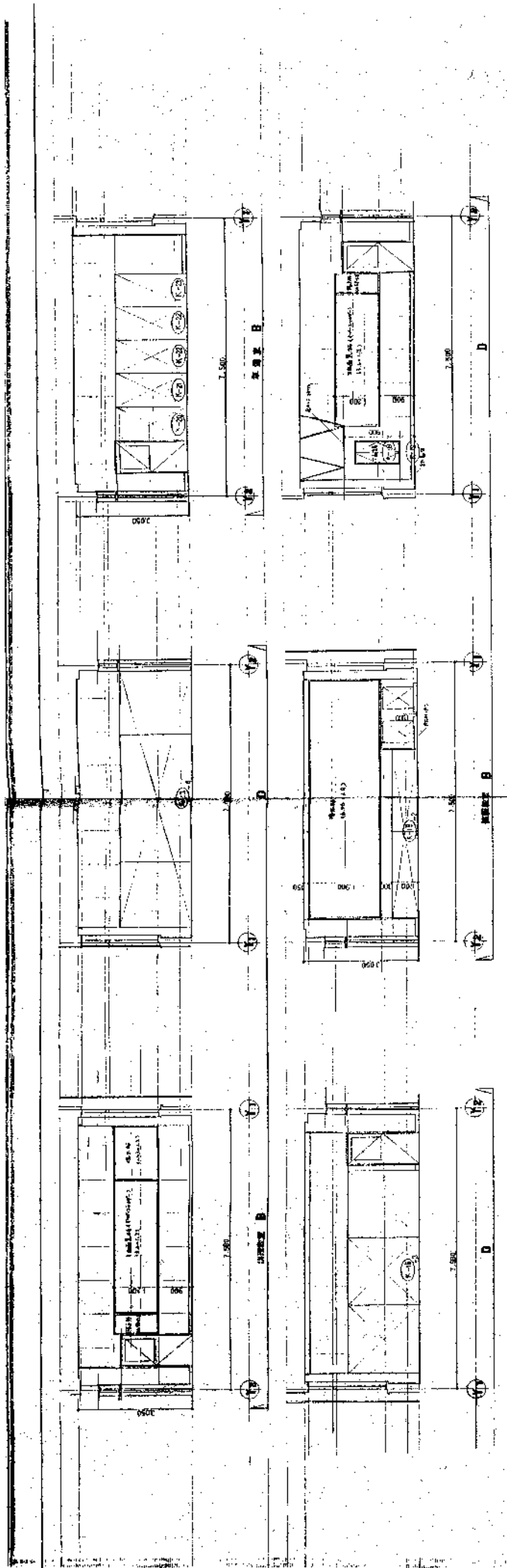
1000 800 600 400 200 0



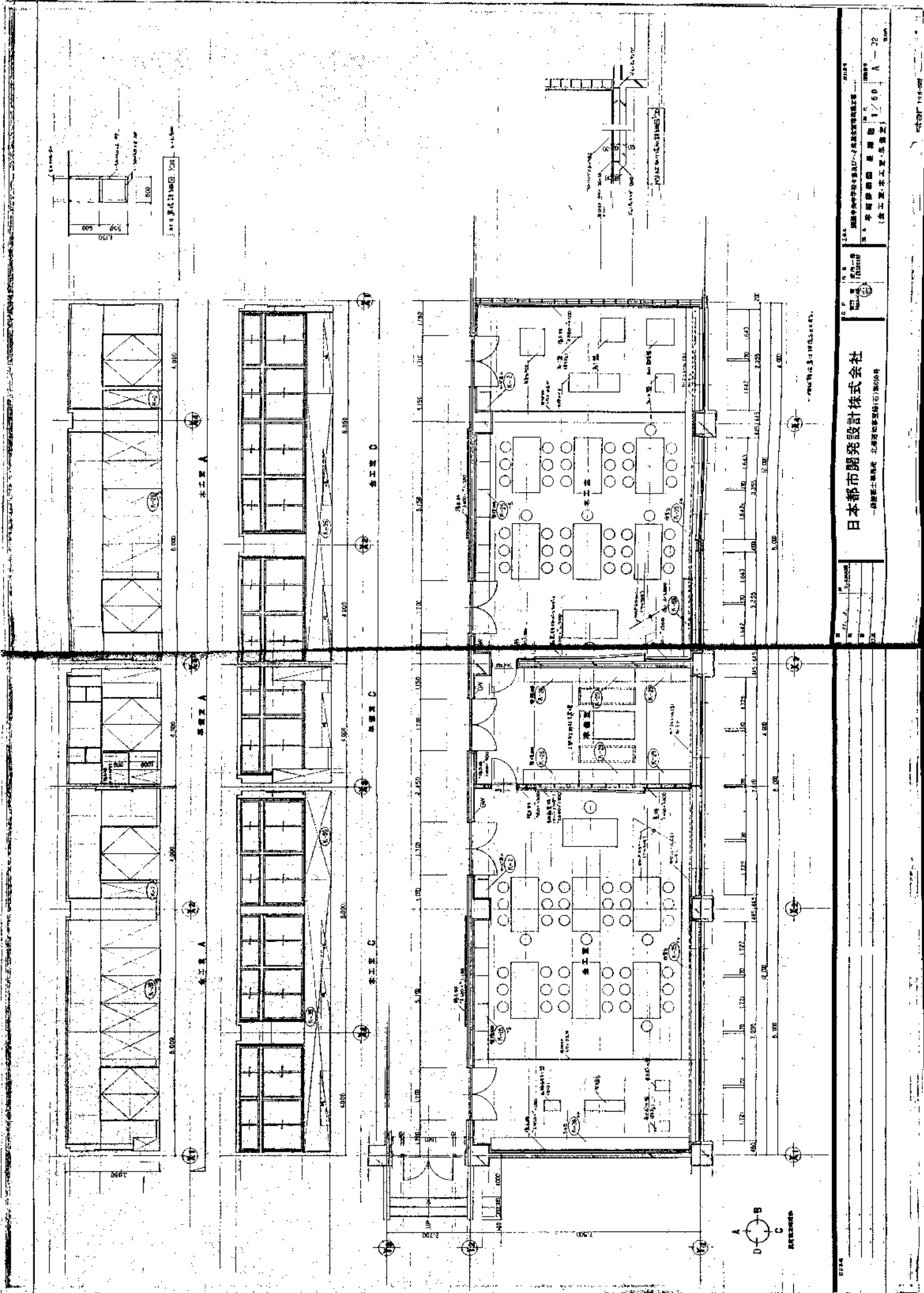


日本都市開発設計株式会社
 一 東京都千代田区千代田 1-1-1 (丸の内線) 丸の内駅

1/50 A - 2D
 (建築士) 建築士 建築士



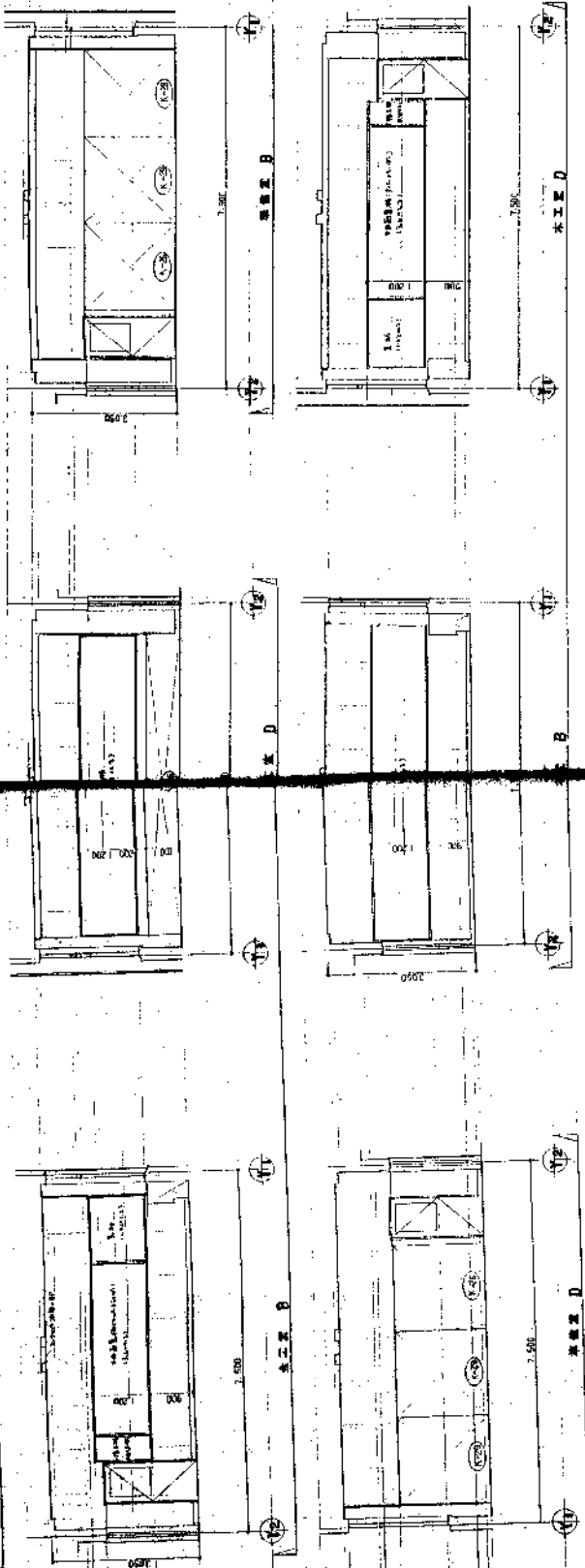
図名	1/58 A-31
図号	
図尺	
図式	



日本都市開発設計株式会社

一社事務士事務所 北澤町四丁目7番50号

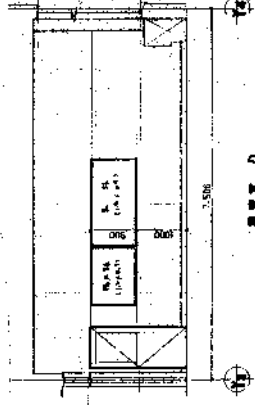
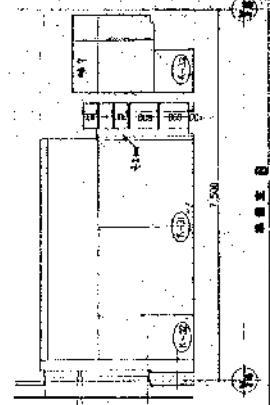
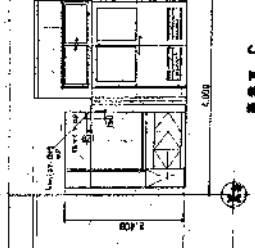
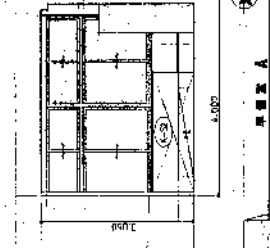
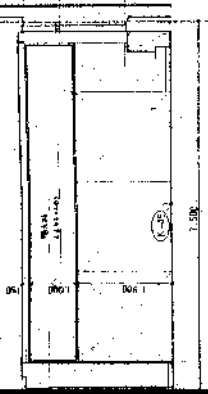
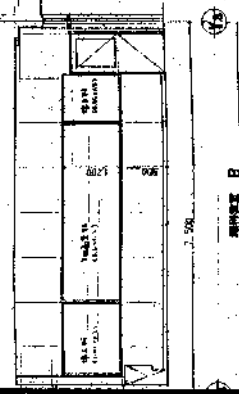
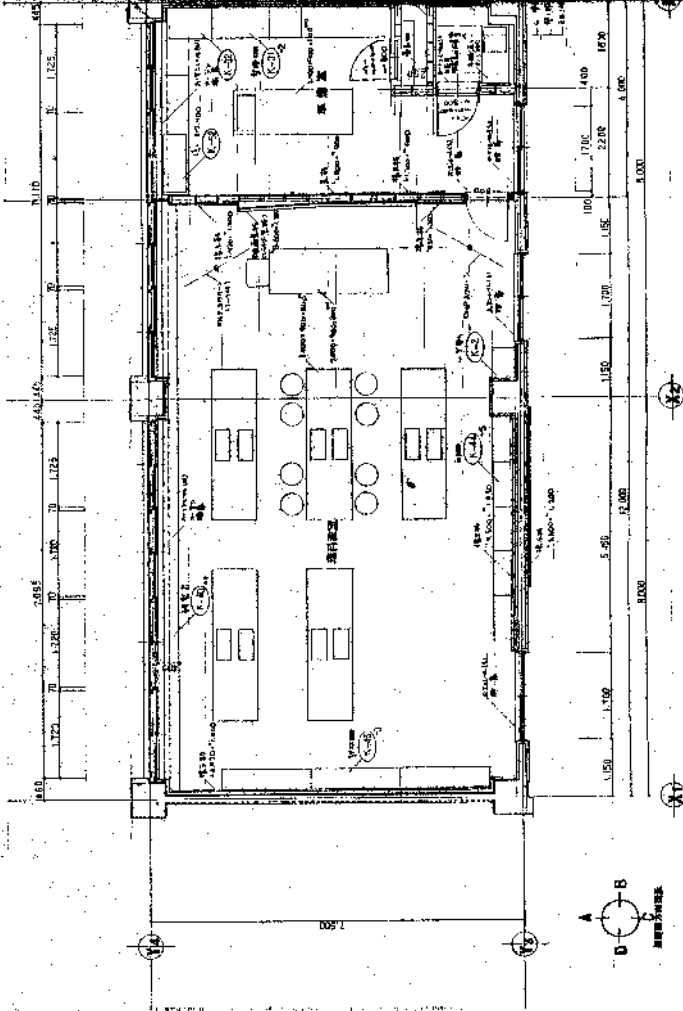
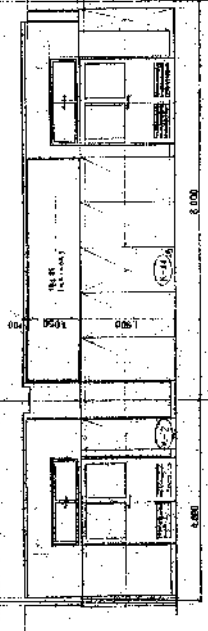
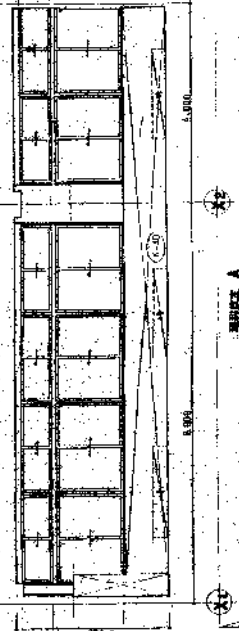
図名：本館設計図面(50)
 縮尺：1/60
 設計者：日本都市開発設計株式会社



日本都市開発設計株式会社

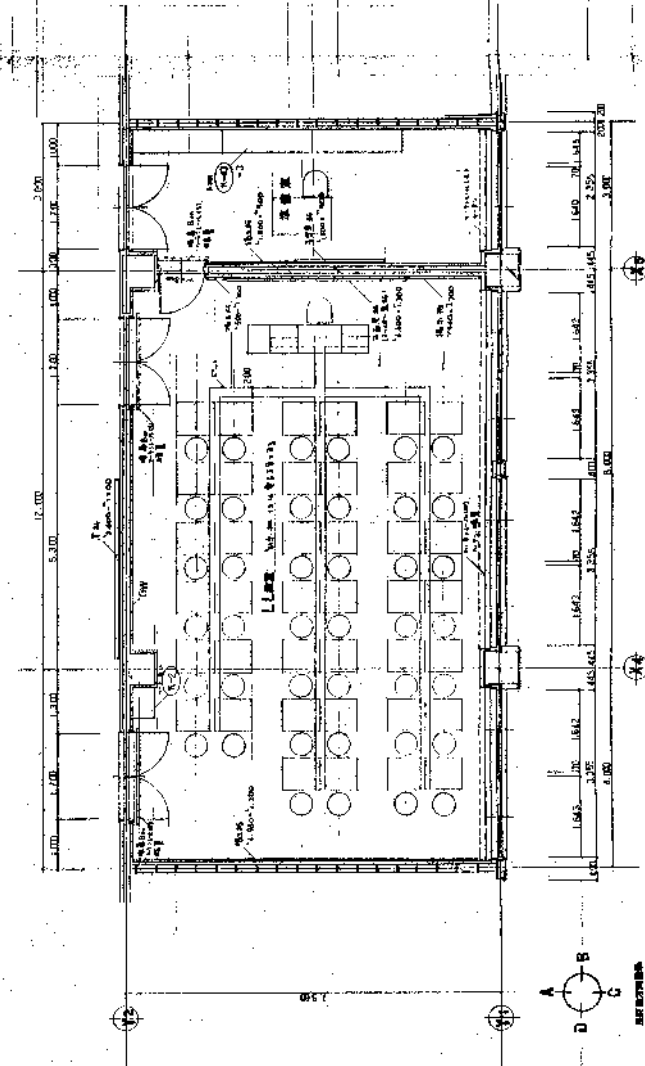
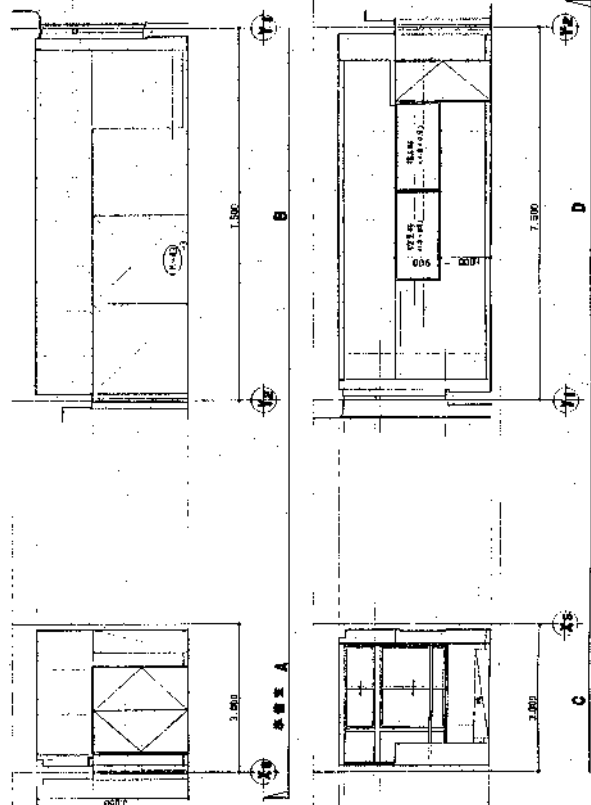
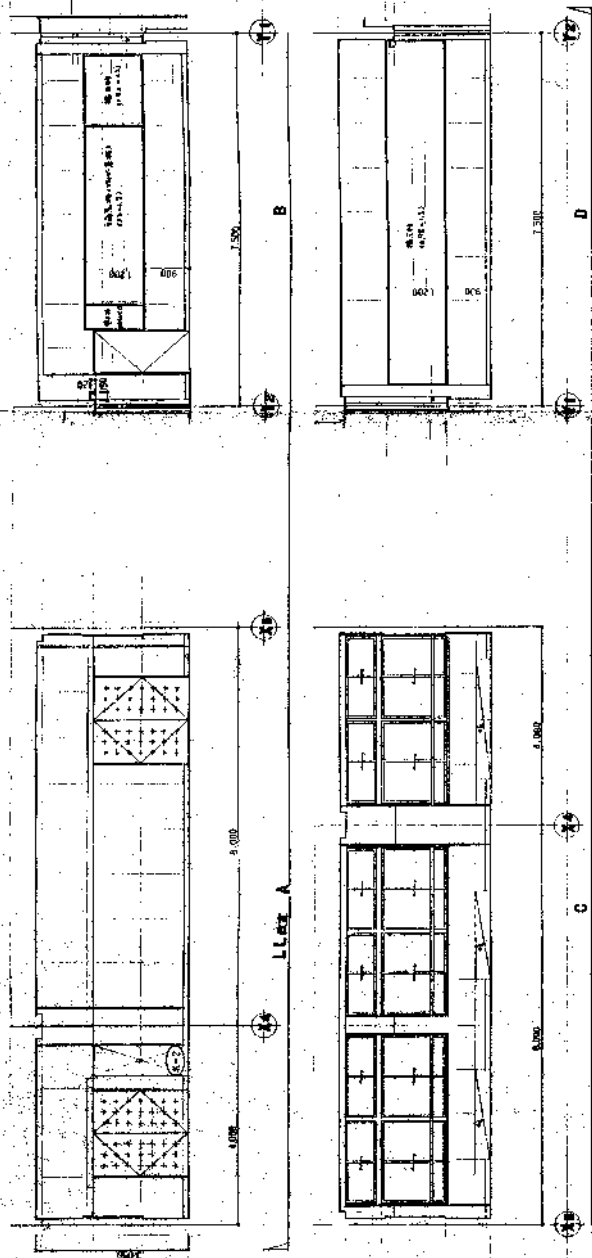
東京都建設局
 (東京都第二工務局)

図名
 1/80
 A-30



日本都市開発設計株式会社
 一級建築士事務所 東京都中央区新富町1-10-10 1100号

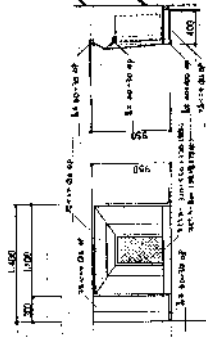
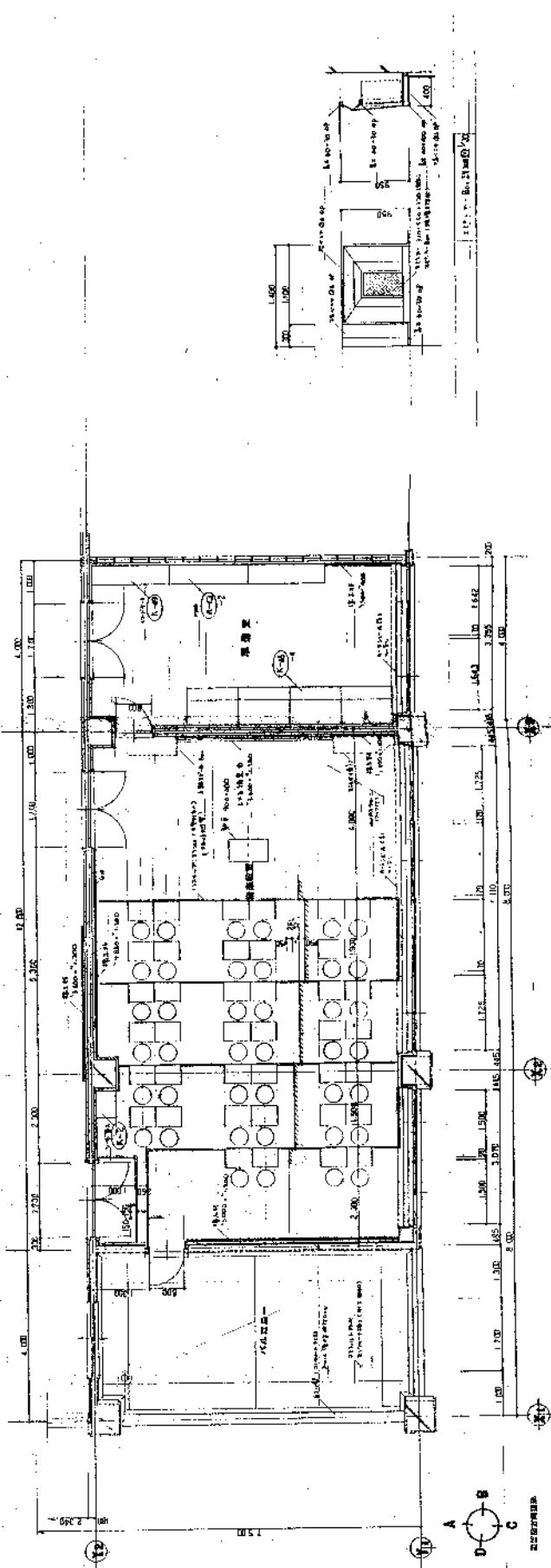
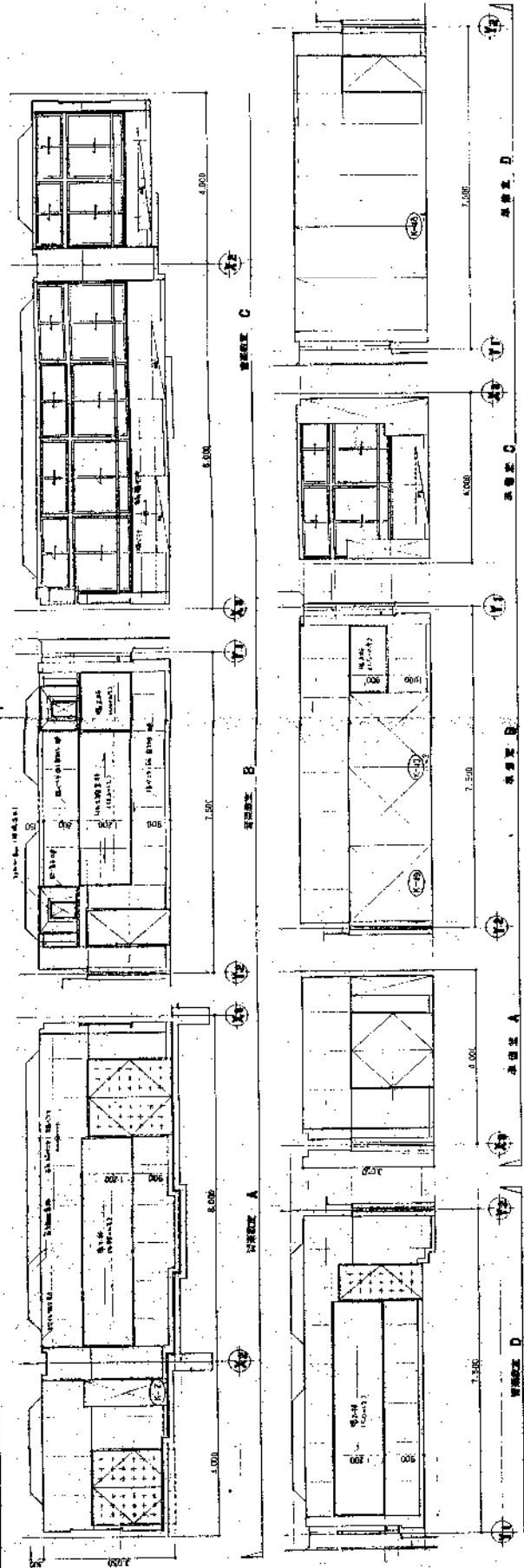
設計者 日本都市開発設計株式会社
 建築士 日本都市開発設計株式会社
 図面番号 1/100 A-24
 (資料館・図書室)



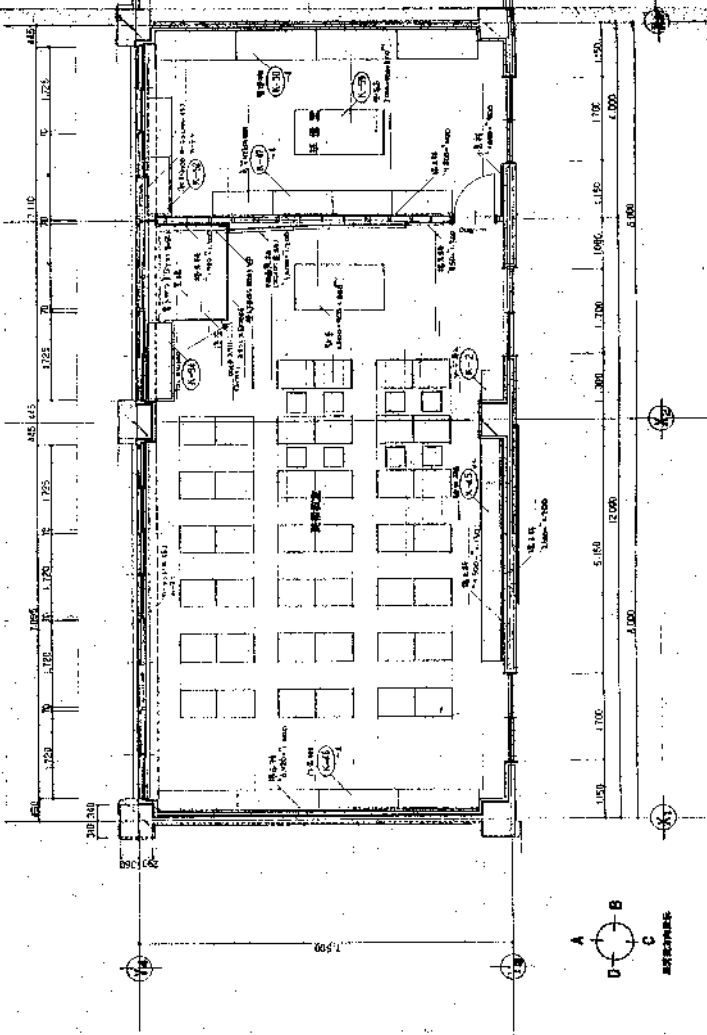
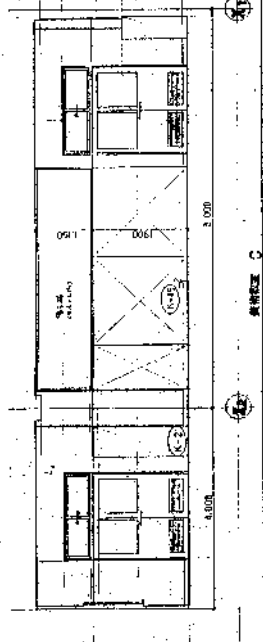
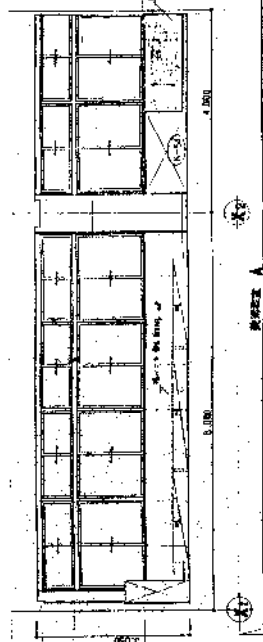
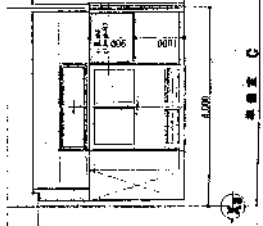
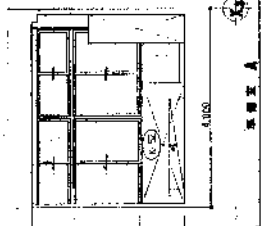
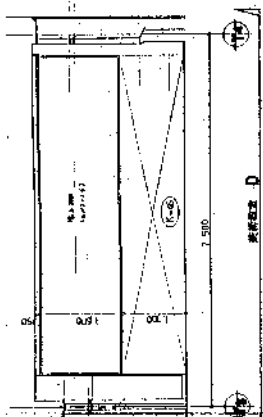
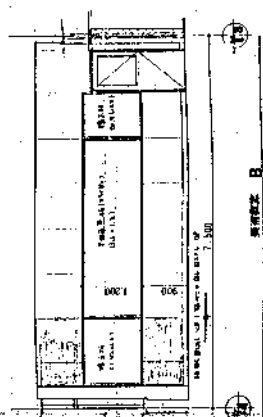
日本都市開発設計株式会社
 一級建築士事務所 北海道札幌市東区北一条五丁目

図名	12 建築図
作図	1/50
寸法	1/50
縮尺	1/50

115 建築士事務所
 北海道札幌市東区北一条五丁目
 115 建築士事務所
 北海道札幌市東区北一条五丁目
 115 建築士事務所
 北海道札幌市東区北一条五丁目



日本都市開発設計株式会社
 一級建築士事務所 東京都中央区(〒)100-0001
 1/60
 A-37
 1984



日本都市開発設計株式会社

一 東京都千代田区新 北區通和野村ビル1階409号

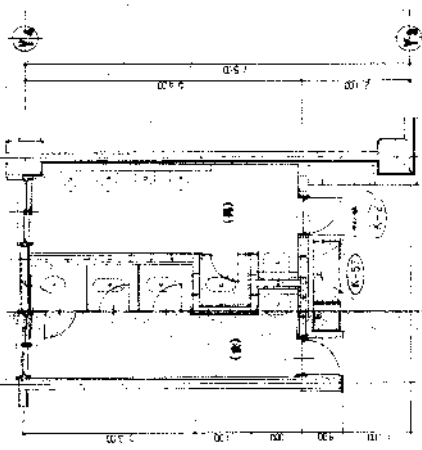
TEL: 03-3541-1111 FAX: 03-3541-1112

E-MAIL: info@nikko-kaikei.co.jp

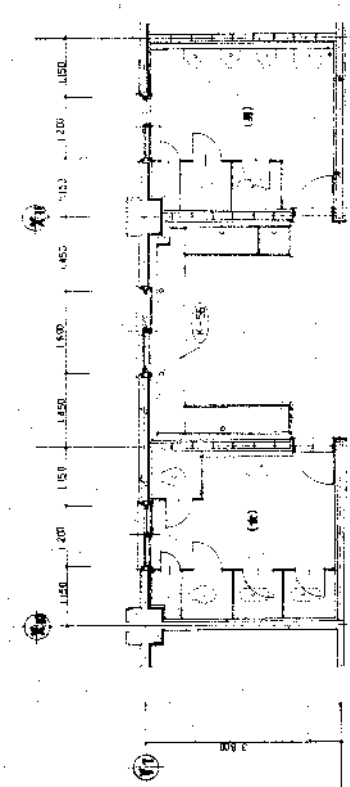
www.nikko-kaikei.co.jp

〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-6-8 A-2B

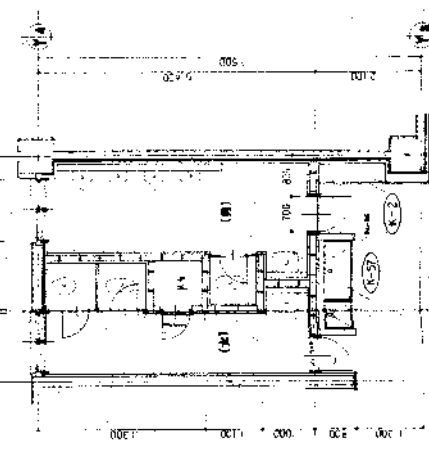
(株)都市開発設計



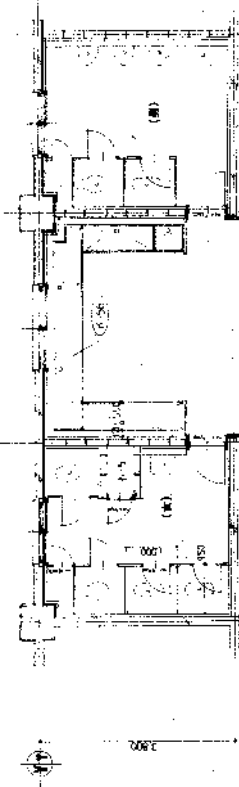
全館2階



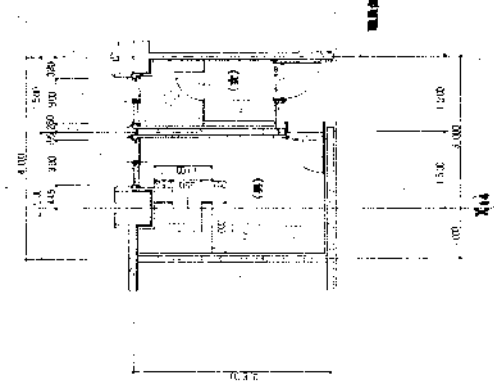
全館2階



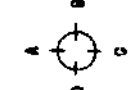
全館1階



全館1階



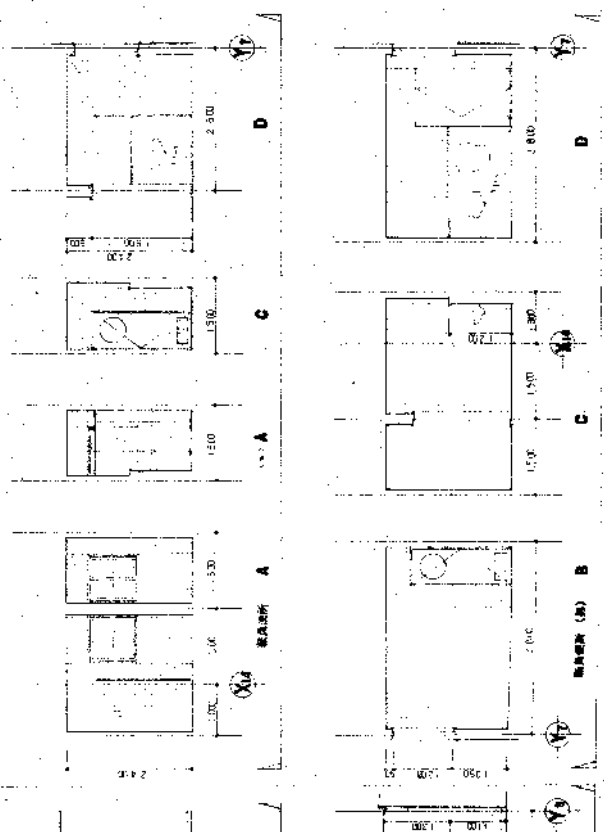
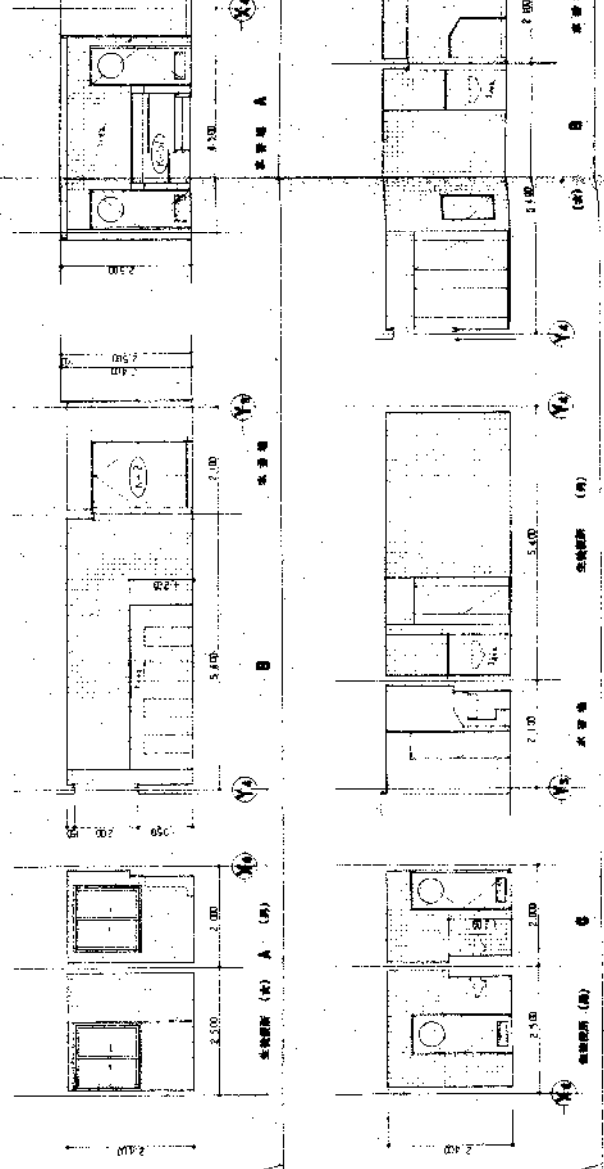
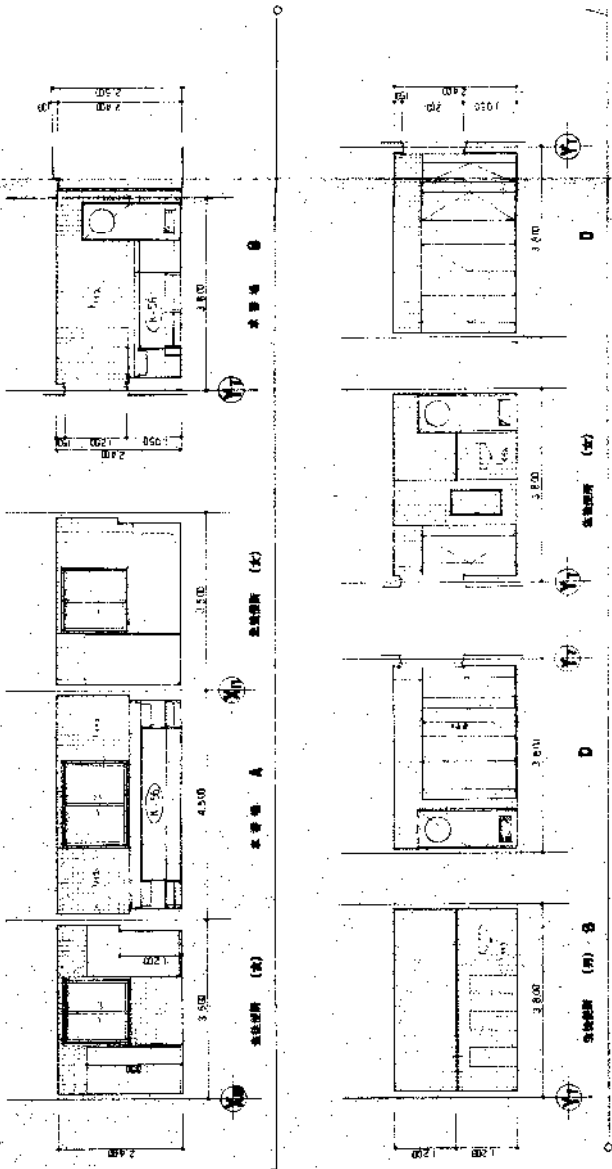
細部図



方位図

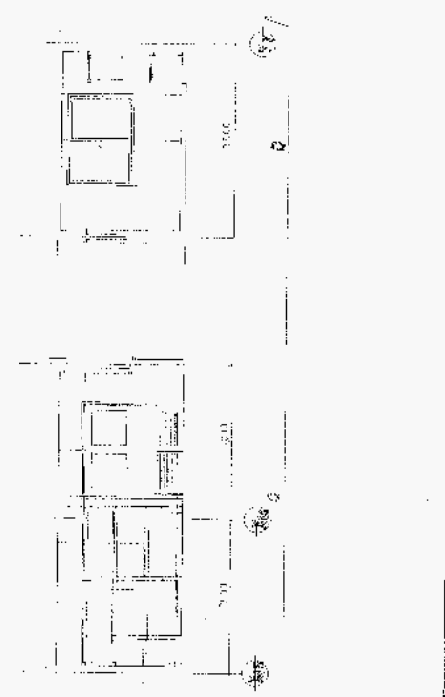
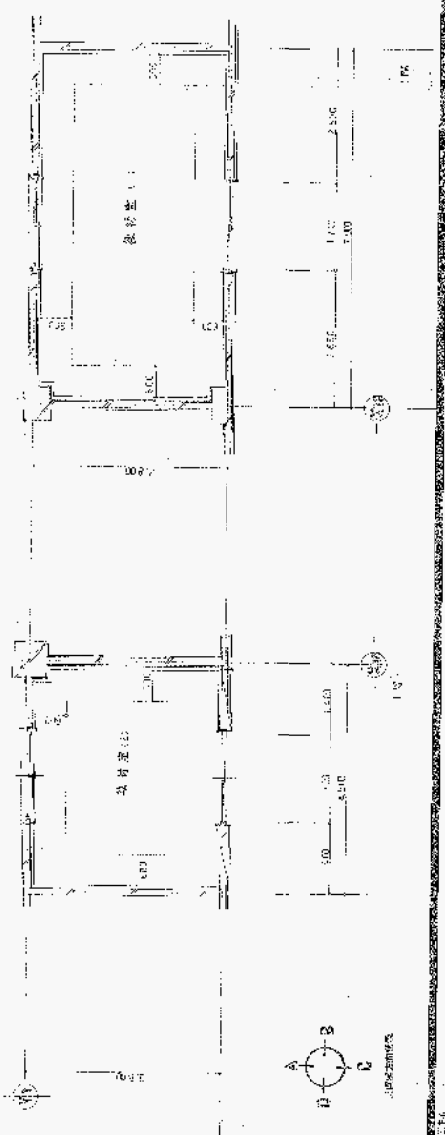
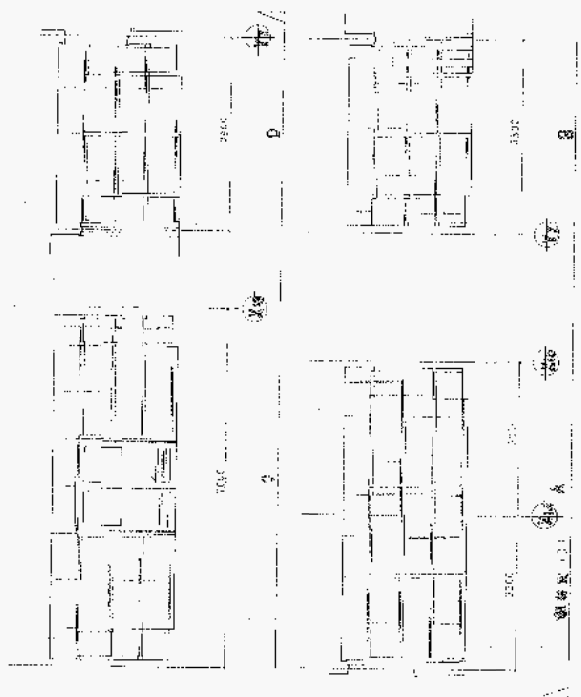
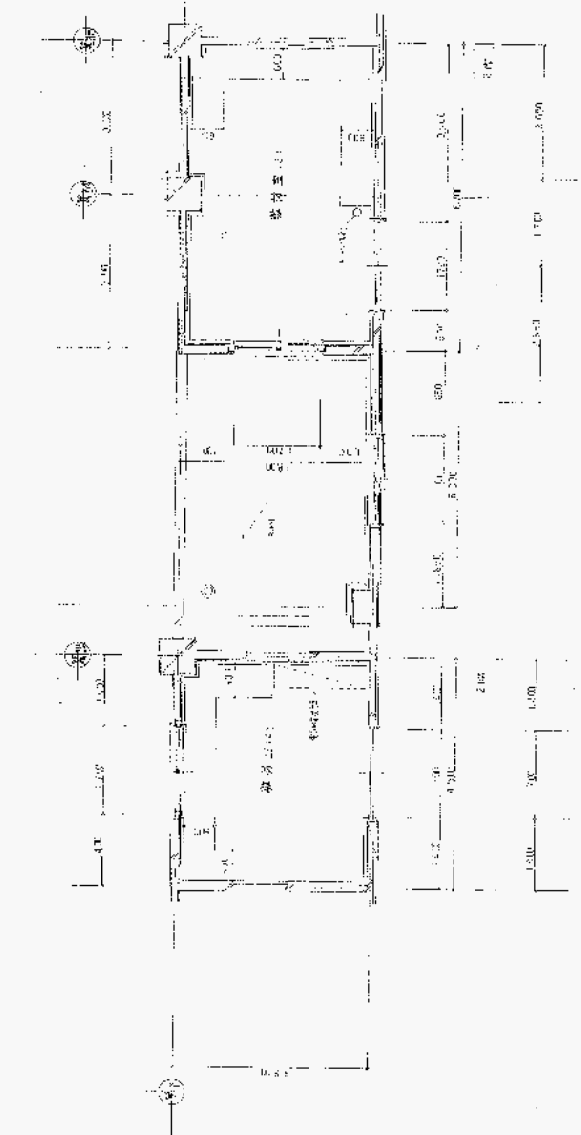
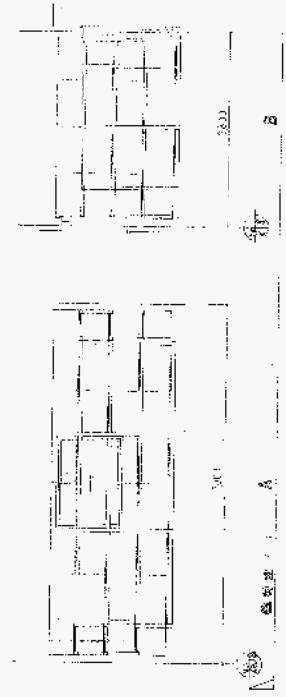
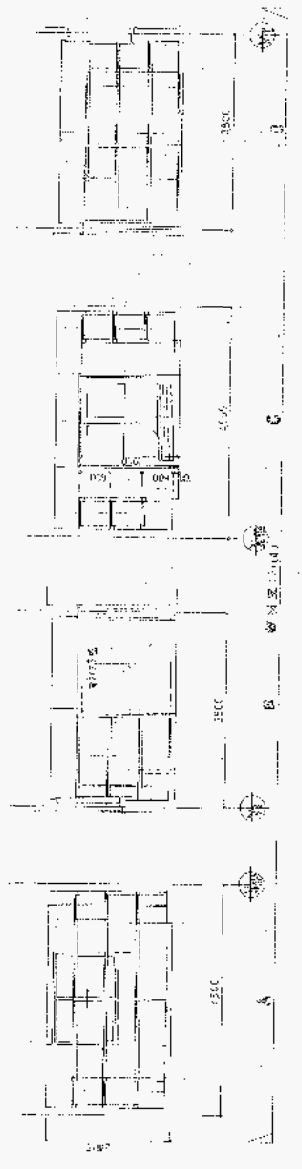
日本都市開発設計株式会社
 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
 電話 03-5561-1111

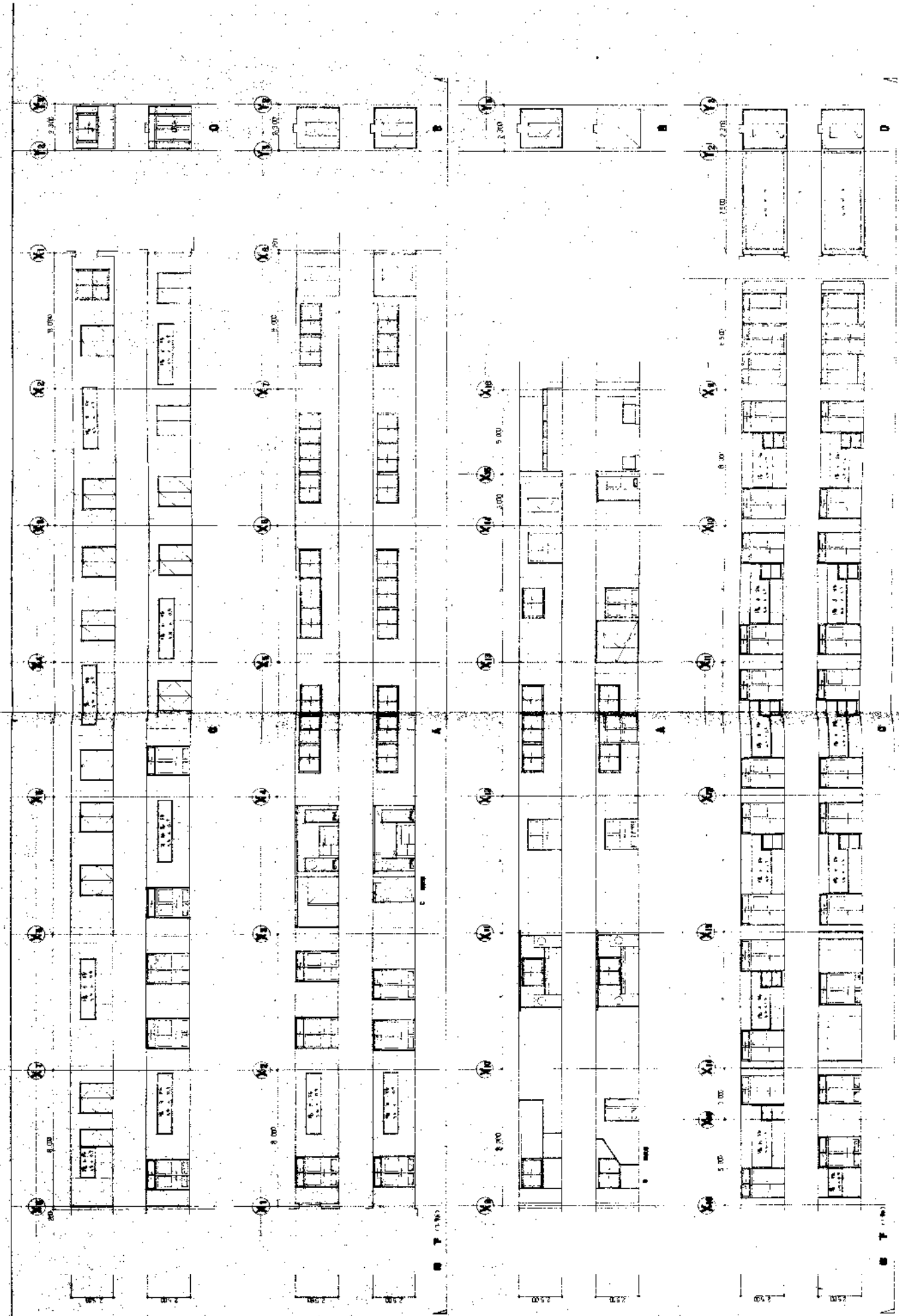
設計者 日本都市開発設計株式会社
 監理者 建築師 渡辺 洋一
 1/50 A-1

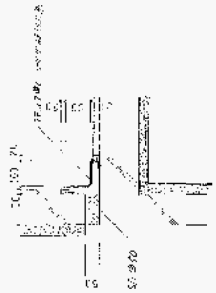


日本都市開発設計株式会社
 一甲種建築士事務所 北沢大岡事務所 1-20-10
 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-20-10

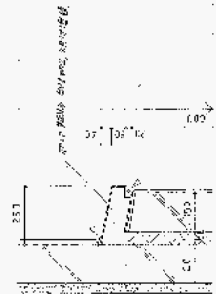
図面番号: 1/50 A
 縮尺: 1/50
 設計者: 日本都市開発設計株式会社
 建築士: 北沢大岡事務所



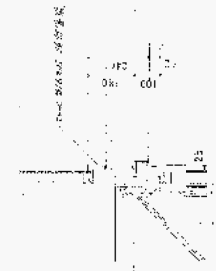




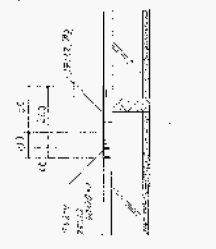
5階 FLOOR A No.



4階 FLOOR B No.

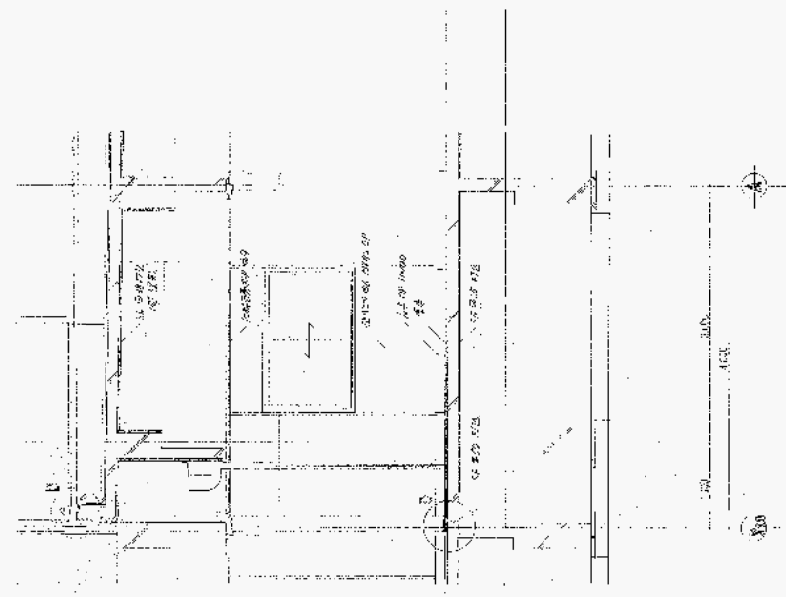
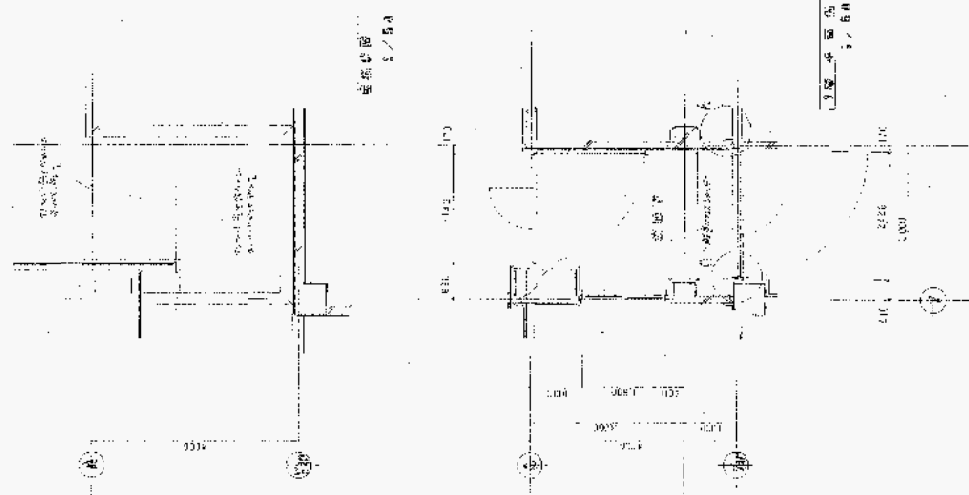


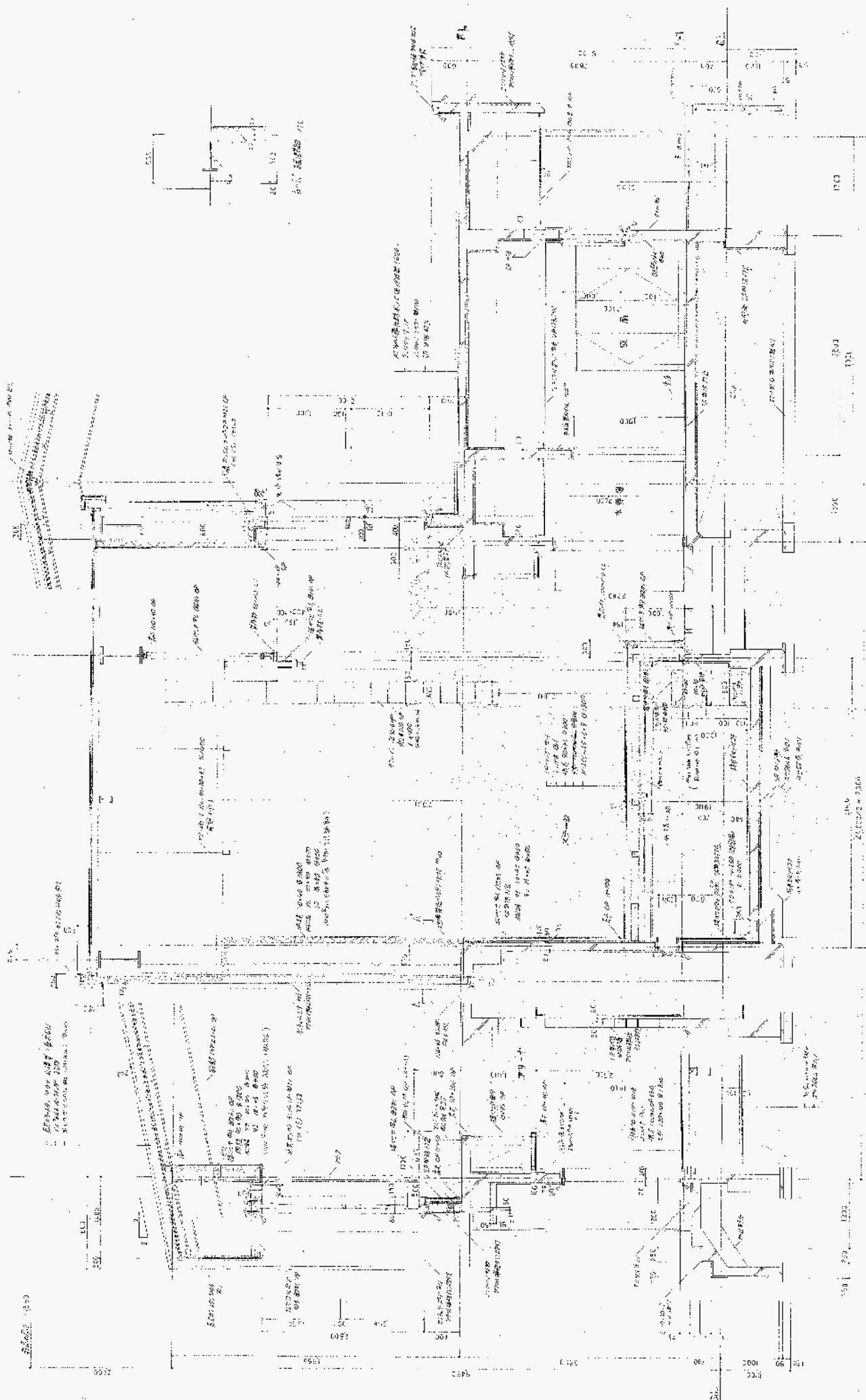
3階 FLOOR C No.



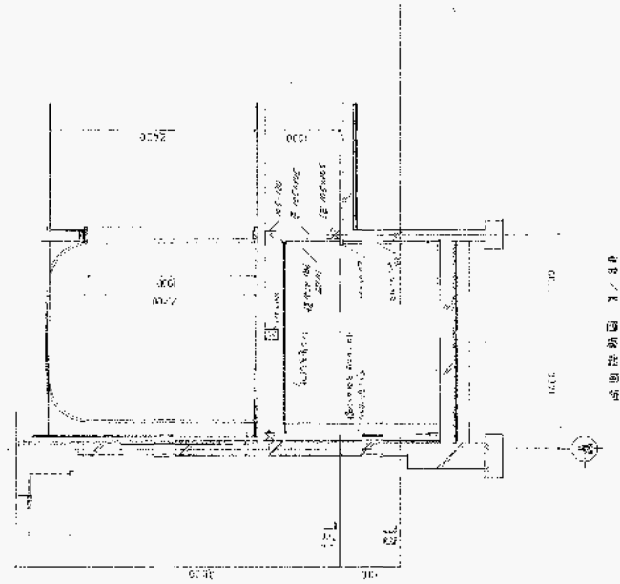
2階 FLOOR D No.

2階階上からのエレベーターホール
 - 2階階上
 - 2階階上からのエレベーターホール
 5階からのエレベーター

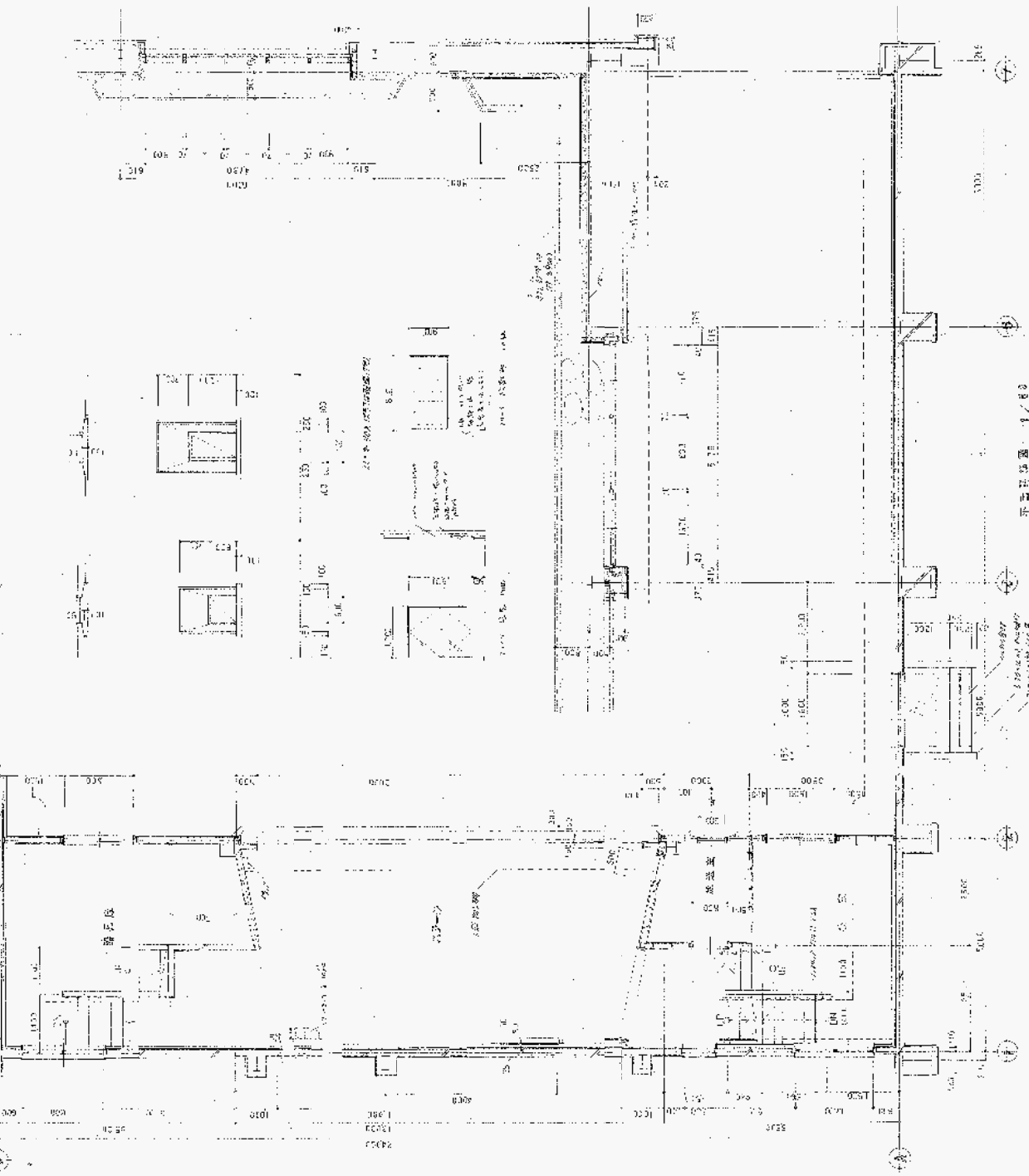




日本都市開発設計株式会社
 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
 電話 03-3211-1111



平面図 1/80

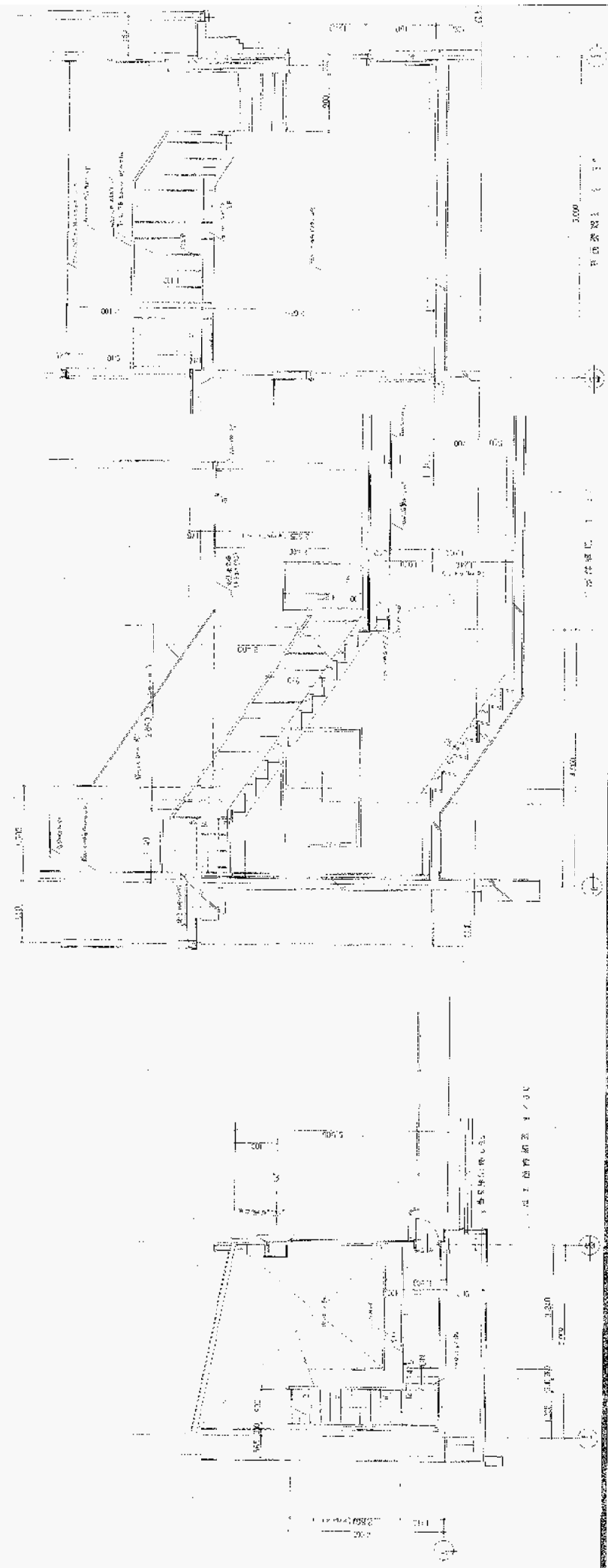
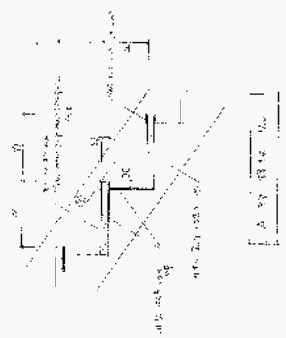


平面図 1/80

日本都市開発設計株式会社

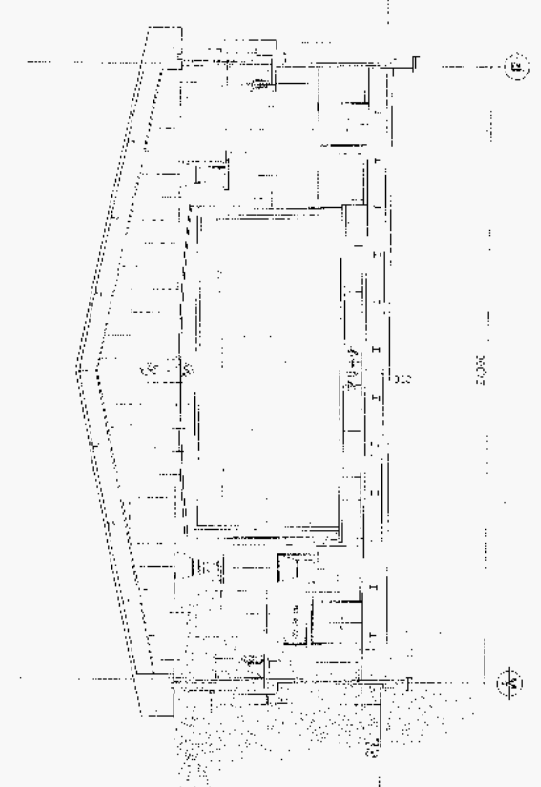
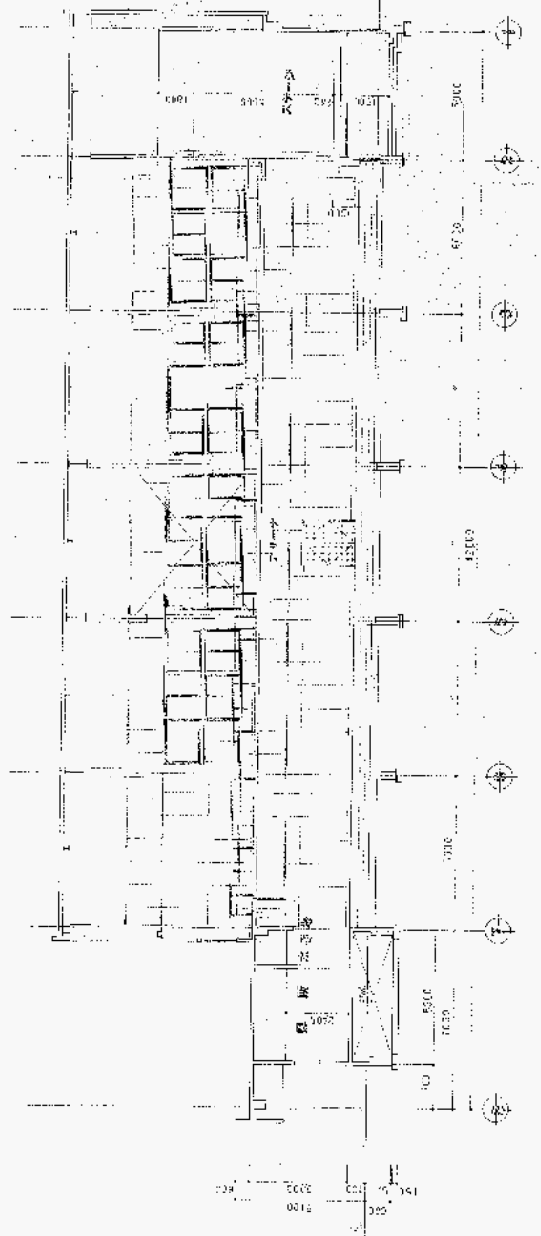
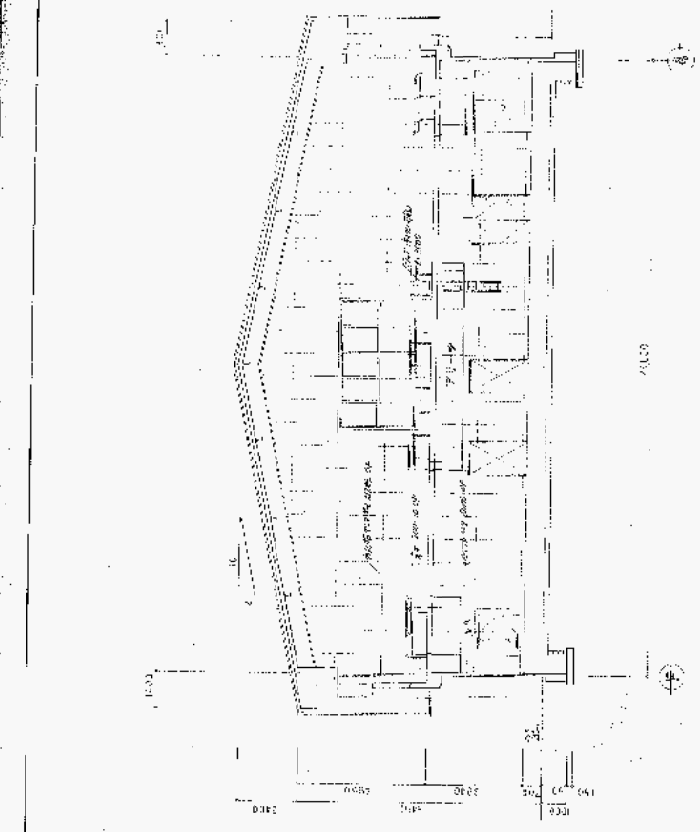
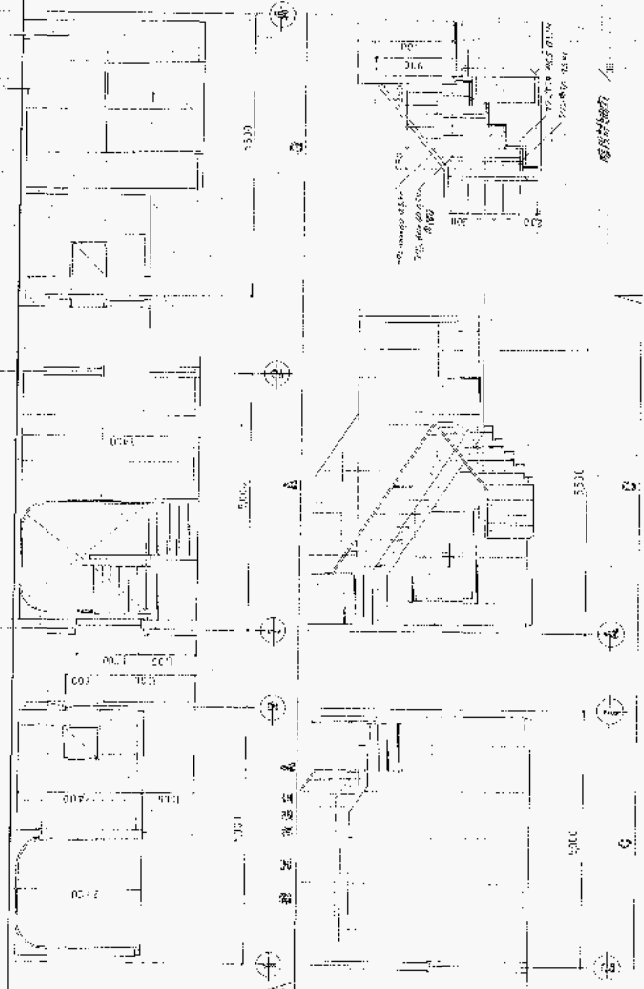
本社：東京都千代田区千代田 1-1-1
 支社：東京都千代田区千代田 1-1-1

昭和四十四年四月二十日
 建築士登録番号：14747
 1/80



1000
 2000
 3000
 4000
 5000
 6000
 7000
 8000
 9000
 10000
 11000
 12000
 13000
 14000
 15000
 16000
 17000
 18000
 19000
 20000
 21000
 22000
 23000
 24000
 25000
 26000
 27000
 28000
 29000
 30000
 31000
 32000
 33000
 34000
 35000
 36000
 37000
 38000
 39000
 40000
 41000
 42000
 43000
 44000
 45000
 46000
 47000
 48000
 49000
 50000
 51000
 52000
 53000
 54000
 55000
 56000
 57000
 58000
 59000
 60000
 61000
 62000
 63000
 64000
 65000
 66000
 67000
 68000
 69000
 70000
 71000
 72000
 73000
 74000
 75000
 76000
 77000
 78000
 79000
 80000
 81000
 82000
 83000
 84000
 85000
 86000
 87000
 88000
 89000
 90000
 91000
 92000
 93000
 94000
 95000
 96000
 97000
 98000
 99000
 100000

日本都市開発設計株式会社
 東京都千代田区千代田 1-1-1 日本都市開発ビルディング 10F
 電話 03-3211-1111
 11 A-10
 建築設計図



日本都市開発建設株式会社

建設部 設計課 建築設計部

〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1

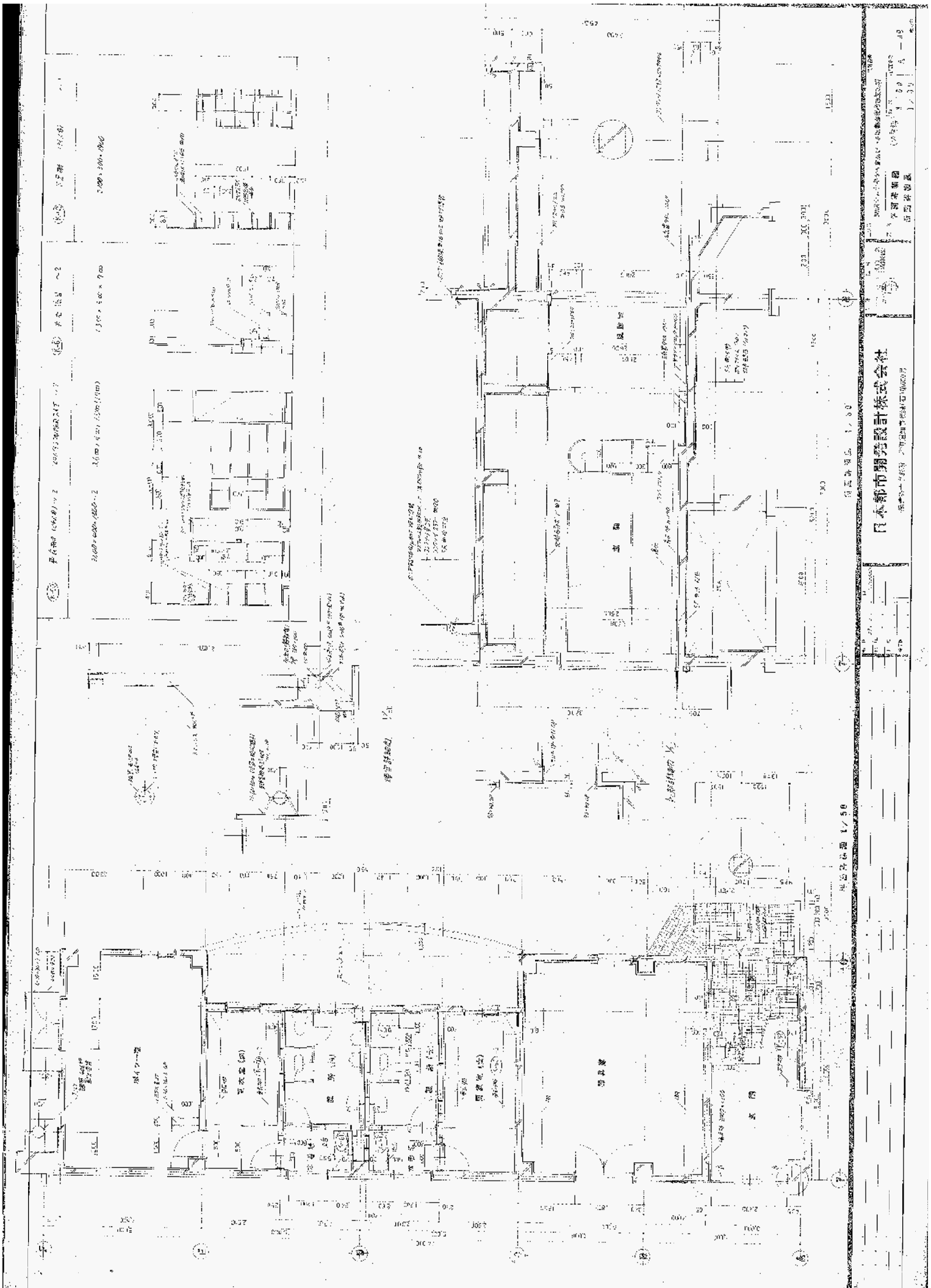
TEL: 03-3211-1111 FAX: 03-3211-1112

代表取締役社長 佐藤 隆夫

代表取締役副社長 佐藤 隆夫

代表取締役専任 佐藤 隆夫

代表取締役専任 佐藤 隆夫



第6号 (900) 1/2 2007年02月27日 1/2
 1100×600 (400) 1/2 3.6m x 4.2m (11m) 1/2
 1200×300 (90) 1/2

第6号 (900) 1/2 2007年02月27日 1/2
 1100×600 (400) 1/2 3.6m x 4.2m (11m) 1/2
 1200×300 (90) 1/2

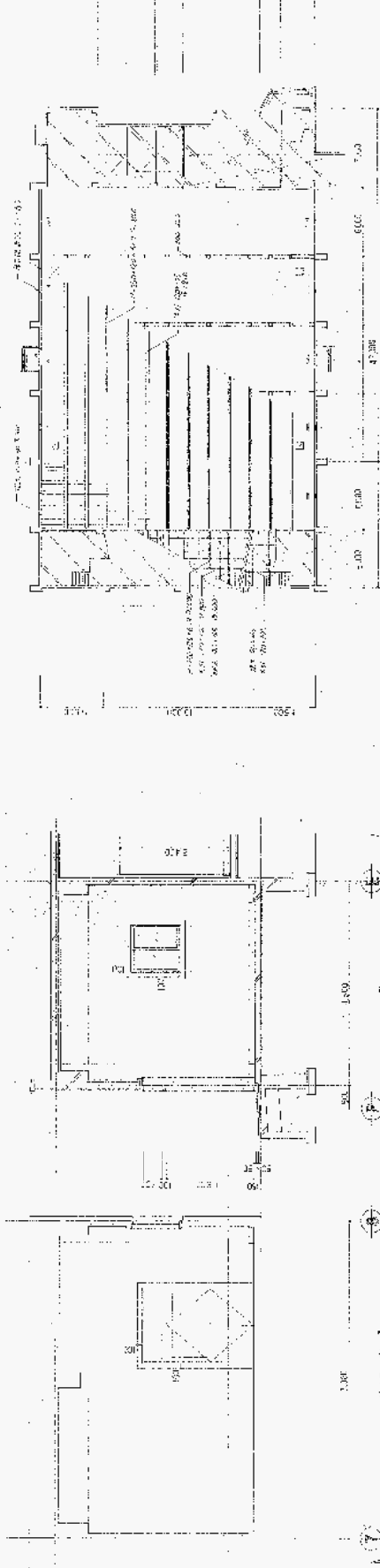
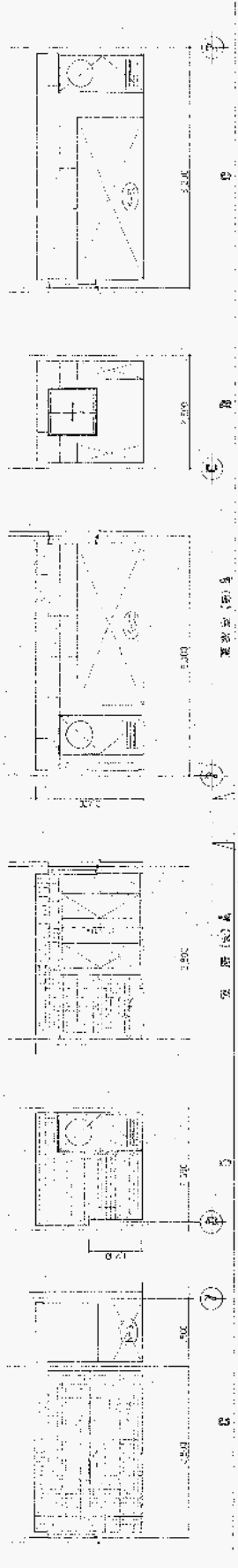
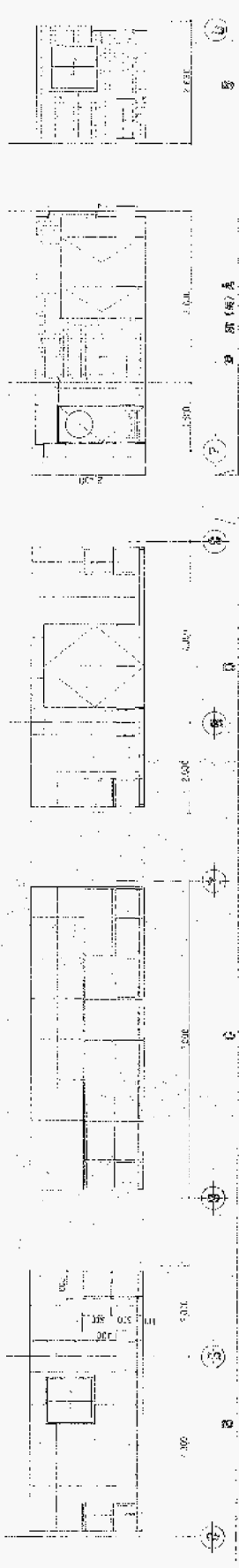
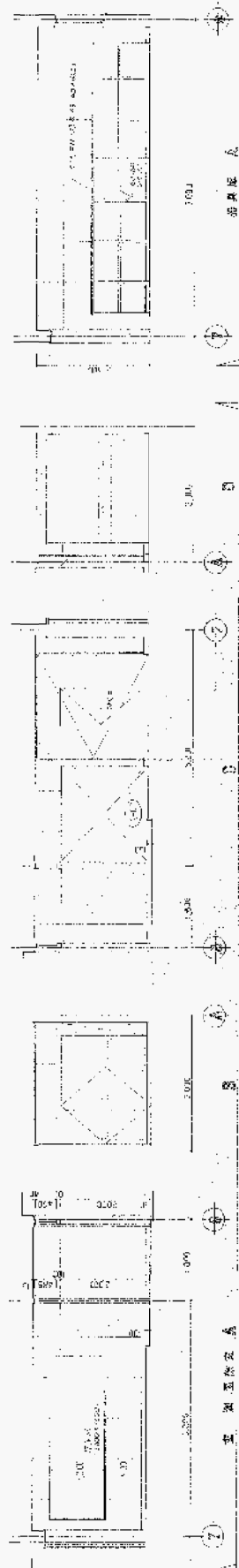
第6号 (900) 1/2 2007年02月27日 1/2
 1100×600 (400) 1/2 3.6m x 4.2m (11m) 1/2
 1200×300 (90) 1/2

1/50
 1/50

1/50
 1/50

日本都市開発設計株式会社
 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
 TEL: 03-5561-1111 FAX: 03-5561-1112

1/50
 1/50

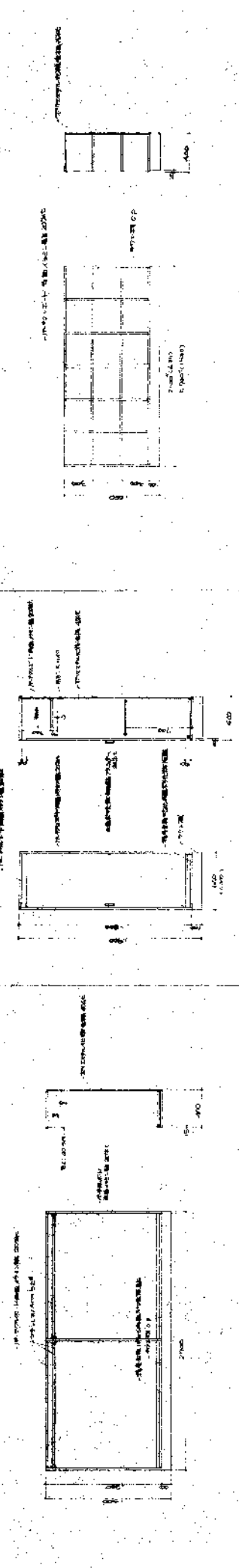


第一階 第二階 第三階 第四階
 第一階 (第一階) 第二階 (第二階) 第三階 (第三階) 第四階 (第四階)

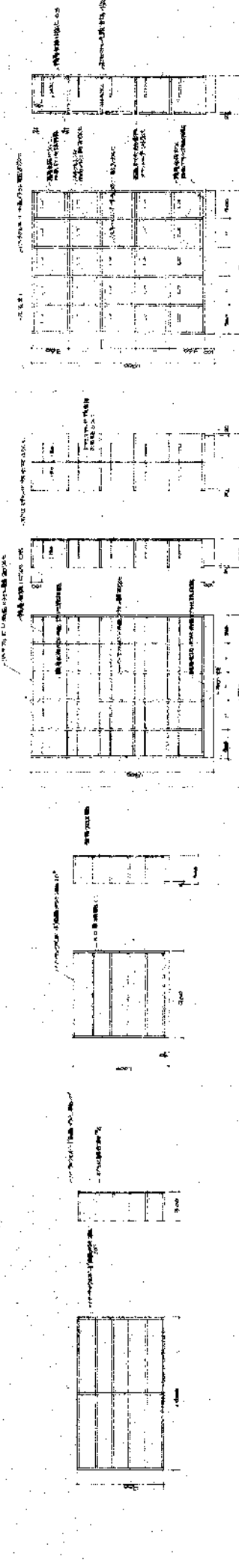
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

日本都市開発設計株式会社
 一級建築士 藤原 隆雄 建築士 藤原 隆雄
 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 日本都市開発設計株式会社
 TEL. 03-5561-1111 FAX. 03-5561-1112
 設計者 藤原 隆雄 建築士 藤原 隆雄
 1/200

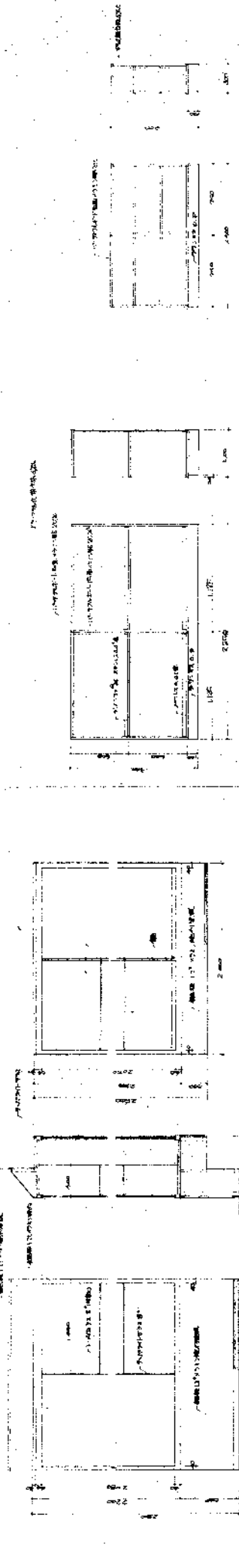
1/20 1/20 1/20 1/20 1/20



1階 1階ホール (観客席) 2階 2階ホール (観客席) 3階 3階ホール (観客席) 4階 4階ホール (観客席)



5階 5階ホール (観客席) 6階 6階ホール (観客席) 7階 7階ホール (観客席) 8階 8階ホール (観客席)



9階 9階ホール (観客席) 10階 10階ホール (観客席) 11階 11階ホール (観客席) 12階 12階ホール (観客席)

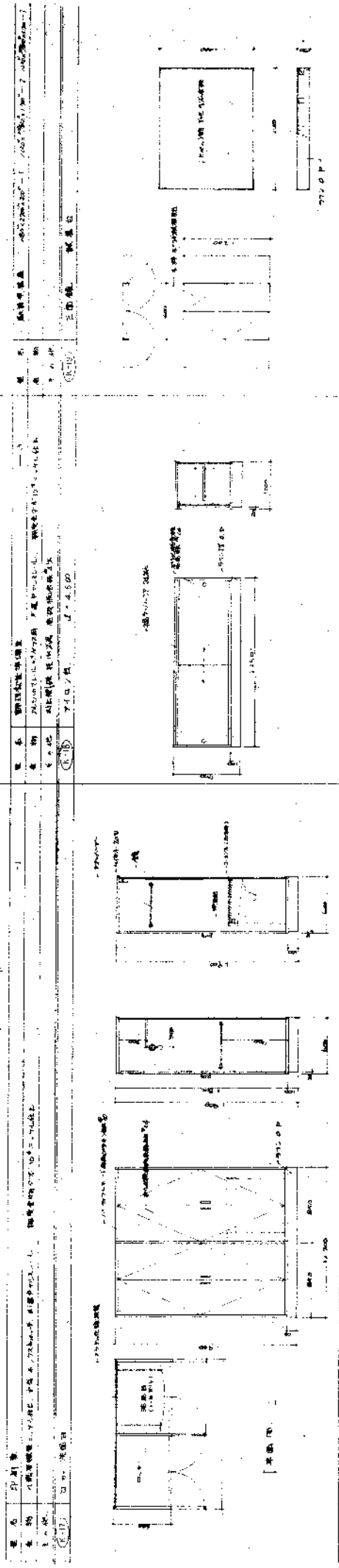
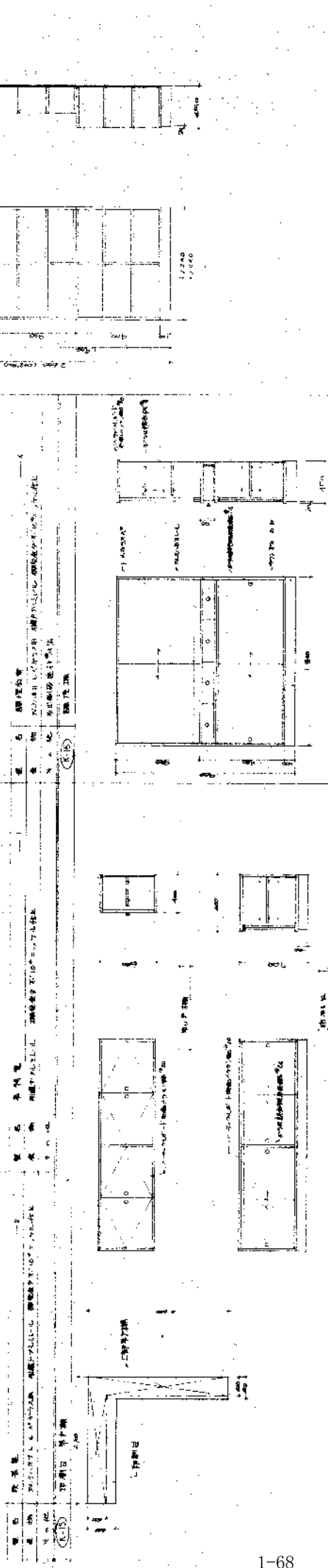
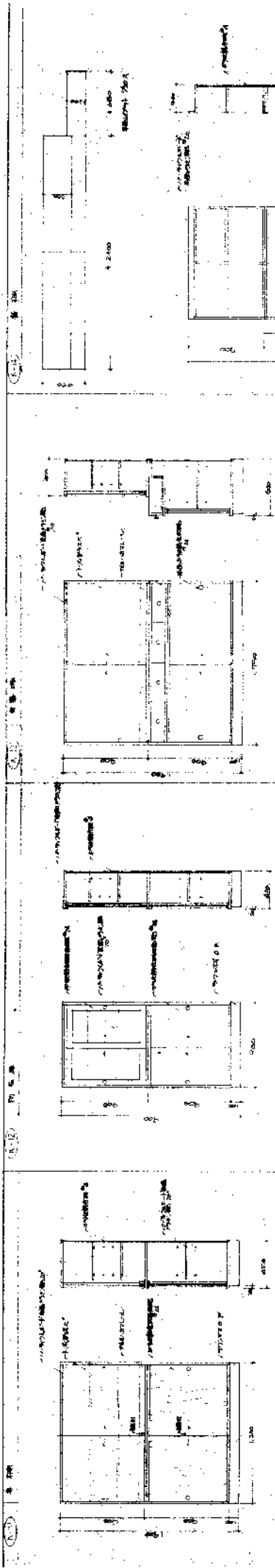
日本都市開発設計株式会社

〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1

TEL 03-5561-1111 FAX 03-5561-1112

代表取締役 佐藤 隆夫

1/20 A



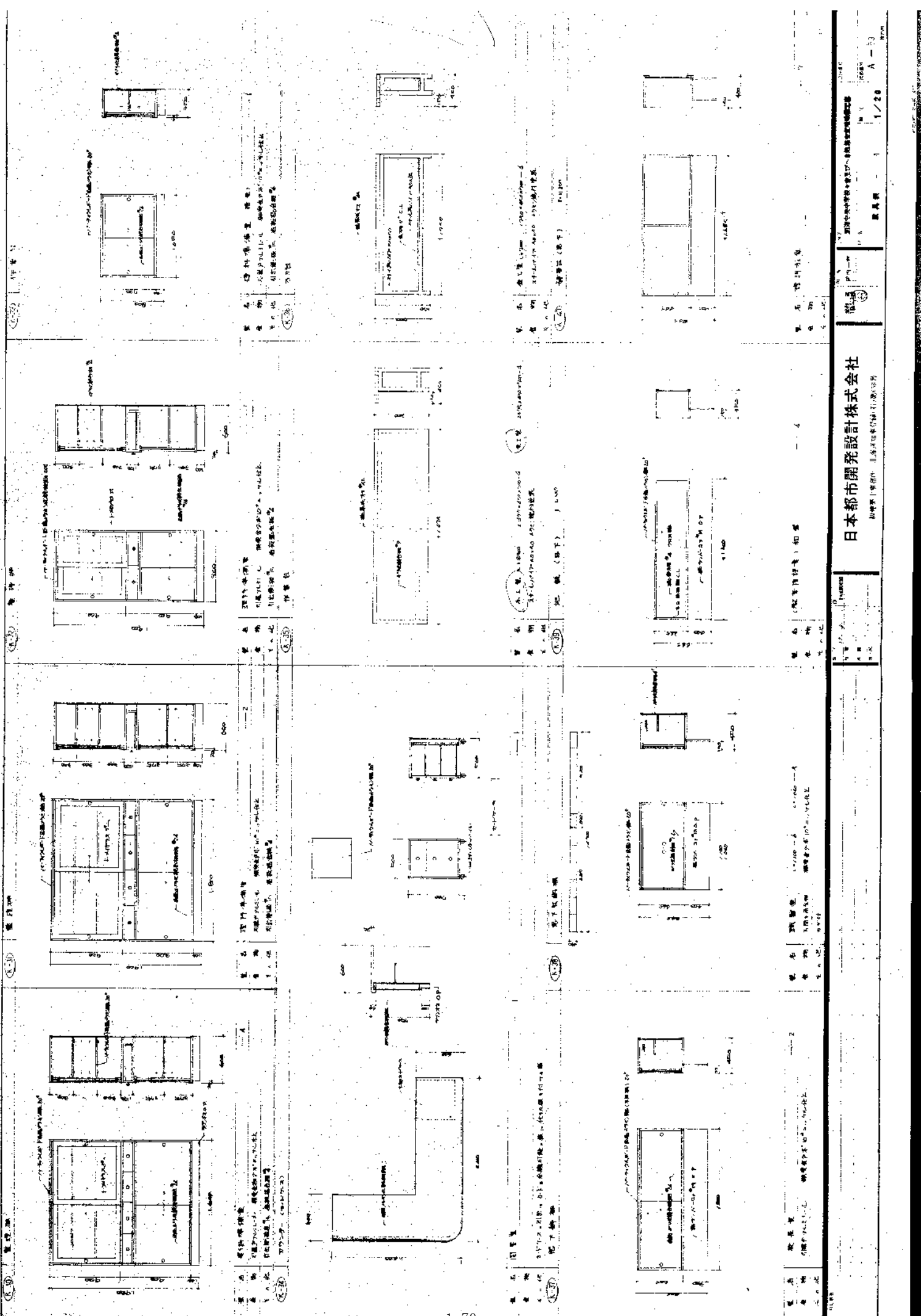
名称 建物 所在地 図面番号	名称 建物 所在地 図面番号	名称 建物 所在地 図面番号	名称 建物 所在地 図面番号
名称 建物 所在地 図面番号	名称 建物 所在地 図面番号	名称 建物 所在地 図面番号	名称 建物 所在地 図面番号

日本都市開発設計株式会社

一級建築士事務所 北海道札幌市中央区南一条西五丁目1番1号

図面番号 1/20 A

1-68



室名 子供部屋 (南側)
 面積 11.1㎡
 備考 机・椅子・本棚・玩具箱・収納棚
 1/200

室名 子供部屋 (北側)
 面積 11.1㎡
 備考 机・椅子・本棚・玩具箱・収納棚
 1/200

室名 子供部屋 (西側)
 面積 11.1㎡
 備考 机・椅子・本棚・玩具箱・収納棚
 1/200

室名 子供部屋 (東側)
 面積 11.1㎡
 備考 机・椅子・本棚・玩具箱・収納棚
 1/200

室名 洗面室 (洗面台)
 面積 3.5㎡
 備考 洗面台・鏡・収納棚
 1/200

室名 洗面室 (洗面台)
 面積 3.5㎡
 備考 洗面台・鏡・収納棚
 1/200

室名 洗面室 (洗面台)
 面積 3.5㎡
 備考 洗面台・鏡・収納棚
 1/200

室名 洗面室 (洗面台)
 面積 3.5㎡
 備考 洗面台・鏡・収納棚
 1/200

室名 洗面室 (洗面台)
 面積 3.5㎡
 備考 洗面台・鏡・収納棚
 1/200

室名 洗面室 (洗面台)
 面積 3.5㎡
 備考 洗面台・鏡・収納棚
 1/200

室名 洗面室 (洗面台)
 面積 3.5㎡
 備考 洗面台・鏡・収納棚
 1/200

室名 洗面室 (洗面台)
 面積 3.5㎡
 備考 洗面台・鏡・収納棚
 1/200

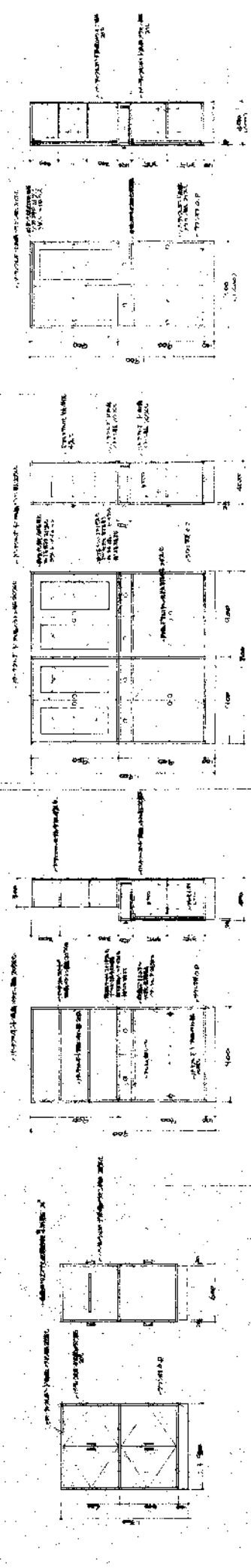
日本都市開発設計株式会社
 東京都千代田区千代田 北橋町4丁目1番1号 110-0001
 TEL: 03-5561-1111 FAX: 03-5561-1112

設計者 日本都市開発設計株式会社
 建築士 日本都市開発設計株式会社
 監理者 日本都市開発設計株式会社

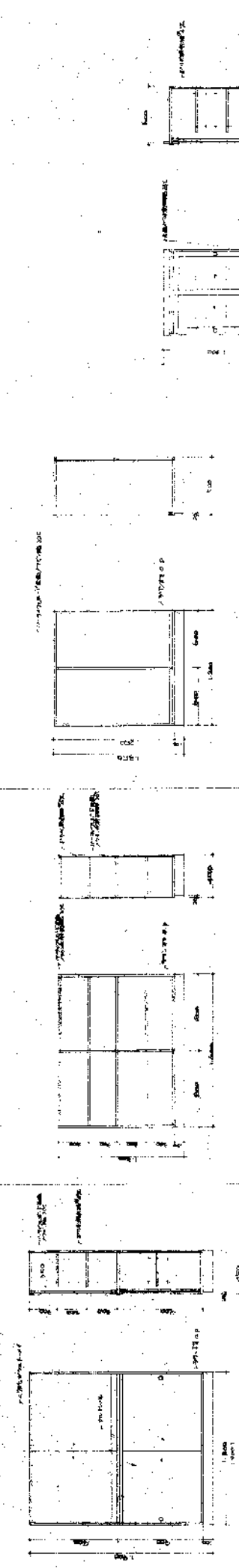
図名 2階平面図
 図号 1/200

1/20 A-30
 1/20 A-30

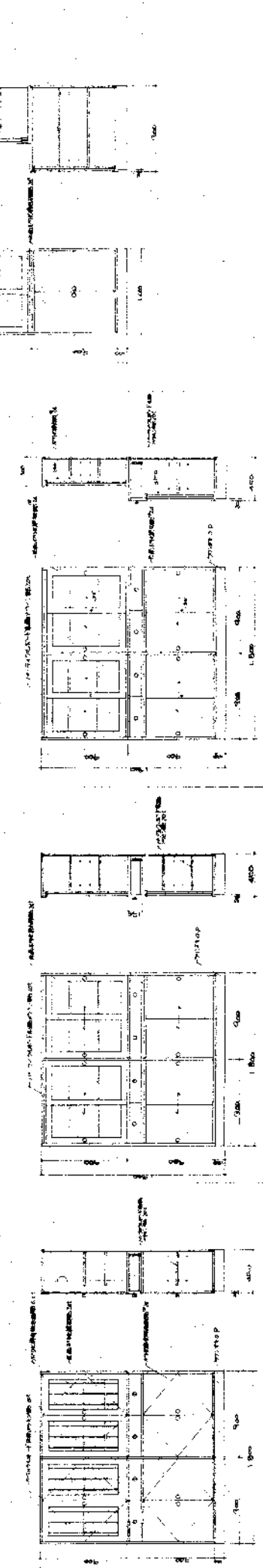
(K-1) (K-2) (K-3) (K-4) (K-5) (K-6) (K-7) (K-8) (K-9) (K-10) (K-11) (K-12) (K-13) (K-14) (K-15) (K-16) (K-17) (K-18) (K-19) (K-20)



製品名 窓枠
 品番 窓枠用 窓枠用
 仕様 窓枠用 窓枠用
 寸法 窓枠用 窓枠用
 重量 窓枠用 窓枠用
 備考 窓枠用 窓枠用



製品名 窓枠
 品番 窓枠用 窓枠用
 仕様 窓枠用 窓枠用
 寸法 窓枠用 窓枠用
 重量 窓枠用 窓枠用
 備考 窓枠用 窓枠用



製品名 窓枠
 品番 窓枠用 窓枠用
 仕様 窓枠用 窓枠用
 寸法 窓枠用 窓枠用
 重量 窓枠用 窓枠用
 備考 窓枠用 窓枠用

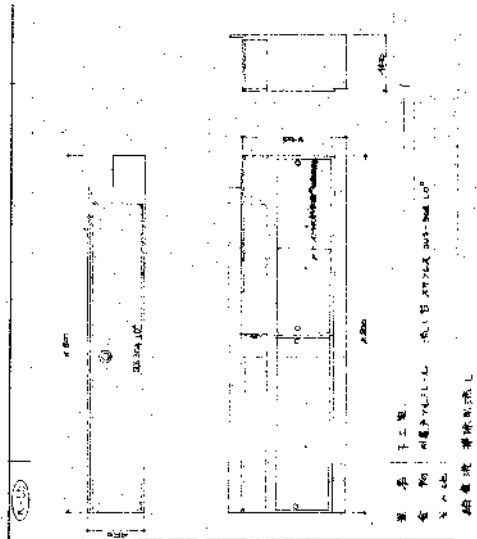
日本都市開発設計株式会社

東京都千代田区北千住 北千住ビルディング1001号室

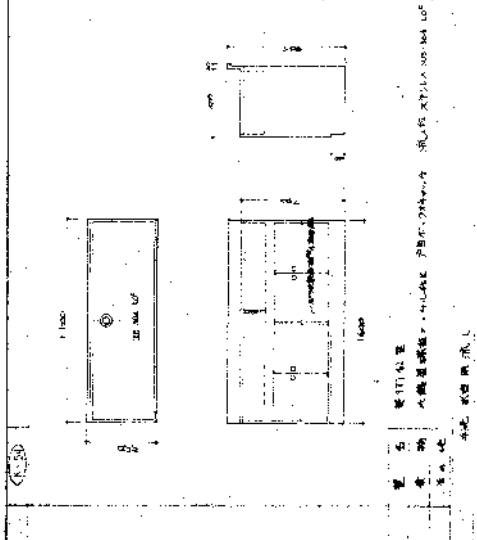
電話 03-5621-1111
 電報 5621
 郵便 1120 A-01

代表取締役 佐藤 隆夫
 取締役 佐藤 隆夫
 取締役 佐藤 隆夫

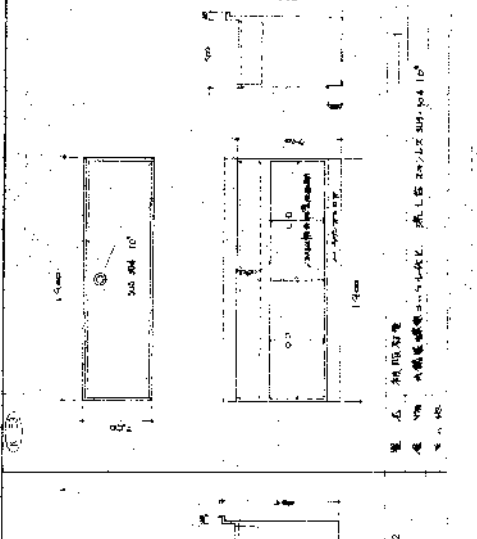
〒1120 A-01
 東京都千代田区北千住 1-71-1



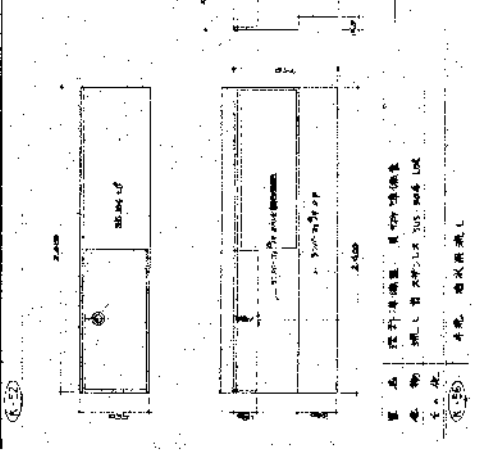
第5号 下工室
 名称 下工室
 面積 2,400 x 1,200
 用途 下工室
 構造 鋼骨鉄筋コンクリート造
 階数 1階



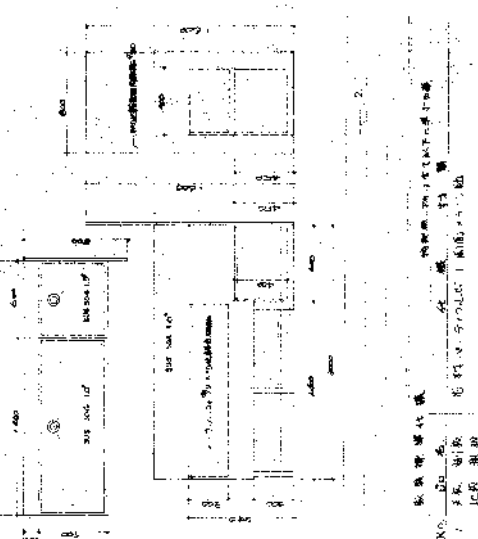
第6号 印刷室
 名称 印刷室
 面積 2,400 x 1,200
 用途 印刷室
 構造 鋼骨鉄筋コンクリート造
 階数 1階



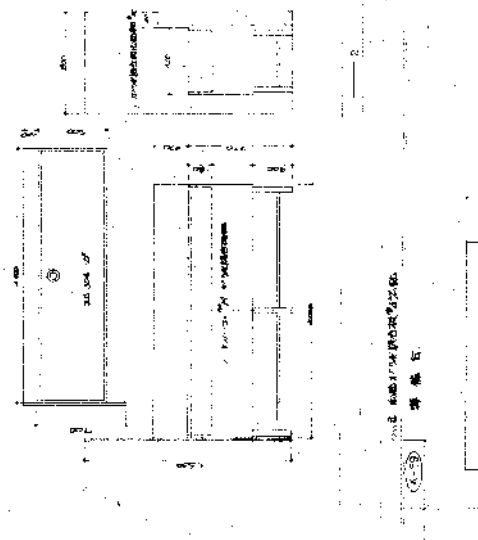
第7号 印刷室
 名称 印刷室
 面積 2,400 x 1,200
 用途 印刷室
 構造 鋼骨鉄筋コンクリート造
 階数 1階



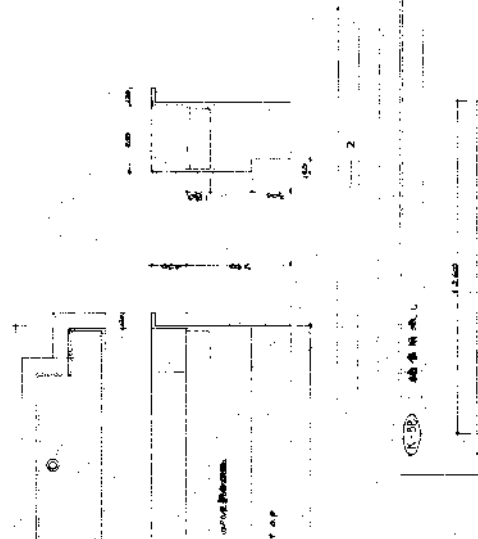
第8号 水吉庫
 名称 水吉庫
 面積 6,400 x 3,600
 用途 水吉庫
 構造 鋼骨鉄筋コンクリート造
 階数 1階



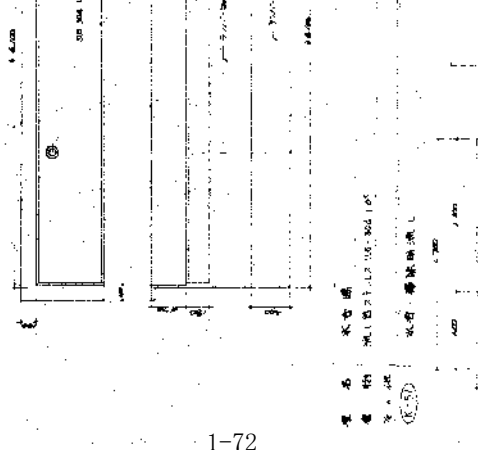
第9号 水吉庫
 名称 水吉庫
 面積 6,400 x 3,600
 用途 水吉庫
 構造 鋼骨鉄筋コンクリート造
 階数 1階



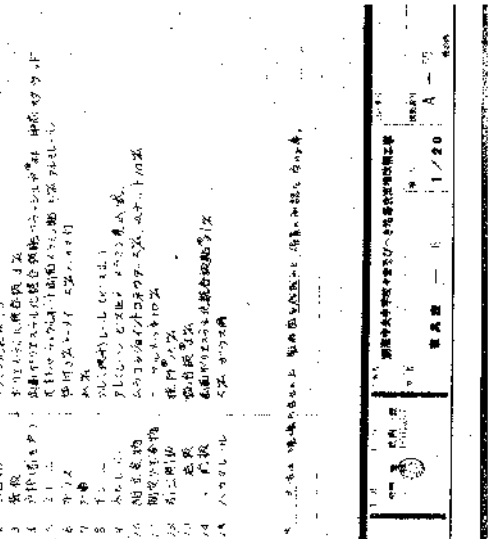
第10号 水吉庫
 名称 水吉庫
 面積 6,400 x 3,600
 用途 水吉庫
 構造 鋼骨鉄筋コンクリート造
 階数 1階



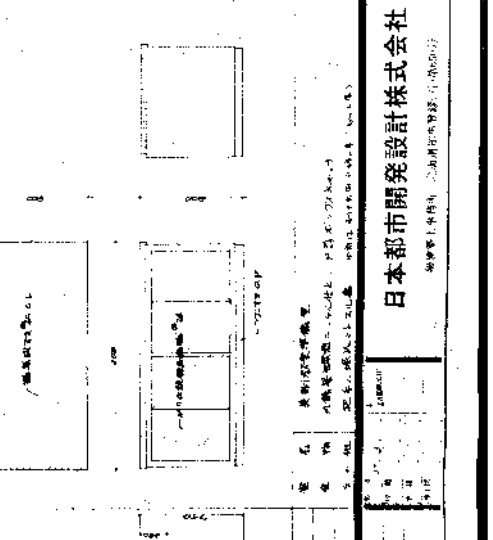
第11号 水吉庫
 名称 水吉庫
 面積 6,400 x 3,600
 用途 水吉庫
 構造 鋼骨鉄筋コンクリート造
 階数 1階



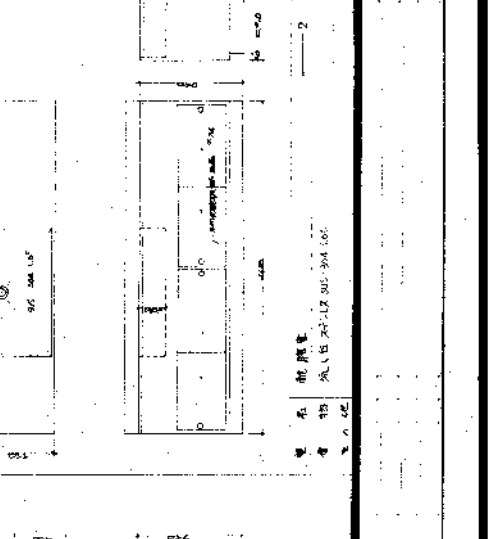
第12号 水吉庫
 名称 水吉庫
 面積 6,400 x 3,600
 用途 水吉庫
 構造 鋼骨鉄筋コンクリート造
 階数 1階



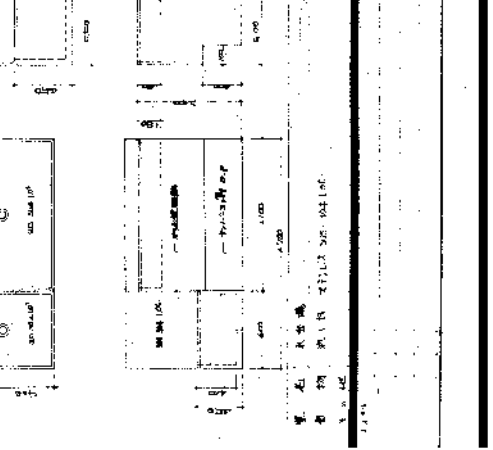
第13号 水吉庫
 名称 水吉庫
 面積 6,400 x 3,600
 用途 水吉庫
 構造 鋼骨鉄筋コンクリート造
 階数 1階



第14号 水吉庫
 名称 水吉庫
 面積 6,400 x 3,600
 用途 水吉庫
 構造 鋼骨鉄筋コンクリート造
 階数 1階



第15号 水吉庫
 名称 水吉庫
 面積 6,400 x 3,600
 用途 水吉庫
 構造 鋼骨鉄筋コンクリート造
 階数 1階



第16号 水吉庫
 名称 水吉庫
 面積 6,400 x 3,600
 用途 水吉庫
 構造 鋼骨鉄筋コンクリート造
 階数 1階

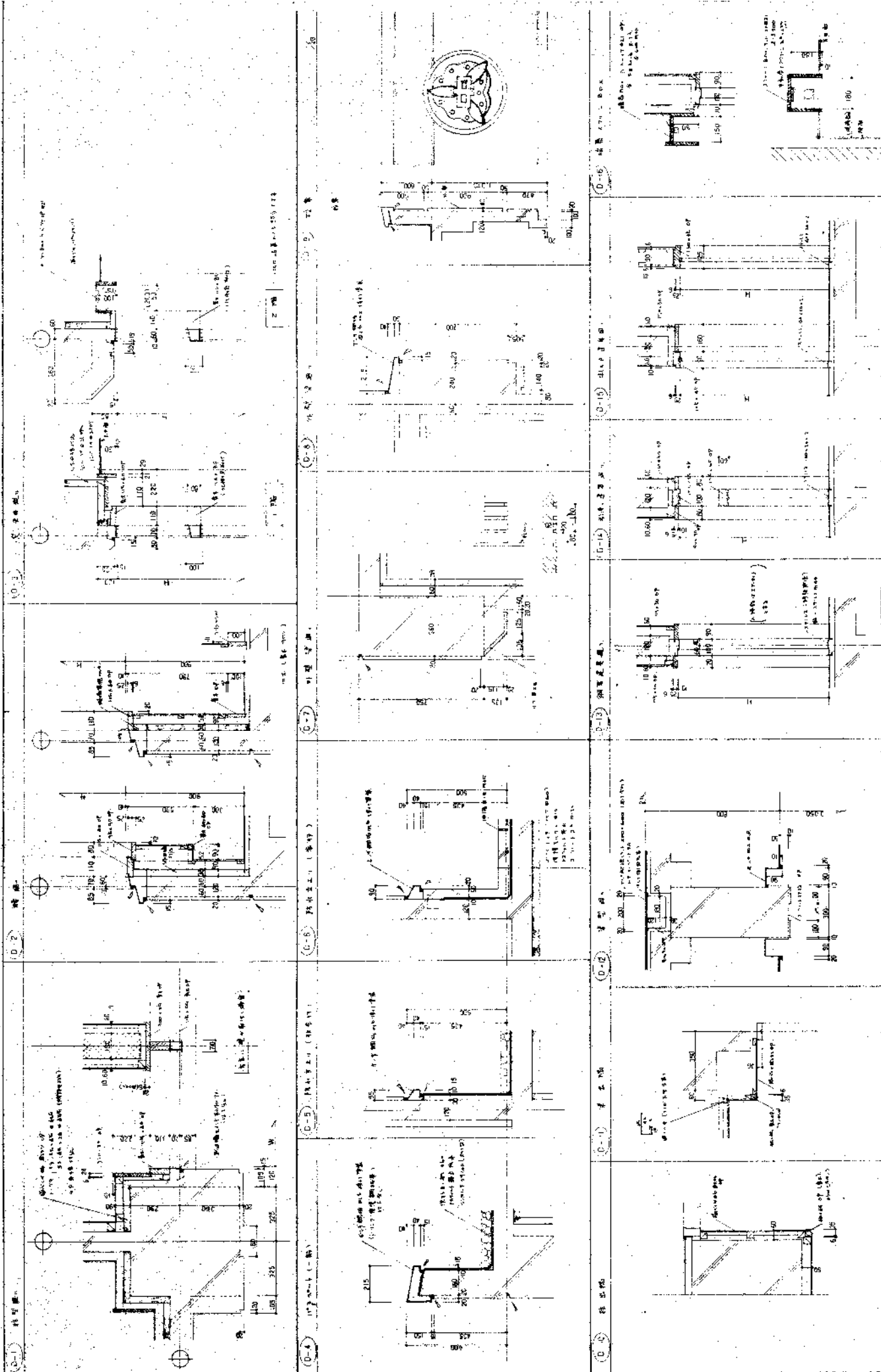
第13号 水吉庫
 名称 水吉庫
 面積 6,400 x 3,600
 用途 水吉庫
 構造 鋼骨鉄筋コンクリート造
 階数 1階

第14号 水吉庫
 名称 水吉庫
 面積 6,400 x 3,600
 用途 水吉庫
 構造 鋼骨鉄筋コンクリート造
 階数 1階

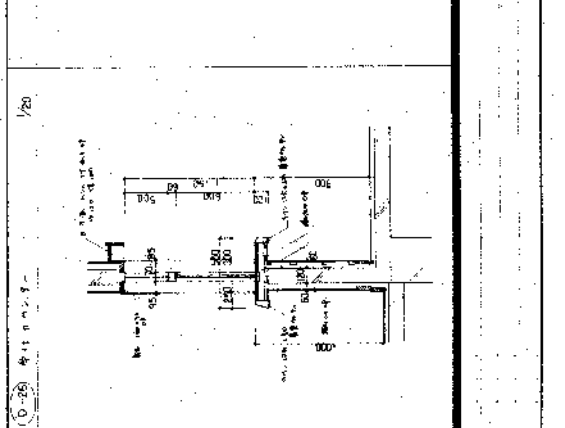
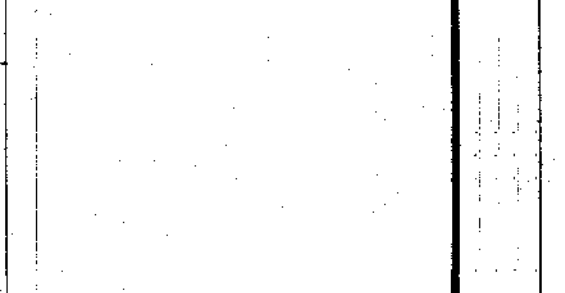
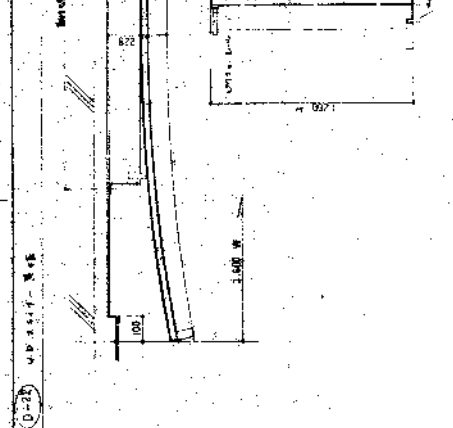
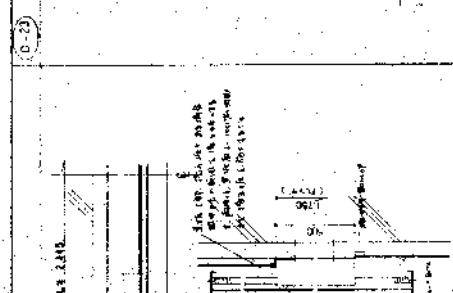
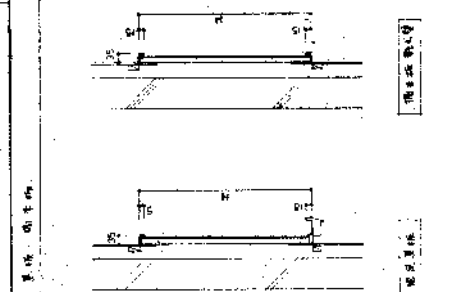
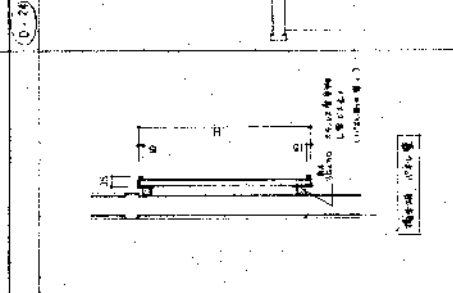
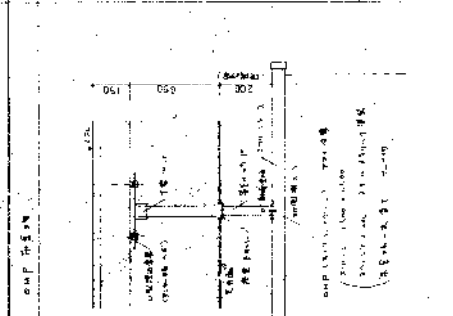
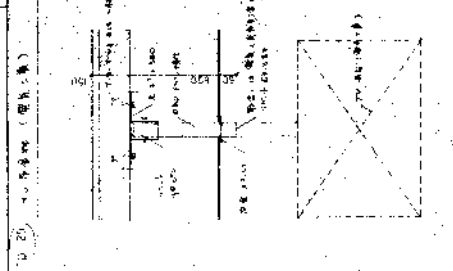
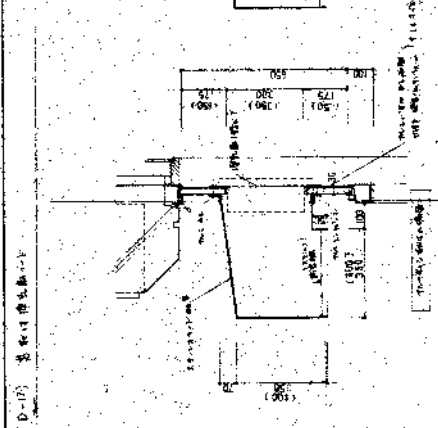
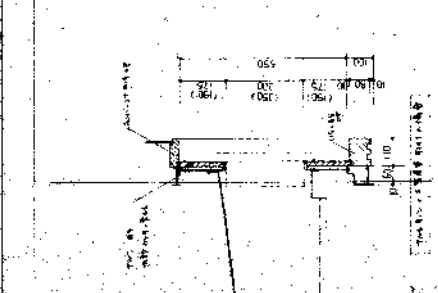
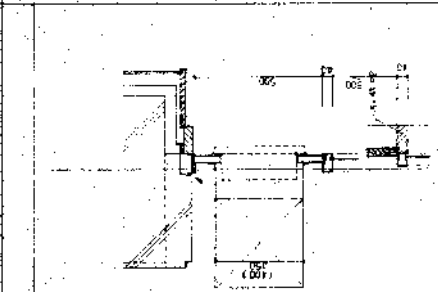
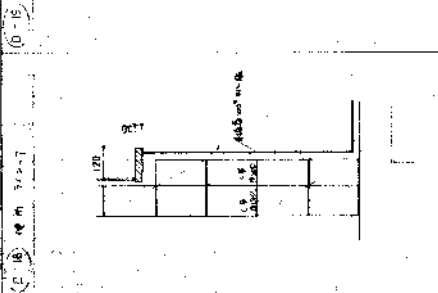
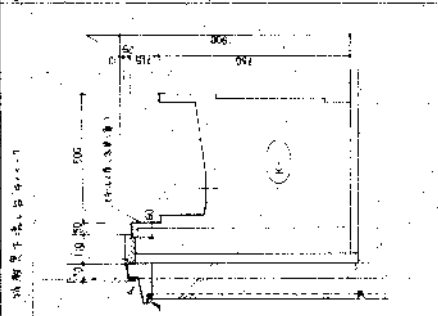
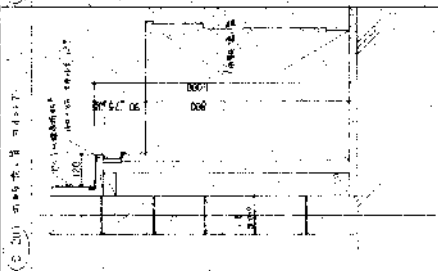
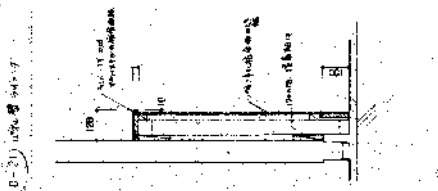
第15号 水吉庫
 名称 水吉庫
 面積 6,400 x 3,600
 用途 水吉庫
 構造 鋼骨鉄筋コンクリート造
 階数 1階

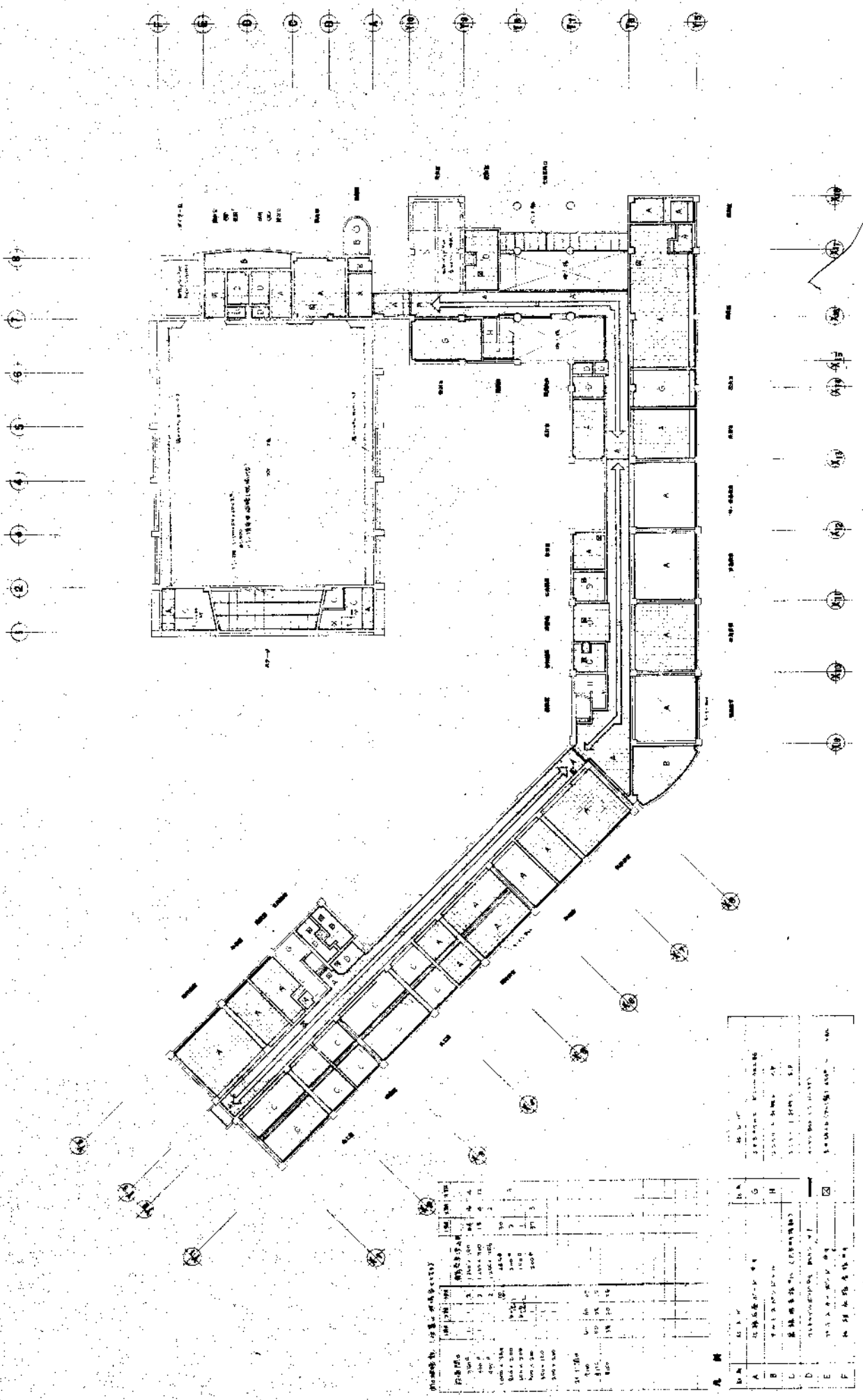
第16号 水吉庫
 名称 水吉庫
 面積 6,400 x 3,600
 用途 水吉庫
 構造 鋼骨鉄筋コンクリート造
 階数 1階

日本都市開発設計株式会社
 東京都千代田区千代田 1-1-1
 電話 03-5561-1111
 本社 東京都千代田区千代田 1-1-1
 支社 東京都千代田区千代田 1-1-1



日本都市開発設計株式会社
 東京都中央区本町二丁目一丁目
 電話 313-1110





諸君の注意 (Attention to all)

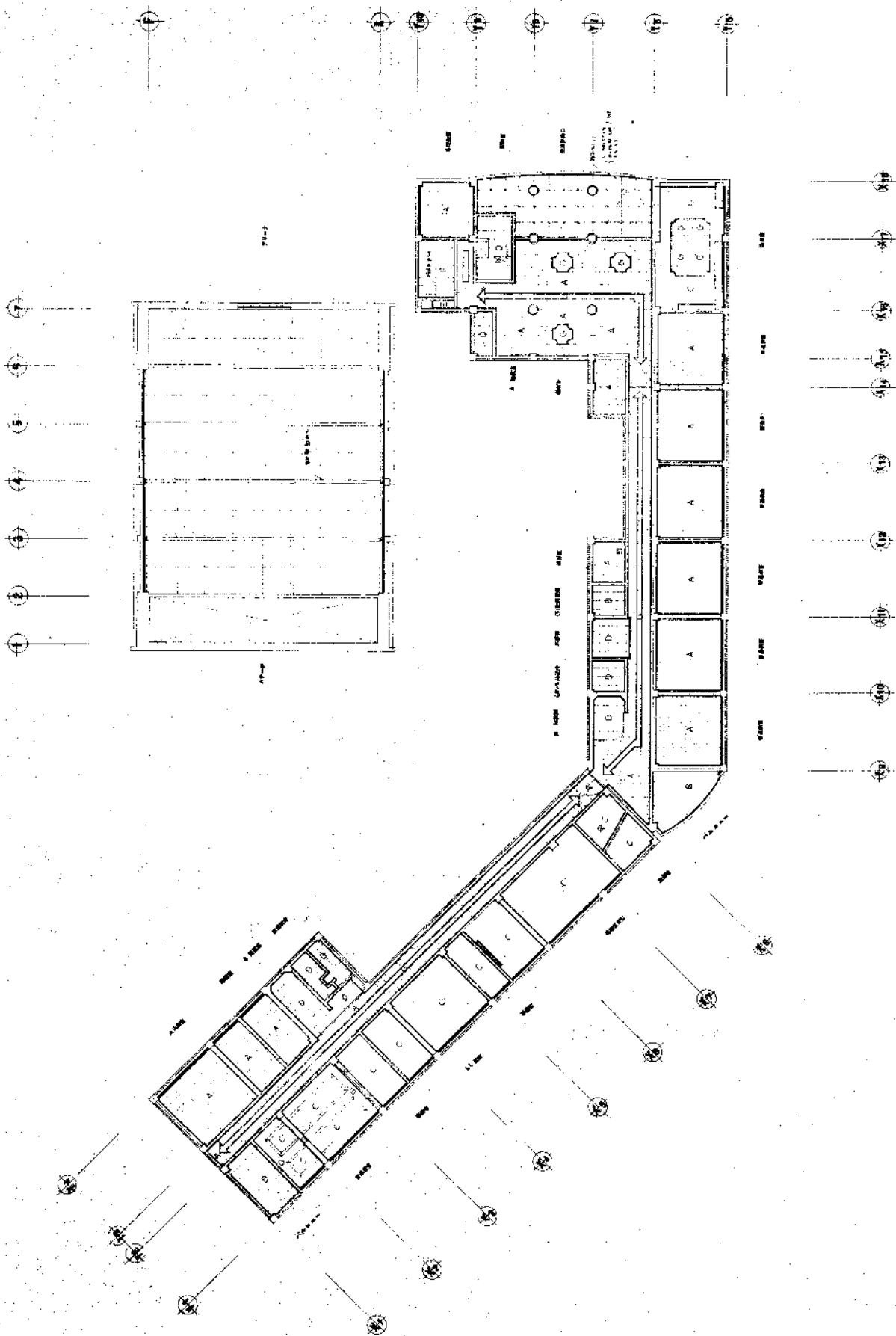
階層 (Floor)	用途 (Use)	面積 (Area)	備考 (Remarks)
1F	事務所 (Office)	1,200 sqm	
2F	会議室 (Meeting Room)	800 sqm	
3F	倉庫 (Warehouse)	2,500 sqm	
4F	倉庫 (Warehouse)	2,500 sqm	
5F	倉庫 (Warehouse)	2,500 sqm	
6F	倉庫 (Warehouse)	2,500 sqm	
7F	倉庫 (Warehouse)	2,500 sqm	
8F	倉庫 (Warehouse)	2,500 sqm	
9F	倉庫 (Warehouse)	2,500 sqm	
10F	倉庫 (Warehouse)	2,500 sqm	
11F	倉庫 (Warehouse)	2,500 sqm	
12F	倉庫 (Warehouse)	2,500 sqm	

凡例 (Legend)

A	1階事務所 (1st Floor Office)
B	2階会議室 (2nd Floor Meeting Room)
C	3階倉庫 (3rd Floor Warehouse)
D	4階倉庫 (4th Floor Warehouse)
E	5階倉庫 (5th Floor Warehouse)
F	6階倉庫 (6th Floor Warehouse)
G	7階倉庫 (7th Floor Warehouse)
H	8階倉庫 (8th Floor Warehouse)

日本都市開発設計株式会社

建築士事務所 (Architectural Firm)
 〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1
 電話: 03-1234-5678
 1/200



日本都市開発設計株式会社

東京都千代田区北千住1-1-1 第59号

1/200

2 階 天井図面

1/200

1/200

1/200

1/200

1/200

1/200

1/200

1/200

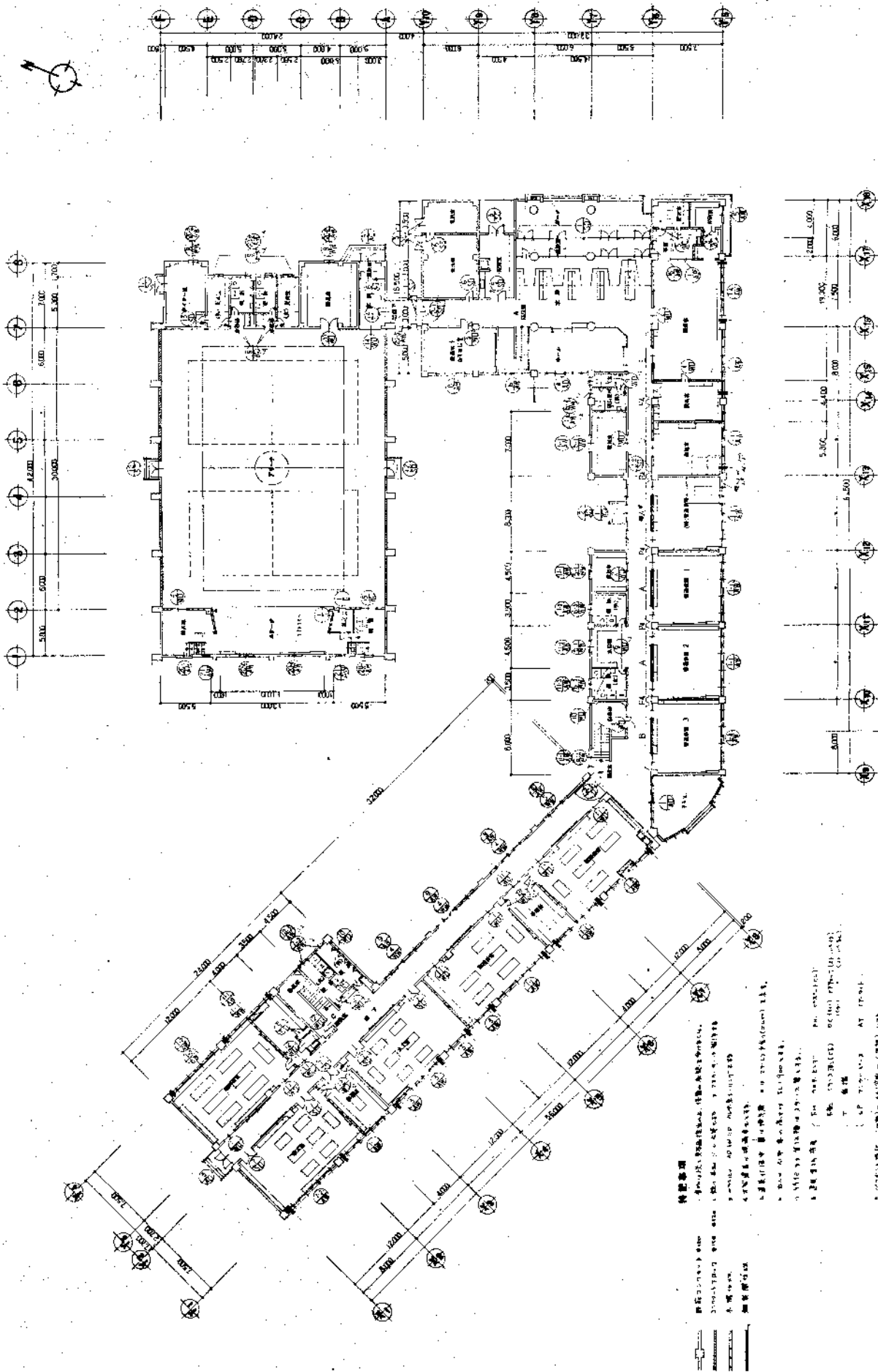
1/200

1/200

1/200

1/200

1/200



特記事項

1. 本図は、建築設計の最終段階に於ける平面図を示す。構造、設備、仕上り等は、別途の図面を参照せよ。

2. 本図は、建築設計の最終段階に於ける平面図を示す。構造、設備、仕上り等は、別途の図面を参照せよ。

3. 本図は、建築設計の最終段階に於ける平面図を示す。構造、設備、仕上り等は、別途の図面を参照せよ。

4. 本図は、建築設計の最終段階に於ける平面図を示す。構造、設備、仕上り等は、別途の図面を参照せよ。

5. 本図は、建築設計の最終段階に於ける平面図を示す。構造、設備、仕上り等は、別途の図面を参照せよ。

6. 本図は、建築設計の最終段階に於ける平面図を示す。構造、設備、仕上り等は、別途の図面を参照せよ。

7. 本図は、建築設計の最終段階に於ける平面図を示す。構造、設備、仕上り等は、別途の図面を参照せよ。

8. 本図は、建築設計の最終段階に於ける平面図を示す。構造、設備、仕上り等は、別途の図面を参照せよ。

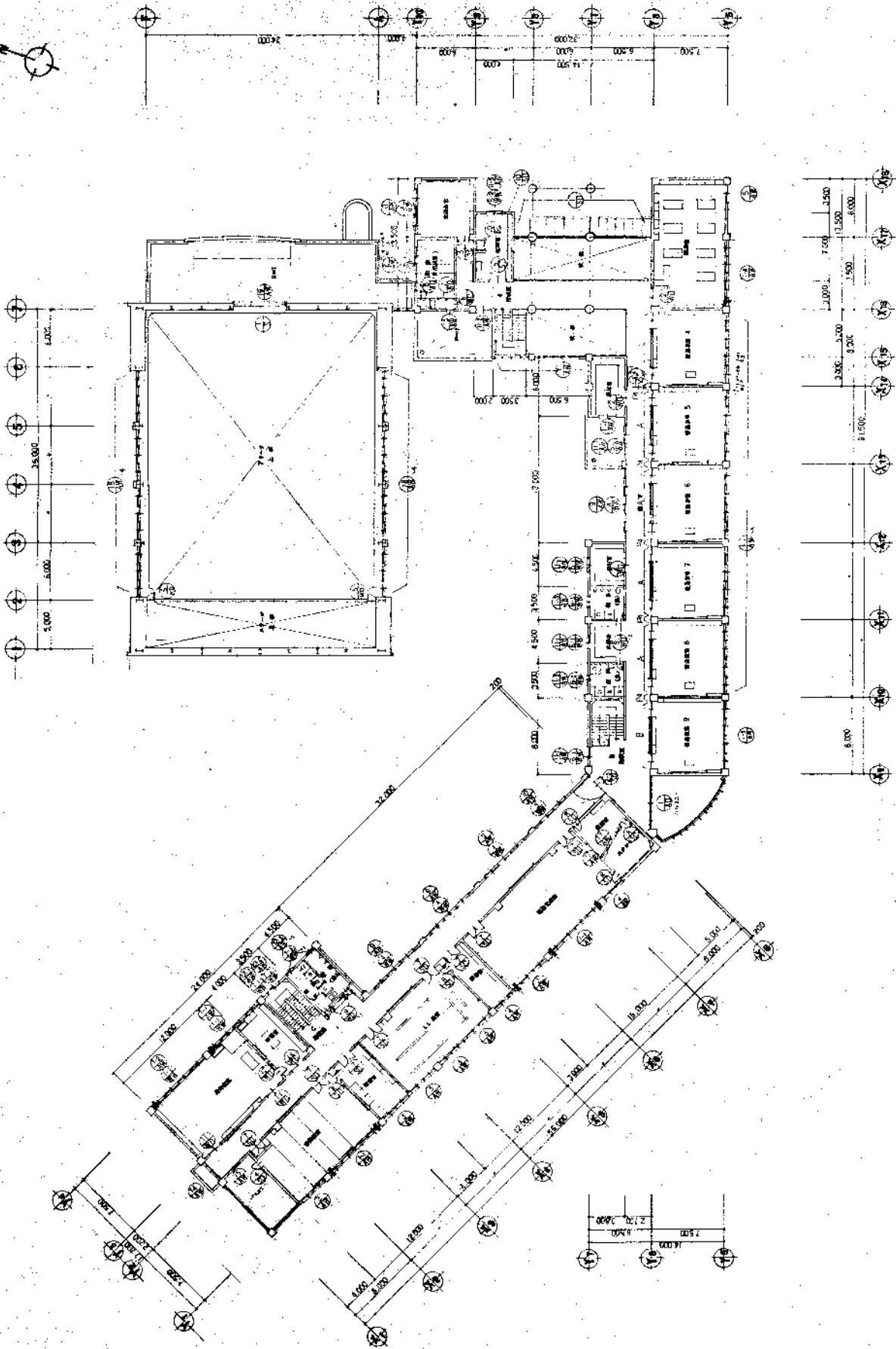
9. 本図は、建築設計の最終段階に於ける平面図を示す。構造、設備、仕上り等は、別途の図面を参照せよ。

10. 本図は、建築設計の最終段階に於ける平面図を示す。構造、設備、仕上り等は、別途の図面を参照せよ。

日本都市開発設計株式会社

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

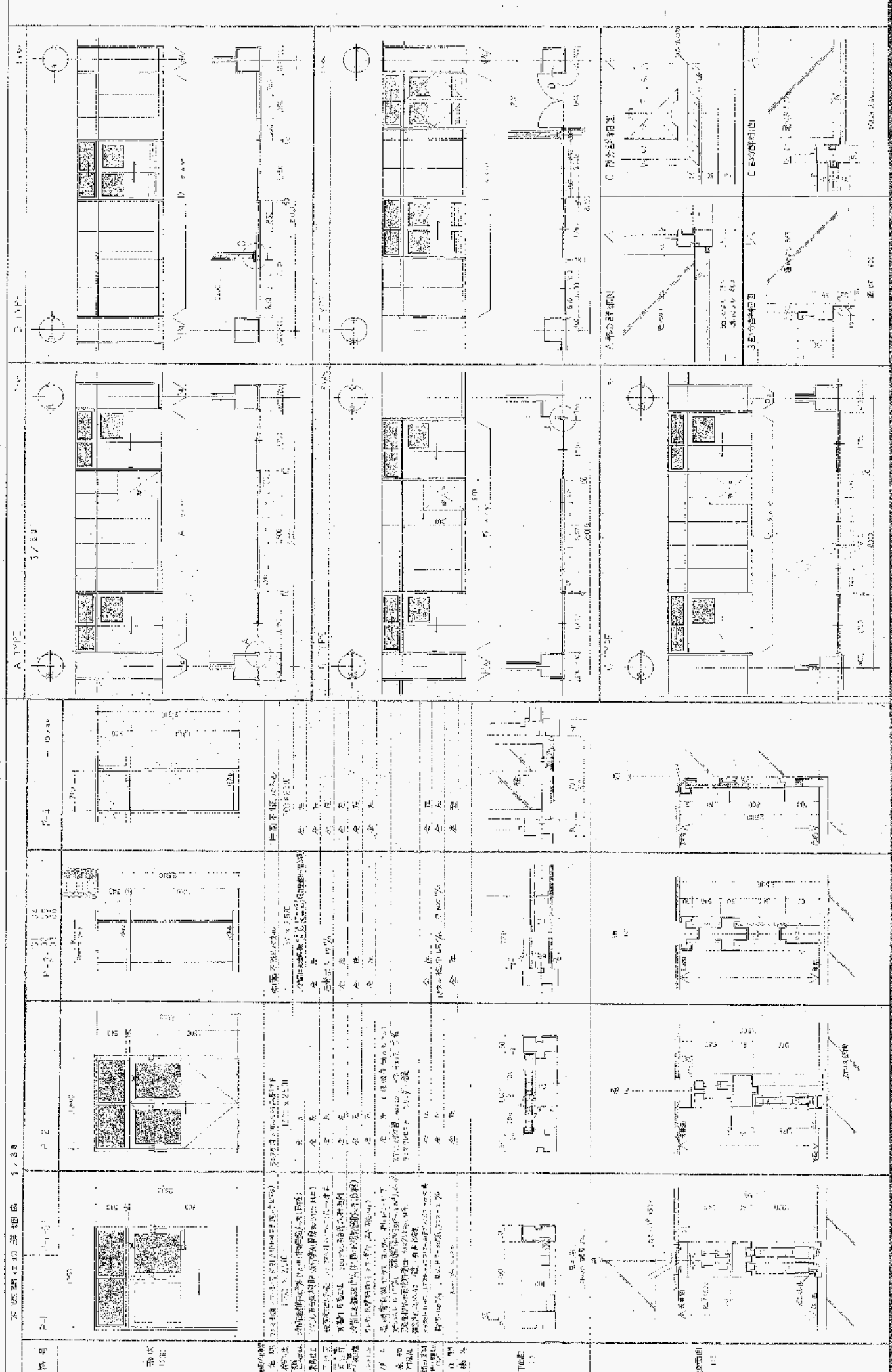
1/200 A



2018.10		株式会社開発設計株式会社		〒113-8501 東京都荒川区西日暮里1-1-1 日暮里ビル1001号		1/200		A-01	
2018.10		2 階 平面図		2 階 平面図		1/200		A-01	
2018.10		2 階 平面図		2 階 平面図		1/200		A-01	

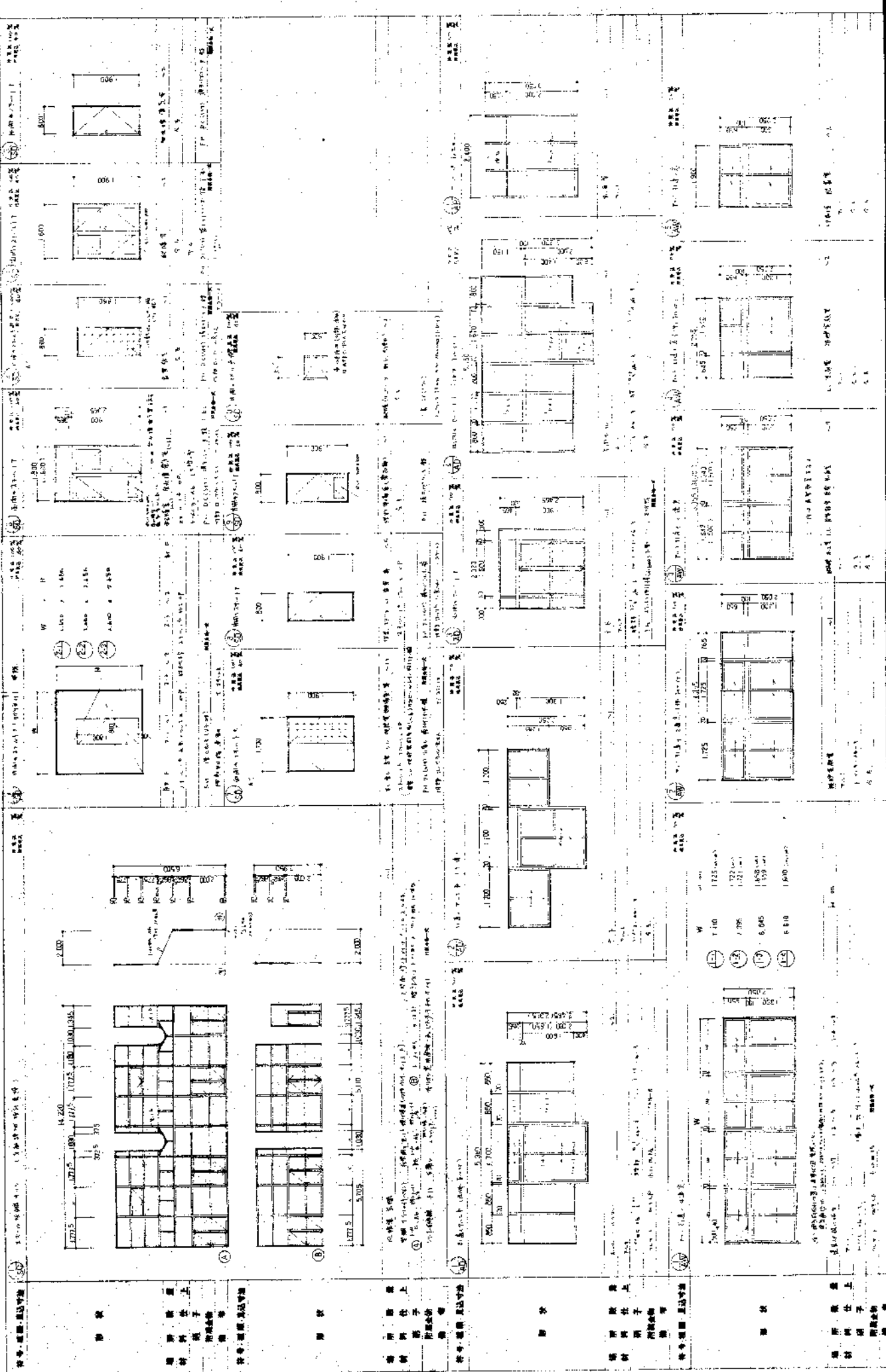
日本都市開發設計株式會社

建築士事務所 建築設計事務所



水暖配管工程 1/200

水暖配管工程 1/200



日本都市開発設計株式会社

東京都中央区本町二丁目一番地

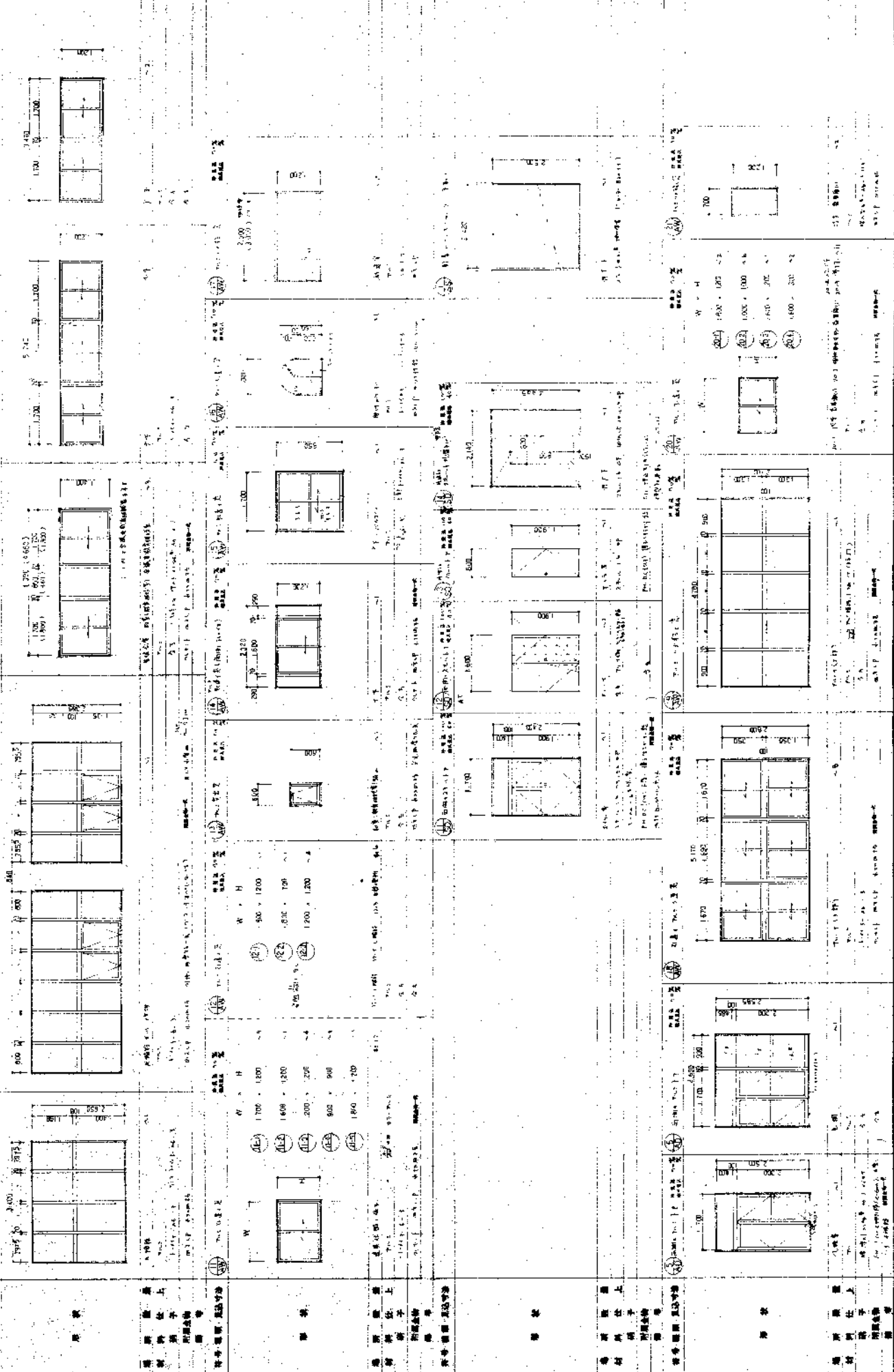
建築士 〇〇〇〇

設計士 〇〇〇〇

監理士 〇〇〇〇

図面番号: 1/50 A-10

1. 建築士事務所
 2. 建築士事務所
 3. 建築士事務所
 4. 建築士事務所
 5. 建築士事務所
 6. 建築士事務所
 7. 建築士事務所
 8. 建築士事務所
 9. 建築士事務所
 10. 建築士事務所



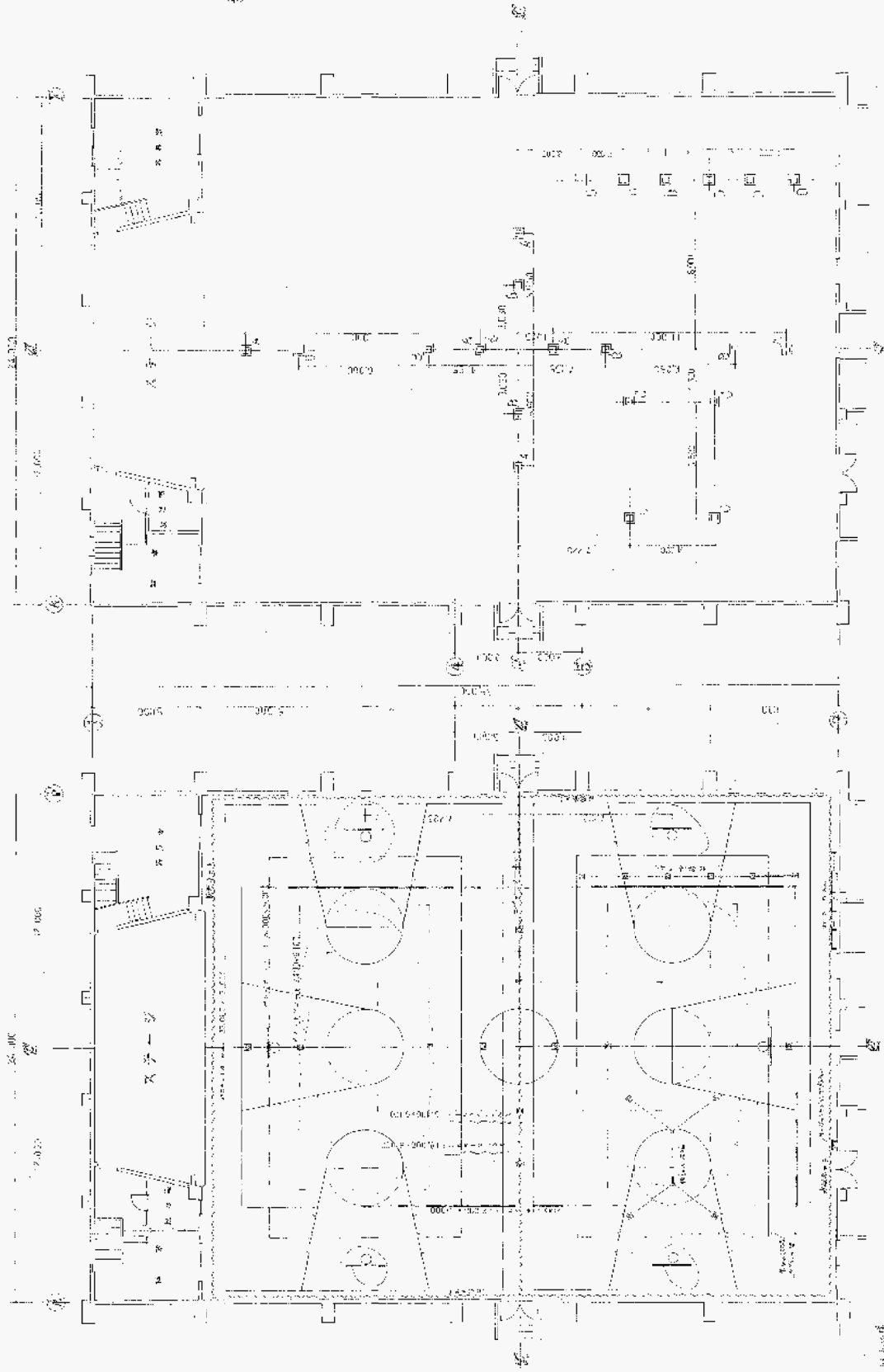
日本都市開発設計株式会社
 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
 TEL: 03-5561-1111
 FAX: 03-5561-1112
 E-MAIL: info@nissokai.co.jp
 代表取締役社長 北原誠司
 代表取締役副社長 北原誠一
 代表取締役 北原誠二
 代表取締役 北原誠三
 代表取締役 北原誠四
 代表取締役 北原誠五
 代表取締役 北原誠六
 代表取締役 北原誠七
 代表取締役 北原誠八
 代表取締役 北原誠九
 代表取締役 北原誠十

<p>標準断面 1/50</p> <p>標準断面 1/50</p>	<p>標準断面 1/50</p> <p>標準断面 1/50</p>	<p>標準断面 1/50</p> <p>標準断面 1/50</p>	<p>標準断面 1/50</p> <p>標準断面 1/50</p>	<p>標準断面 1/50</p> <p>標準断面 1/50</p>	<p>標準断面 1/50</p> <p>標準断面 1/50</p>	<p>標準断面 1/50</p> <p>標準断面 1/50</p>	<p>標準断面 1/50</p> <p>標準断面 1/50</p>	<p>標準断面 1/50</p> <p>標準断面 1/50</p>
<p>標準断面 1/50</p>	<p>標準断面 1/50</p>	<p>標準断面 1/50</p>	<p>標準断面 1/50</p>	<p>標準断面 1/50</p>	<p>標準断面 1/50</p>	<p>標準断面 1/50</p>	<p>標準断面 1/50</p>	<p>標準断面 1/50</p>

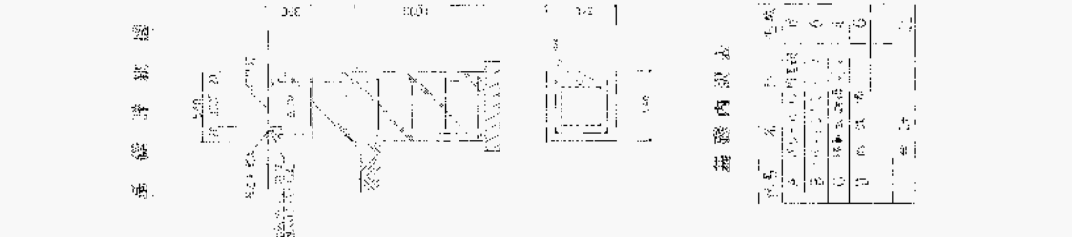

日本都市開発設計株式会社
 東京都中央区新富町一丁目1番1号
 TEL: 03-5561-1111 FAX: 03-5561-1112
 E-MAIL: info@nippon-kaikaku.com

標準断面 1/50 A-100
 1/50

器具の下の設備部



基礎平面図



基礎断面図

階層	名称	面積	用途
1	1階	1,200.00	講義室
2	2階	1,200.00	図書室
3	3階	1,200.00	図書室
4	4階	1,200.00	図書室
5	5階	1,200.00	図書室
6	6階	1,200.00	図書室
7	7階	1,200.00	図書室
8	8階	1,200.00	図書室
9	9階	1,200.00	図書室
10	10階	1,200.00	図書室
11	11階	1,200.00	図書室
12	12階	1,200.00	図書室
13	13階	1,200.00	図書室
14	14階	1,200.00	図書室
15	15階	1,200.00	図書室
16	16階	1,200.00	図書室
17	17階	1,200.00	図書室
18	18階	1,200.00	図書室
19	19階	1,200.00	図書室
20	20階	1,200.00	図書室
21	21階	1,200.00	図書室
22	22階	1,200.00	図書室
23	23階	1,200.00	図書室
24	24階	1,200.00	図書室
25	25階	1,200.00	図書室
26	26階	1,200.00	図書室
27	27階	1,200.00	図書室
28	28階	1,200.00	図書室
29	29階	1,200.00	図書室
30	30階	1,200.00	図書室
31	31階	1,200.00	図書室
32	32階	1,200.00	図書室
33	33階	1,200.00	図書室
34	34階	1,200.00	図書室
35	35階	1,200.00	図書室
36	36階	1,200.00	図書室
37	37階	1,200.00	図書室
38	38階	1,200.00	図書室
39	39階	1,200.00	図書室
40	40階	1,200.00	図書室
41	41階	1,200.00	図書室
42	42階	1,200.00	図書室
43	43階	1,200.00	図書室
44	44階	1,200.00	図書室
45	45階	1,200.00	図書室
46	46階	1,200.00	図書室
47	47階	1,200.00	図書室
48	48階	1,200.00	図書室
49	49階	1,200.00	図書室
50	50階	1,200.00	図書室
51	51階	1,200.00	図書室
52	52階	1,200.00	図書室
53	53階	1,200.00	図書室
54	54階	1,200.00	図書室
55	55階	1,200.00	図書室
56	56階	1,200.00	図書室
57	57階	1,200.00	図書室
58	58階	1,200.00	図書室
59	59階	1,200.00	図書室
60	60階	1,200.00	図書室
61	61階	1,200.00	図書室
62	62階	1,200.00	図書室
63	63階	1,200.00	図書室
64	64階	1,200.00	図書室
65	65階	1,200.00	図書室
66	66階	1,200.00	図書室
67	67階	1,200.00	図書室
68	68階	1,200.00	図書室
69	69階	1,200.00	図書室
70	70階	1,200.00	図書室
71	71階	1,200.00	図書室
72	72階	1,200.00	図書室
73	73階	1,200.00	図書室
74	74階	1,200.00	図書室
75	75階	1,200.00	図書室
76	76階	1,200.00	図書室
77	77階	1,200.00	図書室
78	78階	1,200.00	図書室
79	79階	1,200.00	図書室
80	80階	1,200.00	図書室
81	81階	1,200.00	図書室
82	82階	1,200.00	図書室
83	83階	1,200.00	図書室
84	84階	1,200.00	図書室
85	85階	1,200.00	図書室
86	86階	1,200.00	図書室
87	87階	1,200.00	図書室
88	88階	1,200.00	図書室
89	89階	1,200.00	図書室
90	90階	1,200.00	図書室
91	91階	1,200.00	図書室
92	92階	1,200.00	図書室
93	93階	1,200.00	図書室
94	94階	1,200.00	図書室
95	95階	1,200.00	図書室
96	96階	1,200.00	図書室
97	97階	1,200.00	図書室
98	98階	1,200.00	図書室
99	99階	1,200.00	図書室
100	100階	1,200.00	図書室

日本都市開発設計株式会社

東京都千代田区千代田 1-1-1

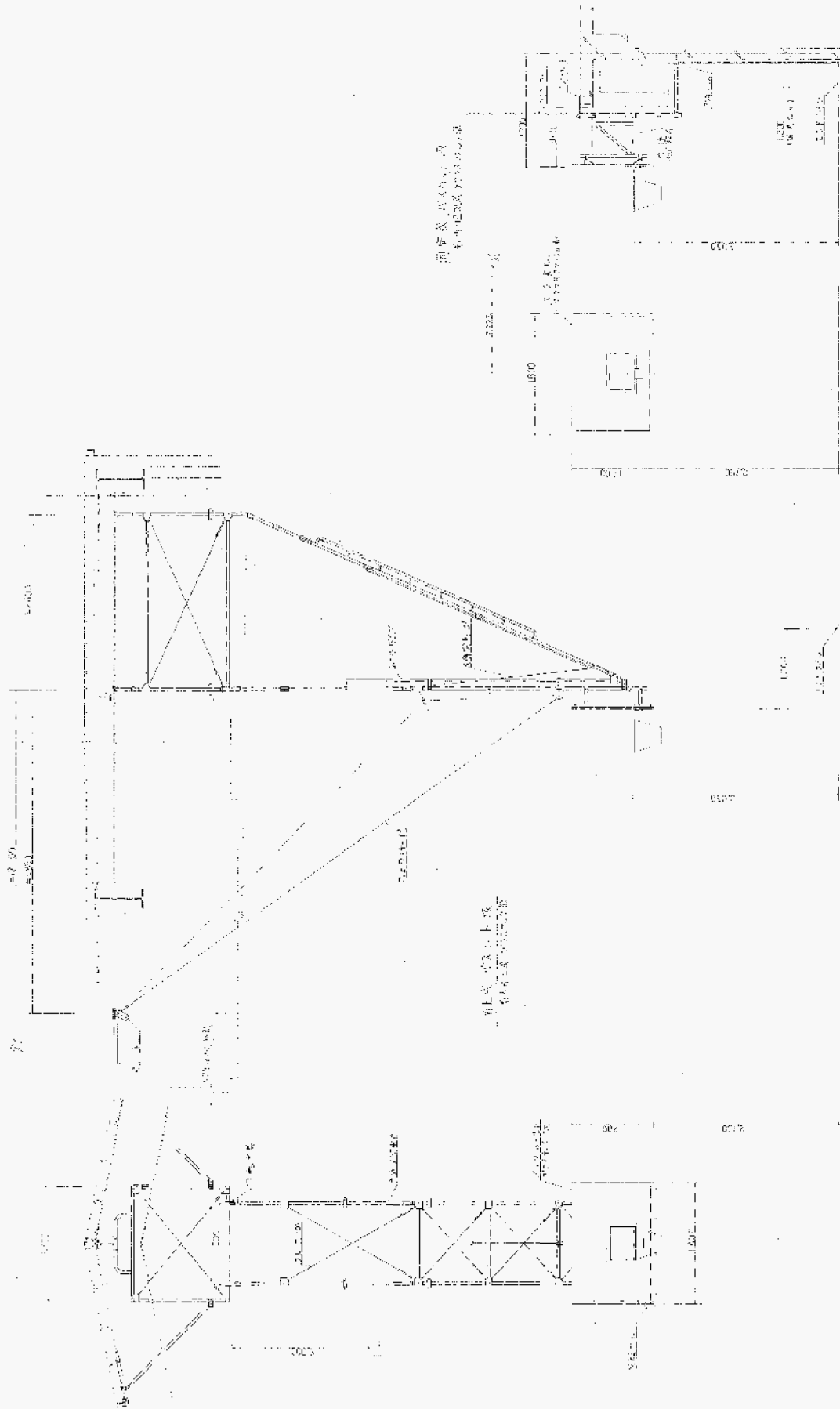
TEL: 03-3542-1111 FAX: 03-3542-1112

代表取締役社長 佐藤 正

〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1

100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1

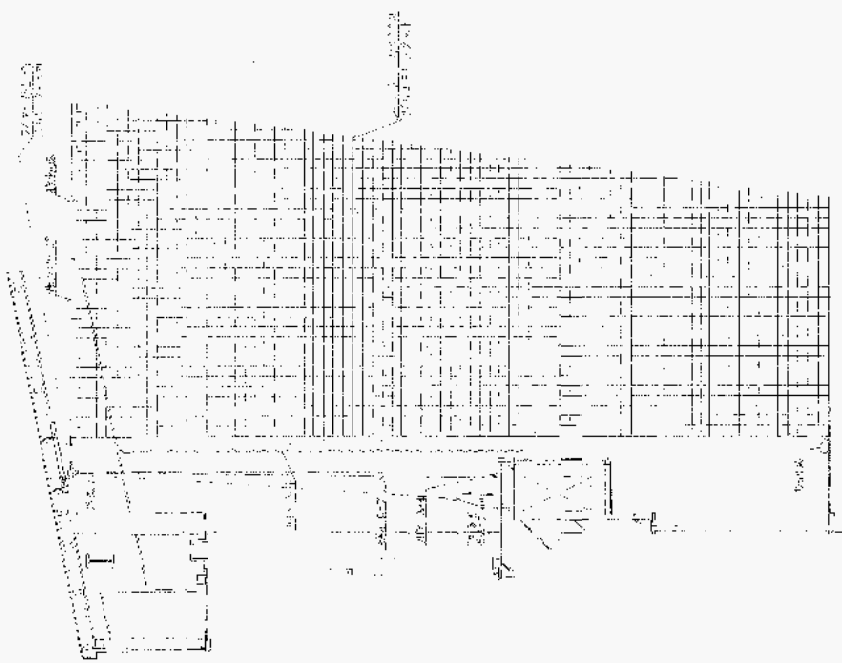
100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1



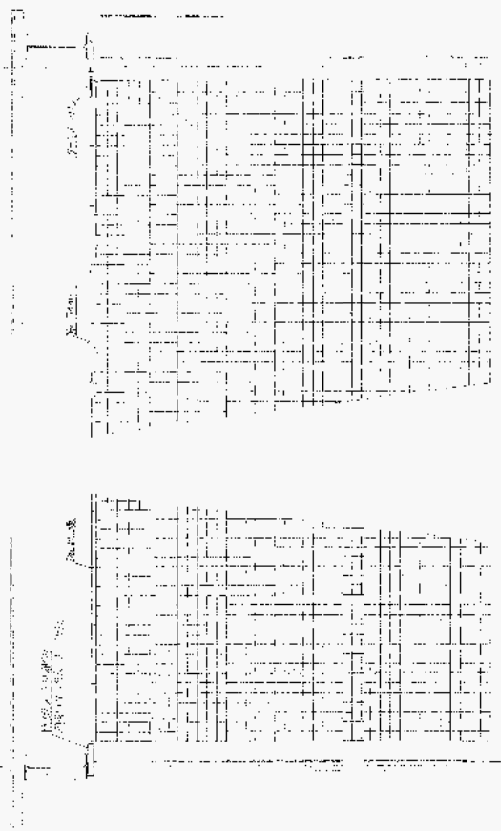
日本都市開発設計株式会社
 〒100 東京都千代田区千代田 1-1-1
 TEL 03-3542-1111 FAX 03-3542-1112

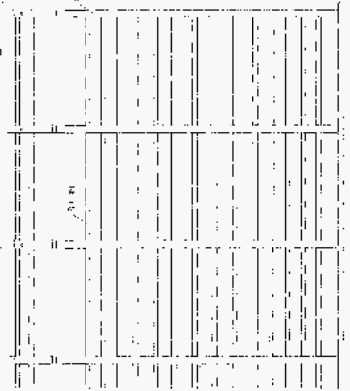
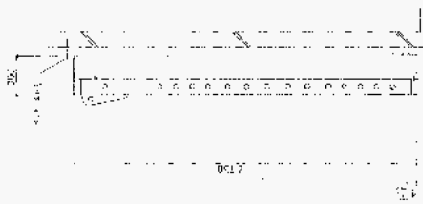
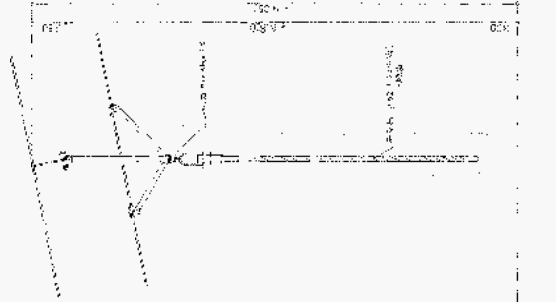
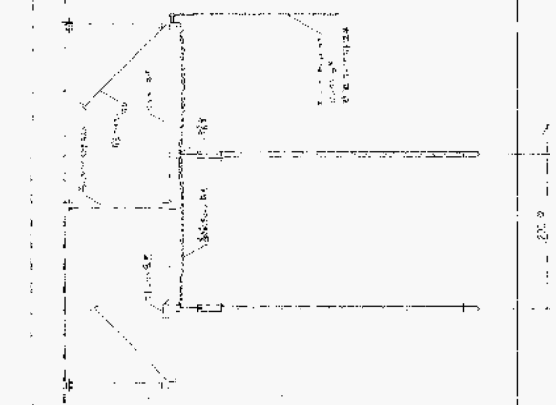
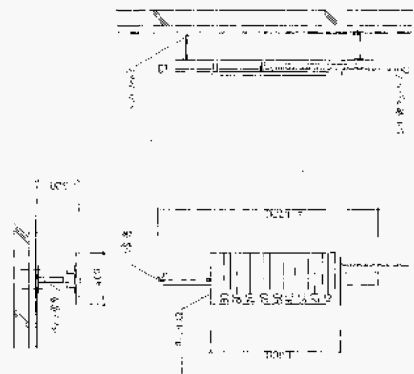
設計者 日本都市開発設計株式会社
 建築士 田中 昭彦
 設計士 田中 昭彦
 1/100
 No. 100

大正建築 扇形設計
 扇形設計の平面図



扇形設計の平面図
 扇形設計の平面図

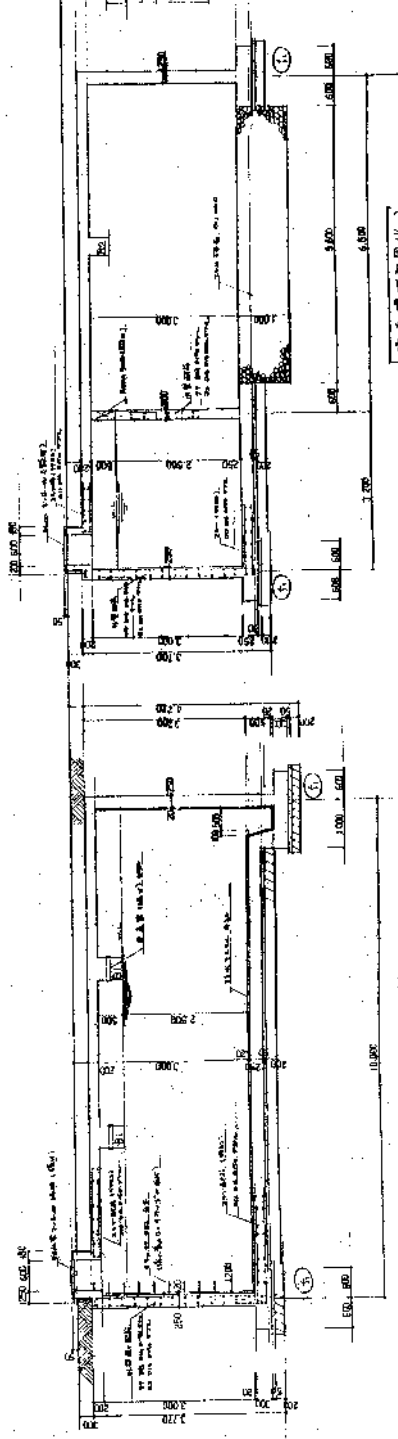
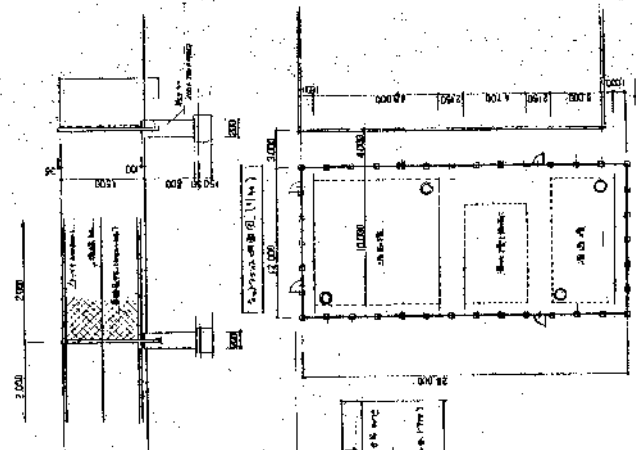
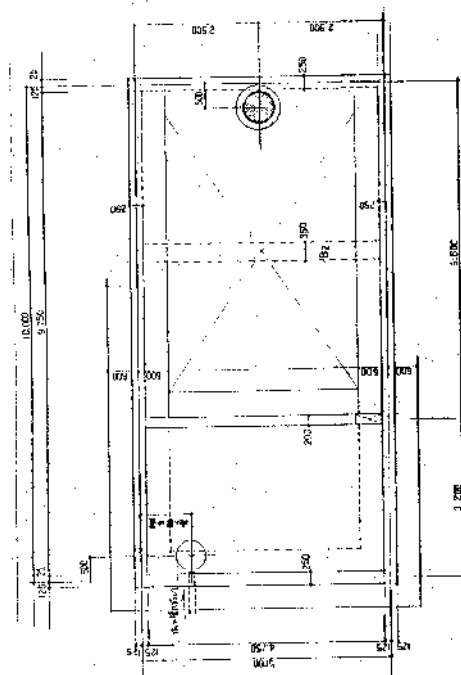
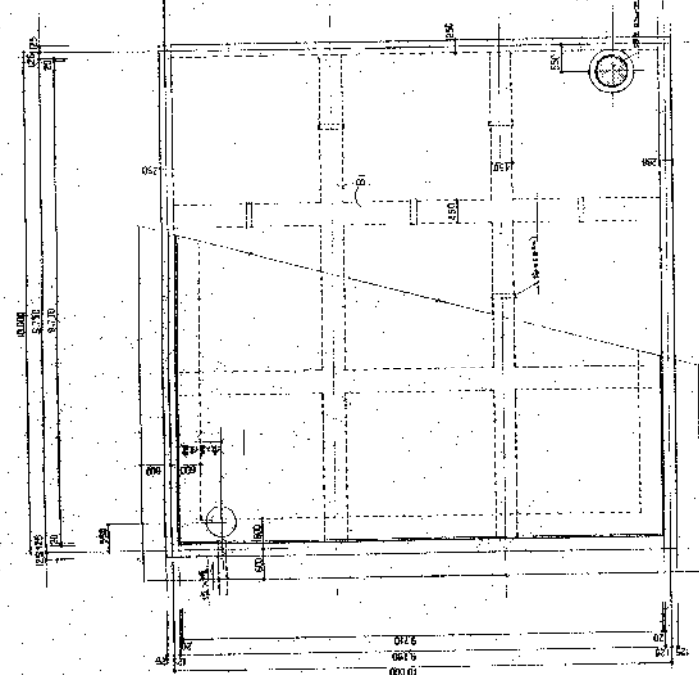
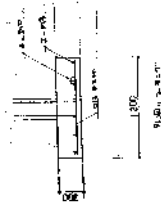




屋根構造断面図 (1)

屋根構造断面図 (2)

項目	単位	数量	仕様
鉄骨	kg	1500	SM490
鉄筋	kg	2500	SD490
コンクリート	m ³	100	強度20
モルタル	m ³	50	強度M20
基礎	kg	200	SM490
柱	kg	100	SM490
梁	kg	100	SM490
桁	kg	100	SM490
床	kg	100	SM490
壁	kg	100	SM490
屋根	kg	100	SM490

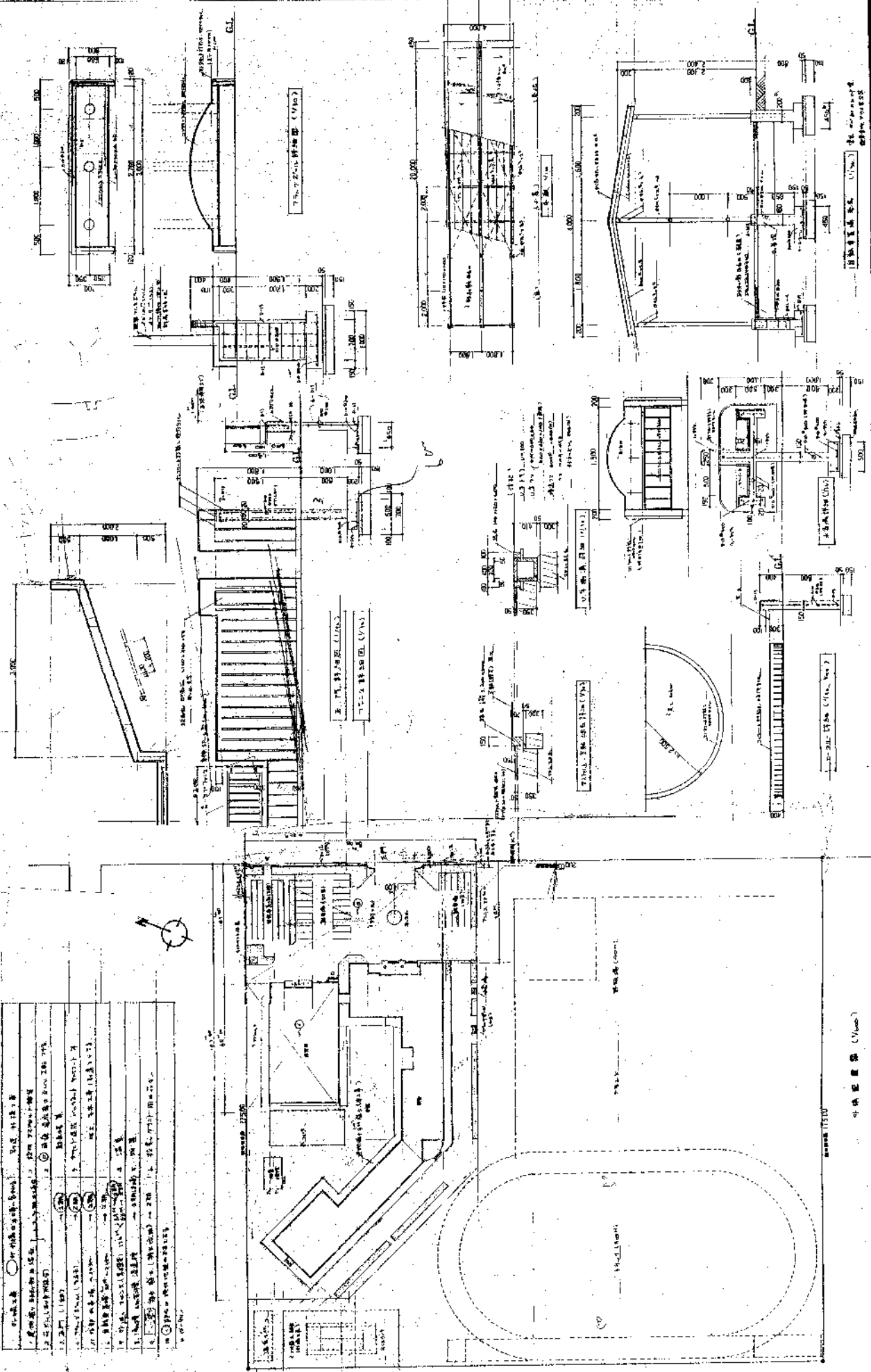


日本都市開発設計株式会社

— 事務所：〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 —

図名	建築平面図 (1/20)
図号	1-1
縮尺	1/20
設計者	〇〇〇
校核者	〇〇〇
承認者	〇〇〇
作成日	〇〇/〇〇/〇〇

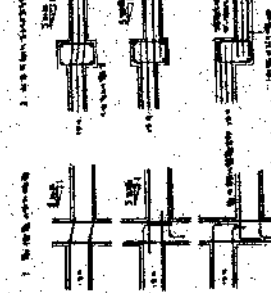
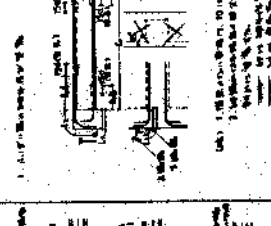
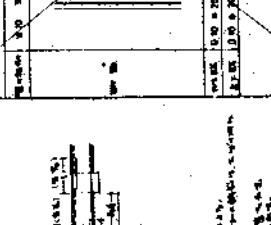
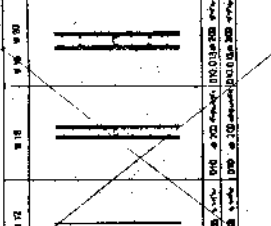
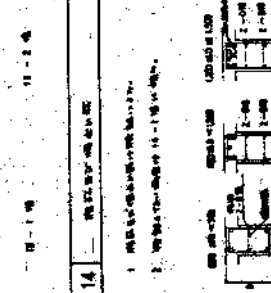
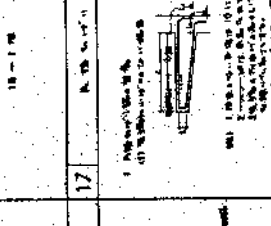
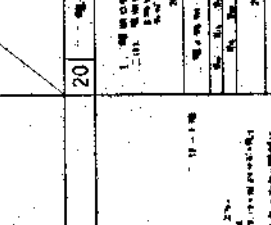
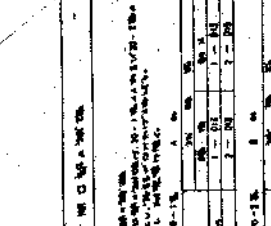
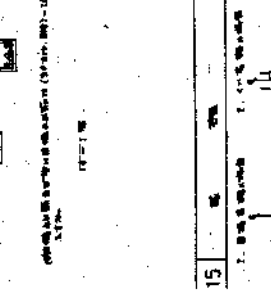
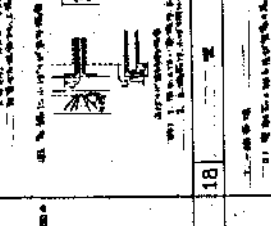
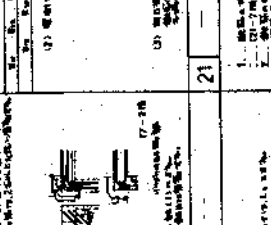
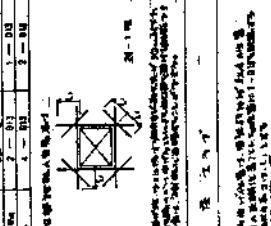
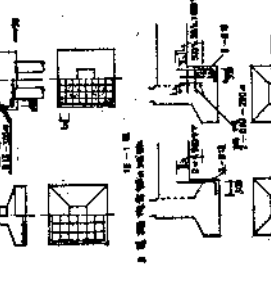
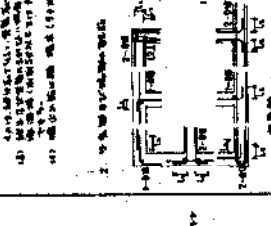
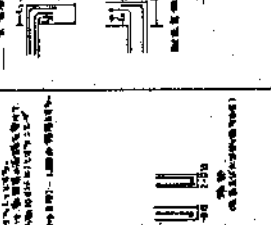
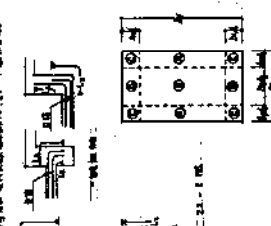
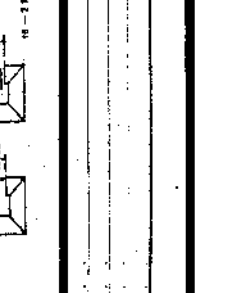
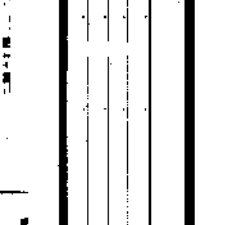
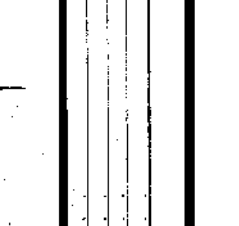
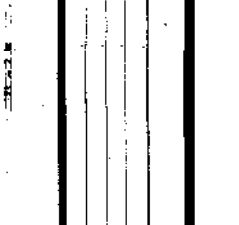
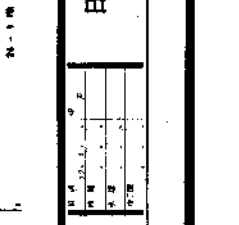
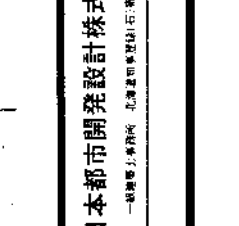
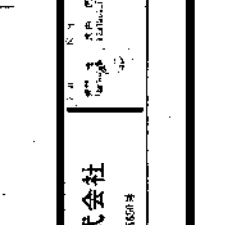
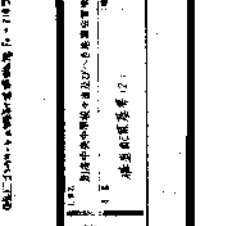
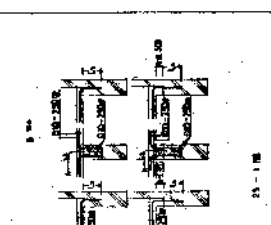
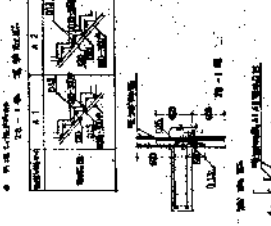
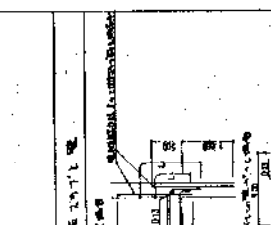
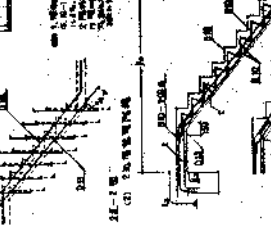
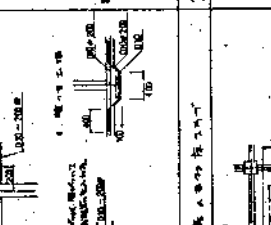
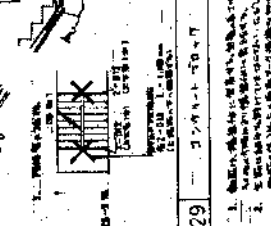
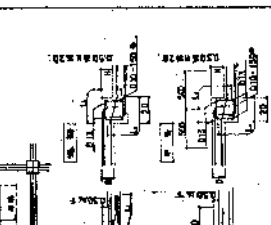
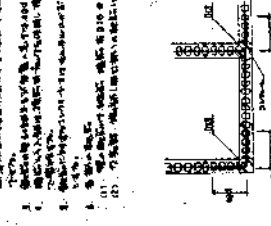
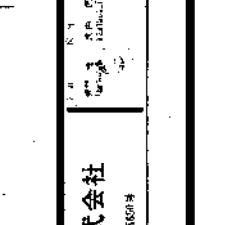
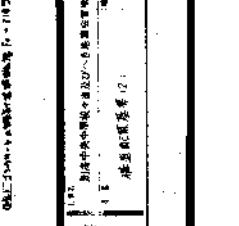
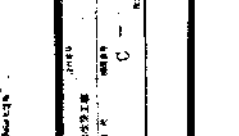
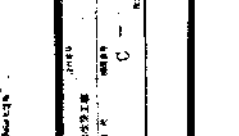
1. 建築士事務所
 2. 建築士事務所
 3. 建築士事務所
 4. 建築士事務所
 5. 建築士事務所
 6. 建築士事務所
 7. 建築士事務所
 8. 建築士事務所
 9. 建築士事務所
 10. 建築士事務所



日本都市開発設計株式会社
 一級建築士事務所 北區高尾町三丁目6番6号

建築士事務所
 建築士事務所
 建築士事務所
 建築士事務所
 建築士事務所
 建築士事務所
 建築士事務所
 建築士事務所
 建築士事務所
 建築士事務所

構造配筋基準 II

13	16	19	22	25	28
<p>1. 断面配筋</p>  <p>2. 断面配筋</p>  <p>3. 断面配筋</p>  <p>4. 断面配筋</p> 	<p>1. 断面配筋</p>  <p>2. 断面配筋</p>  <p>3. 断面配筋</p>  <p>4. 断面配筋</p> 	<p>1. 断面配筋</p>  <p>2. 断面配筋</p>  <p>3. 断面配筋</p>  <p>4. 断面配筋</p> 	<p>1. 断面配筋</p>  <p>2. 断面配筋</p>  <p>3. 断面配筋</p>  <p>4. 断面配筋</p> 	<p>1. 断面配筋</p>  <p>2. 断面配筋</p>  <p>3. 断面配筋</p>  <p>4. 断面配筋</p> 	<p>1. 断面配筋</p>  <p>2. 断面配筋</p>  <p>3. 断面配筋</p>  <p>4. 断面配筋</p> 
<p>1. 断面配筋</p>  <p>2. 断面配筋</p> 	<p>1. 断面配筋</p>  <p>2. 断面配筋</p> 	<p>1. 断面配筋</p>  <p>2. 断面配筋</p> 	<p>1. 断面配筋</p>  <p>2. 断面配筋</p> 	<p>1. 断面配筋</p>  <p>2. 断面配筋</p> 	<p>1. 断面配筋</p>  <p>2. 断面配筋</p> 

日本都市開発設計株式会社
 一級建築士事務所 北海道札幌市白石区南一条五丁目五番五号

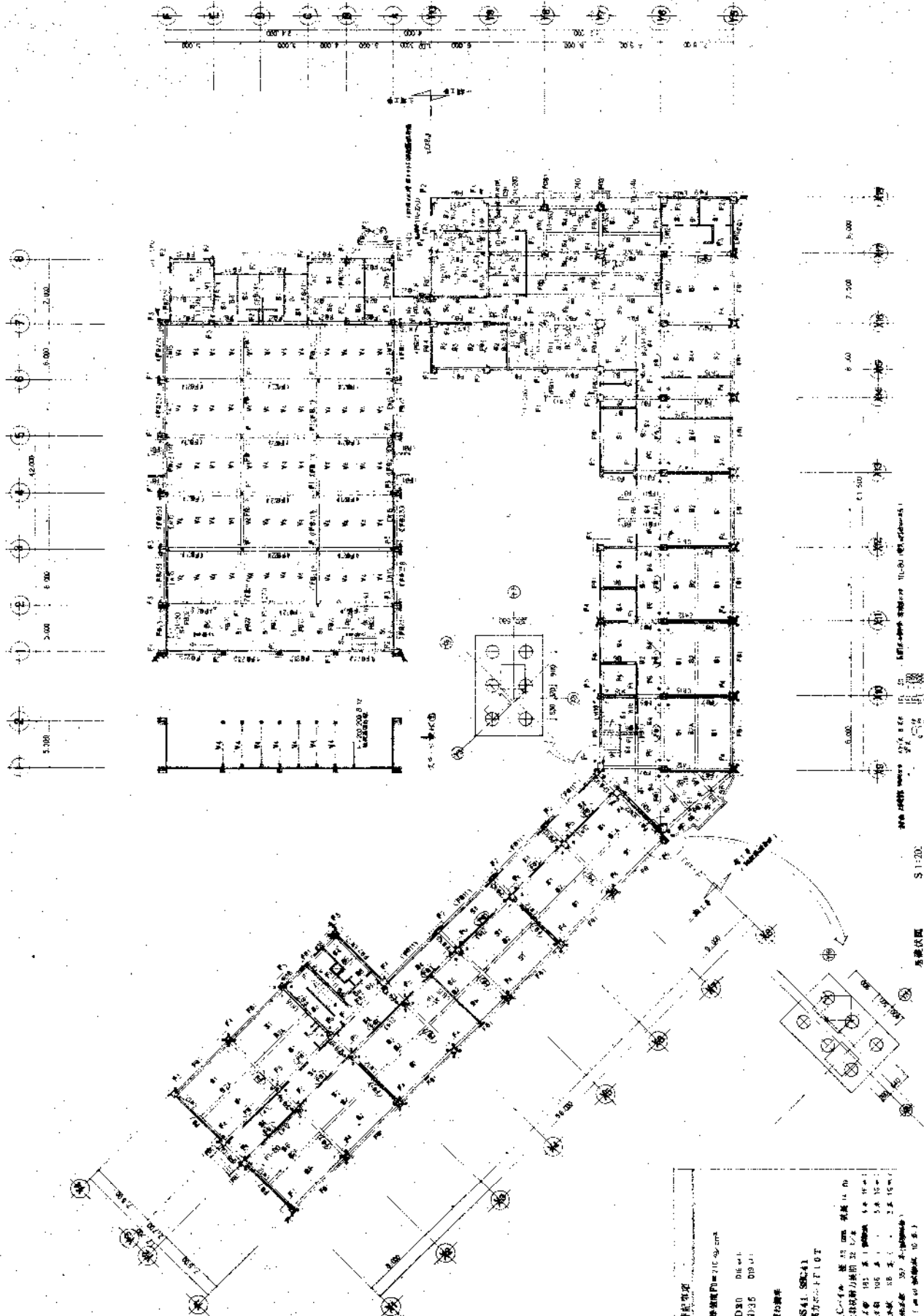
構造配筋基準Ⅲ

<p>30</p> <p>31</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>階層</th> <th>柱径</th> <th>梁径</th> <th>筋径</th> <th>筋間隔</th> </tr> <tr> <td>1階</td> <td>300</td> <td>200</td> <td>2</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>2階</td> <td>300</td> <td>200</td> <td>2</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>3階</td> <td>300</td> <td>200</td> <td>2</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>4階</td> <td>300</td> <td>200</td> <td>2</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>5階</td> <td>300</td> <td>200</td> <td>2</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>6階</td> <td>300</td> <td>200</td> <td>2</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>7階</td> <td>300</td> <td>200</td> <td>2</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>8階</td> <td>300</td> <td>200</td> <td>2</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>9階</td> <td>300</td> <td>200</td> <td>2</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>10階</td> <td>300</td> <td>200</td> <td>2</td> <td>200</td> </tr> </table> <p>32</p> <p>33</p>	階層	柱径	梁径	筋径	筋間隔	1階	300	200	2	200	2階	300	200	2	200	3階	300	200	2	200	4階	300	200	2	200	5階	300	200	2	200	6階	300	200	2	200	7階	300	200	2	200	8階	300	200	2	200	9階	300	200	2	200	10階	300	200	2	200	<p>34</p> <p>35</p> <p>36</p>	<p>37</p> <p>38</p> <p>39</p>	<p>40</p> <p>41</p>
階層	柱径	梁径	筋径	筋間隔																																																						
1階	300	200	2	200																																																						
2階	300	200	2	200																																																						
3階	300	200	2	200																																																						
4階	300	200	2	200																																																						
5階	300	200	2	200																																																						
6階	300	200	2	200																																																						
7階	300	200	2	200																																																						
8階	300	200	2	200																																																						
9階	300	200	2	200																																																						
10階	300	200	2	200																																																						

日本都市開発設計株式会社

東京都千代田区 北千住加賀町 1-1-1 505号

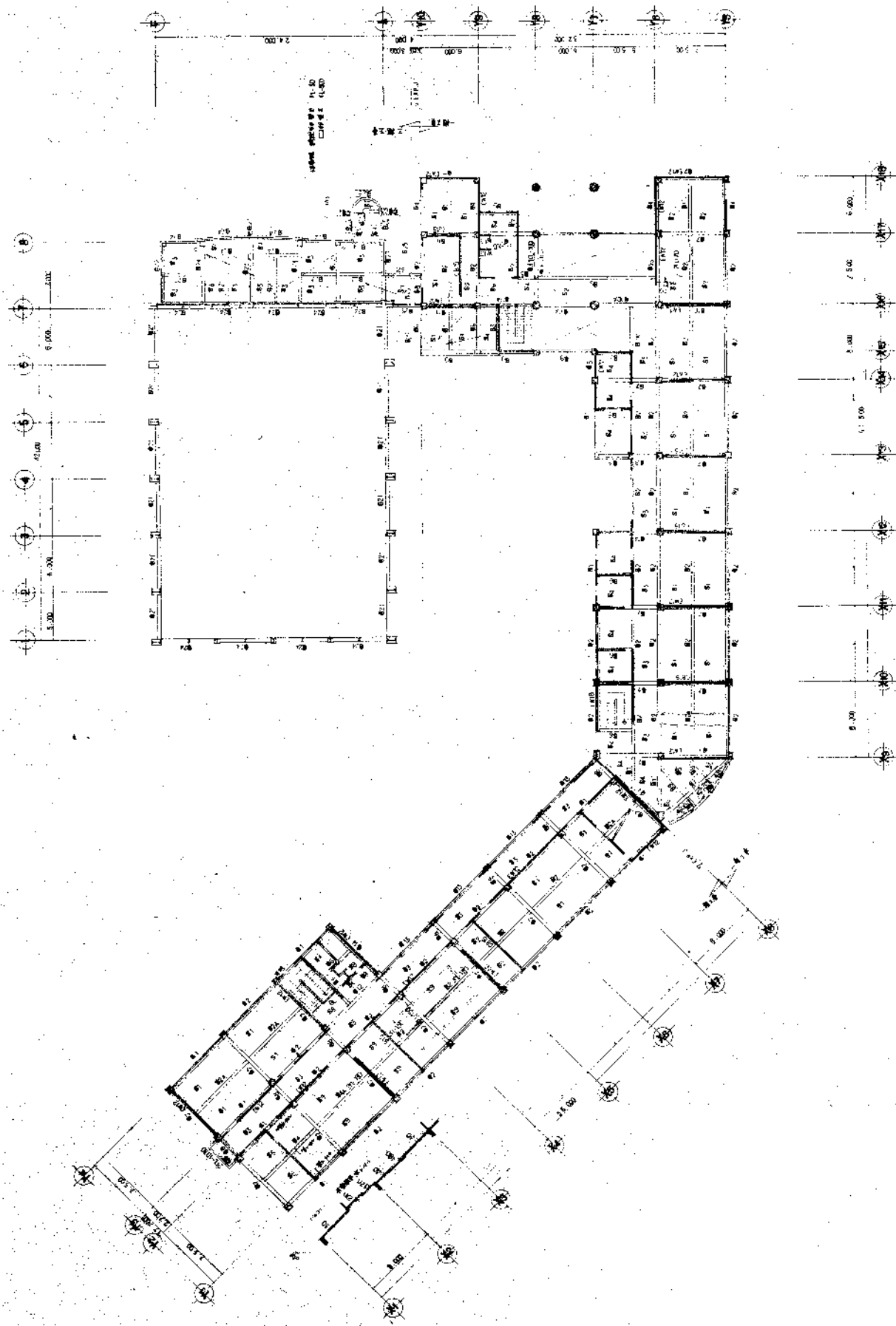
C-1



資料明細

1 コンクリート敷設床面積(内)=716.99㎡
2 総床面積 SD30 D16 w/L SI35 D19 w/L
3 床面積率
4 鉄骨鋼材 SS41, SSC41 高力鋼 PFL0T
5 鉄骨柱 PC-440 断面径 440mm 表裏 14.0 設計耐力係数 0.75

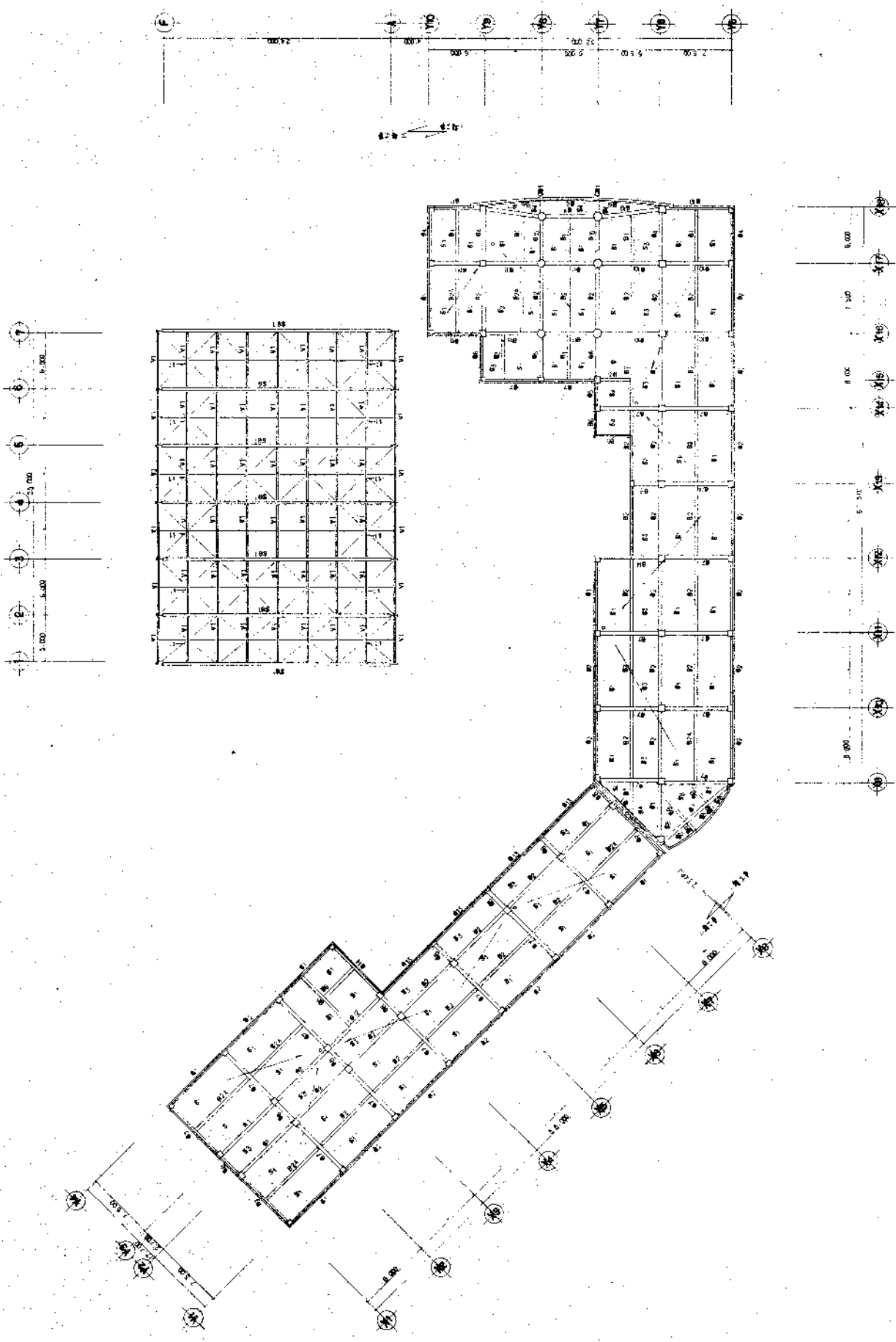
1階床 柱上高 191.5 床1階床 4.4 10-11
2階床 柱上高 195.5 床2階床 5.8 10-11
3階床 柱上高 199.5 床3階床 7.2 10-11
4階床 柱上高 203.5 床4階床 8.6 10-11
5階床 柱上高 207.5 床5階床 10.0 10-11
(床10階床 10.5)



2階 床伏図 S11-20L
 標準階高 21.00
 2階 床高 6.00

日本都市開発設計株式会社
 東京都千代田区 Ⅱ 住居系ビル設計部 (2) 600号

2階 床伏図
 S11-20L
 C-5



建築図面 標準図面 (1/200) (1/200)

S 1:200

日新 建設院

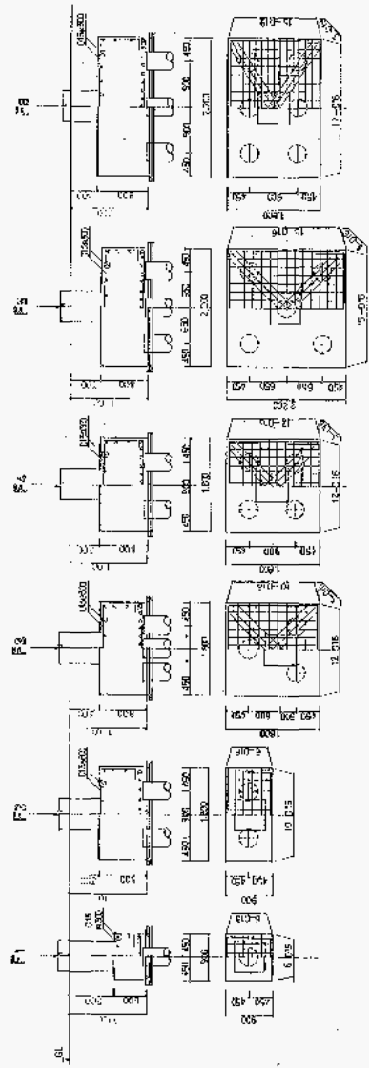
日本都市開発設計株式会社

建設院

建設院 建設院

C-5

基礎設計書 S-1150 新築工事 2024.11.15

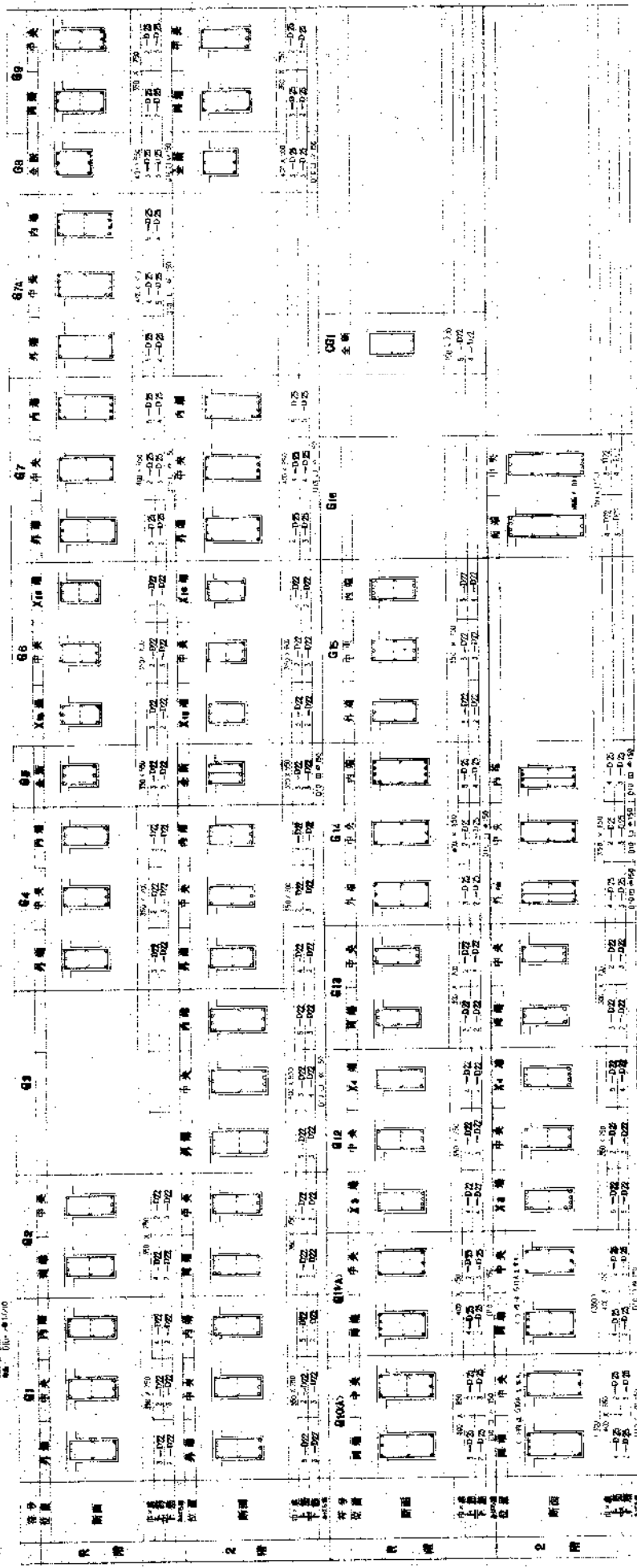


基礎設計書 S-1150 新築工事 2024.11.15
 設計者 〇〇〇〇〇
 校核者 〇〇〇〇〇
 承認者 〇〇〇〇〇

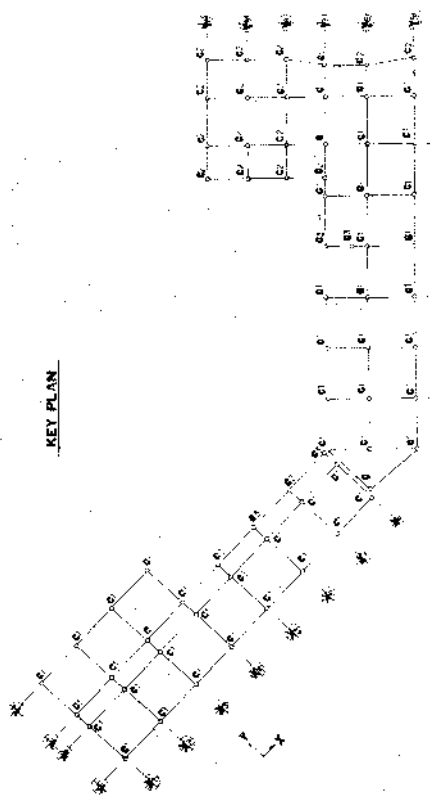
桁番	F6	F7	F8	F9	F10	F11	F12	F13	F14	F15	F16	F17	F18	F19	F20	F21
位置	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎
断面																
単位	mm															
材料	コンクリート 24MPa / 鉄筋 300MPa															
重量	約 150kg															
備考	基礎設計書 S-1150 新築工事 2024.11.15															

日本都市開発設計株式会社
 〒110-0001 東京都千代田区〇〇〇〇
 代表取締役 〇〇〇〇〇

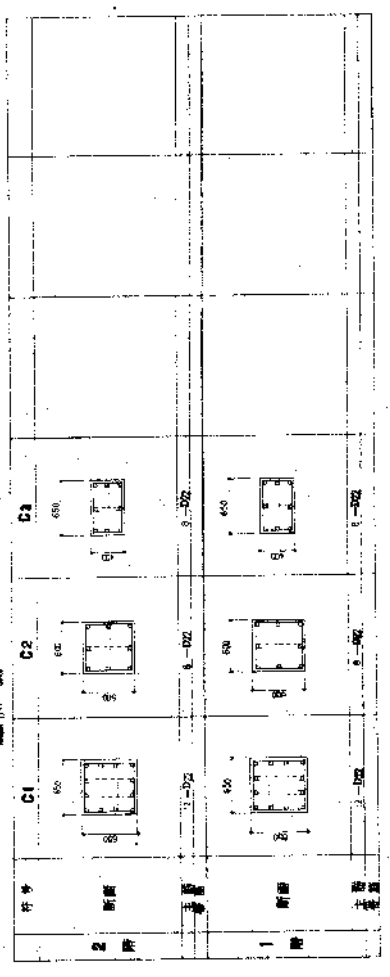
大塚ビル S1130 構造設計 2017.07.20
 2-101-41000



KEY PLAN

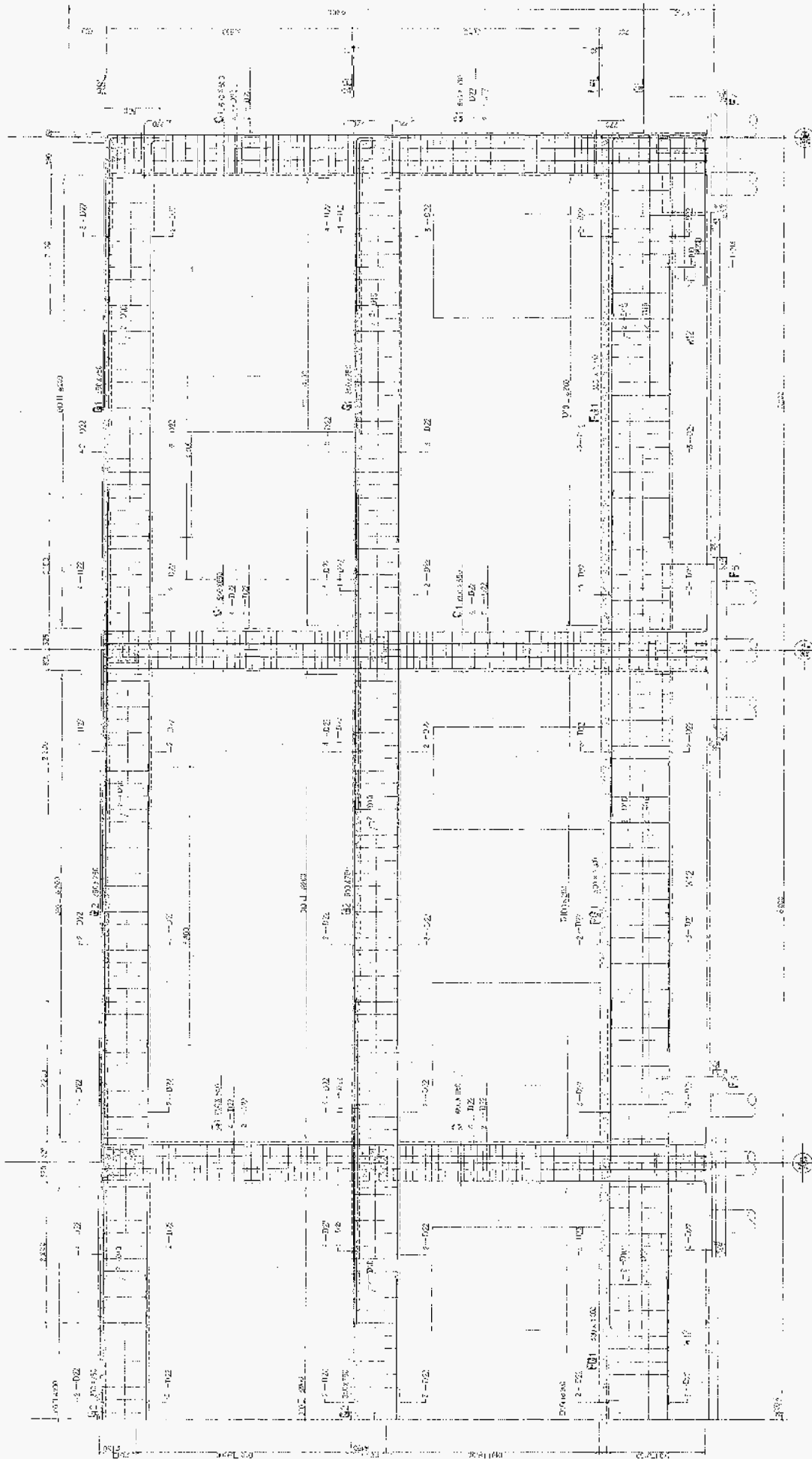


大塚ビル S1130 構造設計 2017.07.20
 2-101-41000



日本都市開発設計株式会社

〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1
 日本都市開発設計株式会社 1130
 大塚ビル S1130



№ 28 2067144 81170

日本都市開発設計株式会社

東京都港区新橋三丁目

1/100

1970.10

1/100

1/100

1/100

1/100

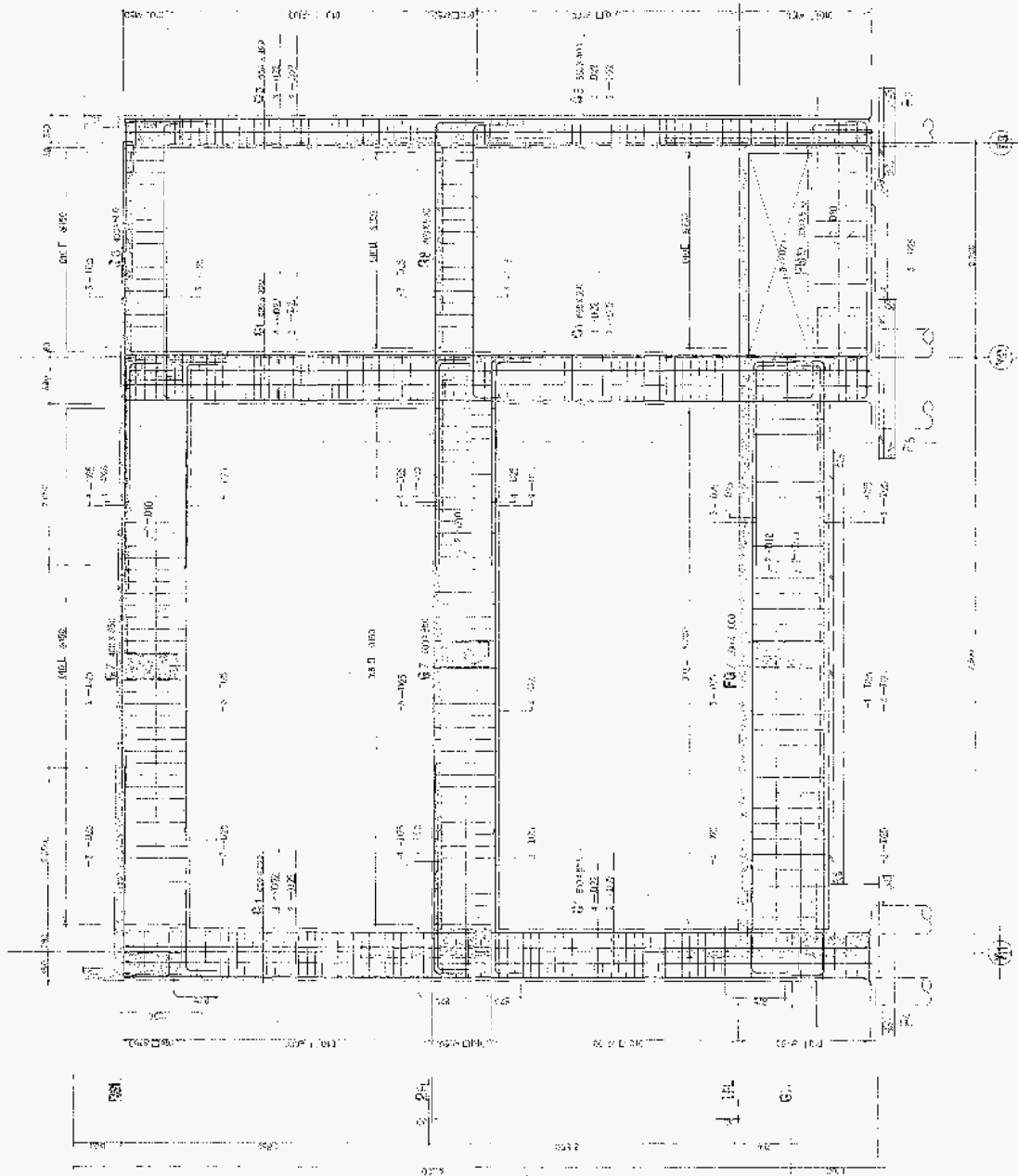
1/100

1/100

1/100

1/100

1/100

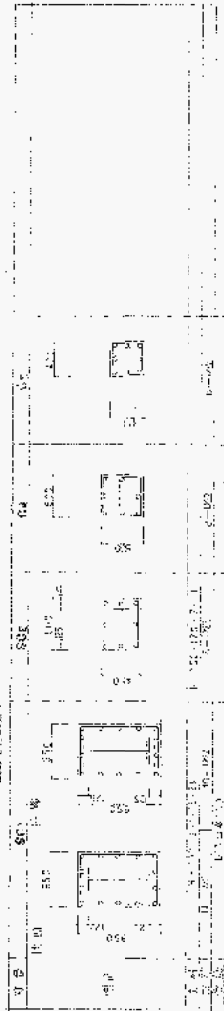


第 5 層 構造詳細図

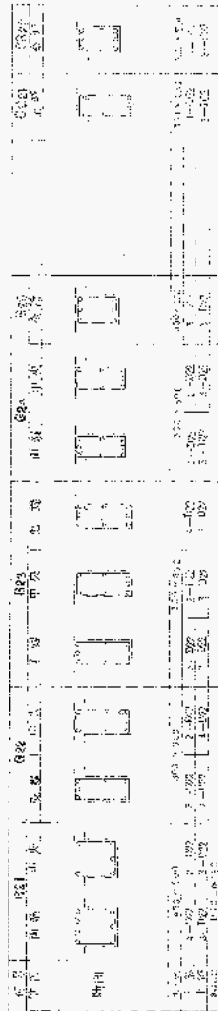
日本都市開発設計株式会社
〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1

図名 5-100
比例尺 1/500
作成者 〇〇〇〇
承認者 〇〇〇〇
日付 〇〇年〇〇月〇〇日

1/120 1925年10月25日 建築設計事務所



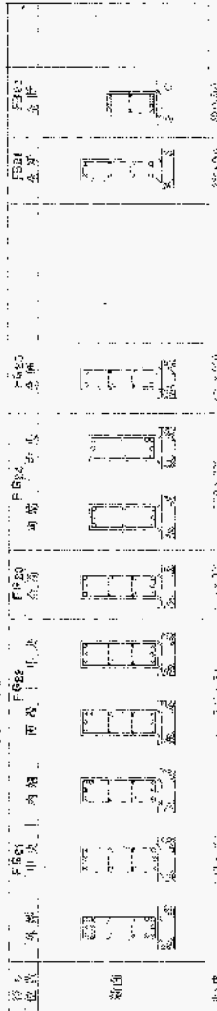
1/120 1925年10月25日 建築設計事務所



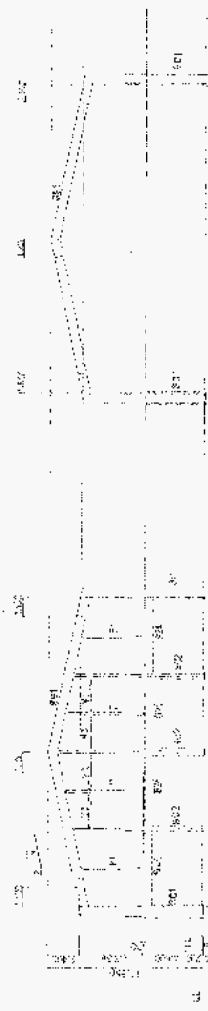
1/120 1925年10月25日 建築設計事務所



1/120 1925年10月25日 建築設計事務所



1/120 1925年10月25日 建築設計事務所



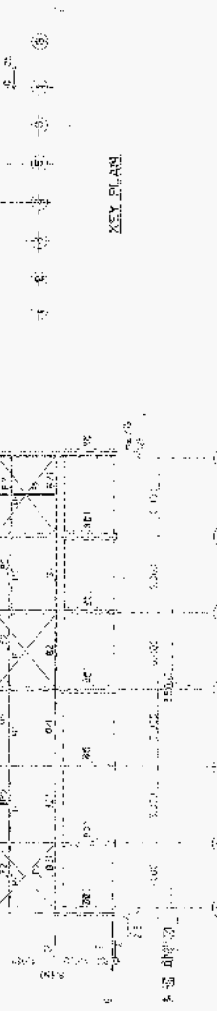
全圖 建築計画



全圖 建築計画



KEY PLAN



KEY PLAN

鉄骨造構図

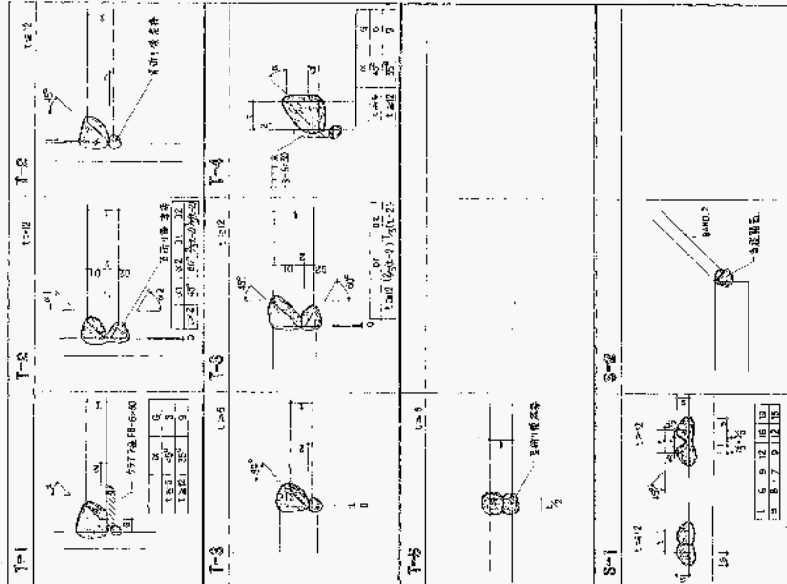
1. 使用鋼材 SS 41 SM
 一階柱 一階梁 一階桁 一階床板
 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材
 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材
 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

2. 耐力係数 $\mu = 0.45$ (TC 規定)

3. 主材寸法

部名	寸法	規格	参考
SC1	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC2	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC3	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC4	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC5	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC6	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC7	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC8	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC9	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC10	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC11	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC12	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC13	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC14	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC15	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC16	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC17	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC18	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC19	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC20	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC21	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC22	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC23	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC24	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC25	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC26	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC27	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC28	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC29	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC30	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC31	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC32	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC33	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC34	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC35	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC36	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC37	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC38	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC39	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC40	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC41	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC42	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC43	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC44	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC45	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC46	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC47	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC48	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC49	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC50	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC51	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC52	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC53	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC54	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC55	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC56	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC57	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC58	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC59	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC60	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC61	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC62	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC63	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC64	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC65	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC66	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC67	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC68	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC69	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC70	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC71	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC72	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC73	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC74	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC75	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC76	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC77	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC78	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC79	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC80	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC81	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC82	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC83	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC84	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC85	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC86	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC87	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC88	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC89	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC90	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC91	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC92	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC93	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC94	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC95	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC96	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC97	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC98	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC99	H=2100, B=210	SS41	鋼材
SC100	H=2100, B=210	SS41	鋼材

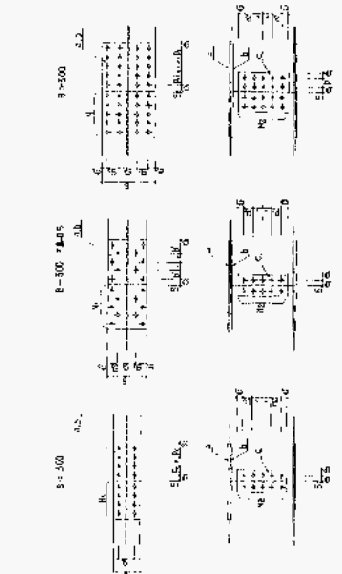
4. 桁位置図



桁	1	2	3	4	5	6	7
桁高	150	200	80	35	10		
桁厚	50	50	50	50	50		
桁重	22	30	100	100	100		
桁容	250	1000	100	330	65		

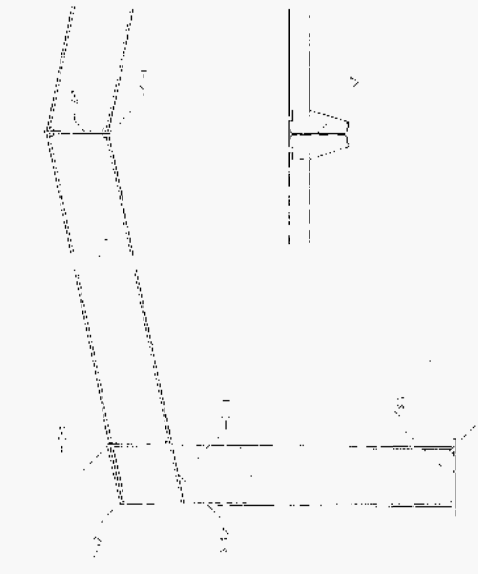
桁重単位

5. 桁位置図



桁	1	2	3	4	5	6	7
桁高	150	200	80	35	10		
桁厚	50	50	50	50	50		
桁重	22	30	100	100	100		
桁容	250	1000	100	330	65		

6. 桁位置図





SC1 柱脚
SC2 柱脚
SC3 柱脚
SC4 柱脚
SC5 柱脚
SC6 柱脚
SC7 柱脚
SC8 柱脚

材料	FRP
形状	柱脚
寸法	縦1500mm 横1500mm
位置	柱脚

SC1 柱脚
SC2 柱脚
SC3 柱脚
SC4 柱脚
SC5 柱脚
SC6 柱脚
SC7 柱脚
SC8 柱脚

材料	FRP
形状	柱脚
寸法	縦1500mm 横1500mm
位置	柱脚

SC1 柱脚
SC2 柱脚
SC3 柱脚
SC4 柱脚
SC5 柱脚
SC6 柱脚
SC7 柱脚
SC8 柱脚

材料	FRP
形状	柱脚
寸法	縦1500mm 横1500mm
位置	柱脚

① 建築平面図

② 建築平面図

1-104

第一型式

第一型式

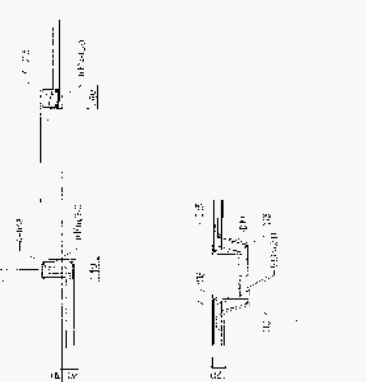
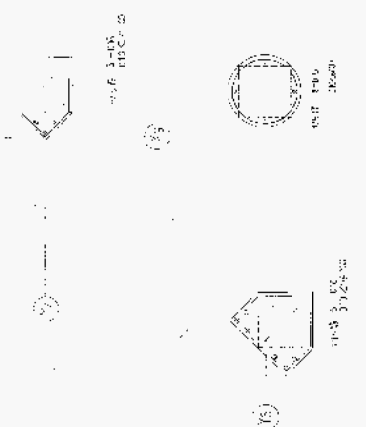
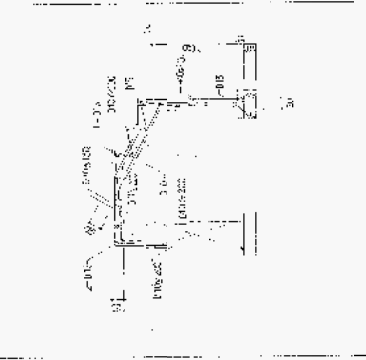
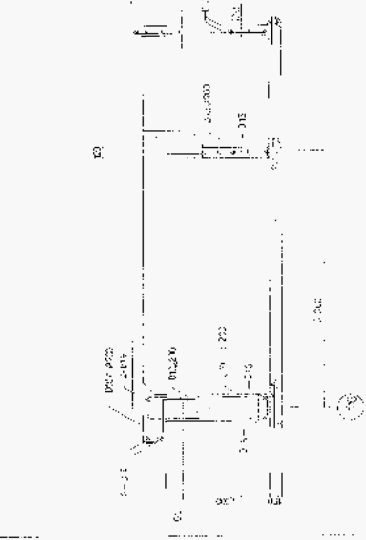
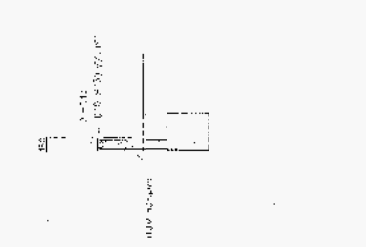
第一型式

第一型式

第一型式

第一型式

第一型式



第一型式

第一型式

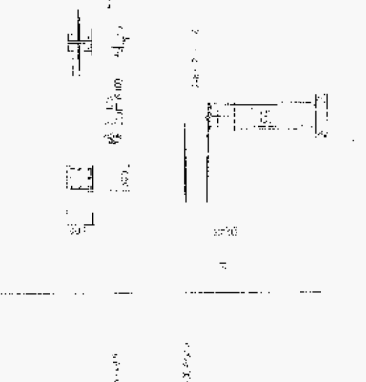
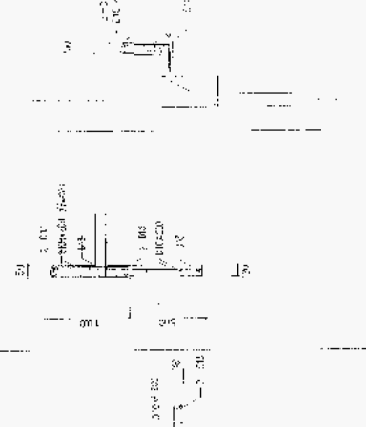
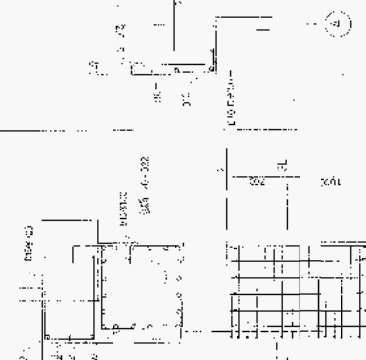
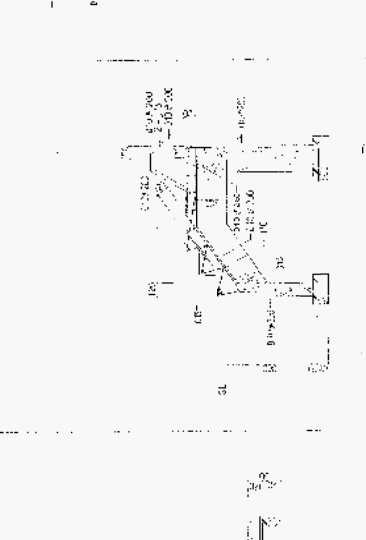
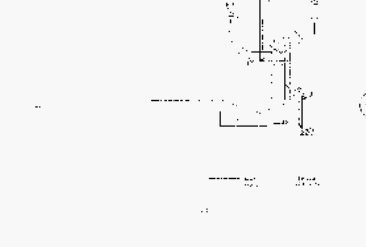
第一型式

第一型式

第一型式

第一型式

第一型式



第一型式

第一型式

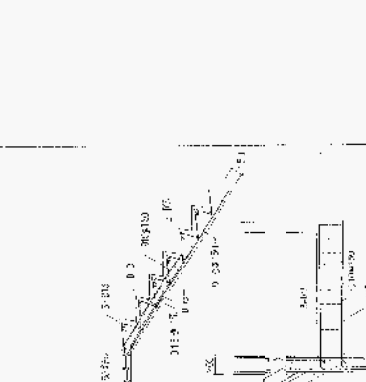
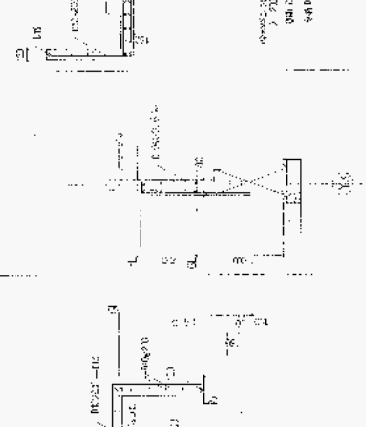
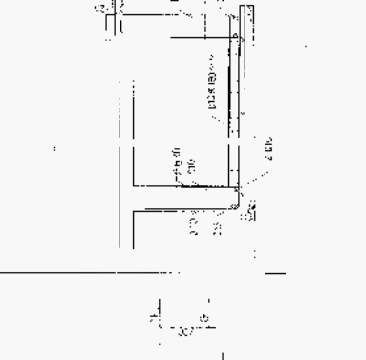
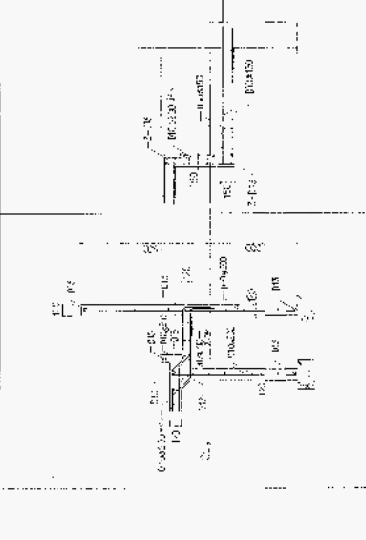
第一型式

第一型式

第一型式

第一型式

第一型式



日本都市院設計株式會社

本社東京市丸の内區千代田一丁目一號

設計圖

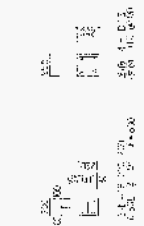
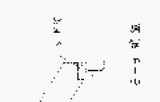
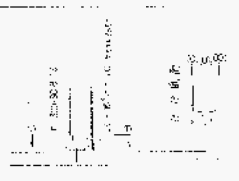
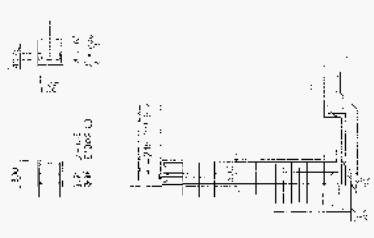
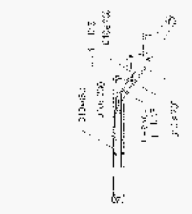
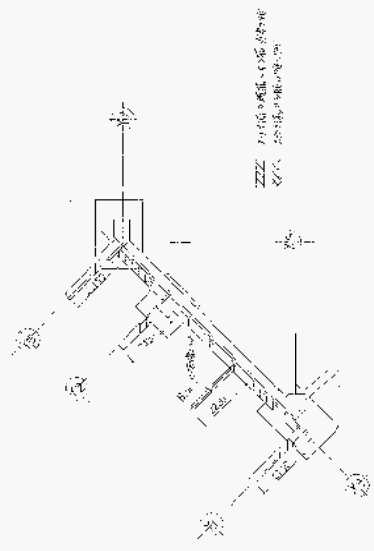
1-104

2. 構造設計 基礎部分

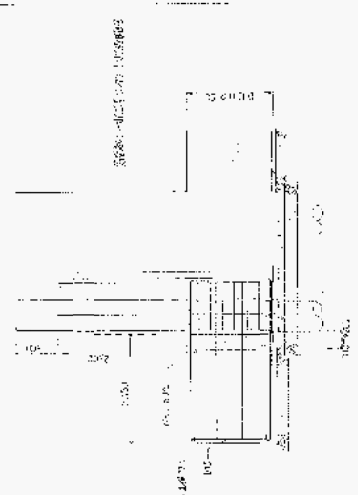
3. 基礎部分

4. 基礎部分

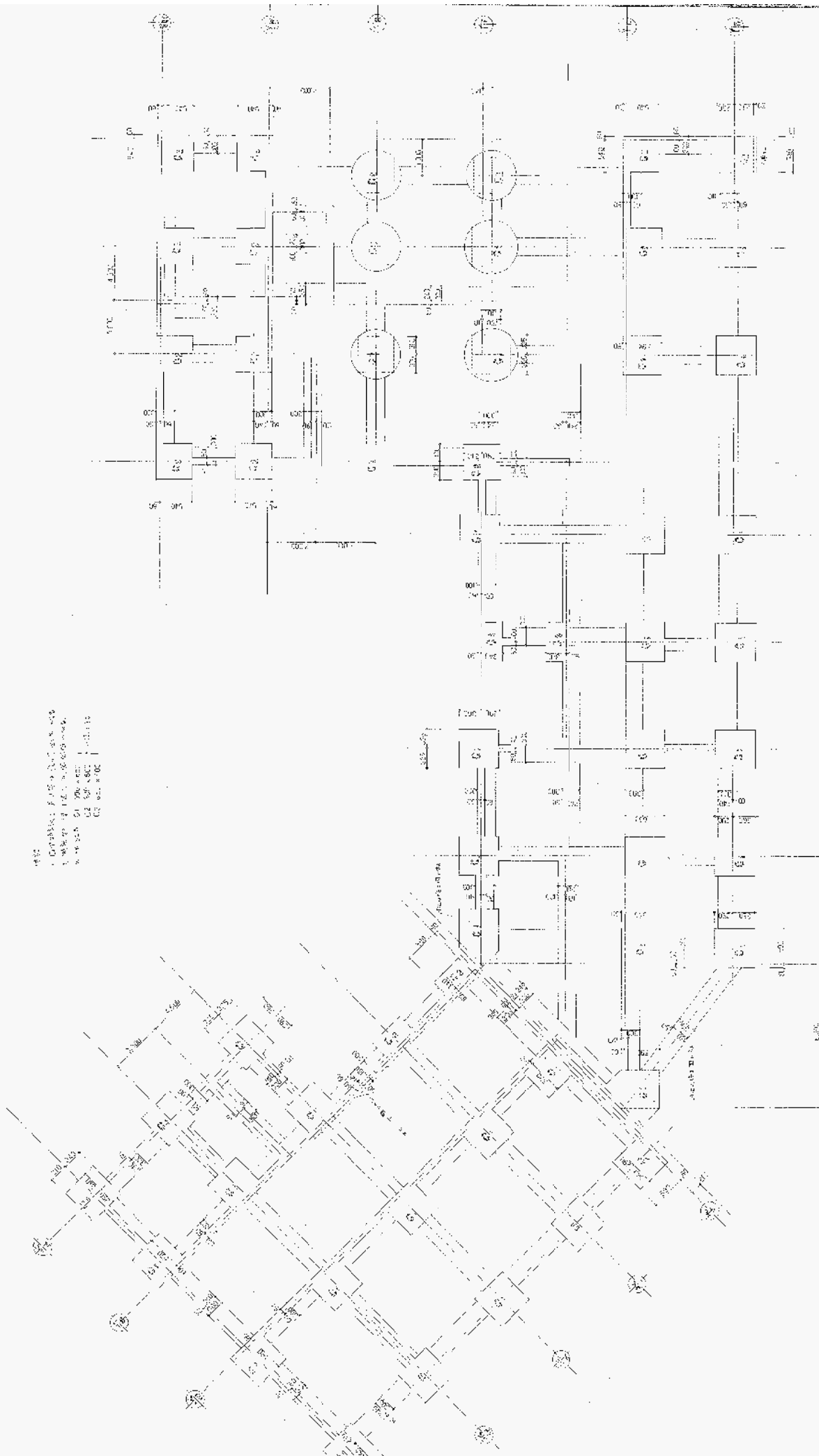
5. 基礎部分



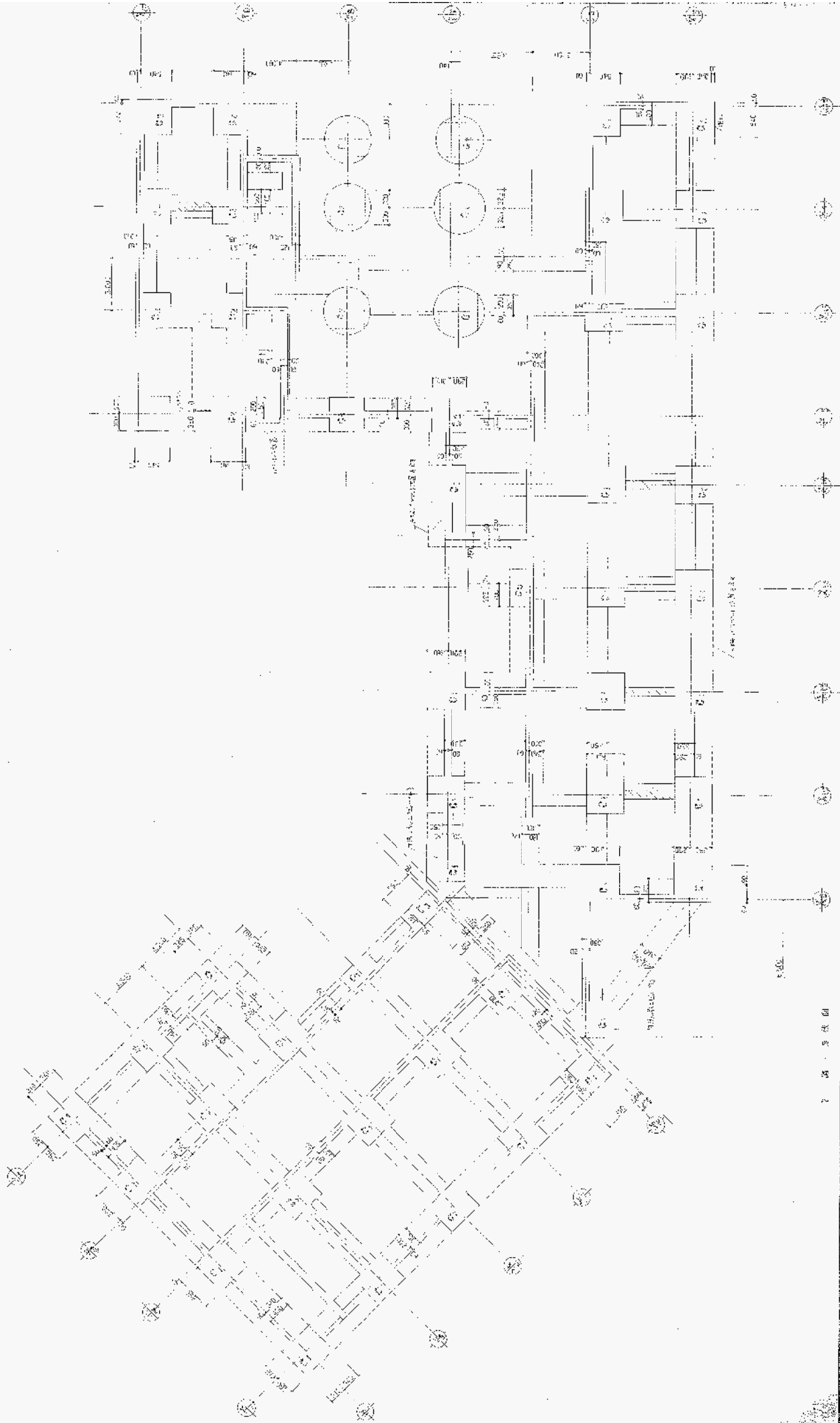
基礎部分



1. 完成品は、本設計書に
 2. 記載の通り、製造
 3. されるものとする。
 4. 本設計書の権利は、
 5. 本設計書の発注者
 6. である。



日本都市開発設計株式会社
 東京都千代田区千代田 1-1-1
 TEL: 03-5561-1111 FAX: 03-5561-1112



巨港都市開発設計株式会社

巨港都市開発設計株式会社
 〒410-0001 静岡県静岡市東区藤原1-1-1
 TEL: 054-261-1111 FAX: 054-261-1112

1/100

1/100

1/100

1/100

1/100

1/100

1/100

1/100

1/100

1/100

1/100

1/100

1/100

1/100

1/100

1/100

1/100

1/100

1/100

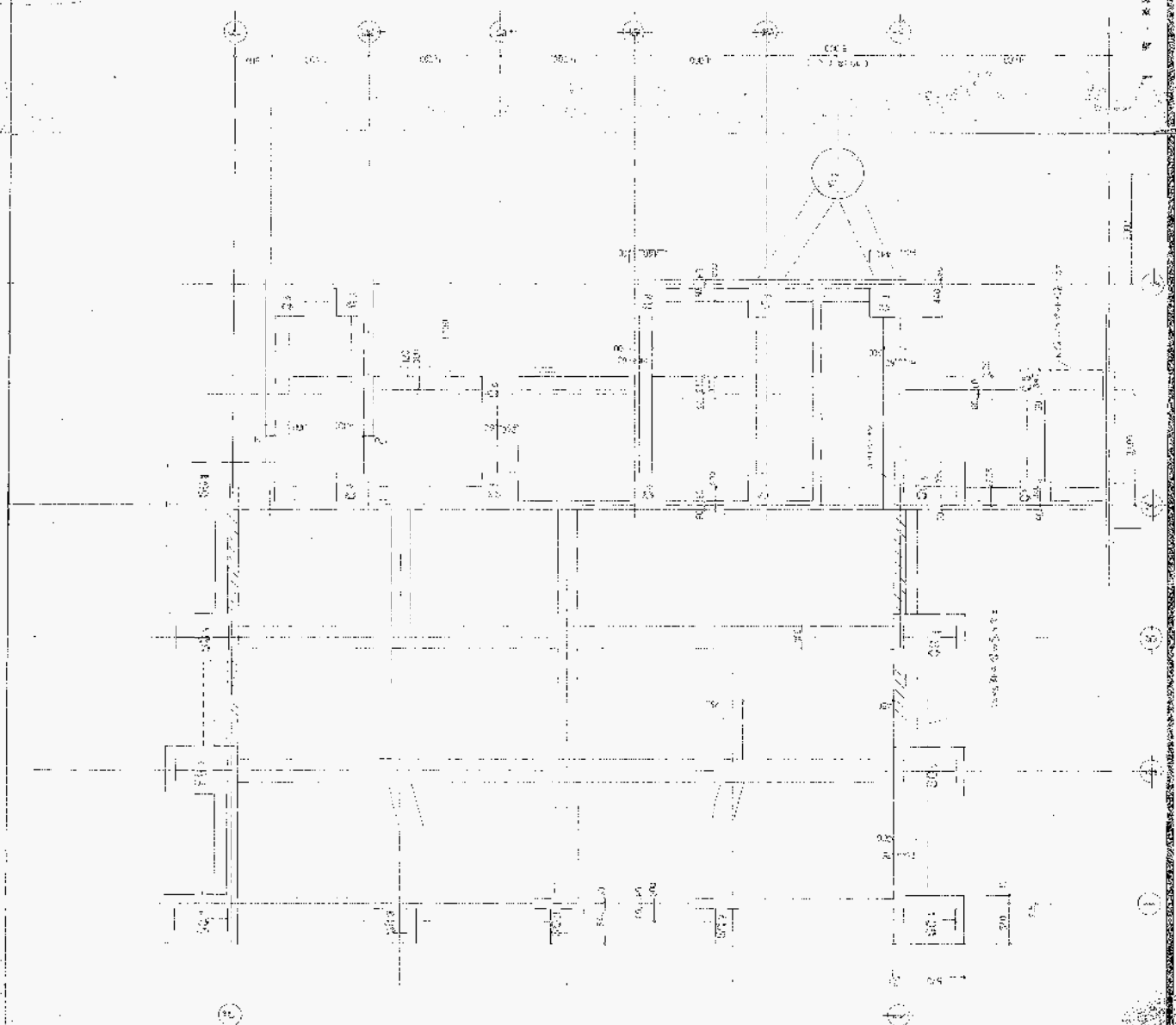
1/100

1/100

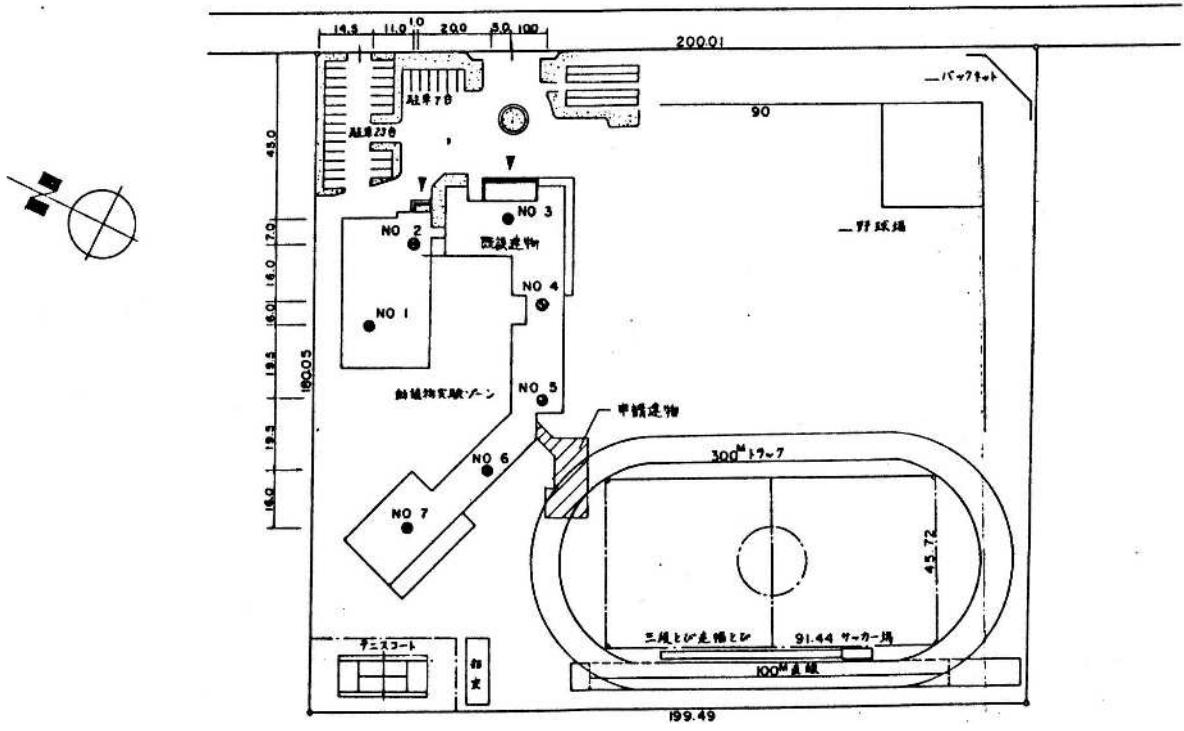
1/100

1/100

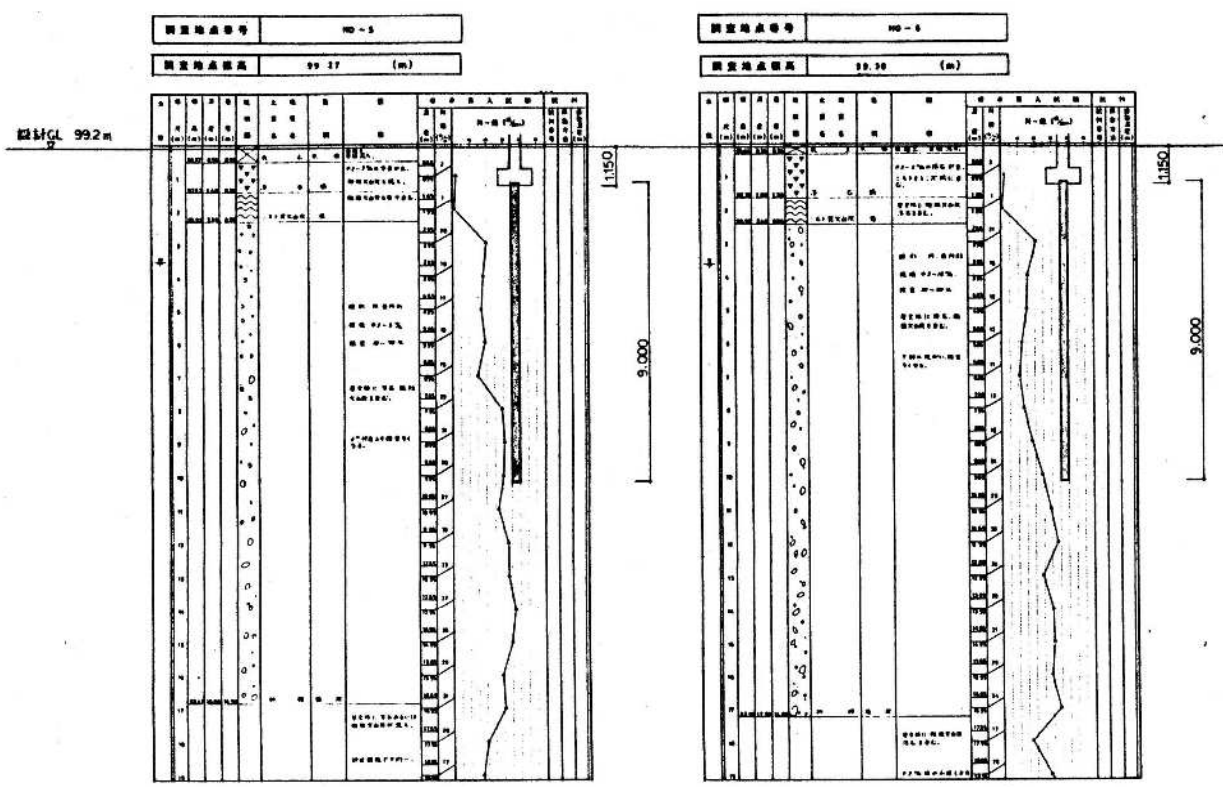
1. 1/200
2. 1/200
3. 1/200
4. 1/200
5. 1/200
6. 1/200
7. 1/200
8. 1/200
9. 1/200
10. 1/200
11. 1/200
12. 1/200
13. 1/200
14. 1/200
15. 1/200
16. 1/200
17. 1/200
18. 1/200
19. 1/200
20. 1/200
21. 1/200
22. 1/200
23. 1/200
24. 1/200
25. 1/200
26. 1/200
27. 1/200
28. 1/200
29. 1/200
30. 1/200
31. 1/200
32. 1/200
33. 1/200
34. 1/200
35. 1/200
36. 1/200
37. 1/200
38. 1/200
39. 1/200
40. 1/200
41. 1/200
42. 1/200
43. 1/200
44. 1/200
45. 1/200
46. 1/200
47. 1/200
48. 1/200
49. 1/200
50. 1/200
51. 1/200
52. 1/200
53. 1/200
54. 1/200
55. 1/200
56. 1/200
57. 1/200
58. 1/200
59. 1/200
60. 1/200
61. 1/200
62. 1/200
63. 1/200
64. 1/200
65. 1/200
66. 1/200
67. 1/200
68. 1/200
69. 1/200
70. 1/200
71. 1/200
72. 1/200
73. 1/200
74. 1/200
75. 1/200
76. 1/200
77. 1/200
78. 1/200
79. 1/200
80. 1/200
81. 1/200
82. 1/200
83. 1/200
84. 1/200
85. 1/200
86. 1/200
87. 1/200
88. 1/200
89. 1/200
90. 1/200
91. 1/200
92. 1/200
93. 1/200
94. 1/200
95. 1/200
96. 1/200
97. 1/200
98. 1/200
99. 1/200
100. 1/200



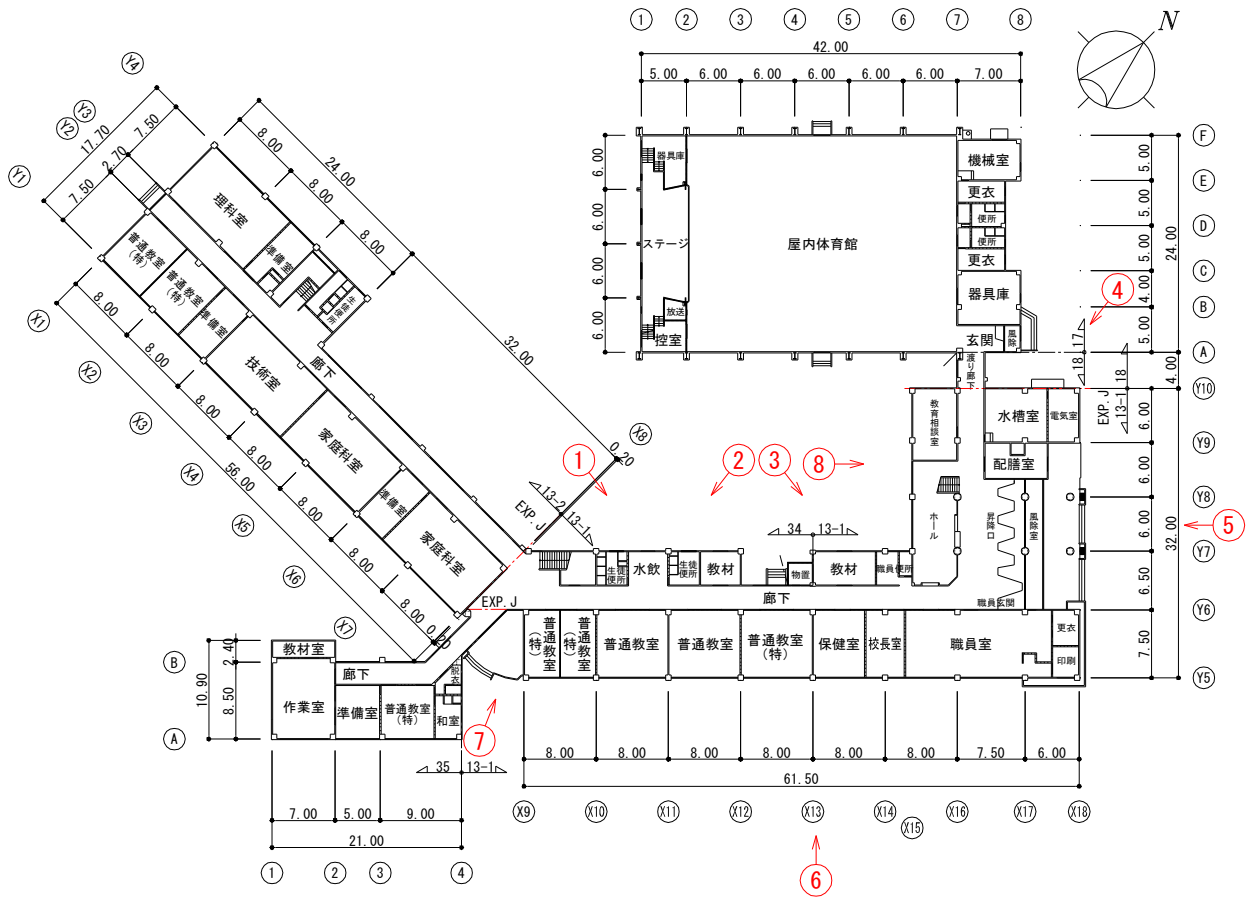
平面図 S = 1 : 1000



ボーリング調査位置図



ボーリング柱状図



写真撮影位置図

	写真 No. 1
	調査項目 耐力度調査
	撮影場所 北面
	状況 全景
	写真 No. 2
	調査項目 耐力度調査
	撮影場所 北面
	状況 全景
	写真 No. 3
	調査項目 耐力度調査
	撮影場所 北面
	状況 全景

	<p>写真 No. 4</p> <p>調査項目 耐力度調査</p> <p>撮影場所 北面</p> <p>状況 全景</p>
	<p>写真 No. 5</p> <p>調査項目 耐力度調査</p> <p>撮影場所 東面</p> <p>状況 全景</p>
	<p>写真 No. 6</p> <p>調査項目 耐力度調査</p> <p>撮影場所 南面</p> <p>状況 全景</p>

	<p>写真 No. 7</p> <p>調査項目 耐力度調査</p> <p>撮影場所 西面</p> <p>状況 全景</p>
	<p>写真 No. 8</p> <p>調査項目 耐力度調査</p> <p>撮影場所 西面</p> <p>状況 全景</p>
	<p>写真 No.</p> <p>調査項目</p> <p>撮影場所</p> <p>状況</p>

3. 構造耐力度測定

④ 構造耐力

当該建物は昭和 58 年 10 月建設の建物であり、新耐震基準の建物であるため、構造耐力の内、保有耐力 q 及び層間変形角 θ は、満点とする。

① 保有耐力

(a) 水平耐力 q

新耐震基準の建物のため満点とすることから、評点は **1.0** とする。

(b) コンクリート圧縮強度 k

JIS A 1107-2002「コンクリートからのコアの採取方法及び圧縮強度試験方法」に準拠し採取した。コンクリートコア圧縮強度試験結果を表 3.1 に、コンクリートコア採取位置図を図 3.1 及び図 3.2 に示す。

表 3.1 コンクリート圧縮強度試験結果

棟番号	試料番号	採取位置	試料寸法 (mm)		圧縮強度 ^{注1)} (N/mm ²)	
			直径 (d)	高さ (h)	試験値	平均値X
13-1棟	壁1	1階外壁	83.6	119.5	32.5	31.33
13-1棟	壁2	1階外壁	83.5	117.2	29.5	
13-1棟	壁3	2階外壁	83.6	99.1	32.0	

注1) JIS A 1107に基づく h/d による高さ補正後の強度

上記試験結果より、

$k=31.33/20=1.57$ より、判別式 $1.0 \leq k$ に相当することから **1.0**

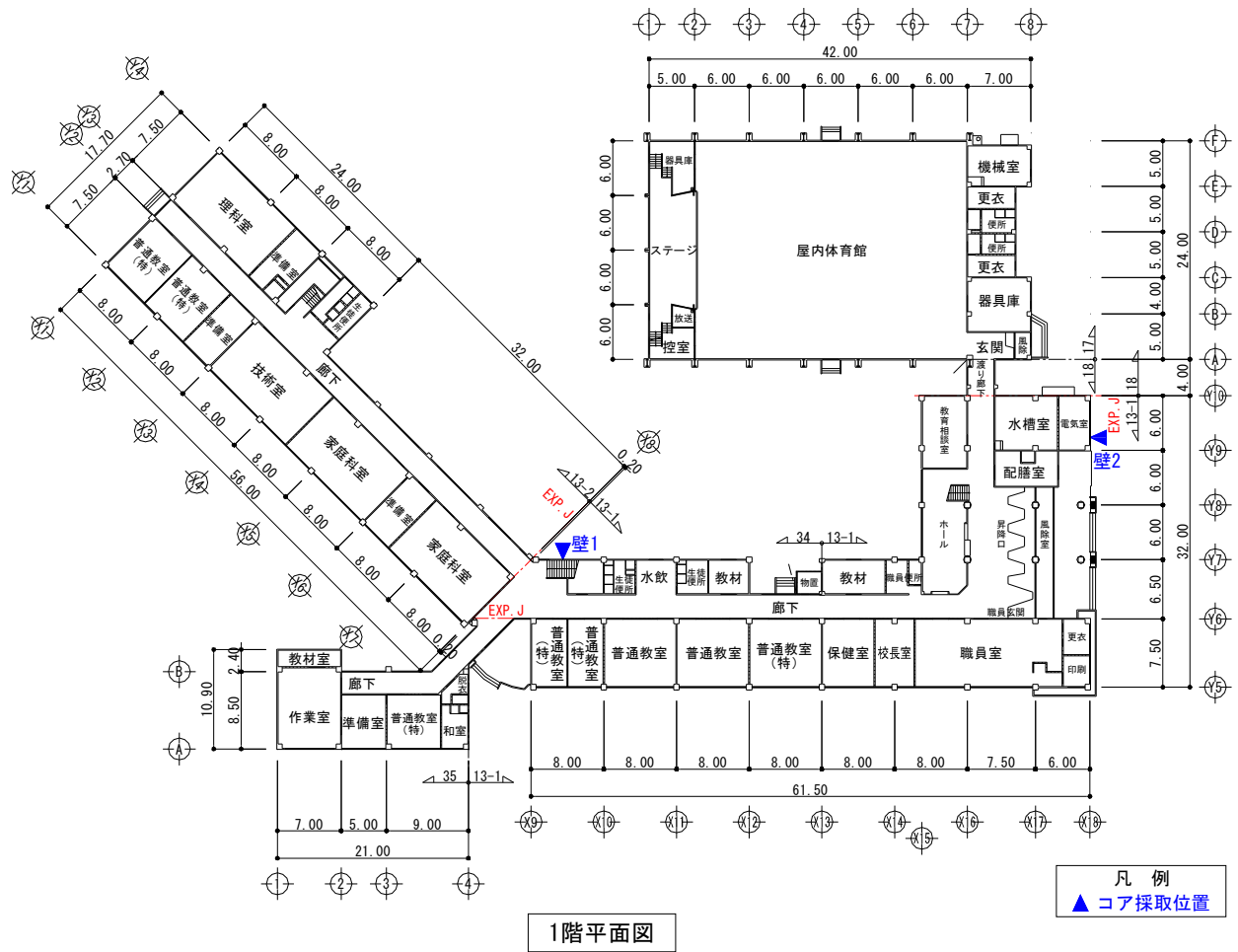


図 3.1 コンクリートコア採取位置図

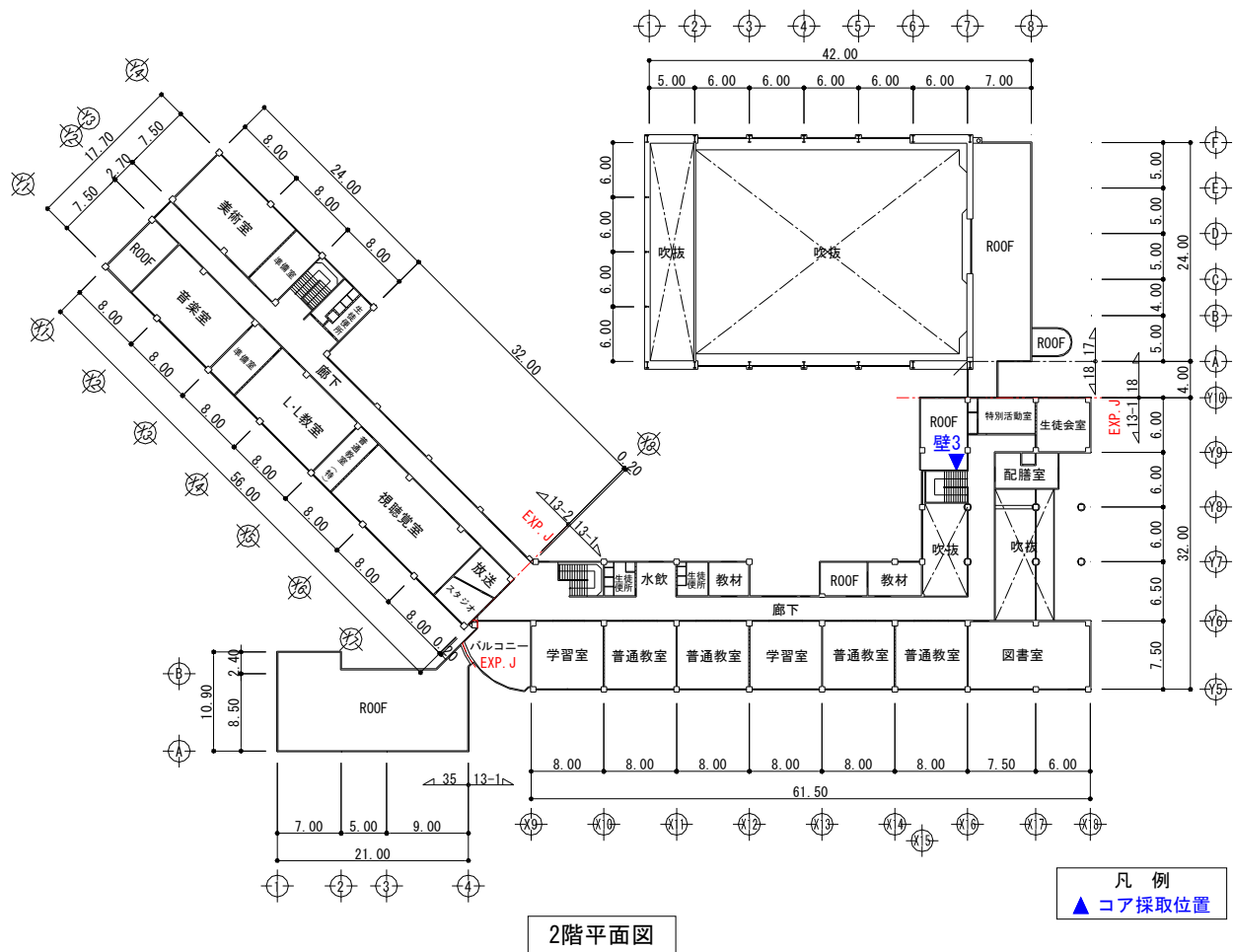


図 3.2 コンクリートコア採取位置図

② 層間変形角 θ

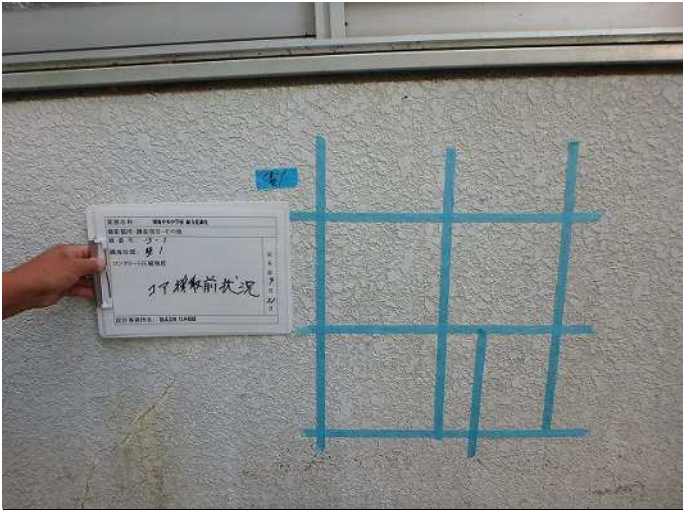
新耐震基準の建物のため満点とすることから、評点は **1.0** とする。

③ 基礎構造 β

現地調査を省略したため **1.0**

④ 地震による被災履歴 E

無災害・被災無しのため **1.0**



壁1 コンクリート圧縮強度k コア採取前状況	写真番号
	1



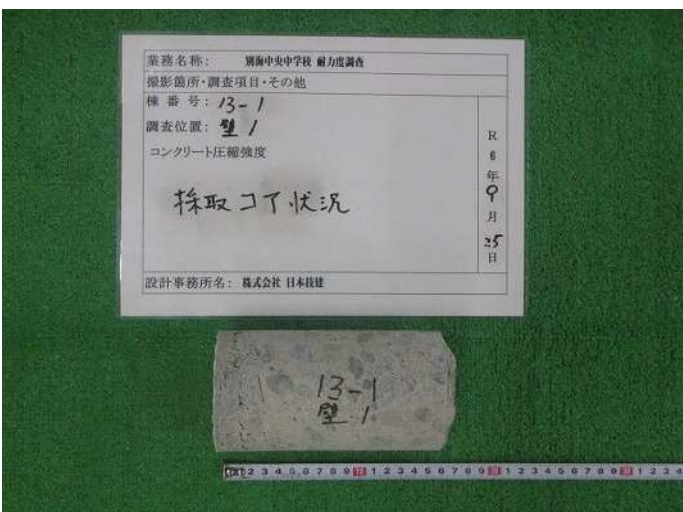
壁1 コンクリート圧縮強度k コア採取状況	写真番号
	2



壁1 コンクリート圧縮強度k コア採取完了	写真番号
	3



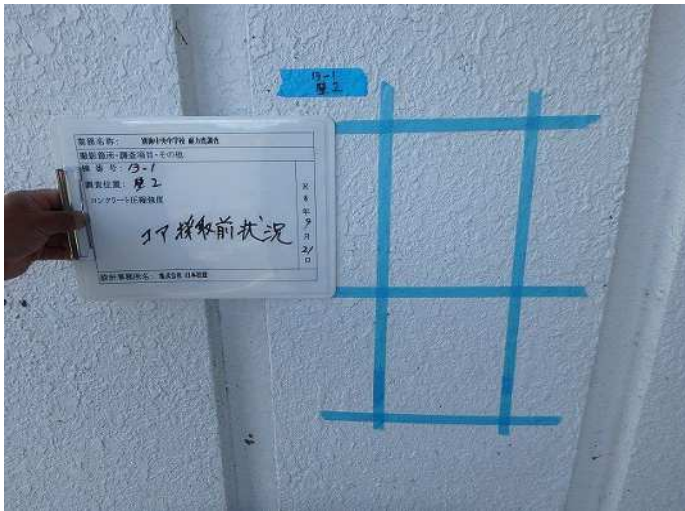
壁1 コンクリート圧縮強度k 補修完了	写真番号
	4



壁1 コンクリート圧縮強度k 採取コア状況	写真番号
	5



壁1 コンクリート圧縮強度k コンクリート圧縮強度試験状況	写真番号
	6



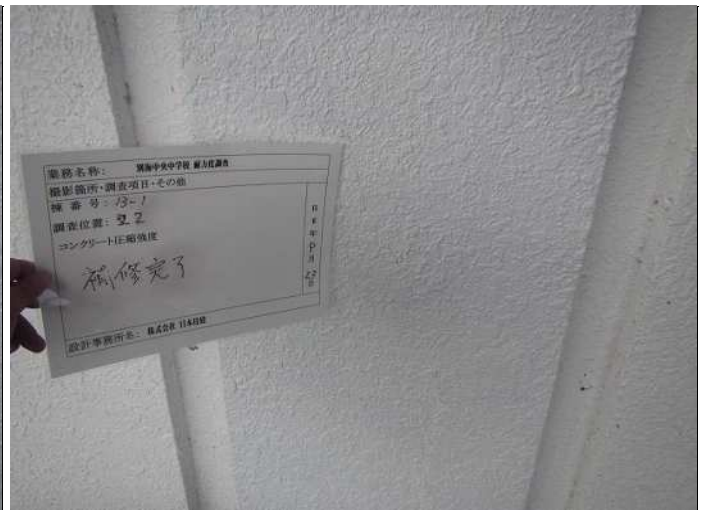
壁2 コンクリート圧縮強度k コア採取前状況	写真番号
	7



壁2 コンクリート圧縮強度k コア採取状況	写真番号
	8



壁2 コンクリート圧縮強度k コア採取完了	写真番号
	9



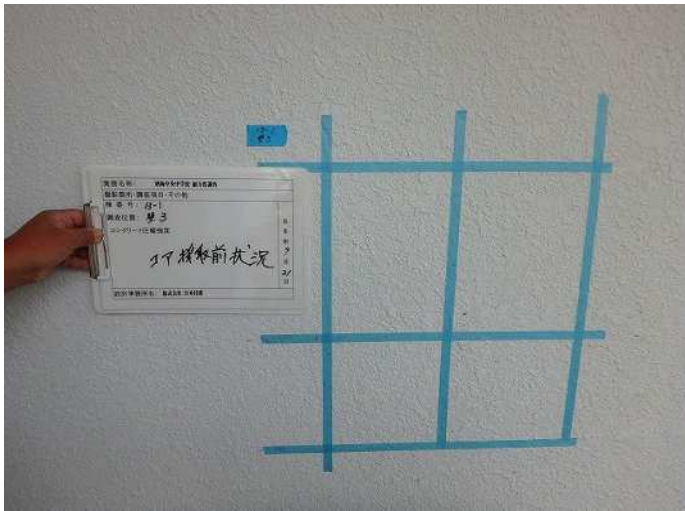
壁2 コンクリート圧縮強度k 補修完了	写真番号
	10



壁2 コンクリート圧縮強度k 採取コア状況	写真番号
	11



壁2 コンクリート圧縮強度k コンクリート圧縮強度試験状況	写真番号
	12



壁3 コンクリート圧縮強度k コア採取前状況	写真番号
	13



壁3 コンクリート圧縮強度k コア採取状況	写真番号
	14



壁3 コンクリート圧縮強度k コア採取完了	写真番号
	15



壁3 コンクリート圧縮強度k 補修完了	写真番号
	16



壁3 コンクリート圧縮強度k 採取コア状況	写真番号
	17



壁3 コンクリート圧縮強度k コンクリート圧縮強度試験状況	写真番号
	18

令和6年10月4日

試験成績書

株式会社 日本技建 様

一般財団法人 東海技術センター

〒489-0977 愛知県瀬戸市坂上町430番地1

TEL (0561)85-0214



貴依頼による試料の試験結果を別紙のとおり報告します。

業務名称 : 別海中央中学校耐力度調査

受付日 : 令和6年9月27日

採取場所 : 別海中央中学校

試料名称 : コンクリートコア

試験項目 : コンクリートコアの圧縮強度試験 (JIS A 1107)
コンクリートの中性化深さ試験 (JIS A 1152)

試験結果 : 別紙のとおり

- 注1. 上記試験試料は、ご依頼者が採取し持ち込まれたものである。
2. 試験試料等の内容は、ご依頼者の試験依頼書の記載事項に基づき表記しました。
3. この試験成績書の一部を複製するときは、書面によって当試験所の承認を得るようにして下さい。

コンクリートコアの圧縮強度試験結果

業務名称：別海中央中学校耐力度調査

採取場所：別海中央中学校

試験年月日 令和6年9月30日

No.	供試体名称	平均直径 [mm]	平均高さ [mm]	質量 [g]	見掛密度 [g/cm ³]	最大荷重 [kN]	補正係数	圧縮強度 (補正前) [N/mm ²]	圧縮強度 (補正後) [N/mm ²]
1	13-1 壁1	83.6	119.5	1484.6	2.26	188	0.95	34.2	32.5
2	13-1 壁2	83.5	117.2	1459.5	2.27	170	0.95	31.0	29.5
3	13-1 壁3	83.6	99.1	1221.9	2.25	191	0.92	34.8	32.0
4	13-2 壁1	83.6	129.2	1632.1	2.30	185	0.96	33.7	32.4
5	13-2 壁2	83.6	102.5	1291.6	2.30	256	0.93	46.6	43.3
6	13-2 壁3	83.6	101.7	1278.9	2.29	128	0.92	23.3	21.4
7	35 壁1	83.6	115.0	1433.1	2.27	227	0.95	41.4	39.3
8	35 壁2	83.5	104.2	1303.9	2.29	167	0.93	30.5	28.4
9	35 壁3	83.6	115.3	1446.7	2.29	200	0.95	36.4	34.6
10	17 壁1	83.6	114.2	1457.8	2.33	256	0.95	46.6	44.3
11	17 壁2	83.6	114.6	1434.2	2.28	221	0.95	40.3	38.3
12	17 壁3	83.6	117.7	1489.1	2.30	256	0.95	46.6	44.3

備考

コンクリートの中性化深さ試験結果

業務名称：別海中央中学校耐力度調査

採取場所：別海中央中学校

試験年月日 令和6年9月30日

No.	供試体名称	中性化深さ [mm]								平均値	最大値	
		測点	1	2	3	4	5	6	7			
1	13-1 壁1	筒元	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		筒先	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	13-1 壁2	筒元	2.0	1.5	1.5	1.0	1.0	1.0	0.0	1.1	4.5	
		筒先	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	13-1 壁3	筒元	0.0	4.0	0.5	1.5	3.0	1.0	1.5	1.6	4.0	
		筒先	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	13-2 壁1	筒元	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.2	2.0	
		筒先	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	13-2 壁2	筒元	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		筒先	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	13-2 壁3	筒元	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	2.5	
		筒先	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7	35 壁1	筒元	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		筒先	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8	35 壁2	筒元	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		筒先	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
9	35 壁3	筒元	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		筒先	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
10	17 壁1	筒元	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		筒先	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
11	17 壁2	筒元	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	1.5	
		筒先	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
12	17 壁3	筒元	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		筒先	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

備考

最大値は測点と別に測定した値。但し、最大値が測点上にある場合は、その値を引用した。
筒先が破断又は欠損の場合は、測定不能のため「-」で表記した。















コンクリートの中性化深さ測定(フェノールフタレイン法)
別海中央中学校耐力度調査
別海中央中学校
13-1 壁1



コンクリートの中性化深さ測定(フェノールフタレイン法)
別海中央中学校耐力度調査
別海中央中学校
13-1 壁2



コンクリートの中性化深さ測定(フェノールフタレイン法)
別海中央中学校耐力度調査
別海中央中学校
13-1 壁3



コンクリートの中性化深さ測定(フェノールフタレイン法)
別海中央中学校耐力度調査
別海中央中学校
13-2 壁1

筒元 ← 筒先 →



コンクリートの中性化深さ測定(フェノールフタレイン法)
別海中央中学校耐力度調査
別海中央中学校
13-2 壁2

筒元 ← 筒先 →



コンクリートの中性化深さ測定(フェノールフタレイン法)
別海中央中学校耐力度調査
別海中央中学校
13-2 壁3

筒元 ← 筒先 →



コンクリートの中性化深さ測定(フェノールフタレイン法)
別海中央中学校耐力度調査
別海中央中学校
35 壁1

← 筒元

筒先 →



コンクリートの中性化深さ測定(フェノールフタレイン法)
別海中央中学校耐力度調査
別海中央中学校
35 壁2

← 筒元

筒先 →



コンクリートの中性化深さ測定(フェノールフタレイン法)
別海中央中学校耐力度調査
別海中央中学校
35 壁3

← 筒元

筒先 →



コンクリートの中性化深さ測定(フェノールフタレイン法)

別海中央中学校耐力度調査

別海中央中学校

17 壁1

筒元

筒先



コンクリートの中性化深さ測定(フェノールフタレイン法)

別海中央中学校耐力度調査

別海中央中学校

17 壁2

筒元

筒先



コンクリートの中性化深さ測定(フェノールフタレイン法)

別海中央中学校耐力度調査

別海中央中学校

17 壁3

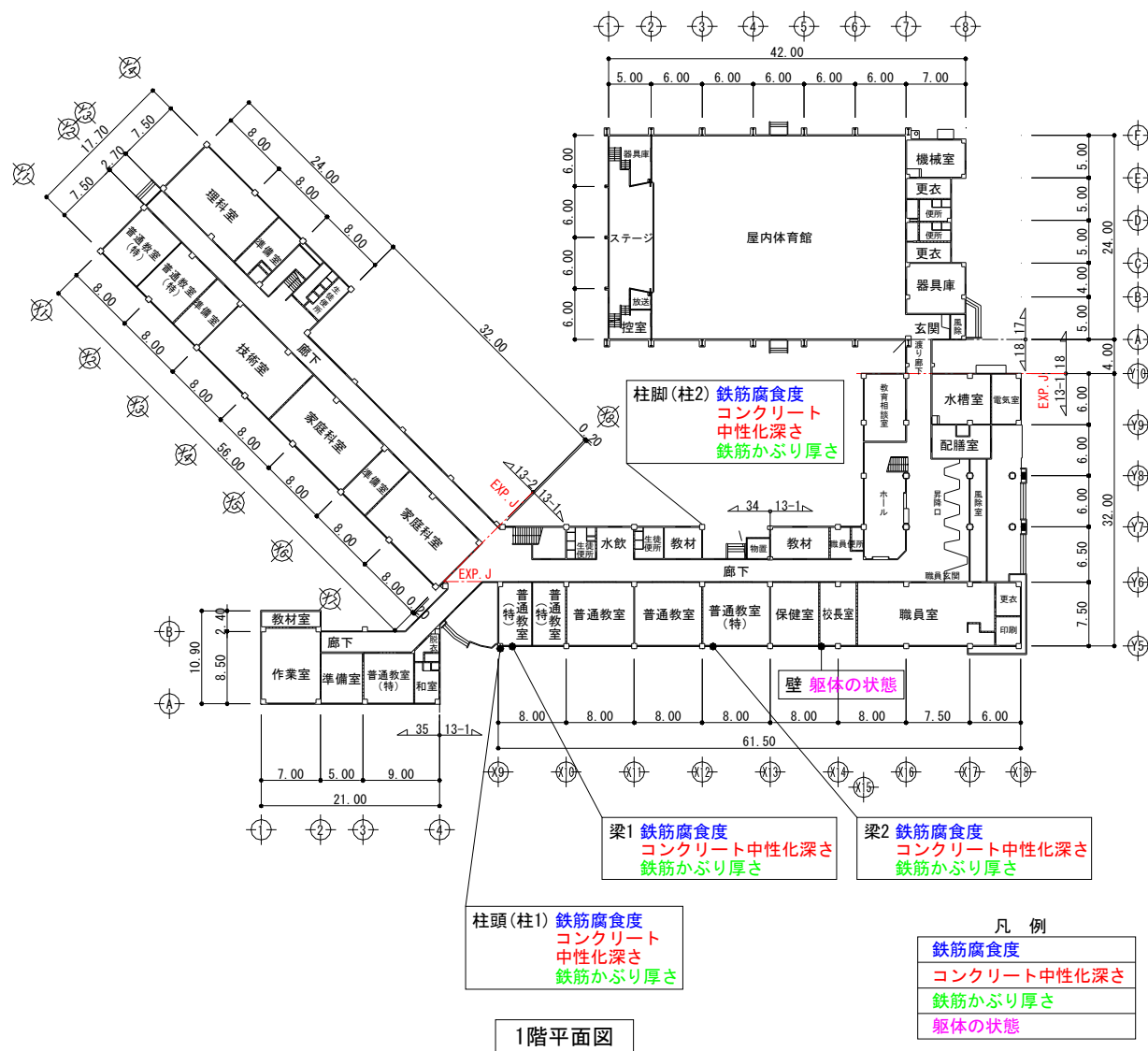
筒元

筒先

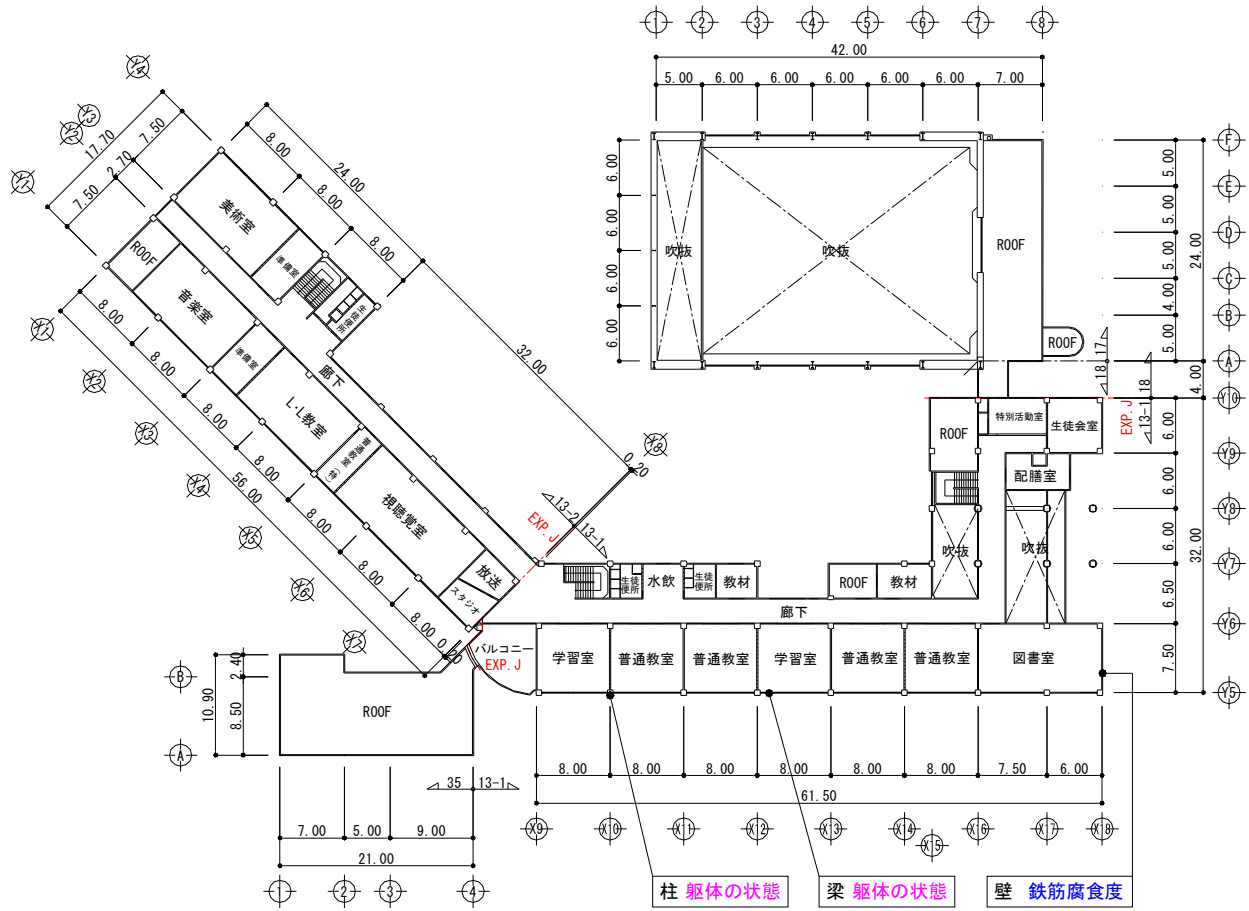


4. 健全度測定

調査位置図1



調査位置図2



② 鉄筋腐食度 F

当該建物の柱及び梁について、それぞれ 2 箇所以上鉄筋の腐食状態を調べ、下表により状態に応じたグレードを求め、その最低値 F によって評価する。また、柱、梁、壁、床の外観調査で鉄筋さびの溶け出しや層状さびの膨張力によりかぶりコンクリートを持ち上げているなどの劣化状況についても併せて記載する。

発錆のグレード

鉄筋の発錆状態	グレード
さびがほとんど認められない。 鉄筋さびによる膨張亀裂、鉄筋さびの溶け出しは認められない。	1.0
部分的に点食を認める。または、大部分が赤さびに覆われている。 鉄筋さびの溶け出しが認められる。	0.8
層状さびが認められる。 層状さびの膨張力によりかぶりコンクリートを持ち上げている。	0.5

②について、今回の調査結果を下表に示す。

調査対象及び箇所		鉄筋の発錆状況	グレード
鉄筋腐食状態	柱頭	層状さびが認められる	0.5
	柱脚	部分的に点食を認める	0.8
	梁 1	部分的に点食を認める	0.8
	梁 2	部分的に点食を認める	0.8
外観調査結果	柱	鉄筋さびによる膨張亀裂、鉄筋さびの溶け出しは認められない。	1.0
	梁	鉄筋さびによる膨張亀裂、鉄筋さびの溶け出しは認められない。	1.0
	壁	層状さびの膨張力によりかぶりコンクリートを持ち上げている	0.5
	床	鉄筋さびによる膨張亀裂、鉄筋さびの溶け出しは認められない。	1.0

柱頭の発錆グレードは 0.5、柱脚及び梁の発錆グレードは 0.8 となった。また、外観調査結果より壁の発錆グレードは 0.5 となり、その他の発錆グレードは 1.0 となった。

以上のことから、最低値はグレード 0.5 であるため **0.5**

③ コンクリート中性化深さ等及び鉄筋かぶり厚さ

(a) コンクリート中性化深さ等 ; a

- 判別式 $a \leq 1.5 \text{ cm}$ 1.0
 $1.5 \text{ cm} < a < 3 \text{ cm}$ 直線補間
 $3 \text{ cm} \leq a$ 0.5

(b) 鉄筋かぶり厚さ ; b

- 判別式 $3 \text{ cm} \leq b$ 1.0
 $1.5 \text{ cm} < b < 3 \text{ cm}$ 直線補間
 $b \leq 1.5 \text{ cm}$ 0.5

③について、今回の調査結果を下表に示す。なお、当該建物は増しコンクリート2cmが施されているため(設計図書より)、各計測値は-2cmとする。

<p>柱頭 (柱 1)</p> <p>正面図</p> <p>断面図</p> <p>単位 : cm</p>	<p>梁 1</p> <p>正面図</p> <p>断面図</p> <p>単位 : cm</p>
<p>a. コンクリートの中性化深さ : $0.6 - 2 = 0.0 \text{ cm}$</p>	<p>a. コンクリートの中性化深さ : $0.5 - 2 = 0.0 \text{ cm}$</p>
<p>b. 鉄筋のかぶり厚さ : $1.7 - 2 = 0.0 \text{ cm}$</p>	<p>b. 鉄筋のかぶり厚さ : $1.8 - 2 = 0.0 \text{ cm}$</p>
<p>柱脚 (柱 2)</p> <p>正面図</p> <p>断面図</p> <p>単位 : cm</p>	<p>梁 2</p> <p>正面図</p> <p>断面図</p> <p>単位 : cm</p>
<p>a. コンクリートの中性化深さ : $0.4 - 2 = 0.0 \text{ cm}$</p>	<p>a. コンクリートの中性化深さ : $2.8 - 2 = 0.8 \text{ cm}$</p>
<p>b. 鉄筋のかぶり厚さ : $3.4 - 2 = 1.4 \text{ cm}$</p>	<p>b. 鉄筋のかぶり厚さ : $2.2 - 2 = 0.2 \text{ cm}$</p>

$$\text{中性化深さ } a = \frac{0.0+0.0+0.0+0.8}{4} = 0.20 \text{ cm}$$

平均値 $a=0.00 \text{ cm}$ より、判別式 $a \leq 1.5 \text{ cm}$ に相当するため **1.0**

$$\text{鉄筋かぶり厚さ } b = \frac{0.0+1.4+0.0+0.2}{4} = 0.40 \text{ cm}$$

平均値 $b=1.20 \text{ cm}$ より、判別式 $b \leq 1.5 \text{ cm}$ に相当するため **0.5**

④ 躯体の状態；D

当該建物の柱、梁、壁、床のそれぞれ1箇所について構造ひび割れの測定を行い、下表により状態に応じたグレードを求め、その最低値を躯体によるDとする。

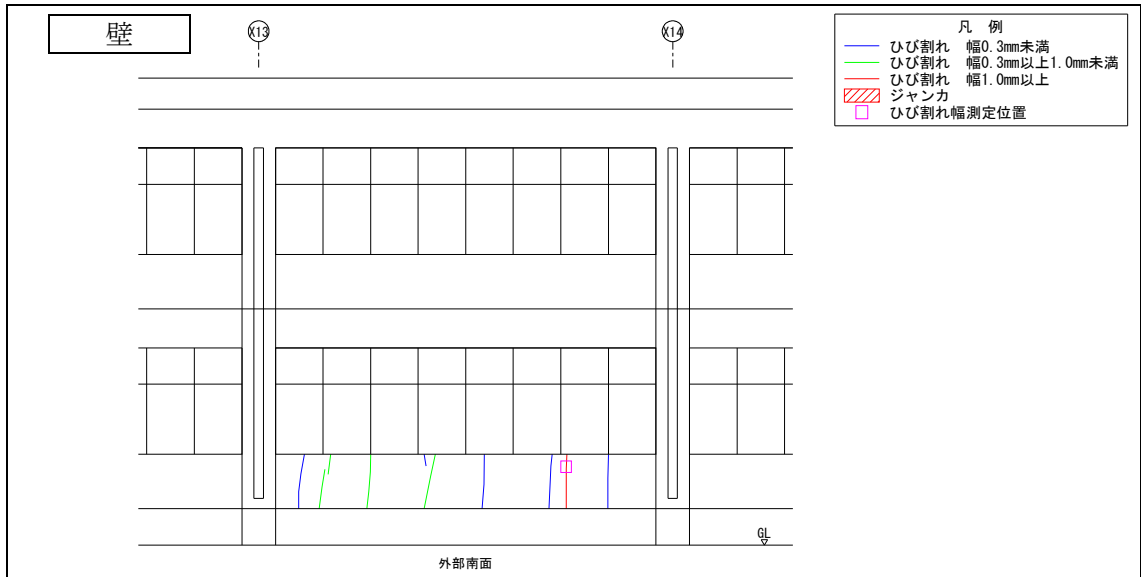
躯体状態のグレード

部材毎のひび割れの状態	グレード
<ul style="list-style-type: none"> ・ひび割れがほとんど認められない。 ・コールドジョイントがほとんど認められない。 ・ジャンカがほとんど認められない。 	1.0
<ul style="list-style-type: none"> ・幅 0.3 mm未満のひび割れが多数あるか、または、幅 0.3mm以上のひび割れが部分的に認められる。 ・コールドジョイントに沿った仕上面のひび割れがあり、かつ、漏水跡が認められる。 ・ジャンカが部分的に認められる。 	0.8
<ul style="list-style-type: none"> ・幅 0.3 mm以上のひび割れが多数あるか、または、幅 1.0mm以上のひび割れが部分的に認められる。 ・表面積 30cm角程度のジャンカが多数認められる。 	0.5

D：躯体の状態によるグレードの最低値

当該建物の各部材毎にひび割れが最も顕著に確認された箇所を選定し図示した。ひび割れ幅の測定において弾性塗装を施している部位は、部分的に塗装を撤去し、コンクリート躯体面にて測定を行った。

<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">柱</div> <div style="text-align: center;">K10</div> <div style="text-align: center;">K11</div> </div> <p style="text-align: center;">外部南面</p>	<p style="text-align: center;">凡 例</p> <ul style="list-style-type: none"> — ひび割れ 幅0.3mm未満 — ひび割れ 幅0.3mm以上1.0mm未満 — ひび割れ 幅1.0mm以上 ▨ ジャンカ ひび割れ幅測定位置
<ul style="list-style-type: none"> ・ひび割れがほとんど認められない。 ・コールドジョイントがほとんど認められない。 ・ジャンカがほとんど認められない。 <p style="text-align: right;">(グレード 1.0)</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・幅 0.3 mm未満のひび割れが多数あるか、または、幅 0.3mm 以上のひび割れが部分的に認められる。 ・コールドジョイントに沿った仕上面のひび割れがあり、かつ、漏水跡が認められる。 ・ ジャンカが部分的に認められる。 <p style="text-align: right;">(グレード 0.8)</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・幅 0.3 mm以上のひび割れが多数あるか、または、幅 1.0mm 以上のひび割れが部分的に認められる。 ・表面積 30cm 角程度のジャンカが多数認められる。 <p style="text-align: right;">(グレード 0.5)</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">梁</div> <div style="text-align: center;">K12</div> <div style="text-align: center;">K13</div> </div> <p style="text-align: center;">外部南面</p>	<p style="text-align: center;">凡 例</p> <ul style="list-style-type: none"> — ひび割れ 幅0.3mm未満 — ひび割れ 幅0.3mm以上1.0mm未満 — ひび割れ 幅1.0mm以上 ▨ ジャンカ ひび割れ幅測定位置
<ul style="list-style-type: none"> ・ひび割れがほとんど認められない。 ・コールドジョイントがほとんど認められない。 ・ジャンカがほとんど認められない。 <p style="text-align: right;">(グレード 1.0)</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 幅 0.3 mm未満のひび割れが多数あるか、または、幅 0.3mm 以上のひび割れが部分的に認められる。 ・コールドジョイントに沿った仕上面のひび割れがあり、かつ、漏水跡が認められる。 ・ジャンカが部分的に認められる。 <p style="text-align: right;">(グレード 0.8)</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・幅 0.3 mm以上のひび割れが多数あるか、または、幅 1.0mm 以上のひび割れが部分的に認められる。 ・表面積 30cm 角程度のジャンカが多数認められる。 <p style="text-align: right;">(グレード 0.5)</p>	



- ・ひび割れがほとんど認められない。
 ・コールドジョイントがほとんど認められない。 (グレード 1.0)
 ・ジャンカがほとんど認められない。
- ・幅 0.3 mm未満のひび割れが多数あるか、または、幅 0.3mm 以上のひび割れが部分的に認められる。 (グレード 0.8)
 ・コールドジョイントに沿った仕上面のひび割れがあり、かつ、漏水跡が認められる。
 ・ジャンカが部分的に認められる。
- 幅 0.3 mm以上のひび割れが多数あるか、または、幅 1.0mm 以上のひび割れが部分的に認められる。 (グレード 0.5)
 ・表面積 30cm 角程度のジャンカが多数認められる。



- ひび割れがほとんど認められない。
 ・コールドジョイントがほとんど認められない。 (グレード 1.0)
 ・ジャンカがほとんど認められない。
- ・幅 0.3 mm未満のひび割れが多数あるか、または、幅 0.3mm 以上のひび割れが部分的に認められる。 (グレード 0.8)
 ・コールドジョイントに沿った仕上面のひび割れがあり、かつ、漏水跡が認められる。
 ・ジャンカが部分的に認められる。
- ・幅 0.3 mm以上のひび割れが多数あるか、または、幅 1.0mm 以上のひび割れが部分的に認められる。 (グレード 0.5)
 ・表面積 30cm 角程度のジャンカが多数認められる。

柱はジャンカが部分的に確認されたためグレード0.8、梁は幅0.3mm未満のひび割れが多数確認されたためグレード0.8、壁は幅1.0mm以上のひび割れが部分的に確認されたためグレード0.5、床にひび割れは認められなかったためグレード1.0とした。

以上のことから、最低値はグレード0.5であるため **0.5**

⑤ 不同沈下量； ϕ

躯体に不同沈下に起因するひび割れが確認されなかったため、省略し満点とする。

⑥ コンクリート圧縮強度；k

コンクリート圧縮強度は、④ 構造耐力、①保有耐力、(b)コンクリート圧縮強度kにおいて、平均値が13.5N/mm²以上であるため省略とする。

⑦ 火災による疲弊度；S

判別式 $S = 0 \cdots \cdots 1.0$
 $0 < S < 1 \cdots \cdots$ 直線補間
 $S = 1 \cdots \cdots 0.5$

当該建物は、建築当初より火災による被疑を受けていないことから $S = 0$ とし、判別式より **1.0**

5. 記録写真



柱頭・柱1 はつり前状況	写真番号
	3



柱頭・柱1 はつり完了	写真番号
	4



柱頭・柱1 写真番号4詳細	写真番号
	5



柱頭・柱1 鉄筋腐食度F 層状さびが認められる(グレード0.5)	写真番号
	6



柱頭・柱1 鉄筋腐食度F 写真番号6詳細	写真番号
	7



柱頭・柱1 鉄筋かぶり厚さb かぶり厚: 1.7cm	写真番号
	8



柱頭・柱1 鉄筋かぶり厚さb 写真番号8詳細	写真番号
	9

柱頭・柱1 コンクリート中性化深さa 中性化深さ:0.6cm	写真番号
	10



柱頭・柱1 コンクリート中性化深さa 写真番号10詳細(1)	写真番号
	11

柱頭・柱1 コンクリート中性化深さa 写真番号10詳細(2)	写真番号
	12



柱頭・柱1 補修完了	写真番号
	13

写真番号

13-1棟 校舎

鉄筋腐食度F、コンクリート中性化深さ等及び鉄筋かぶり厚さ



柱脚・柱2 はつり前状況	写真番号
	14



柱脚・柱2 はつり完了	写真番号
	15



柱脚・柱2 写真番号15詳細	写真番号
	16



柱脚・柱2 鉄筋腐食度F 部分的に点食を認める(グレード0.8)	写真番号
	17



柱脚・柱2 鉄筋腐食度F 写真番号17詳細	写真番号
	18



柱脚・柱2 鉄筋かぶり厚さb かぶり厚:3.4cm	写真番号
	19

13-1棟 校舎

鉄筋腐食度F、コンクリート中性化深さ等及び鉄筋かぶり厚さ



柱脚・柱2
鉄筋かぶり厚さb
写真番号19詳細

写真番号
20

柱脚・柱2
コンクリート中性化深さa
中性化深さ:0.4cm

写真番号
21



柱脚・柱2
コンクリート中性化深さa
写真番号21詳細(1)

写真番号
22

柱脚・柱2
コンクリート中性化深さa
写真番号21詳細(2)

写真番号
23



柱脚・柱2
補修完了

写真番号
24

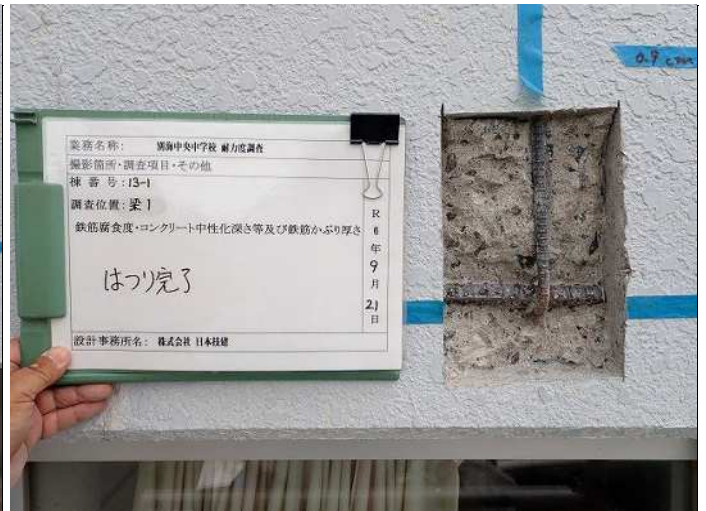
写真番号

13-1棟 校舎

鉄筋腐食度F、コンクリート中性化深さ等及び鉄筋かぶり厚さ



梁1 はつり前状況	写真番号
	25



梁1 はつり完了	写真番号
	26



梁1 写真番号26詳細	写真番号
	27



梁1 鉄筋腐食度F 部分的に点食を認める(グレード0.8)	写真番号
	28



梁1 鉄筋腐食度F 写真番号28詳細	写真番号
	29



梁1 鉄筋かぶり厚さb かぶり厚: 1.8cm	写真番号
	30



梁1 鉄筋かぶり厚さb 写真番号30詳細	写真番号
	31



梁1 コンクリート中性化深さa 中性化深さ:0.5cm	写真番号
	32



梁1 コンクリート中性化深さa 写真番号32詳細(1)	写真番号
	33



梁1 コンクリート中性化深さa 写真番号32詳細(2)	写真番号
	34



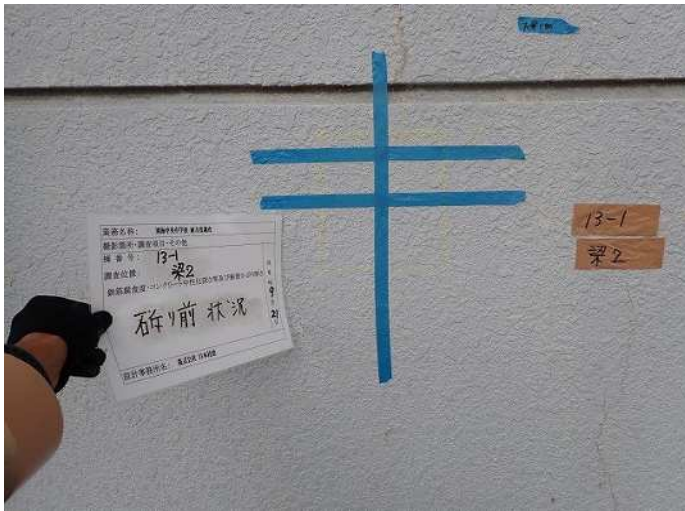
梁1 補修完了	写真番号
	35



	写真番号

13-1棟 校舎

鉄筋腐食度F、コンクリート中性化深さ等及び鉄筋かぶり厚さ



梁2 はつり前状況	写真番号
	36



梁2 はつり完了	写真番号
	37



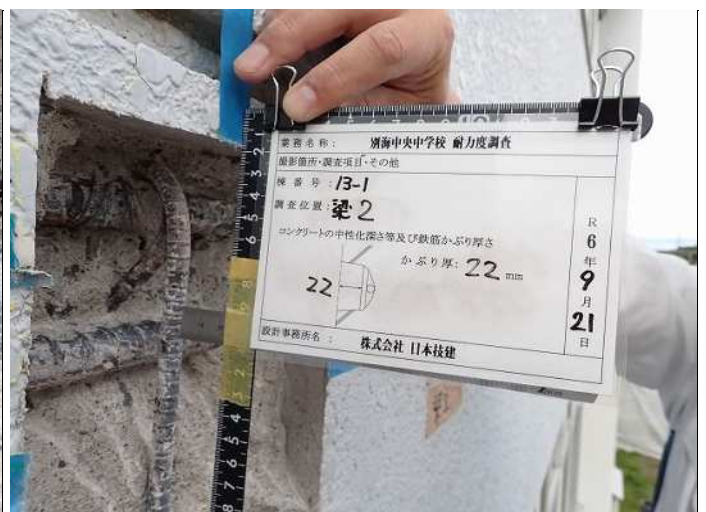
梁2 写真番号37詳細	写真番号
	38



梁2 鉄筋腐食度F 部分的に点食を認める(グレード0.8)	写真番号
	39



梁2 鉄筋腐食度F 写真番号39詳細	写真番号
	40



梁2 鉄筋かぶり厚さb かぶり厚:2.2cm	写真番号
	41



梁2
鉄筋かぶり厚さb
写真番号41詳細

写真番号
42

梁2
コンクリート中性化深さa
中性化深さ:2.8cm

写真番号
43



梁2
コンクリート中性化深さa
写真番号43詳細(1)

写真番号
44

梁2
コンクリート中性化深さa
写真番号43詳細(2)

写真番号
45



梁2
補修完了

写真番号
46

写真番号



柱頭・柱1 はつり状況	写真番号
	47

柱頭・柱1,梁1 足場設置・解体状況	写真番号
	48



柱頭・柱1,梁1 足場設置完了	写真番号
	49

梁2 足場設置完了	写真番号
	50

余 白

余 白

写真番号

写真番号



壁 鉄筋腐食度F 層状さびの膨張力によりかぶりコンクリートを持ち上げている (グレード0.5)	写真番号
	1

壁 鉄筋腐食度F 写真番号1詳細	写真番号
	2



	写真番号

	写真番号



	写真番号

	写真番号



柱 躯体の状態D ジャンカが部分的に認められる(グレード0.8)	写真番号
	1

柱 躯体の状態D 写真番号1詳細	写真番号
	2



	写真番号

	写真番号



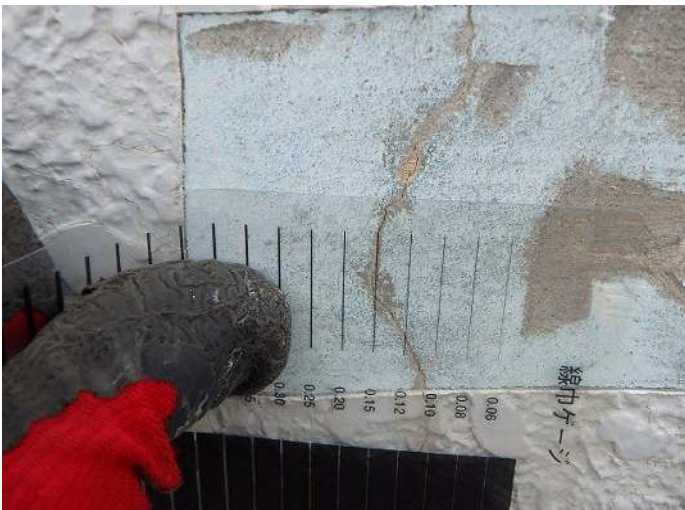
	写真番号

	写真番号



梁 躯体の状態D 塗装撤去前状況	写真番号
	3

梁 躯体の状態D 幅0.3mm未満のひび割れが多数認められる(グレード0.8)	写真番号
	4



梁 躯体の状態D 写真番号4詳細	写真番号
	5

梁 躯体の状態D 補修完了	写真番号
	6



	写真番号

	写真番号



壁 躯体の状態D 塗装撤去前状況	写真番号
	7

壁 躯体の状態D 幅1.0mm以上のひび割れが部分的に認められる(グレード0.5)	写真番号
	8



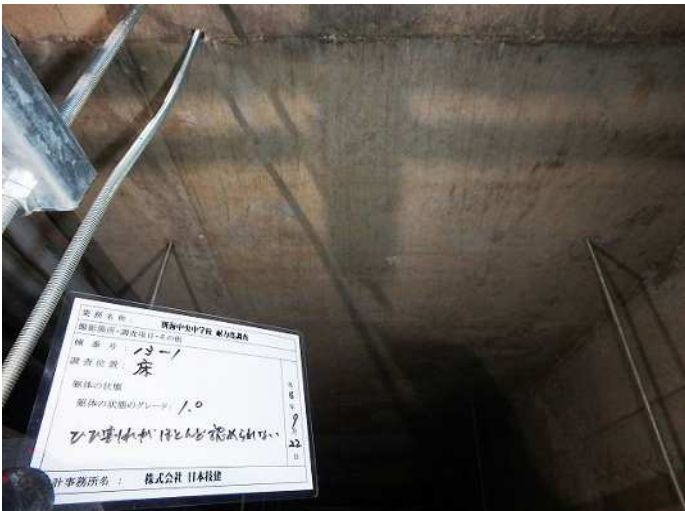
壁 躯体の状態D 写真番号8詳細	写真番号
	9

壁 躯体の状態D 補修完了	写真番号
	10



	写真番号

	写真番号



床 躯体の状態D ひび割れがほとんど認められない(グレード1.0)	写真番号
	11

	写真番号



	写真番号

	写真番号



	写真番号

	写真番号

6. 外力条件

外力条件

① 地震地域係数

地域区分は建設省告示第 1793 号(最終改正：平成 19 年国土交通省告示第 597 号)に基づき 1.0 となるため、地震地域係数は一種地域 **0.8** とする。

対応表

①地震地域係数		建設省告示1793号	
		地方	数値(z)
四種地域	1.0	(四)	0.7
三種地域	0.9	(三)	0.8
二種地域	0.85	(二)	0.9
一種地域	0.8	(一)	1.0

② 地盤種別

第一種地盤	岩盤、砂質砂れき層その他主として第三紀以前の地層によって構成されているもの又は地盤周期等についての調査若しくは研究の結果に基づき、これと同程度の地盤周期を有するとみとめられるもの	0.4
第二種地盤	第一種地盤及び第三種地盤以外のもの	0.6
第三種地盤	腐食土、泥土その他これらに類するもので大部分が構成されている沖積層（盛土がある場合においてはこれを含む。）で、その深さがおおむね30メートル以上のもの、泥沢、泥海等を埋め立てた地盤の深さがおおむね3メートル以上であり、かつ、これらで埋め立てられてからおおむね30年経過していないもの又は地盤周期等についての調査若しくは研究の結果に基づき、これらと同程度の地盤周期を有するとみとめられるもの	0.8

②地盤種別	
一種地盤	1.0
二種地盤	0.9
三種地盤	0.8

③ 敷地条件

建物周辺は、平坦な土地であるため、平坦地 **1.0** とする

④ 積雪寒冷地域

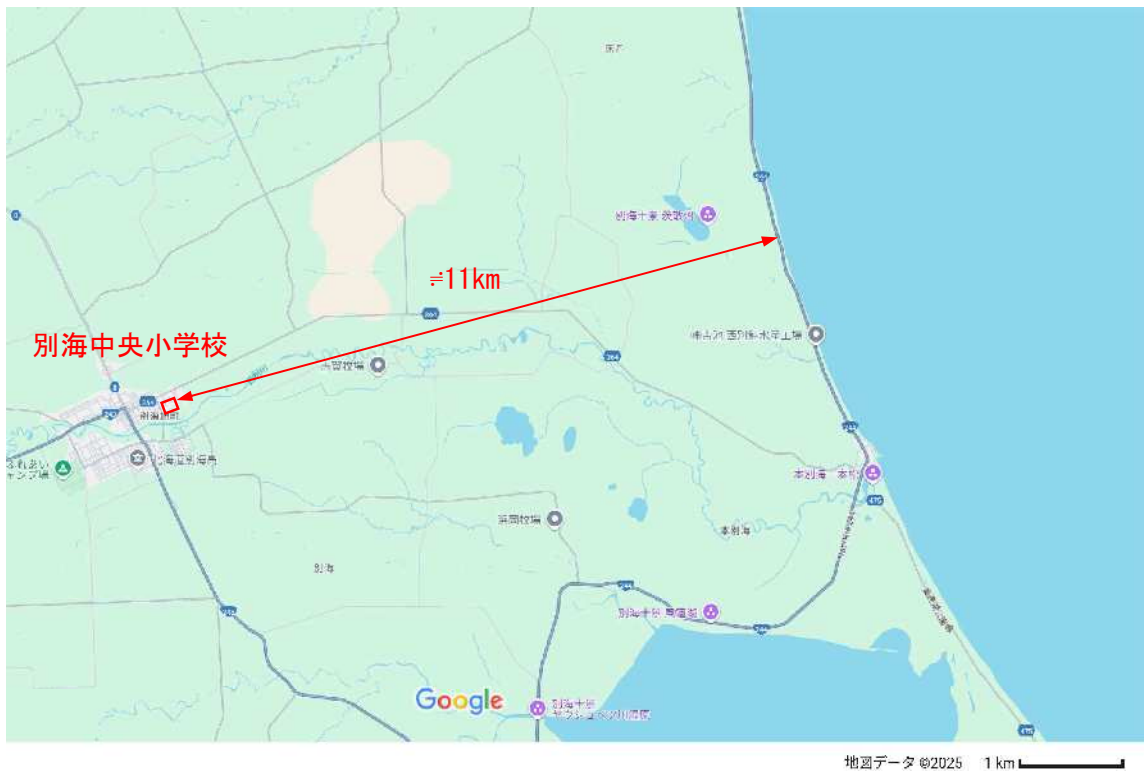
義務教育諸学校等の施設費の国庫負担法等に関する法律施行令第 7 条第 5 項により全国を一級積雪寒冷地域、二級積雪寒冷地域、その他地域の 3 種の区分に分けている。

- (a) 「一級積雪寒冷地域」とは、冬期平均気温零下 5 度以下又は積雪量 300 月センチメートル以上の地域
- (b) 「二級積雪寒冷地域」とは、冬期平均気温零下 5 度から零度まで又は積雪量 100 月センチメートル以上 300 センチメートル未満の地域
- (c) 「その他地域」とは、一級または二級積雪寒冷地域のいずれにも該当しない地域

当該地域は一級寒冷地域に該当する。

④積雪寒冷地域	
その他の地域	1.0
二級積雪寒冷地域	0.9
一級積雪寒冷地域	0.8

⑤ 海岸からの距離



海岸からの距離

⑤海岸からの距離	
海岸から8kmを超える	1.0
海岸から8km以内	0.9
海岸から5km以内	0.8